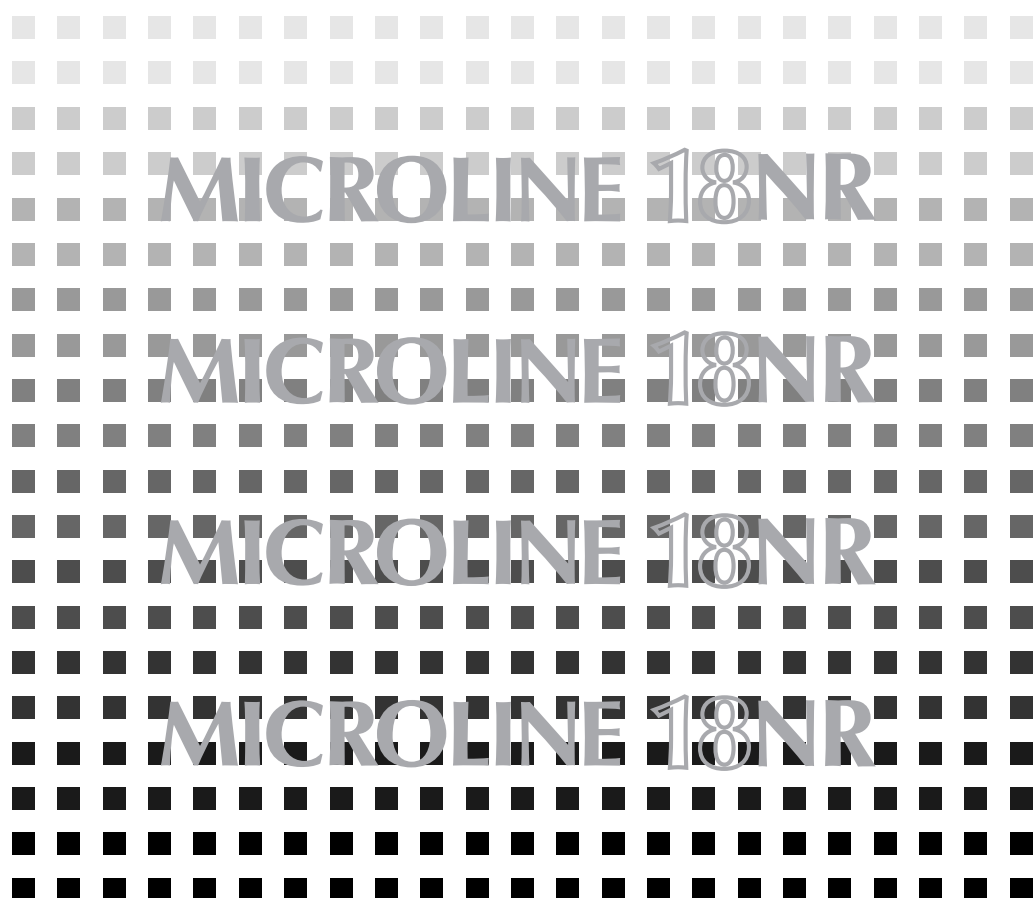
OKI

MICROLINE 18NR

オキページプリンタ
ユーザーズマニュアル

○このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
○本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル（本書）をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。 高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。

⚠警告

	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 18NR → ML18NR
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® WindowsNT® operating system Version4.0 日本語版 → WindowsNT4.0
- WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0 の総称→Windows
- マルチパーパスフィーダ → MPF
- 拡張給紙ユニット → トレイ2、セカンドトレイ
- PostScript3エミュレーション → PSE、POSTSCRIPT3エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

MICROLINE は株式会社沖データの商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNT は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、MacOS、LaserWriter および TrueType は、米国 Apple Computer Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標、商品名です。
OKI は沖電気工業株式会社の登録商標または商標です。
PostScript は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標、または商標です。
ESC/P はセイコーエプソン社の登録商標または商標です。
平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
その他各社名, 製品名は各社の登録商標または商品名です。

本書について

1. 本書の内容の一部または、全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様がプリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

プリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読み下さい。
お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ（以下「沖データ」といいます）は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア（ただし、Adobe Acrobat Reader は除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます。）を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

本ソフトウェアに含まれている Windows Me/98/95 用 PostScript® プリンタドライバ、Windows NT4.0 用 PostScript® プリンタドライバ、Windows Me/98 用 USB ドライバおよびそれに関連する説明資料（以下総称して、「マイクロソフトソフトウェア」といいます。）は、米国ワシントン州法に準拠して設立され、米国ワシントン州（One Microsoft Way, Redmond, WA 98052-6399）に本店を置く Microsoft Corporation（マイクロソフト社）からのライセンスに基づいて沖データが提供するものです。

1. 使用範囲
   お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを１部複製することができます。

2. 財産権および義務
   (1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
   (2) 第１条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
   (3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
   (4) お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
   (5) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
   (1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
   (2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
   (3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
   (1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
      ・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
      ・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
      ・第三者の権利を侵害していないこと。
      ・特定の目的に適合していること。
   (2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
   沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法
   本契約中のうち、マイクロソフトソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め、米国ワシントン州法を準拠法とし、マイクロソフトソフトウェアを除く本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7. 契約の有効性
   本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
   本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10. Notice to U.S. Government End Users（米国政府機関のエンドユーザへの注意）
All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.
本条項中で使用される "Software" とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

＊＊＊＊＊

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※ Adobe Acrobat Reader の使用について
Acrobat Reader は沖データがアドビシステム社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Acrobat Reader に含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステム社から Acrobat Reader の使用を許諾されることになります。

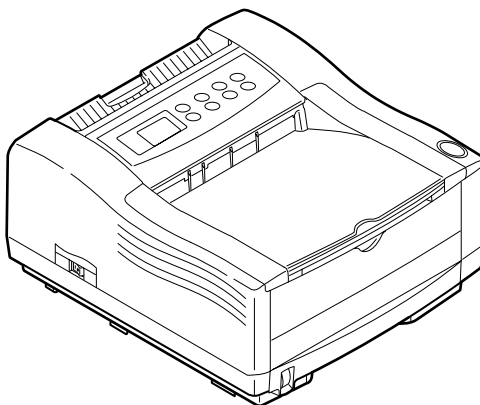
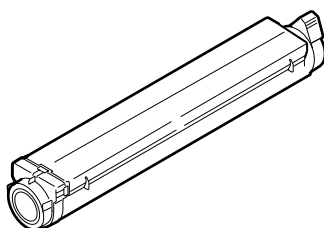
目　次

1 プリンタを設置します

セットアップ編

製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

□ プリンタ（本体）

□ トナーカートリッジ

□ プリンタソフトウェア CD-ROM
□ 黒いビニール袋
□ 電源コード
□ ユーザーズマニュアル（本書）
□ 保証書・ご愛用者登録カード

□イーサネットケーブル用コア
□ユーザーズマニュアル（ネットワーク編）（MLETB12 イーサネットボードユーザーズマニュアル）

- プリンタケーブルは添付されていません。お使いのコンピュータに合わせて別途用意してください。
- イメージドラムカートリッジはプリンタ内部にセットされています。
- 梱包箱、緩衝材、黒いビニール袋はプリンタを輸送するときに使います。捨てずに保管してください。

MICROLINE プリンタの特長

18枚/分(A4)、1200 ×600dpiの高画質

オフィスでもっとも需要の多いA4用紙を最大18枚/分（コピーモード）で印刷できます。また、発光ダイオードを集合したLEDヘッドを使用。信頼性が高く、1インチ当たり1200×600ドットの高解像度、高画質を実現しています。（ESC/Pモードでの解像度は最高600dpiです。）

PostScript3エミュレーションを搭載

デスクトップパブリッシングの標準ページ記述言語、日本語PostScript3エミュレーションを搭載。本格的なDTP印刷ができます。

Windows日本語版、MacOS日本語版に対応

プリンタドライバを標準添付。Windows搭載のパソコンに幅広く対応し、WYSIWYG*1を実現。アップルコンピュータ社のMacintoshにも対応します。

PCLをエミュレート

PCL*2を装備。しかも、平成明朝、平成角ゴシックと沖データ独自のプロポーショナルフォントのP平成明朝、P平成角ゴシックの4種類の漢字フォントを内蔵しています。

ESC/Pモードでドットプリンタをエミュレート

ドットプリンタをエミュレートするESC/Pモードを標準装備。今までのソフト資産をムダにしません。日本語2書体、欧文2書体のビットマップフォントを内蔵しています。

多彩な給紙機能

普通紙250枚（連量55kg紙）を連続給紙する用紙カセットと、手差しによる1枚給紙を標準装備。オプションで普通紙500枚の連続給紙が可能な拡張給紙ユニット、はがき·封筒·ラベル紙·OHPシートを連続給紙できるマルチパーパスフィーダを用意しています。

インタフェースの自動切り替え

パラレルとUSB、ネットワーク（100BASE-TX/10BASE-T）のインタフェースを標準装備。データのきた順に自動的に切り替わります。

環境対応

交換時期の異なるトナーとイメージドラムを別ユニットに分離。廃棄物を最小限に抑え、地球環境の保全に十分配慮しています。さらに、待機時の電力消費を抑える省電力モードやオゾンフリープロセスなど使う人に優しい設計です。

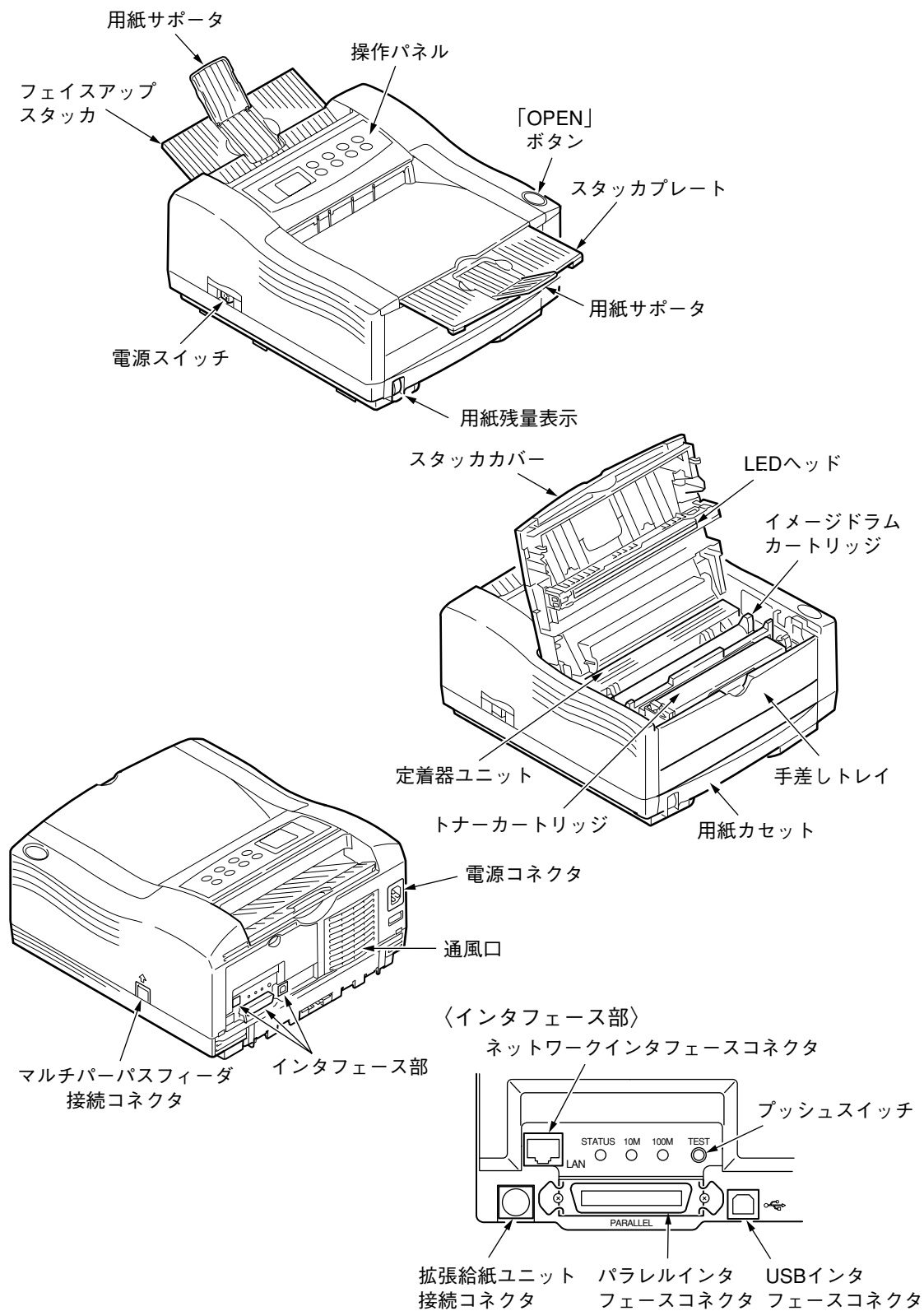
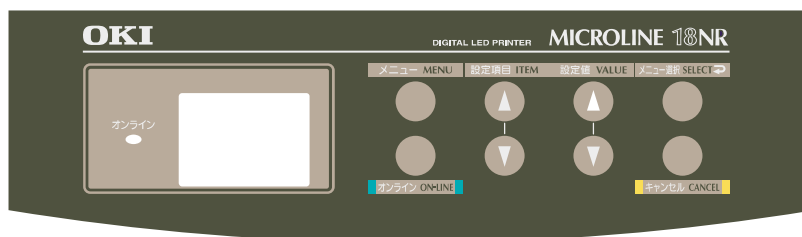
*1：What You See Is What You Getの略。コンピュータの画面上で作成したとおりの印刷出力を手にすることができるという、デスクトップパブリッシングの基本要素。
*2：PCLは、PCL5eをベースに拡張されたコマンドです。プリンタドライバはプリンタに付属のものをお使いください。

プリンタ各部の名前

用紙サポータ
操作パネル
フェイスアップ
スタッカ
「OPEN」
ボタン
スタッカプレート
用紙サポータ
電源スイッチ
用紙残量表示

スタッカカバー
LEDヘッド
イメージドラム
カートリッジ
定着器ユニット
手差しトレイ
トナーカートリッジ
用紙カセット

電源コネクタ
通風口
マルチパーパスフィーダ
接続コネクタ
インタフェース部

〈インタフェース部〉
ネットワークインタフェースコネクタ
プッシュスイッチ
STATUS　10M　100M　TEST
LAN
PARALLEL
拡張給紙ユニット
接続コネクタ
パラレルインタ
フェースコネクタ
USBインタ
フェースコネクタ

操作パネル

tttt　：トレイ
mmmm：用紙サイズ
pppp　：用紙タイプ

［オンライン］ランプ（緑）

点灯：データが受信できる状態です。（オンライン）

点滅：受信したデータを処理しています。メニューマップ、フォントリスト等のローカルプリント時にも点滅します。

消灯：データが受信できない状態です。（オフライン）また、エラーが発生したときやイニシャル中のときも消灯しています。

表示部

プリンタの状態や、障害が発生したときの内容を表示します。1行8文字で2行に表示します。

「オンライン ON-LINE」スイッチ

オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。メニューモード中に押すとオンライン状態になります。また、次のワーニング、エラー状態時に押すと、これらを解除するか一時的に解除しオンライン状態になります。

1)「mmmm/pppp　ヲ　イレテクダサイ／tttt　サイズガ　チガイマス」が表示されている場合に押すと、用紙サイズが違うまま強制的に印刷します。
2)「mmmm/pppp　ヲ　イレテクダサイ／tttt　ヨウシガ　チガイマス」が表示されている場合に押すと、用紙タイプが違うまま強制的に印刷します。
3)「メモリー／オーバーフロー」、「トナー　コウカン／シテクダサイ」や「ドラムコウカン」が表示されている場合に押すと、一時的に解除します。

「キャンセル CANCEL」スイッチ

処理中の動作を中断し、削除します。また、手差しに用紙がある場合には用紙を強制的に排出します。

「メニュー MENU」スイッチ

メニューモードになります。メニューモード中に短く押すと、メニューのカテゴリ表示を一つ先に進めます。メニューモード中に0.8秒以上押すと、メニューのカテゴリ表示を手前に戻します。

「設定項目 ITEM ▲」スイッチ

メニューモード中に押すと項目表示を一つ先に進めます。0.8秒以上押すと早送りします。

「設定項目 ITEM ▼」スイッチ

メニューモード中に押すと項目表示を一つ手前に戻します。0.8秒以上押すと早送りします。

「設定値 VALUE ▲」スイッチ

メニューモード中に押すと設定値を一つ先に進めます。0.8秒以上押すと早送りします。

「設定値 VALUE ▼」スイッチ

メニューモード中に押すと設定値を一つ手前に戻します。0.8秒以上押すと早送りします。

「メニュー選択 SELECT」スイッチ

メニューモードで短く押すと表示中の設定値を保存し、表示部の右端に“＊”を表示します。

1
章

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  周囲温度　　：10～32°C
  周囲湿度　　：20～80%RH（相対湿度）
  最大湿球温度：25℃
- 結露しないように注意してください。
- 周囲湿度が30%以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

設置に関する注意

⚠警告

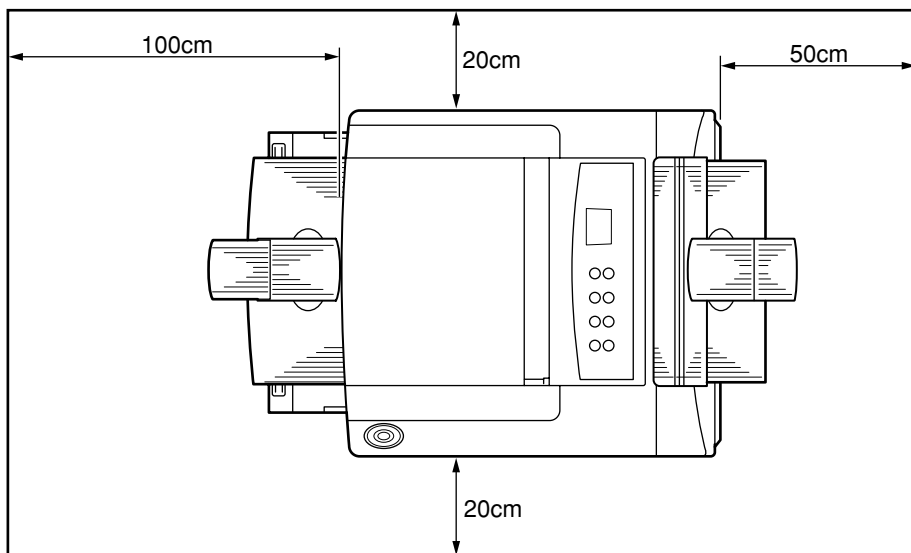
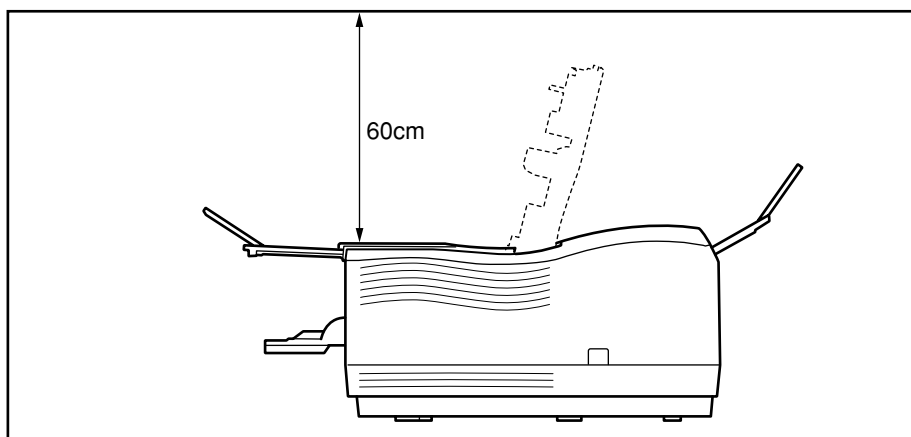
- 高温や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。

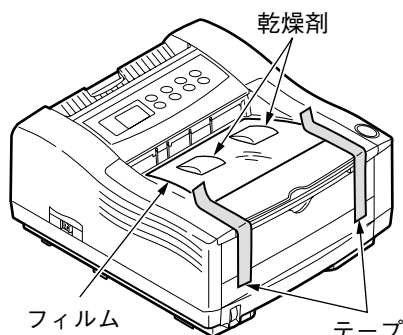
⚠注意

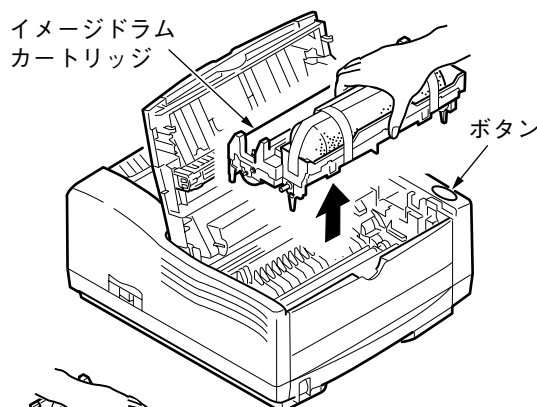
- プリンタの通気口をふさぐような場所には設置しないでください。
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- プリンタを移動するときは、プリンタの両側を持ってください。

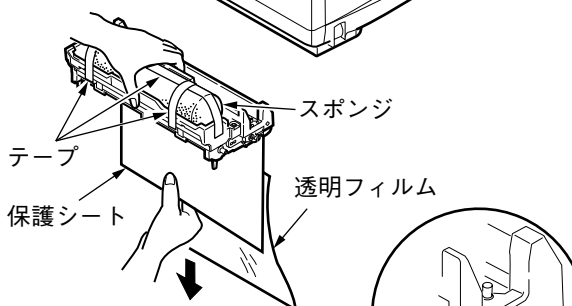
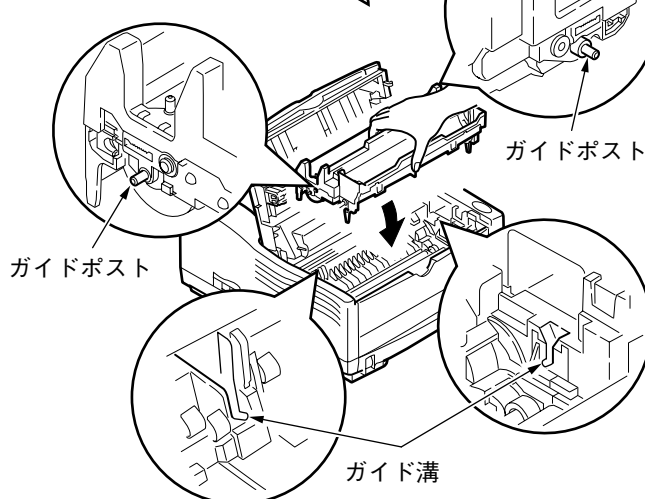
設置スペース

- プリンタの足がのる大きさの平らな机の上に置いてください。
- プリンタのまわりに十分なスペースをとってください。

平面図

側面図

付属品を取り付けます

1 保護具を取り外します。

❶ プリンタ前部の保護テープ（2ヵ所）をはがします。
乾燥剤とフィルムもいっしょに取り除きます。

2 イメージドラムカートリッジをセットします。

❶ カバー右側のボタンを押し、スタッカカバーを開きます。

❷ イメージドラムカートリッジの手前側（スポンジ側）を少し持ち上げ、そのまま静かに上に取り出します。

❸ イメージドラムカートリッジの中央部を手でしっかり押さえ、保護シートを矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。
透明フィルムも一緒に取り除きます。
（透明フィルムは保護シートにテープで止めてあります。）

❹ スポンジをとめているテープ（3ヶ所）をはがし、スポンジを取り外します。

メモ スポンジは不燃物として処理してください。

❺ イメージドラムカートリッジを静かに戻します。左右のガイドポストを本体のガイド溝に合わせ、❷と逆の手順でイメージドラムカートリッジの手前側を少し上向きにしてはめ込みます。次に手前側を下向きに回転させ、プリンタ本体にカチッとはまるようにセットします。

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

3 トナーカートリッジをセットします。

❶ トナーカートリッジを包装袋から取り出します。

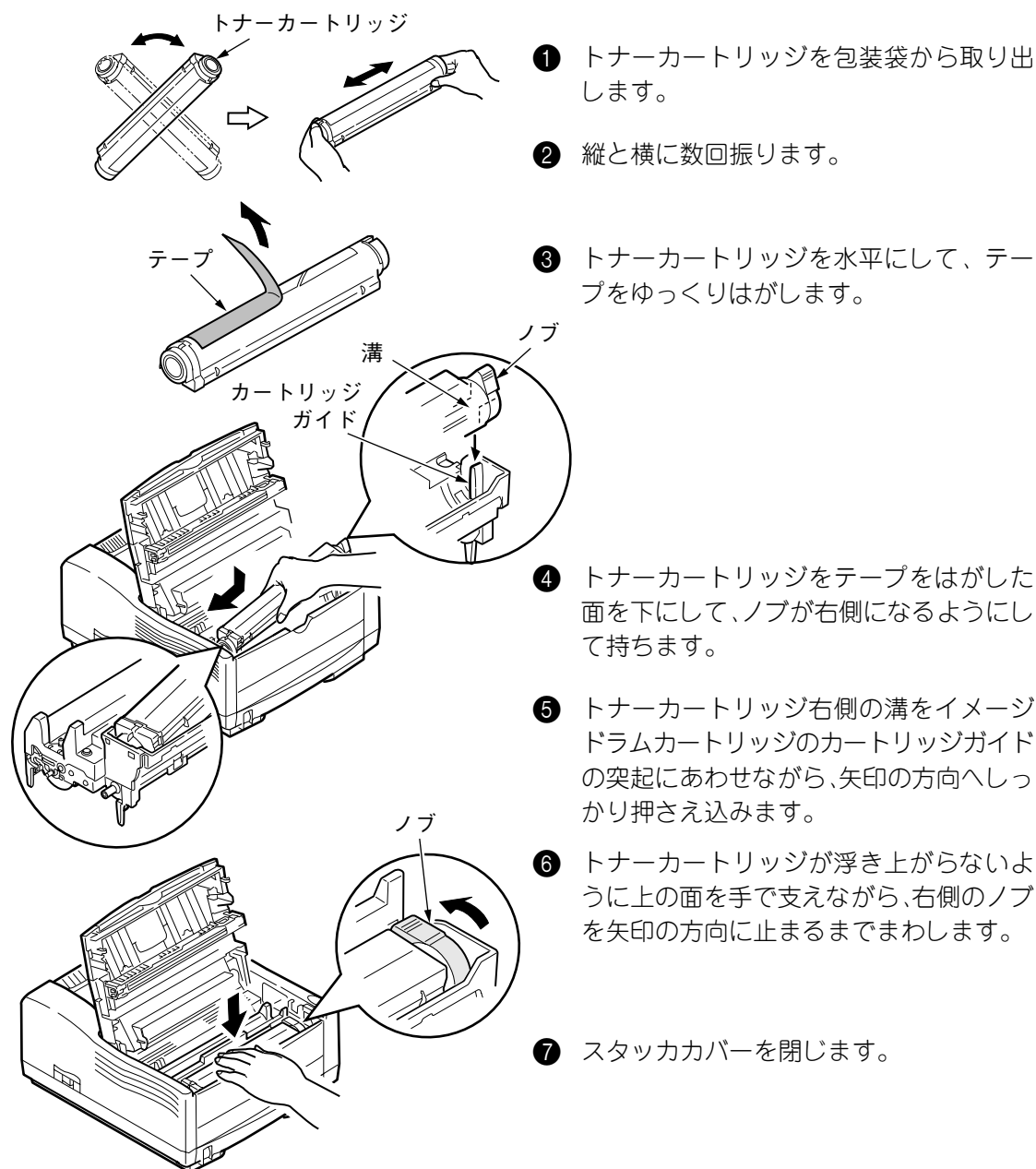
❷ 縦と横に数回振ります。

❸ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりはがします。

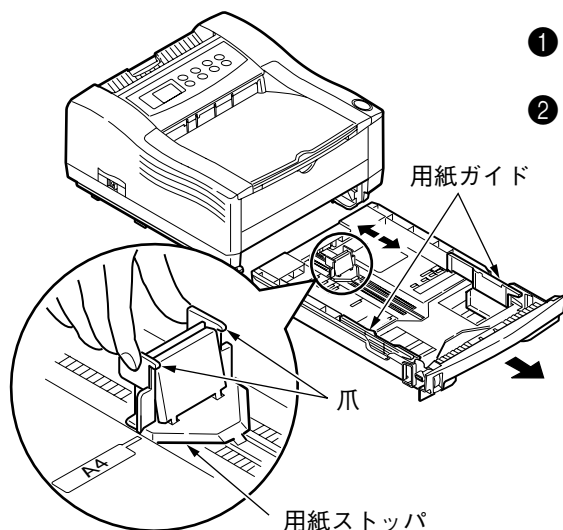
❹ トナーカートリッジをテープをはがした面を下にして、ノブが右側になるようにして持ちます。

❺ トナーカートリッジ右側の溝をイメージドラムカートリッジのカートリッジガイドの突起にあわせながら、矢印の方向へしっかり押さえ込みます。

❻ トナーカートリッジが浮き上がらないように上の面を手で支えながら、右側のノブを矢印の方向に止まるまでまわします。

❼ スタッカカバーを閉じます。

- トナーカートリッジが正しく固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。
- トナーカートリッジを取り付けた後に、操作パネルの［トナー　ロー］の表示がいつまでも消えないときは、上記の手順に従ってトナーカートリッジをセットし直してください。

1
章

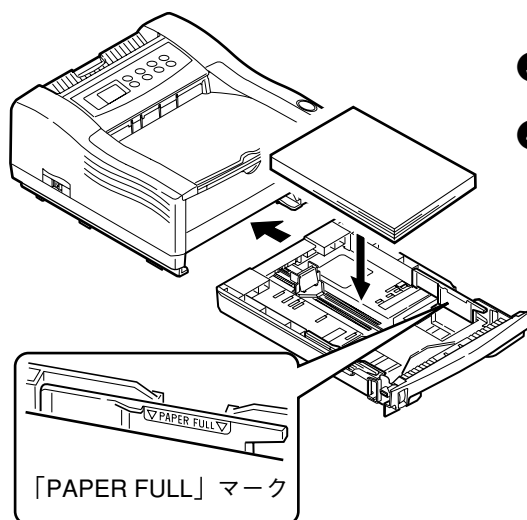
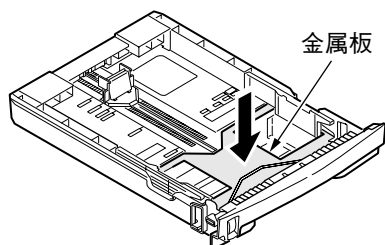
4　用紙カセットに用紙をセットします。

❶ 用紙カセットを引き出します。

❷ 用紙ガイドと用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

注 用紙ガイド（側面）はカチッと止まる位置にセットしてください。

❸ 用紙の上下左右をそろえます。

❹ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

注
- 用紙は用紙カセットの手前によせて置きます。
- 用紙ストッパ（後ろ）は用紙が曲がるほど強く押し付けないでください。
- 用紙ガイドの「PAPER FULL」マークを越えないようにセットします。（連量55kg紙で250枚　目安として総厚24mm以下）
- 用紙は用紙ストッパの爪（2ヶ所）を乗り越えないようにセットします。

❺ 用紙カセットをプリンタに戻します。

注 用紙の下の金属板が上がっている場合、カチッとロックするまで押し下げてからプリンタに挿入してください。金属板が上がったまま挿入すると故障の原因になります。

電源を入れます

電源の条件

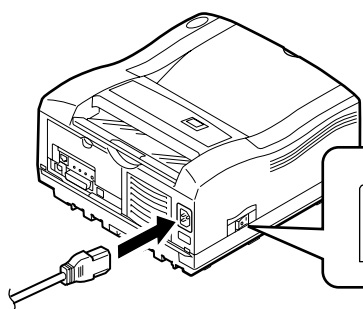
- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）：　100V ± 10V
  電源周波数 ：　50Hz または 60Hz ± 1Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本プリンタの最大消費電力は700Wです。電源容量に十分余裕があることを確認してください。

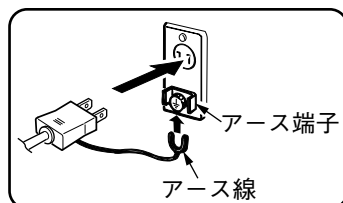
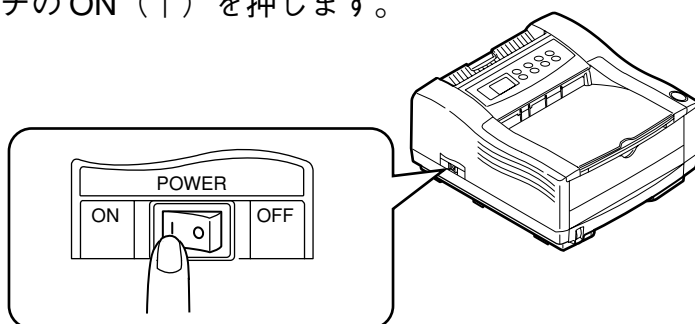
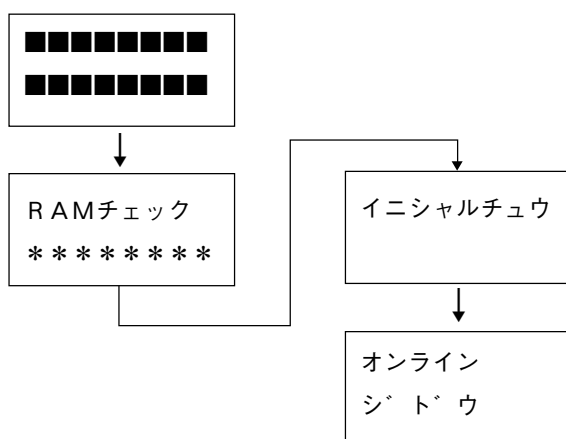
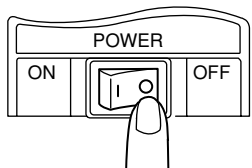
⚠警告

- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本プリンタと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 添付の電源コードのみで使用してください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格12A以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用するとAC電圧降下により、プリンタが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長時間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。

1章

1　電源コードを接続します。

注　電源スイッチがOFF（○）になっていることを確認してください。

❶ 電源コードをプリンタに差し込みます。

❷ アース線をコンセントのアース端子に接続した後、電源プラグをコンセントに差し込みます。

2　電源スイッチのON（｜）を押します。

操作パネルに次のように表示され、完全に起動すると「オンライン」表示になります。

3　電源スイッチのOFF（○）を押すと、電源が切れます。

注　印刷中は電源を切らないでください。

メニューマップを印刷します

プリンタが正常に動作することを確認します。

❶ 用紙カセットにA4用紙をセットします。

注 A4用紙以外で印刷を行うと、全ての内容が印刷されないことがあります。

❷「メニュー」スイッチを押し、［インフォ／メニュー］を表示します。

❸「設定項目▲」スイッチを押し、［メニューマップ／インサツ］を表示します。

❺「メニュー選択」スイッチを押します。

メニューマップ印刷が開始されます。

（サンプル）

MenuMap MICROLINE 18NR

Printer Serial Number: Printer Asset Number:
CU version : D1. 17 [I00. 91 S2. 2. 4p B01. 29c 000 00000000 00000000 00000000 F32 J0]
PU version : 00. 00. 96 [PI02. 08]
PCL Program version : 01. 41 PSE Program version : 3010. PSE61
Total Memory Size : 32 MB Flash Memory : 2 MB [F32]
JP1

インフォメーションメニュー	
メニューマップ印刷	
ファイルリスト印刷	
PCL フォント印刷	
PSE フォント印刷	
ESC/P フォント印刷	
DEMO1	

印刷メニュー	
コピー枚数	1
手差し印刷	オフ
給紙トレイ	トレイ 1
自動トレイ切り替え	オフ
トレイ選択順序	下方向
用紙サイズチェック	有効
解像度	600 DPI
トナーセーブモード	無効
印刷方向	縦
1 ページ行数	64 行
編集サイズ	カセット用紙サイズ

メディアメニュー	
トレイ 1 用紙サイズ	A4 サイズ
トレイ 1 用紙タイプ	普通紙
トレイ 1 用紙厚	普通紙
手差し用紙サイズ	A4 サイズ
手差し用紙タイプ	普通紙
手差し用紙厚	普通紙
カスタムサイズ設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル

システム構成メニュー	
パワーセーブ移行時間	15 分
エミュレーション	自動
セントロ PS モード	ASCII
USB PS モード	RAW
NETWORK PS モード	RAW
アラーム解除	オン
エラー自動解除	オフ
手差しタイムアウト	60 秒
タイムアウト印刷	40 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
エラーレポート印刷	オフ
言語	日本語

PCL エミュレーションメニュー	
使用フォント	内蔵フォント
フォント No.	I000
フォントサイズ	12. 00 ポイント
シンボルセット	WIN3. 1J

ESC/P エミュレーションメニュー	
漢字フォント	自動
ANK フォント	自動
ANK コード	カタカナ
ANK ゼロ書体	ノーマル
縮小印刷	等倍
頭出し位置	8. 5 ミリメートル
横オフセット	0 ミリメートル
縦オフセット	0 ミリメートル
右マージン	用紙幅
CR 機能	CR のみ
自動復改機能	CR + LF

セントロメニュー	
セントロ	有効
双方向	有効
ECP	有効
ACK 幅	狭い
ACK / BUSY タイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効
オフライン受信	無効

USB メニュー	
USB	有効
ソフトリセット	無効
オフライン受信	無効

NETWORK MENU	
TCP/IP	ENABLE
NETBEUI	ENABLE
NETWARE	ENABLE
ETHERTALK	ENABLE
FRAME TYPE	AUTO
IP ADDRESS SET	AUTO
IP ADDRESS	192. 168. 100. 100
SUBNET MASK	255. 255. 255. 000
GATEWAY ADDRESS	192. 168. 100. 254
INITIALIZE NIC?	
WEB/IPP	ENABLE
TELNET	ENABLE
FTP	ENABLE
SNMP	ENABLE
LAN	NORMAL
HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE

メモリメニュー	
受信バッファサイズ	自動
リソースセーブエリア	オフ

システム補正メニュー	
X 補正	0. 00 ミリメートル
Y 補正	0. 00 ミリメートル

2 Windows にセットアップします

セットアップ編

使用するプリンタドライバと接続方法を決めます

注 プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

1　使用するプリンタドライバを選択します。

Windows 用プリンタドライバには、次の２種類があります。

メモ　EPS 形式のファイルを印刷する場合は、PS プリンタドライバを使用してください。

システム環境	PSプリンタドライバ	PCLプリンタドライバ
WindowsXP	Windows付属	沖データ製
WindowsMe	Microsoft製	
Windows98		
Windows95		
Windows2000	Windows付属	
WindowsNT4.0	Microsoft製	

2　システム環境から接続方法を選択します。

システムによって、接続可能なインタフェースが異なります。

○：使用可能
×：使用不可

接続方法 / システム環境	パラレルインタフェース	USBインタフェース	ネットワーク
WindowsXP	○	○	○
WindowsMe	○	○	○
Windows98	○	○	○
Windows95	○	×	○
Windows2000	○	○	○
WindowsNT4.0	○	×	○

動作環境

 プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

パラレルインタフェースを利用する場合

● WindowsXP
WindowsXP 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

● WindowsMe/98/95
WindowsMe/98/95 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

● Windows2000
Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

● WindowsNT4.0
WindowsNT4.0 日本語版の動作するコンピュータ（PS プリンタドライバはサービスパック 5 以上）
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 でパラレルインタフェースを搭載している機種

・ 日本語以外の OS には対応していません。
・ MS-DOS および Windows のコマンドプロンプト /DOS プロンプトでは動作しません。
・ Windows3.1/NT3.51 では動作しません。
・ WindowsNT4.0 は、ARC 互換 RISC ベースのプロセッサ（MIPS® シリーズ、Alpha、PowerPC™ など）のシステムには対応していません。

メモ

・ コンピュータのパラレルポートのBIOS設定を「ECP」モードにすると、データ転送速度が向上する場合があります。設定方法はコンピュータの製造元にお問い合わせください。
・ パラレルケーブルはシールドされたものをお使いください。（最長 1.8m）

USB インタフェースを利用する場合

● WindowsXP
WindowsXP 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

● WindowsMe/98
WindowsMe/98 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

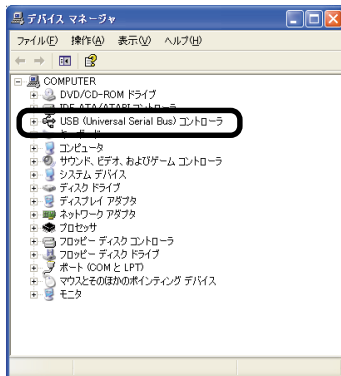
● Windows2000
Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

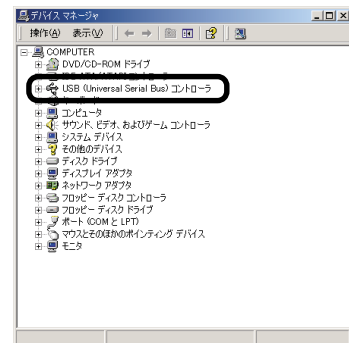
- Windows95/3.1からアップグレードインストールしたWindowsMe/98での動作は保証できません。
- 日本語以外の OS には対応していません。
- MS-DOS および Windows のコマンドプロンプト /DOS プロンプトでは動作しません。
- Windows95/3.1/NT4.0/NT3.51 では動作しません。
- 印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USBケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
- 他の全ての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、プリンタフォルダに「OKI MICROLINE 18NR（**）」「OKI MICROLINE 18NR（**）（コピー2）」「OKI MICROLINE 18NR（**）（コピー3）」（** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。
- USB ハブを使用する場合は、コンピュータと直接接続された USB ハブに接続してください。

メモ　USB ケーブルは、USB2.0 仕様で長さ 2m 以内のものをお使いください。

メモ　お使いのコンピュータが USB に対応しているか確認できます。

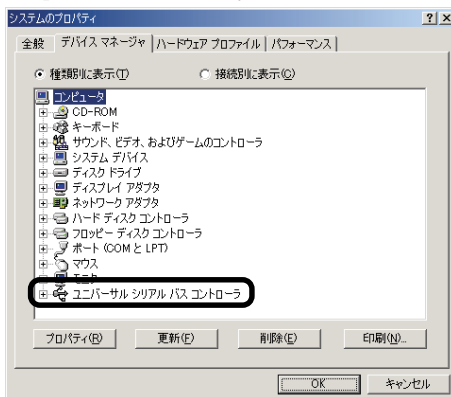
〈WindowsXP〉

［スタート］-［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［ハードウェア］タブを開き、［デバイスマネージャ］をクリックします。

〈Windows2000〉

［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［ハードウェア］タブを開き、［デバイスマネージャ］をクリックします。

〈WindowsMe/98〉

［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［デバイスマネージャ］タブを開きます。

（WindowsMe の画面）

2
章

ネットワークインタフェースを利用する場合

● WindowsXP
WindowsXP 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● WindowsMe/98/95
WindowsMe/98/95 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● Windows2000
Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

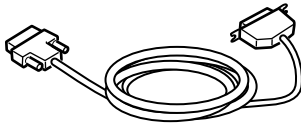
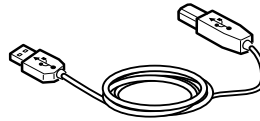
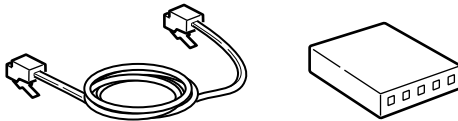
● WindowsNT4.0
WindowsNT4.0 日本語版の動作するコンピュータ（PS プリンタドライバはサービスパック 5 以上）
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- MS-DOS および Windows のコマンドプロンプト /DOS プロンプトでは動作しません。
- Windows3.1/NT3.51 では動作しません。
- WindowsNT4.0 は、ARC 互換 RISC ベースのプロセッサ（MIPS® シリーズ、Alpha、PowerPC™ など）のシステムには対応していません。

メモ　イーサネットケーブルにはプリンタ付属のイーサネットケーブル用コアを取り付けて使用してください。

ケーブルを接続します

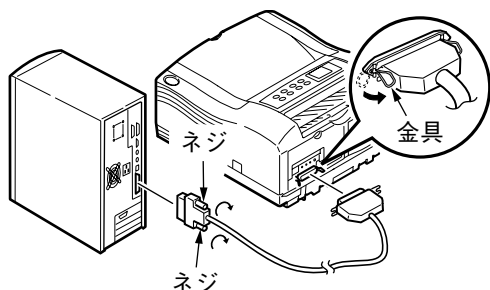
1 使用するケーブルが、パラレルケーブルかUSBケーブルかイーサネットケーブルかを確認します。

注 お使いのコンピュータでそれぞれのケーブルが使用できるかどうかは、「動作環境」（29ページ）をご覧ください。

〈パラレルケーブル〉　〈USB ケーブル〉

〈イーサネットケーブルとハブ〉

2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

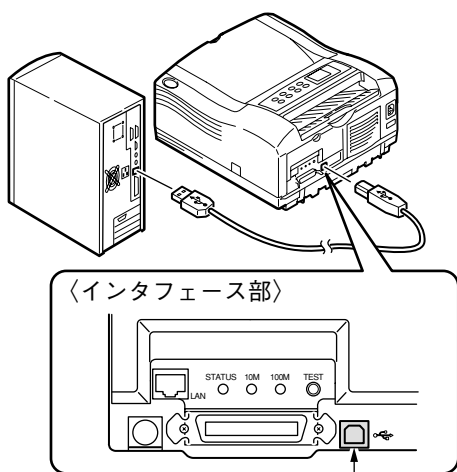
メモ USBケーブルはコンピュータ、プリンタの電源がONの状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USBドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源を OFF にしておきます。

3 コンピュータとプリンタを接続します。

プリンタケーブルは添付されていません。IEEEstd1284-1994準拠の双方向パラレルケーブル、USB2.0仕様のUSBケーブル、またはイーサネットケーブル（カテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

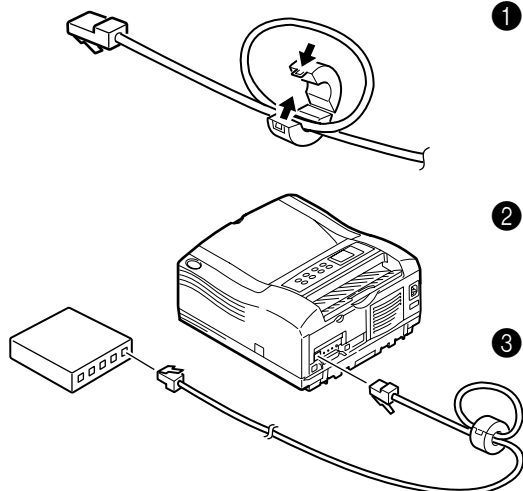
〈パラレルインタフェースを利用する場合〉

❶ パラレルケーブルをプリンタのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、金具で固定します。

❷ パラレルケーブルをコンピュータのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、ネジで固定します。

〈USBインタフェースを利用する場合〉

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

注 ネットワークインタフェースコネクタに差し込まないようにしてください。故障の原因になります。

❷ USBケーブルをコンピュータのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

〈ネットワークインタフェースを利用する場合〉

❶ プリンタ添付のイーサネットケーブル用コアを、イーサネットケーブルのプリンタに差し込むコネクタの口から約15cmの所に左図のように1重の輪を作って取り付けます。

❷ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❸ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

WindowsXP にセットアップします

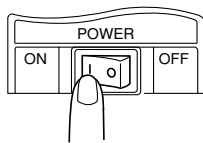
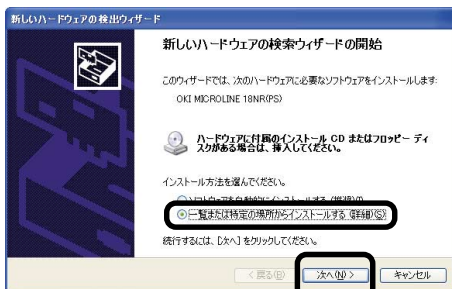
- WindowsXP をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- パラレルインタフェース、USBインタフェースで接続する場合、プリンタのインストール、セットアッププログラムでセットアップすると、プリンタと WindowsXP を起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。WindowsXP で初めてセットアップする場合は、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- 2種類のプリンタドライバ（PS プリンタドライバと PCL プリンタドライバ）をお使いになりたい場合は、初めにどちらかのプリンタドライバをプラグアンドプレイでセットアップし、次にもう一方のプリンタドライバをプリンタのインストールでセットアップしてください。（37 ページ）
- ネットワークのセットアップ手順は、ユーザーズマニュアル（ネットワーク編）に記載しています。ネットワークを利用する場合は、ユーザーズマニュアル（ネットワーク編）をご覧ください。

以下の説明は WindowsXP Home Edition を例にしています。

プラグアンドプレイでセットアップします

1　コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

2　プリンタドライバをインストールします。

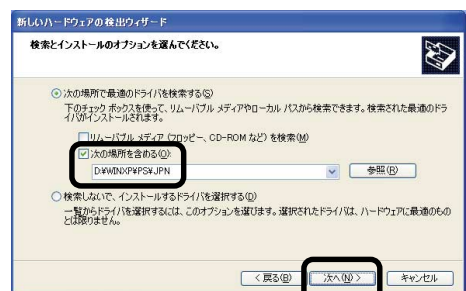
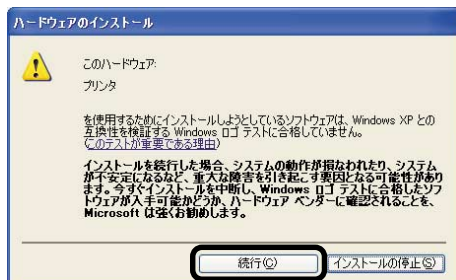
❶ プリンタの電源を ON にします。

❷「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されたら、［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択し、［次へ］をクリックします。

画面が表示されなかったら？
☞「WindowsXP で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」（50 ページ）へ進みます。

❸「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❹［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索］のチェックを外します。

❺［次の場所を含める］にチェックを付け、次のように入力し、［次へ］をクリックします。

PS ドライバを使用する場合 　D:¥WINXP¥PS¥JPN PCL ドライバを使用する場合 　D:¥WINXP¥PCL¥JPN 　（CD-ROM ドライブが D:の場合）

2章

❻「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら?
☞ ❿へ進みます。

❼ [完了]をクリックします。

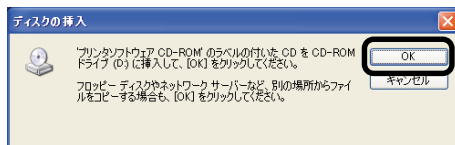
❽ [スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

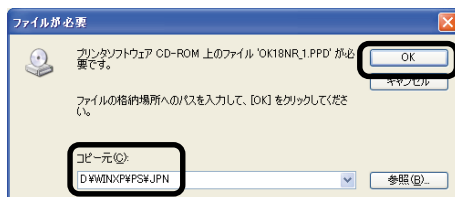
❾「コントロールパネルを選んで実行します」の[プリンタとFAX]をクリックします。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ❻からの続き

❿「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、[OK]をクリックします。

⓫ [コピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

PSドライバを使用する場合
D:¥WINXP¥PS¥JPN
PCLドライバを使用する場合
D:¥WINXP¥PCL¥JPN
(CD-ROMドライブがD:の場合)

ファイルのコピーが開始されます。

⓬ [完了]をクリックします。

⓭ [スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

⓮「コントロールパネルを選んで実行します」の[プリンタとFAX]をクリックします。

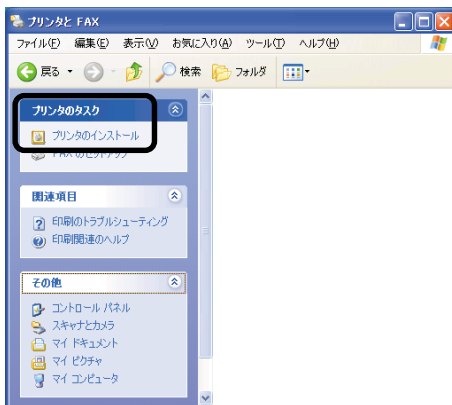
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

プリンタのインストールでセットアップします

❶ コンピュータの電源をONにし、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

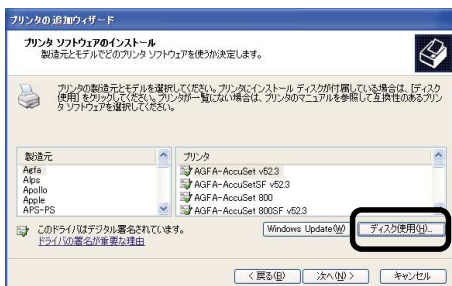
❷ ［コントロールパネルを選んで実行します］の［プリンタとFAX］をクリックします。

❸ ［プリンタのタスク］-［プリンタのインストール］をクリックします。

❹ 「プリンタの追加ウィザード」画面で、[次へ］をクリックします。

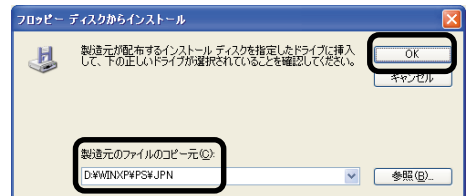
❺ ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択し、[次へ]をクリックします。

注 ［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外してください。

❻ 「次のポートを使用」画面で[LPT1:(推奨プリンタポート)]または[USBxxx]（xxxはポートの番号）を選択し、[次へ］をクリックします。

❼ ［ディスク使用］をクリックします。

❽ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❾ ［製造元のファイルのコピー元］に次のようにに入力し、［OK］をクリックします。

> PS ドライバを使用する場合
> 　D:¥WINXP¥PS¥JPN
> PCL ドライバを使用する場合
> 　D:¥WINXP¥PCL¥JPN
> （CD-ROM ドライブがD:の場合）

❿ プリンタ名を選択し、[次へ］をクリックします。

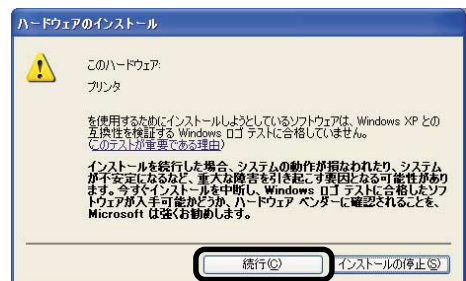
⓫ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで［はい］を選択し、[次へ］をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」画面が表示されたら、［このプリンタを共有しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓬ ［テストページを印刷しますか？］で［いいえ］を選択し、[次へ］をクリックします。

⓭ ［完了］をクリックします。

⓮ 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

2章

ファイルのコピーが開始されます。

［プリンタとFAX］フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0 にセットアップします

- Windows2000/NT4.0 ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows95で、バージョンが「4.00.950」または「4.00.950a」の場合、Internet Explorer4.0 以上がインストールされていないと、セットアッププログラムでのセットアップができません。Internet Explorer を 4.0 以上にアップデートしてから、セットアップを行ってください。（Windows95のバージョンは、[マイコンピュータ] を右ボタンでクリックして [プロパティ] を選択し、[情報] タブで確認することができます。）
- USBインタフェースで接続して2種類のプリンタドライバ（PSプリンタドライバとPCLプリンタドライバ）をお使いになりたい場合は、初めにどちらかのプリンタドライバをセットアップし、次にもう一方のプリンタドライバを接続先のポートを [FILE] としてセットアップして、セットアップ後にポートを変更してください。
- ネットワークのセットアップ手順は、ユーザーズマニュアル（ネットワーク編）に記載しています。ネットワークを利用する場合は、ユーザーズマニュアル（ネットワーク編）をご覧ください。

1　コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

注

プリンタの電源がONになっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、[キャンセル] をクリックし、プリンタの電源を OFF にしてから次に進んでください。

2　セットアッププログラムを起動します。

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をコンピュータにセットします。

❷ [マイコンピュータ] を開きます。

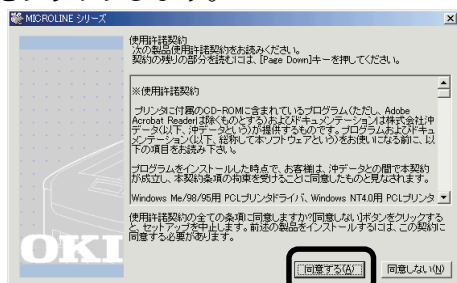
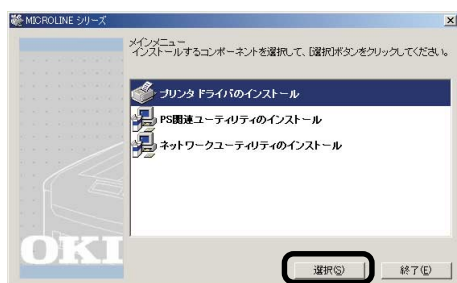
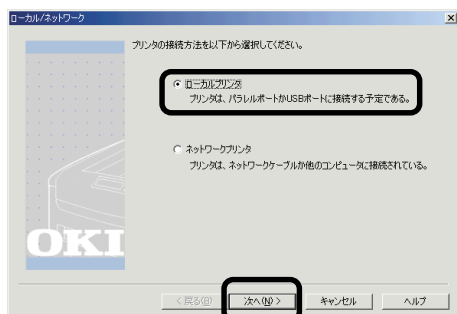
❸ [MICROLINE] アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP] アイコンをダブルクリックします。

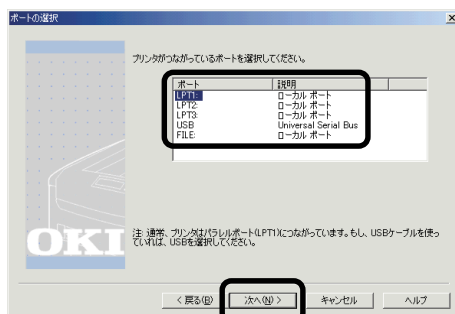
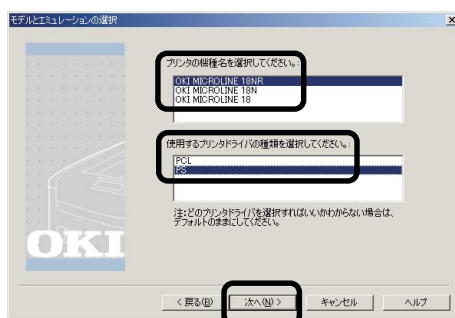
SETUP

セットアッププログラムが起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

❶ 「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❷ [プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❸ [ローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

ネットワークで接続する場合は、「ユーザーズマニュアル(ネットワーク編)」をご覧ください。

❹ ポートを選択し、[次へ]をクリックします。

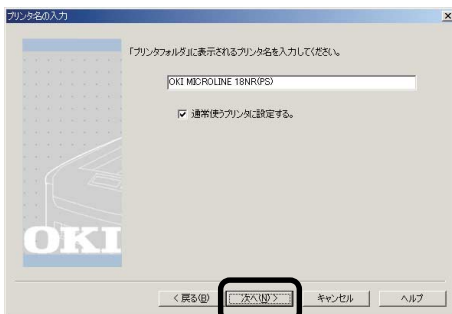
注 USBインタフェースで接続して2種類のプリンタドライバ(PSプリンタドライバとPCLプリンタドライバ)をお使いになりたい場合、2つ目のプリンタドライバをインストールするときは、[FILE]を選択してインストールを行ってください。インストール完了後、プリンタフォルダでプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[詳細]タブの[印刷先のポート]で[USBxxx](Windows2000では[ポート]タブの[印刷するポート]で[USBxxx])を選択してください。

❺ プリンタの機種名で[OKI MICROLINE 18NR]を選択し、プリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

WindowsMe/98でUSBインタフェースで接続する場合は、ファイルのコピーが行われます。

WindowsMe/98でUSBインタフェースで接続する場合

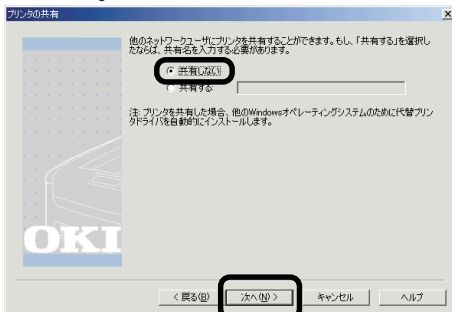
☞ 手順4(43ページ)へ進みます。

Windows2000でUSBインタフェースで接続する場合

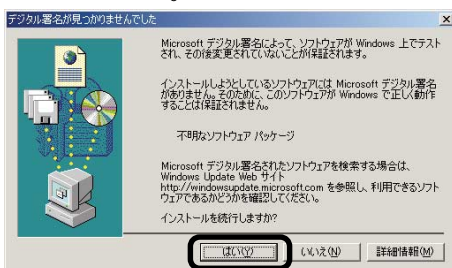
☞ ❽に進みます。

❻ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

WindowsMe/98/95 でパラレルインタフェースで接続する場合は、ファイルのコピーが行われます。

❼ Windows2000/NT4.0 の場合、「プリンタの共有」画面が表示されたら、[共有しない] を選択し、[次へ] をクリックします。

注 WindowsMe/98/95 では表示されません。

WindowsNT4.0 では、ファイルのコピーが行われます。

❽ Windows2000 の場合、「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。

注 WindowsMe/98/95/NT4.0 では表示されません。

ファイルのコピーが行われます。

USB インタフェースで接続する場合
☞ 手順 4（43 ページ）へ進みます。

❾ ［完了］をクリックします。

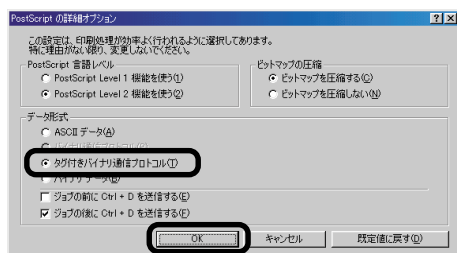
「コンピュータの再起動」画面が表示された場合
☞ ⓭ に進みます。

❿ ［終了］をクリックします。

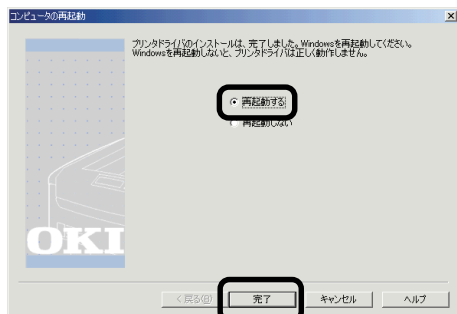
⓫ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

2 章

⓬ WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して、［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

☞ ❾ からの続き

⓭ 「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、［再起動する］を選択し、［完了］をクリックします。

Windows が再起動されます。

⓮ Windows が完全に起動したら、プリンタの電源を ON にします。

⓯ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

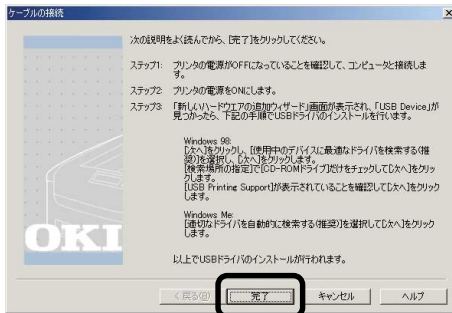
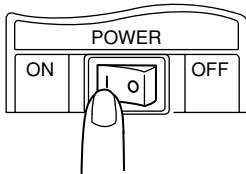
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

⓰ WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して、［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

4 USB ドライバをインストールします。

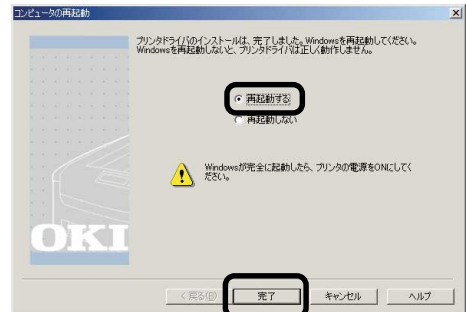
注
- USB インタフェースを利用する場合のみご覧ください。
- パラレルインタフェースを利用する場合は、この手順は必要ありません。

❶ 以下の画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?
☞ ❸ に進みます。

❷ プリンタの電源をオンにします。

USB ドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

Windows2000 の場合
☞ 44 ページに進みます。
WindowsMe の場合
☞ 44 ページに進みます。
Windows98 の場合
☞ 46 ページに進みます。

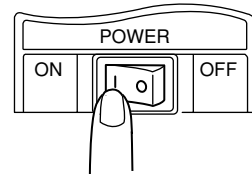
☞ ❶ からの続き

❸ 「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、[再起動する] を選択し、[完了] をクリックします。

Windows が再起動されます。

❹ Windows が完全に起動したら、プリンタの電源を ON にします。

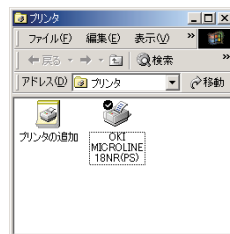
USB ドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

Windows2000 の場合
☞ 44 ページに進みます。
WindowsMe の場合
☞ 44 ページに進みます。
Windows98 の場合
☞ 46 ページに進みます。

2章

Windows2000の場合

❶ システム標準のUSBドライバが自動的にインストールされます。1～2分かかることがあります。

❷ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

WindowsMeの場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従ってUSBドライバをインストールします。

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」（51ページ）をご覧ください。

❶ ［適切なドライバを自動的に検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❷ ［完了］をクリックします。

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

「ディスクの挿入」が表示されたら？
☞ ❻へ進みます。

❸ 「MICROLINEシリーズ」画面が表示されている場合は、［終了］をクリックします。

❹ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

❺ PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して、［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

☞ ❷ からの続き

❻ ［ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS プリンタドライバを利用する場合
　D:¥WINME¥PS¥JPN
PCL プリンタドライバを利用する場合
　D:¥WINME¥PCL¥JPN
　（CD-ROM ドライブが D:¥ の場合）

ファイルのコピーが開始されます。

❼ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

❽ PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して、［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

Windows98の場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従ってUSBドライバをインストールします。

2章

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(53ページ)をご覧ください。

❶ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

❷ [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ [CD-ROMドライブ]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

❹ このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、[次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❺ [完了]をクリックします。

引き続きUSBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

「ディスクの挿入」が表示されたら？
☞ ❾へ進みます。

❻ 「MICROLINEシリーズ」画面が表示されている場合は、[終了]をクリックします。

❼ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

❽ PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して、［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

☞ ❺ からの続き

❾「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

❿ ［ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS プリンタドライバを利用する場合 　D:¥WIN98¥PS¥JPN PCL プリンタドライバを利用する場合 　D:¥WIN98¥PCL¥JPN （CD-ROM ドライブが D:¥ の場合）

ファイルのコピーが開始されます。

⓫ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

⓬ PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して、［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

セットアップがうまくいかないとき

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが作成されない場合（WindowsMe/98/2000、USB インタフェース）

❶ セットアップププログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ケーブルの接続」画面が表示されたら、USB ケーブルの接続を確認し、電源を ON にします。

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合は、Windowsを再起動した後、USB ケーブルの接続を確認し、プリンタの電源を ON にします。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします」（39ページ）をご覧ください。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］）を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択します。

❸ ［詳細］タブの［印刷先のポート］（WindowsXP/2000 では、［ポート］タブの［印刷するポート］）で、接続先のポートを下記の設定にします。

パラレルケーブルで接続する場合	［LPT1］
USB ケーブルで接続する場合	［USBxxx］

・ WindowsXP/2000 で、［印刷するポート］に［USBxxx］が表示されないときは、プリンタの電源がONになっていることを確認してUSBケーブルを接続し直し、再度❶〜❸を行ってください。

・ WindowsMe/98 で［印刷先のポート］に［USBxxx］が表示されないときは、プリンタの電源が OFF になっていることを確認して USB ケーブルを接続し直し、再度セットアップを行ってください。詳細は、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします」（39 ページ）をご覧ください。

・ WindowsMe/98 でセットアップ中に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合は、「WindowsMe で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」（51 ページ）、「Windows98 で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」（53 ページ）をご覧ください。

PS または PCL のどちらか一方しかインストールできない場合（USB インタフェース）

USBインタフェースで接続する場合、同じプリンタに対して、2種類のプリンタドライバを同時にインストールすると、2つ目にインストールするプリンタドライバのアイコンが作成されません。
2つ目のプリンタドライバをインストールする場合は以下のようにしてください。

〈WindowsXP〉

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］を選択します。

❷ ［プリンタのインストール］をクリックします。

❸ 画面の指示に従ってセットアップし、「次のポートを使用」画面で「USBxxx」にチェックを付けます。

❹ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「WindowsXPにセットアップします」の「プリンタのインストールでセットアップします」（37ページ）をご覧ください。

〈WindowsMe/98/2000〉

❶ セットアップブログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ポートの選択」画面で接続先のポートを「FILE」に設定します。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします」（39ページ）をご覧ください。

❹ ［プリンタ］フォルダで2つ目のプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❺ ［詳細］タブの［印刷先のポート］で［USBxxx］（Windows2000では［ポート］タブの［印刷するポート］で［USBxxx］）にチェックを付けます。

セットアッププログラムで「プリンタドライバのインストールに失敗しました」のエラーが表示される場合（WindowsMe/98/95/2000/NT4.0）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［プリンタの追加］をダブルクリックします。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

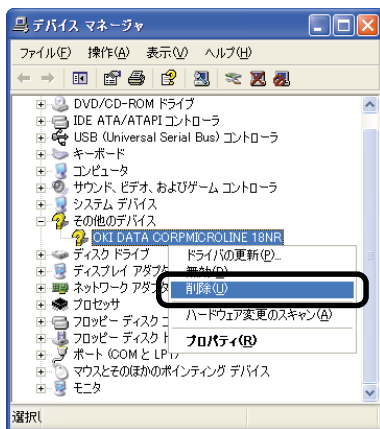
詳細は、「プリンタソフトウェアCD-ROM」内の「README.TXT」をご覧ください。

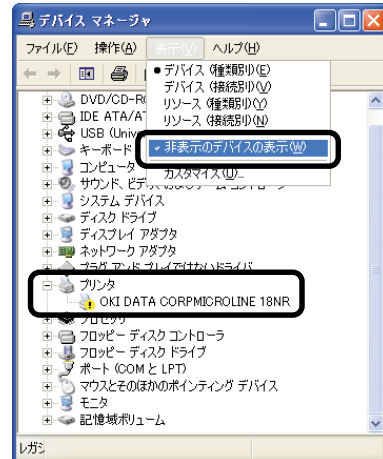
WindowsXP で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合

2
章

❶ ［スタート］-［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❷ ［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］をクリックします。

❸ ［その他のデバイス］の「OKI DATA CORPMICROLINE 18NR」をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

［その他のデバイス］が表示されなかったら?

［表示］メニューの［非表示のデバイスの表示］を選択し、［プリンタ］の「OKI DATA CORPMICROLINE 18NR」をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

❹ 「デバイスの削除の確認」画面で［OK］をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

❺ 「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックします。

❻ Windows を再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

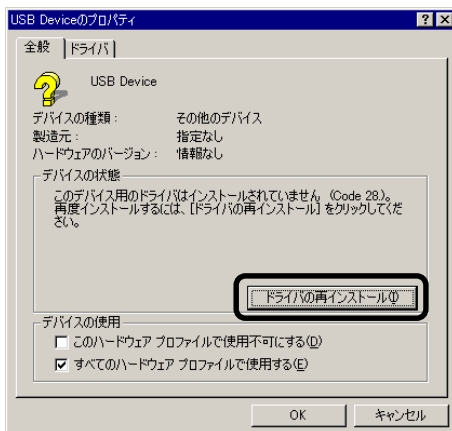
☞「WindowsXP にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」（35 ページ）へ戻ります。

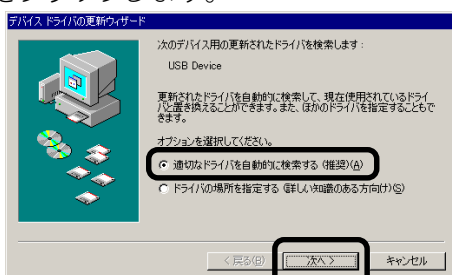
WindowsMe で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

❶ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

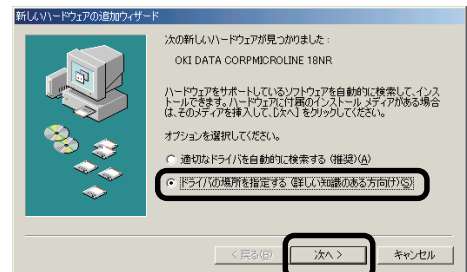
❷ ［システム］をダブルクリックします。

❸ ［デバイスマネージャ］タブの［その他のデバイス］で［USB Device］を選択し、プロパティをクリックします。

❹ ［ドライバの再インストール］をクリックします。

❺ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❻ 「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、［適切なドライバを自動的に検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

❼ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽ ［使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）］を選択し、「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）」のチェックを外します。

❾ ［検索場所の指定］にチェックを付け、次のように入力し、［次へ］をクリックします。

PSプリンタドライバを利用する場合
D:¥WINME¥PS¥JPN

PCLプリンタドライバを利用する場合
D:¥WINME¥PCL¥JPN
（CD-ROMドライブがD:¥の場合）

2章

❿ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、［次へ］をクリックします。

⓫ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓬ ［印字テストを行いますか？］で［いいえ］を選択し、［完了］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⓭ ［完了］をクリックします。

⓮ ハードウェアデバイス用の更新されたドライバがインストールされたことを確認し、［完了］をクリックします。

⓯ 「USB Printing Support のプロパティ」画面で［閉じる］をクリックします。

⓰ 「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックし、［コントロールパネル］を閉じます。

⓱ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

⓲ PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して、［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

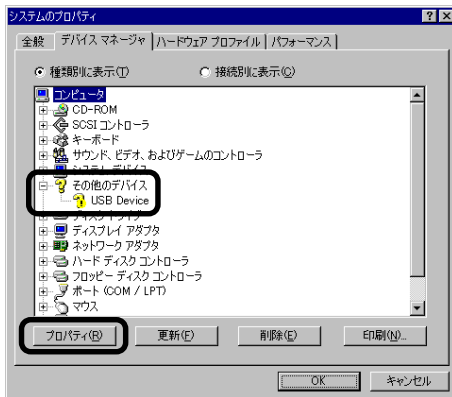
セットアップは完了です。

Windows98 で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

❶ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❷ ［システム］をダブルクリックします。

❸ ［デバイスマネージャ］タブの［その他のデバイス］で［USB Device］を選択し、プロパティをクリックします。

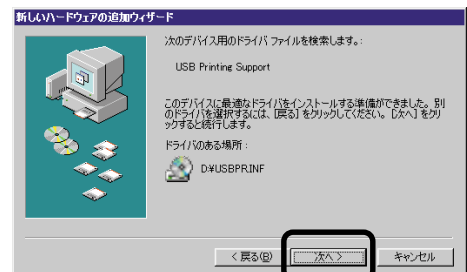
注 ［不明なデバイス］と表示されることがあります。

❹ ［ドライバの再インストール］をクリックします。

❺ 「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。

❻ ［現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

❼ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❽ ［CD-ROM ドライブ］にチェックを付け、［次へ］をクリックします。

❾ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❿ ハードウェアデバイス用の更新されたドライバがインストールされたことを確認し、［完了］をクリックします。

⓫ 「USB Printing Support のプロパティ」画面で［閉じる］をクリックします。

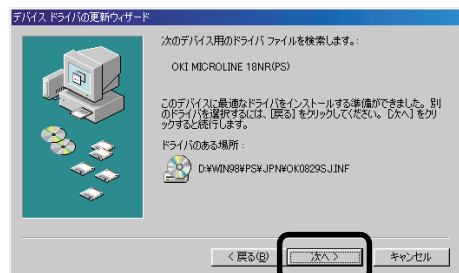
引き続き、USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

⑫「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

⑬ [使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する(推奨)] を選択します。

⑭ [検索場所の指定] にチェックを付け、次のように入力し、[次へ] をクリックします。

PSプリンタドライバを利用する場合 D:¥WIN98¥PS¥JPN PCLプリンタドライバを利用する場合 D:¥WIN98¥PCL¥JPN (CD-ROMドライブがD:¥の場合)

⑮ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、[次へ] をクリックします。

⑯ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで [はい] を選択し、[次へ] をクリックします。

⑰ [印字テストを行いますか?] で [いいえ] を選択し、[完了] をクリックします。

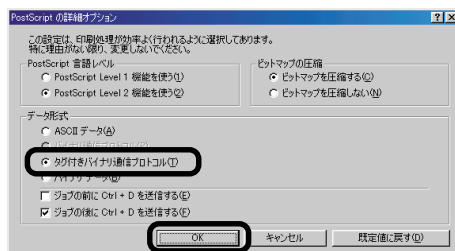
ファイルのコピーが開始されます。

⑱ [完了] をクリックします。

⑲「システムのプロパティ」画面で [OK] をクリックし、[コントロールパネル] を閉じます。

⑳ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

㉑ PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして [プロパティ] を選択し、[PostScript] - [詳細設定] - [データ形式] で [タグ付きバイナリ通信プロトコル] を選択して、[OK] をクリックします。[OK] をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

プリンタドライバを削除するには

- WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 18NR（**）］（** はPS またはPCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000 の場合は、❹、❺ の作業を行ってください。

❹ 「プリンタ」フォルダ（WindowsXP では「プリンタと FAX」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❺ ［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには

・WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windows が起動されている場合は再起動してください。

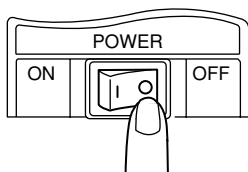
❶ コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源を ON にします。

❷ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。(WindowsXP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] をクリックします。)

❸ [OKI MICROLINE 18NR (**)] (** はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❹ [全般] タブの [テストページの印刷] をクリックします。(WindowsMe/98/95 の場合、[全般] タブの [印字テスト] をクリックします。)

❺ 確認画面が表示されたら、[OK] をクリックします。

テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源を OFF にします。

❼ [OKI MICROLINE 18NR (**)] (** はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))アイコンをマウスの右ボタンでクリックして[削除] を選択します。

注 ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバと同じ種類(PS または PCL)のすべてのプリンタドライバを削除してください。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000 の場合は、❾～❿の作業を行ってください。

❾「プリンタ」フォルダ（WindowsXP では「プリンタと FAX」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❿［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

⓫ Windows を再起動します。

⓬ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは「WindowsXP にセットアップします」の「プリンタのインストールでセットアップします」（38 ページ）、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします」（40 ページ）をご覧ください。

- 必ずプリンタの電源がOFFになっていることを確認してください。
- WindowsXP では、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭ ❶～❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsMe/98/95
　［ドライバで使用されるファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000
　［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsNT4.0
　［このドライバが使うファイル］以下に記載されているバージョン

注　テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］（WindowsMe/98/95 の場合、［ドライバ　バージョン］）には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

2章

3 Macintosh にセットアップします

3章

セットアップ編

使用するプリンタドライバを決めます

注 プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

1 接続方法とシステム環境からプリンタドライバを選択します。

Macintosh 用ドライバには、次の２種類があります。

● PS プリンタドライバ

Apple 社製の LaserWriter 8 ポストスクリプトプリンタドライバです。MacOS に付属しています。

● PCL プリンタドライバ

沖データ製の PCL プリンタドライバです。

○：使用可能
×：使用不可

接続方法	システム環境	プリンタドライバ PS	プリンタドライバ PCL
USBインタフェース	Mac OS X Classic環境	×	○
	MacOS9.0～9.2.2	○	○
	MacOS8.1～8.6	×	○
ネットワークインタフェース	Mac OS X Classic環境、MacOS8.1～9.2.2	○	×

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

USB インタフェースを利用する場合

PS プリンタドライバ

MacOS9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

PCL プリンタドライバ

MacOS8.1、8.5、8.5.1、8.6、9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic 環境日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- USB 拡張ボードには対応していません。
- 日本語以外の OS には対応していません。
- 印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USBケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
- 他の全ての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、PSプリンタドライバではデスクトップ・プリンタ Utility、PCL プリンタドライバではセレクタに「MICROLINE 18NR」、「MICROLINE 18NR1」、「MICROLINE 18NR2」と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。
- USB ハブをご使用になる場合は、コンピュータと直接接続された USB ハブに接続してください。
- プリントモニタまたはデスクトップ･プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合があります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。
- PS プリンタドライバは、Mac OS X Classic 環境には対応していません。

メモ　USB ケーブルは、USB2.0 仕様で長さ 2m 以内のものをお使いください。

ネットワークインタフェースを利用する場合

PS プリンタドライバ

MacOS8.1、8.5、8.5.1、8.6、9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic 環境 日本語版が動作する Macintosh で Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- PCL プリンタドライバは、ネットワークインタフェースでは利用できません。
- 日本語以外の OS には対応していません。
- MacOS8.0 以前のシステムには対応していません。
- プリントモニタまたはデスクトップ･プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合もあります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。

メモ　イーサネットケーブルにはプリンタ付属のイーサネットケーブル用コアを取り付けて使用してください。

PSプリンタドライバをUSB接続でセットアップします

USBケーブルは添付されていません。USB2.0仕様のUSBケーブルを別途用意してください。

1　プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

2　USB ケーブルを接続します。

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ USBケーブルをMacintoshのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

注　ネットワークインタフェースコネクタに差し込まないようにしてください。
故障の原因になります。

3　プリンタの電源を ON にします。

オンライン
シ゛ト゛ウ

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

4　Macintosh を起動します。

5　プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintosh がハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。
  ① ［アップル］メニュー - ［コントロールパネル］- ［機能拡張マネージャ］を選択します。
  ② ［セット］を［Mac OS x.x.x 基本］（x.x.x は Mac OS のバージョン）設定にします。
  ③ Macintosh を再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、［機能拡張マネージャ］の［セット］を元の設定に戻して、Macintosh を再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、［省略時セット］を選択してください。

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ ［Driver］- ［PS Emulation］フォルダを開きます。

❸ ［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

Installer for MacOS

❹ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❺ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意］をクリックします。

❻ 「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼ ［インストール］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

❽ ［終了］をクリックします。

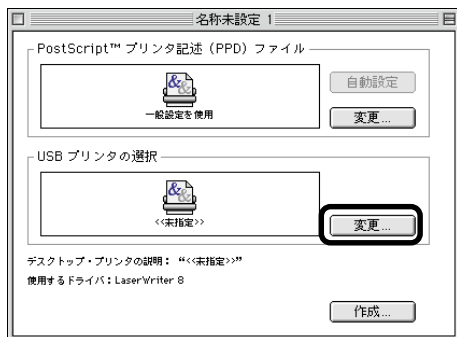
6 デスクトップ・プリンタを作成します。

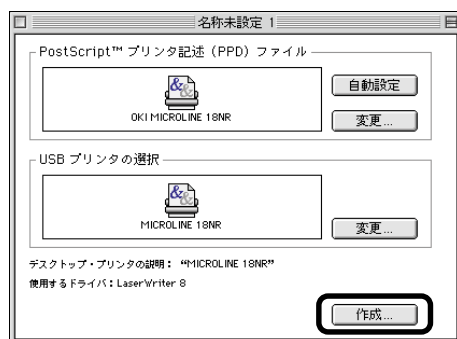
❶ [Apple エクストラ] - [Apple LaserWriter ソフトウェア] フォルダ (Mac OS 9.1以降では、[Applications(MacOS9)] - [ユーティリティ] フォルダ) 内の [デスクトップ・プリンタ Utility] をダブルクリックします。

デスクトップ・プリンタ Utility

❷ [プリンタ] で [LaserWriter8] を、[デスクトップに作成] で [プリンタ (USB)] を選択し、[OK] をクリックします。

注 [プリンタ] に [LaserWriter8] が表示されない場合は、Mac OS のシステム CD-ROM から LaserWriter8 プリンタドライバをインストールしてください。インストール方法は、「LaserWriter8 プリンタドライバをインストールします」(71 ページ) をご覧ください。

❸ [USBプリンタの選択] の [変更] をクリックします。

❹ [USBプリンタの選択] で [MICROLINE 18NR] を選択して [OK] をクリックします。

❺ [PostScriptプリンタ記述 (PPD) ファイル] で [自動設定] を選択します。

❻ [作成] をクリックします。

❼ [デスクトップ・プリンタの保存名] を入力し、[保存] をクリックします。

❽ デスクトップ・プリンタ Utility を終了します。

MICROLINE 18NR

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

メモ USBインタフェースで接続する場合は、「セレクタ」画面で「LaserWriter 8」を選択しても、画面の右側にプリンタ名は表示されません。プリンタを選択するときはデスクトップ上に作成されたプリンタアイコンを選択して、「Finder」の [プリンタ] メニューで [省略時プリンタに指定] を選択して使用します。

PCLプリンタドライバをUSB接続でセットアップします

注 USB ケーブルは添付されていません。USB2.0仕様のUSB ケーブルを別途用意してください。

1　プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

3章

2　USB ケーブルを接続します。

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ USBケーブルをMacintoshのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

注 ネットワークインタフェースコネクタに差し込まないようにしてください。
故障の原因になります。

3　プリンタの電源を ON にします。

オンライン
シ゛ト゛ウ

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

4　Macintosh を起動します。

5　プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintosh がハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。
  ① ［アップル］メニュー -［コントロールパネル］-［機能拡張マネージャ］を選択します。
  ② ［セット］を［Mac OS x.x.x 基本］（x.x.x は Mac OS のバージョン）設定にします。
  ③ Macintosh を再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、［機能拡張マネージャ］の［セット］を元の設定に戻して、Macintosh を再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、［省略時セット］を選択してください。

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ ［Driver］-［PCL］フォルダを開きます。

❸ ［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

Installer for MacOS

❹ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❺ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意］をクリックします。

❻ 「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼ ［インストール］をクリックします。

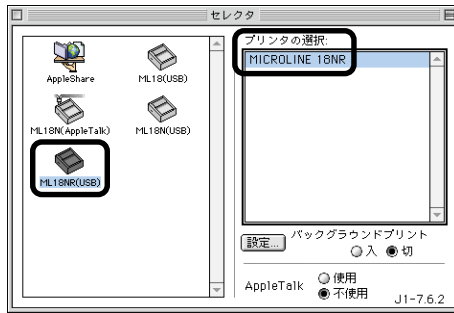
プリンタドライバのインストールが開始されます。

❽ ［終了］をクリックします。

6 使用するプリンタを選択します。

❶ ［アップル］メニューの［セレクタ］を選択します。

❷ ［ML18NR(USB)］アイコンをクリックします。

❸ ［MICROLINE 18NR］を選択します。

注 「プリンタの選択」に表示されたプリンタ名を必ずクリックして選択してください。プリンタ名を選択してからセレクタを閉じないと、デスクトップ・アイコンが作成されず、印刷できません。

❹ セレクタを閉じます。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

セレクタを閉じて、デスクトップ上にプリンタアイコンが作成されたことを確認してから印刷してください。
デスクトップ・アイコンの作成が完了しない状態で、セレクタを開いたまま印刷するとプリンタドライバが壊れて、デスクトップ上に多数のプリンタアイコンが作成される場合があります。
この場合は、次の手順で復旧してください。

① ［アップル］メニュー-［コントロールパネル］-［機能拡張マネージャ］で、［デスクトップ・プリントモニタ］、［デスクトップ・プリンタ・スプーラ］のチェックを外します。
② Macintosh を再起動します。
③ デスクトップ上の不要なプリンタアイコンを削除します。
④ プリンタドライバを再インストールします。
⑤ ［機能拡張マネージャ］の［セット］を元の設定に戻します。
⑥ Macintosh を再起動します。

3章

PS プリンタドライバをネットワーク接続でセットアップします

・ イーサネットケーブルは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。
・ PCL プリンタドライバは、ネットワークインタフェースでは利用できません。

1　プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

2　イーサネットケーブルを接続します。

❶ プリンタ添付のイーサネットケーブル用コアを、イーサネットケーブルのプリンタに差し込むコネクタの口から約15cmの所に左図のように１重の輪を作って取り付けます。

❷ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❸ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

3　プリンタの電源を ON にします。

オンライン
シ゛ト゛ウ

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

4　Macintosh を起動します。

5　プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintosh がハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。
  ① ［アップル］メニュー -［コントロールパネル］-［機能拡張マネージャ］を選択します。
  ② ［セット］を［Mac OS x.x.x 基本］（x.x.x は Mac OS のバージョン）設定にします。
  ③ Macintosh を再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、［機能拡張マネージャ］の［セット］を元の設定に戻して、Macintosh を再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、［省略時セット］を選択してください。

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ ［Driver］-［PS Emulation］フォルダを開きます。

❸ ［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

VISE
Installer for MacOS

❹ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❺ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意］をクリックします。

❻ 「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼ ［インストール］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

❽ ［終了］をクリックします。

3
章

6 デスクトップ・プリンタを作成します。

❶ ［アップルメニュー］の［セレクタ］を選択します。

❷ ［LaserWriter8］をクリックし、［PostScript プリンタの選択］で「プリンタ名」を選択します。

注 ［セレクタ］に［LaserWriter8］が表示されない場合は、Mac OS のシステム CD-ROM からLaserWriter8プリンタドライバをインストールしてください。インストール方法は、「LaserWriter8プリンタドライバをインストールします」（71 ページ）をご覧ください。

メモ プリンタ名は、MicrolinePS Utilityで変えることができます。

❸ ［作成］をクリックします。

プリンタ名の横にアイコンが表示されます。

❹ ［セレクタ］を閉じます。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

3章

LaserWriter8 プリンタドライバをインストールします

MacOS9.x.x 付属の LaserWriter8 プリンタドライバをカスタムインストールします。

- ［セレクタ］に［LaserWriter8］がすでに存在している場合は、インストール不要です。手順 6 へ進んでください。
- MacOS9.2.1 を例にしています。

❶ 「MacOS9.x.x システム CD-ROM」をセットします。

❷ ［MacOS インストーラ］をダブルクリックします。

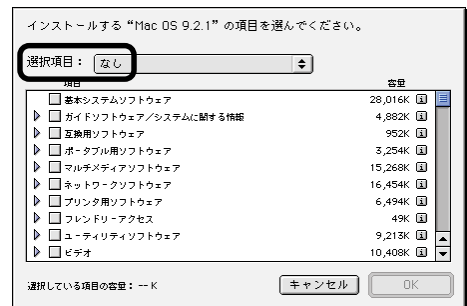
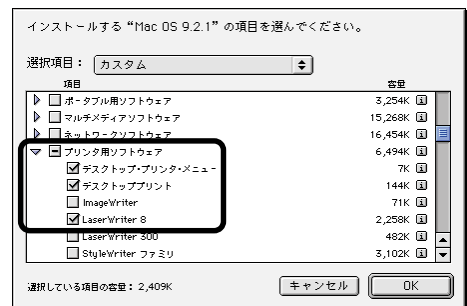
Mac OS インストーラ

❸ 「ようこそ MacOS9.x.x へ」画面で［続ける］をクリックします。

❹ ［インストール先ディスク］を選択し、［選択］をクリックします。

❺ ［追加 / 削除］をクリックします。

❻ ［ソフトウェア］で［MacOS9.x.x］にチェックをつけ、［インストール方法］で［カスタムインストール］を選択します。

❼ ［選択項目］で［なし］を選択します。

❽ ［プリンタ用ソフトウェア］の［▷］印をクリックし、［デスクトップ・プリンタ・メニュー］、［デスクトッププリント］、［LaserWriter8］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

❾ ［開始］をクリックします。

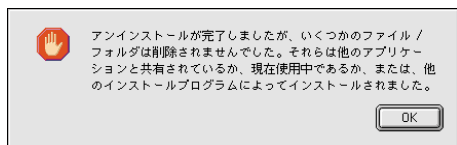
❿ ［続ける］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

⓫ ［再起動］をクリックします。

3 章

PS プリンタドライバを削除します

1 インストーラでアンインストールします。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Driver］-［PS Emulation］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

❹ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意］をクリックします。

❻「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼ ◆をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❽［アンインストール］をクリックします。

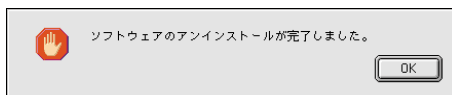
プリンタドライバの削除が開始されます。

❾［OK］をクリックします。

❿［終了］をクリックします。

2 下記のファイルをゴミ箱にドラッグし、空にします。

- LaserWriter8 を使用している全てのデスクトッププリンタアイコン
- ［システムフォルダ］-［初期設定］-［プリント初期設定］フォルダ内の「LaserWriter8 設定」ファイル

PCL プリンタドライバを削除します

1 インストーラでアンインストールします。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷［Driver］-［PCL］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

❹ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意］をクリックします。

❻「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼ ◆をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❽［アンインストール］をクリックします。

プリンタドライバの削除が開始されます。

❾［OK］をクリックします。

❿［終了］をクリックします。

2 デスクトッププリンタアイコンをゴミ箱にドラッグし、空にします。

プリンタドライバをアップデートするには

❶ プリンタドライバを削除します。詳しくは「PSプリンタドライバを削除します」(72ページ) または「PCLプリンタドライバを削除します」(73ページ) をご覧ください。

❷ 新しいプリンタドライバをインストールします。詳しくは「PSプリンタドライバをUSB接続でセットアップします」(62ページ)、「PCLプリンタドライバをUSB接続でセットアップします」(65ページ) または「PSプリンタドライバをネットワーク接続でセットアップします」(68ページ) をご覧ください。

4 Mac OS X にセットアップします

セットアップ編

使用するプリンタドライバを決めます

注 プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

1 プリンタドライバを選択します。

Mac OS X用ドライバには、次の２種類があります。

● PSプリンタドライバ
Apple社製のLaserWriter8ポストスクリプトプリンタドライバです。
Mac OS Xに付属しています。

● PCLプリンタドライバ
沖データ製のPCLプリンタドライバです。

注 Mac OS X 10.1.5以前では、PSプリンタドライバ、またはPCLプリンタドライバのどちらか一方しか使用できません。

○：使用可能
×：使用不可

接続方法	システム環境	プリンタドライバ	
		PS	PCL
USBインタフェース	Mac OS X 10.0〜10.1.1	×	○
	Mac OS X 10.1.2〜10.2.1	○	○
ネットワークインタフェース	Mac OS X 10.0〜10.2.1	○	×

動作環境（PS プリンタドライバ）

注 Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

USB インタフェースを利用する場合

Mac OS X10.1.2 〜 10.2.1 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- ハーフトーン調整機能は使用できません。
- カスタム用紙はサポートされません。
- OCF や CID ビットマップフォントは使用することができません。
- Mac OS X のアプリケーションで表示される、細明朝体（SaiMincho）、中ゴシック（ChuGothic）はビットマップで印刷されます。
- MicrolinePS Utility は Mac OS X では動作しません。
- Mac OS X 10.0 〜 10.1.1 では、USB インタフェースでの接続はできません。
- Classic 環境が動作しているときは、Mac OS X からの印刷ができません。Classic 環境を終了させてから印刷してください。

メモ USB ケーブルは、USB2.0 仕様で長さ 2m 以内のものをお使いください。

ネットワークインタフェースを利用する場合

Mac OS X10.0 〜 10.2.1 日本語版が動作する Macintosh で Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- ハーフトーン調整機能は使用できません。
- カスタム用紙はサポートされません。
- OCF や CID ビットマップフォントは使用することができません。
- Mac OS X のアプリケーションで表示される、細明朝体（SaiMincho）、中ゴシック（ChuGothic）はビットマップで印刷されます。
- MicrolinePS Utility は Mac OS X では動作しません。
- Mac OS X 10.0 〜 10.0.4 では、［用紙厚］や［解像度］設定などの、プリンタの固有機能を使用することができません。
- Mac OS X 10.0 〜 10.0.4 では、プリンタ名に日本語を使用するとコンピュータとプリンタ間で接続することができません。

メモ イーサネットケーブルにはプリンタ付属のイーサネットケーブル用コアを取り付けて使用してください。

動作環境（PCL プリンタドライバ）

 Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

USB インタフェースを利用する場合

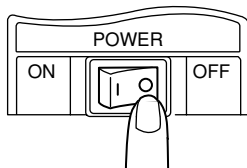
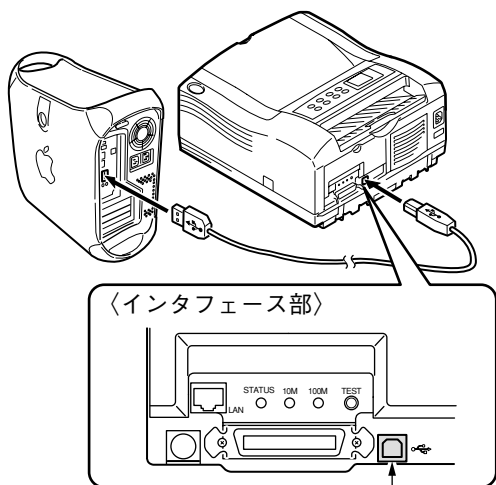
Mac OS X10.0 ～ 10.2.1 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- カスタム用紙はサポートされません。
- Mac OS 用のプリンタドライバでサポートされている、次の機能は使用できません。
  - A3 → A4 用紙、B4 → A4 用紙
  - 往復はがき、封筒 1、封筒 2、封筒 3 の回転印刷
  - 用紙設定ダイアログのオプションパネルの設定
  - レイアウトパネルのとじ代、とじ位置の設定
  - フリーサイズの登録
  - ウォーターマーク
- プリンタに用紙ジャム等のエラーが発生した場合に、エラー情報が Macintosh に表示されません。
- Classic 環境が動作しているときは、Mac OS X からの印刷ができません。Classic 環境を終了させてから印刷してください。
- PCL プリンタドライバは、ネットワークインタフェースでは利用できません。
- Mac OS X 10.1.5 以前の環境にプリンタドライバをインストールしていて、Mac OS X 10.2以上にアップデートした場合は、プリンタドライバを再インストールしてください。

メモ USB ケーブルは、USB2.0 仕様で長さ 2m 以内のものをお使いください。

PSプリンタドライバをUSB接続でセットアップします

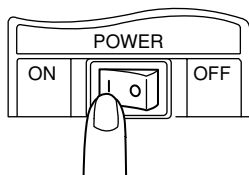
注 USB ケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様の USB ケーブルを別途用意してください。

1　プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

2　USB ケーブルを接続します。

USBインタフェースコネクタ

❶ USB ケーブルをプリンタの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

❷ USB ケーブルを Macintosh の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

注 ネットワークインタフェースコネクタに差し込まないようにしてください。
故障の原因になります。

3　プリンタの電源を ON にします。

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

4 プリンタの操作パネルで［USB　モード］を［ASCII］にします。

- Mac OS X で使用する場合は、必ず設定してください。設定しないと正常に印刷できないことがあります。
- MacOS 9 で使用する場合は、設定を［RAW］に戻してください。

❶「メニュー」スイッチを数回押し、［システムコウセイ／メニュー］を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、［USB　モード］を表示します。

❸「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、［ASCII］を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押し、設定値の右側に［*］を付けます。

❺「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

❻ プリンタの電源を OFF/ON します。

5 Macintosh を起動します。

6　プリンタドライバをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

メモ プリンタドライバは Mac OS X 付属の PostScript プリンタドライバを使用します。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷ [MICROLINE]アイコンをダブルクリックします。

❸ [Driver] - [PS Emulation] フォルダを開きます。

❹ [Installer for Mac OS X] をダブルクリックします。

Installer for MacOSX

❺ 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

❻ 起動画面で [続ける] をクリックします。

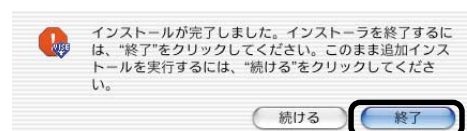
❼「使用許諾契約」をよく読み、[同意] をクリックします。

❽「お読みください」をよく読み、[続ける] をクリックします。

❾ [インストール] をクリックします。

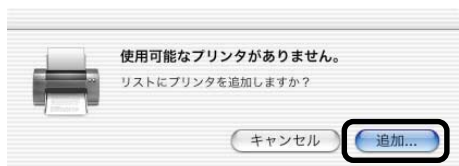
プリンタドライバのインストールが開始されます。

❿ [終了] をクリックします。

4 章

7 プリントセンターで設定をします。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］（Mac OS X 10.1.5 以前では［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］）をダブルクリックします。

❷ ［追加］（Mac OS X 10.1.5 以前の場合、［プリンタを追加］）をクリックします。

メモ　新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

注　インストールしようとしているプリンタの名前がすでに表示されている場合は、プリンタ名を選択して［削除］をクリックします。

❸ ［USB］を選択します。

❹ ［種類］に［PostScript printer］と表示されているプリンタ名を選択し（Mac OS X 10.2 以降の場合、［プリンタの機種］で［Oki］を選択し、機種名のリストから使用するプリンタ名を選択します）、［追加］をクリックします。

❺ ［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリントセンター］を閉じます。

4章

8　設定を確認します。

❶ TextEdit などのアプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸ ［対象プリンタ］（Mac OS X 10.1.5 以前では［フォーマット］）で追加したプリンタ名を選択します。

❹ ［対象プリンタ］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリントセンター］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

PCLプリンタドライバをUSB接続でセットアップします

注 USBケーブルは添付されていません。USB2.0仕様のUSBケーブルを別途用意してください。

1 プリンタとMacintoshの電源をOFFにします。

4
章

2 USBケーブルを接続します。

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ USBケーブルをMacintoshのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

注 ネットワークインタフェースコネクタに差し込まないようにしてください。
故障の原因になります。

3 プリンタの電源をONにします。

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

4 Macintoshを起動します。

5　プリンタドライバをインストールします。

注　ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［MICROLINE］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］-［PCL］フォルダを開きます。

❹［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❺ 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

❻ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❼「使用許諾契約」をよく読み、[同意] をクリックします。

❽「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❾［インストール］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

❿［終了］をクリックします。

4章

6　プリントセンターで設定をします。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］（Mac OS X 10.1.5 以前では［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］）をダブルクリックします。

プリントセンター

❷［追加］（Mac OS X 10.1.5 以前の場合、［プリンタを追加］）をクリックします。

メモ　新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

注　インストールしようとしているプリンタの名前がすでに表示されている場合は、プリンタ名を選択して［削除］をクリックします。

❸［OKI USB］（Mac OS X 10.1.5 以前では［USB］）を選択します。

❹［種類］に［沖データ USB プリンタ］と表示されているプリンタ名を選択し［追加］をクリックします。

❺［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリントセンター］を閉じます。

4章

PS プリンタドライバをネットワーク接続でセットアップします

イーサネットケーブルは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

1　プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

2　イーサネットケーブルを接続します。

❶ プリンタ添付のイーサネットケーブル用コアを、イーサネットケーブルのプリンタに差し込むコネクタの口から約15cmの所に左図のように 1 重の輪を作って取り付けます。

❷ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❸ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

3　プリンタの電源を ON にします。

オンライン シ゛ ト゛ ウ

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

4　Macintosh を起動します。

5　プリンタドライバをインストールします。

注　ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷ [MICROLINE]アイコンをダブルクリックします。

❸ [Driver] - [PS Emulation] フォルダを開きます。

❹ [Installer for Mac OS X] をダブルクリックします。

Installer for MacOSX

❺ 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

❻ 起動画面で [続ける] をクリックします。

❼「使用許諾契約」をよく読み、[同意] をクリックします。

❽「お読みください」をよく読み、[続ける] をクリックします。

❾ [インストール] をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

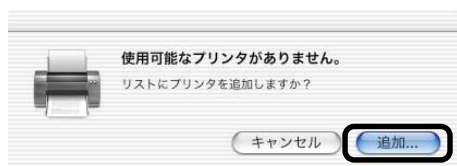
❿ [終了] をクリックします。

6 プリントセンターで設定をします。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］（Mac OS X 10.1.5 以前では［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］）をダブルクリックします。

プリントセンター

❷ ［追加］（Mac OS X 10.1.5 以前の場合、［プリンタを追加］）をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

❸ ［AppleTalk］を選択します。

❹ プリンタ名を選択し、［追加］をクリックします。

❺ ［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリントセンター］を閉じます。

7 設定を確認します。

❶ TextEditなどのアプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸ ［対象プリンタ］（Mac OS X 10.1.5以前では［フォーマット］）で追加したプリンタ名を選択します。

❹ ［対象プリンタ］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバがPPDファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリントセンター］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

4章

PS プリンタドライバを削除します

1 プリントセンターからプリンタ名を削除します。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］（Mac OS X 10.1.5 以前では［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］）をダブルクリックします。

❷ プリンタ名を選択し、［削除］をクリックします。

❸ ［プリントセンター］を閉じます。

2 インストーラでアンインストールします。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷ ［MICROLINE］アイコンをダブルクリックします。

❸ ［Driver］-［PS Emulation］フォルダを開きます。

❹ ［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❺ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❻ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❼「使用許諾契約」をよく読み、［同意］をクリックします。

❽「お読みください」を読み、［続ける］をクリックします。

❾ ◆をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❿ ［アンインストール］をクリックします。

プリンタドライバの削除が行われます。

⓫ ［終了］をクリックします。

PCL プリンタドライバを削除します

1 プリントセンターからプリンタ名を削除します。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］（Mac OS X 10.1.5 以前では［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］）をダブルクリックします。

❷ プリンタ名を選択し、［削除］をクリックします。

❸ ［プリントセンター］を閉じます。

2 インストーラでアンインストールします。

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷ ［MICROLINE］アイコンをダブルクリックします。

❸ ［Driver］-［PCL］フォルダを開きます。

❹ ［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❺ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❻ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❼ 「使用許諾契約」を読み、［同意］をクリックします。

❽ 「お読みください」を読み、［続ける］をクリックします。

❾ ◆をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❿ ［アンインストール］をクリックします。

プリンタドライバの削除が行われます。

⓫ ［終了］をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには

❶ プリンタドライバを削除します。詳しくは「PS プリンタドライバを削除します」（91 ページ）または「PCL プリンタドライバを削除します」（92 ページ）をご覧ください。

❷ 新しいプリンタドライバをインストールします。詳しくは「PS プリンタドライバを USB 接続でセットアップします」（79 ページ）、「PCL プリンタドライバを USB 接続でセットアップします」（84 ページ）、「PS プリンタドライバをネットワーク接続でセットアップします」（87 ページ）をご覧ください。

5 印刷します

操作編

給紙方法と排出方法を決めます

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法と排出方法が異なります。次の手順で全ての条件を満足する方法を確認してください。
用紙の仕様については、「使用できる用紙」（240 ページ）をご覧ください。

1 用紙の種類とサイズから給紙方法と排出方法を確認します。

○ ：使用できます
× ：使用できません

種 類	サイズ	厚さ	給紙方法				排出方法	
			用紙カセット*1		マルチパーパスフィーダ*2	テサシ(手差し)	フェイスアップ(表排出)	フェイスダウン(裏排出)
			トレイ1	トレイ2*2(拡張給紙ユニット)				
普通紙	A4 A5 B5 レター エグゼクティブ	連量55～75kg	○	○	○	○	○	○*7
		連量76～90kg	×	×	○	○	○	×
	リーガル(13インチ) リーガル(14インチ)	連量55～75kg	○	○	×	○	○	○*7
		連量76～90kg	×	×	×	○	○	×
	A6 *8	連量55～75kg	○	×	○	○	○	×
		連量76～90kg	×	×	○	○	○	×
	カスタム 幅90～215.9mm 長さ148～355.6mm	連量55～75kg	○	○ *4	○ *6	○	○	○*5*7
		連量76～90kg	×	×	○ *6	○	○	×
はがき *8	はがき 往復はがき	—	×	×	○	○	○	×
封筒 *8	封筒1(長形3号) 封筒2(長形4号) 封筒3(洋形4号) Com-9 Com-10 DL C5 Monarch	—	×	×	○	○	○	×
	カスタム *3 幅90～215.9mm 長さ148～355.6mm	—	×	×	○ *6	○	○	×
ラベル紙	A4 レター	—	×	×	○	○	○	×
OHPシート	A4 レター	—	×	×	○	○	○	×

*1： 上から順にトレイ 1、トレイ 2 となります。
*2： トレイ 2、マルチパーパスフィーダはオプションです。
*3： PS プリンタドライバでは、任意の用紙サイズを設定することはできません。
*4： トレイ 2 は幅 148 ～ 215.9mm、長さ 210 ～ 355.6mm です。
*5： A5 よりも小さい用紙（長さ 210mm 未満）はフェイスアップで排出してください。
*6： マルチパーパスフィーダは長さ 148 ～ 297mm です。
*7： 薄手の用紙で紙づまりが発生する場合は、フェイスアップで排出してください。
*8： はがき、封筒の用紙サイズを設定した場合、A6で用紙厚をより厚い紙に設定した場合は、印刷速度が遅くなります。

2 用紙の種類と厚さから用紙厚の設定値を確認します。

種 類	厚 さ	用紙厚の設定値 *1	
		操作パネル	プリンタドライバ
普通紙	連量55kg (64g/m²)	ウスイカミ *2	薄い紙 *2
	連量55～64kg (64～74g/m²)	フツウシ	普通紙
	連量65～75kg (75～87g/m²)	ヤヤアツイカミ	やや厚い紙
	連量76～89kg (88～104g/m²)	アツイカミ	厚い紙
	連量90kg (105g/m²)	ヨリアツイカミ	より厚い紙
はがき	—	ヨリアツイカミ	より厚い紙
封筒	—	ヨリアツイカミ	より厚い紙
ラベル紙	—	—	ラベル紙
OHPシート	—	—	OHPシート

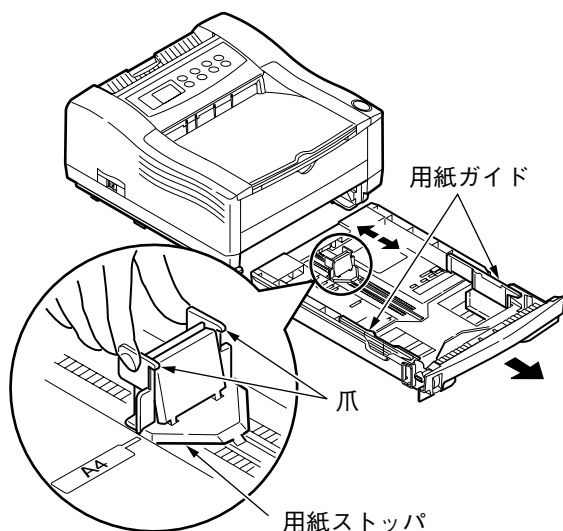
*1： 用紙厚は操作パネルとプリンタドライバの［用紙厚］で設定することができます。プリンタドライバで設定した場合は、プリンタドライバ設定が優先されます。Windowsプリンタドライバ、Macintosh PSプリンタドライバ、Mac OS X PSプリンタドライバの［用紙厚］で［プリンタ設定］が選択されている場合は、操作パネルの設定で印刷します。また、Windows PCLプリンタドライバの［給紙方法］で［自動選択］が選択されている場合も、操作パネルの設定で印刷します。

*2： 普通紙でシワがでるときに設定します。

5章

用紙カセットから印刷します

普通紙（A6はトレイ1のみ）は用紙カセットから印刷します。

1　用紙カセットに用紙をセットします。

❶ 用紙カセットを引き出します。

メモ　拡張給紙ユニットを取り付けてあるときは、拡張給紙ユニットのフロントカバーを開けて用紙カセットを引き出します。

注　拡張給紙ユニットを取り付けてあるときは、手差しトレイを閉じないでください。故障の原因になります。

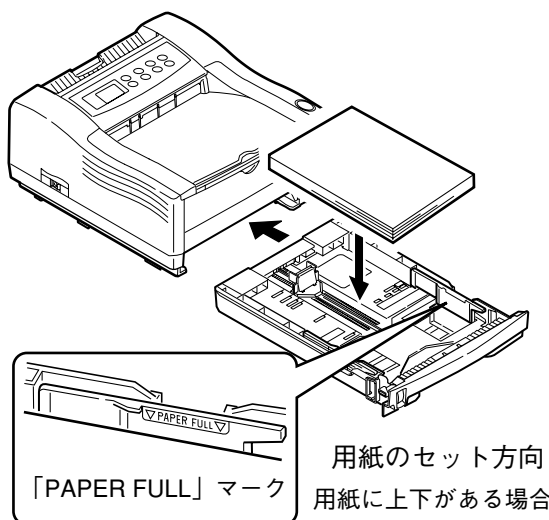
❷ 用紙ガイドと用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

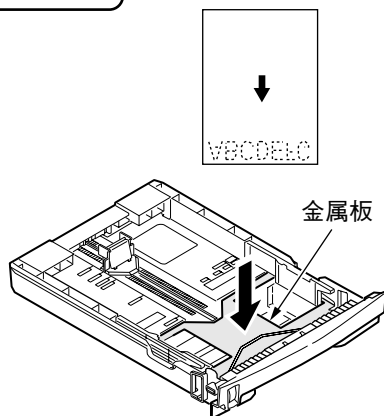
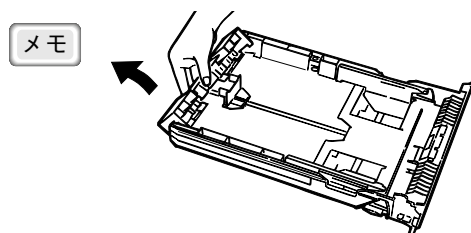
注　用紙ガイド（側面）はカチッと止まる位置にセットしてください。

❸ 用紙の上下左右をそろえます。

❹ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

注
- 用紙は用紙カセットの手前によせて置きます。
- 用紙ストッパ（後ろ）は、用紙が曲がるほど強く押し付けないでください。
- 用紙ガイドの「PAPER FULL」マークを越えないようにセットします。（連量55kg紙で250枚　目安として総厚24mm以下）
- 用紙は用紙ストッパの爪（2ヶ所）を乗り越えないようにセットします。

用紙のセット方向
用紙に上下がある場合

❺ 用紙カセットをプリンタに戻します。

注　用紙の下の金属板が上がっている場合、カチッとロックするまで押し下げてからプリンタに挿入してください。金属板が上がったまま挿入すると故障の原因になります。

リーガル（13 インチ），リーガル（14 インチ）を使用するときは用紙カセット後部を広げます。

閉じるときは、用紙カセット後部の側面を軽く押して中に倒します。

注

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。
- 用紙ガイドと用紙ストッパは用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 用紙は必ず縦送りでセットしてください。
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- 用紙カセットを差し込むときはあまり勢いよく押さないでください。
- 印刷中は用紙カセットを引き出さないでください。
- 一度印刷した用紙で裏面印刷はしないでください。

5章

2　用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はスタッカカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量 55kg（64g/m²）紙で約 150 枚をためることができます。

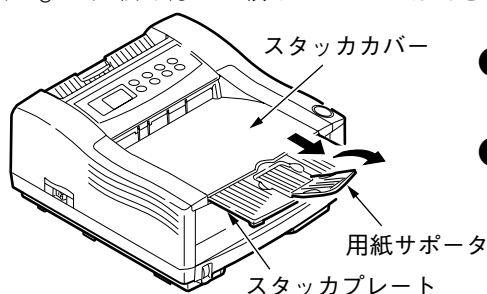
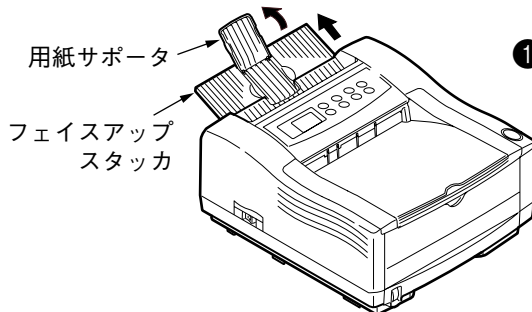
❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

❷ スタッカプレートを引き出し、用紙サポータを起こします。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量 55kg（64g/m²）紙で約 50 枚ためることができます。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカを引き出し、用紙サポータを起こします。

注

- 印刷中にフェイスアップスタッカを出し入れしないでください。紙づまりの原因になります。
- A5 よりも小さい用紙（長さ 210mm 未満）は、紙づまりの原因になりますので、必ずフェイスアップで排出してください。
- 薄手の用紙で紙づまりが発生する場合は、フェイスアップで排出してください。

3　操作パネルで用紙カセットの用紙サイズと用紙厚を設定します。

ここでは、A4の普通紙に設定する手順を説明します。

❶「メニュー」スイッチを数回押し、［メディア／メニュー］を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、［T1　サイズ］を表示します。

❸「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、［A 4　サイズ］を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押し、設定値の右側に［✱］を付けます。

❺「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、［T1　ウエイト］を表示します。

❻「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、［フツウシ］を表示します。

❼「メニュー選択」スイッチを押し、設定値の右側に［✱］を付けます。

❽「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

メモ
- 「T1　ウエイト」の設定は、プリンタドライバの［用紙厚］でも設定することができます。プリンタドライバで設定した場合は、プリンタドライバの設定が優先されます。
- Macintosh PSプリンタドライバでは、用紙サイズはMicrolinePS Utilityからも設定できます。

4　アプリケーションを起動します。

WindowsまたはMacintoshで印刷したいファイルを開きます。

5　プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］、［用紙厚］を選択し、印刷します。

- Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］または［TextEdit］を使い、トレイ1でA4サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- ［用紙厚］を適切な値に設定しないと印刷品位が低下したり定着器ユニットを傷めるおそれがあります。詳しくは「給紙方法と排出方法を決めます」（96ページ）をご覧ください。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（147ページ）をご覧ください。
- Windows PCLプリンタドライバの画面や説明はWindowsXP Home Editionを例にしています。

メモ　［給紙方法］で［自動選択トレイ］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。（Macintosh PCLプリンタドライバ、Mac OS X PCLプリンタドライバでは使用できません。）詳しくは、「トレイを自動的に選択したい」（157ページ）をご覧ください。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

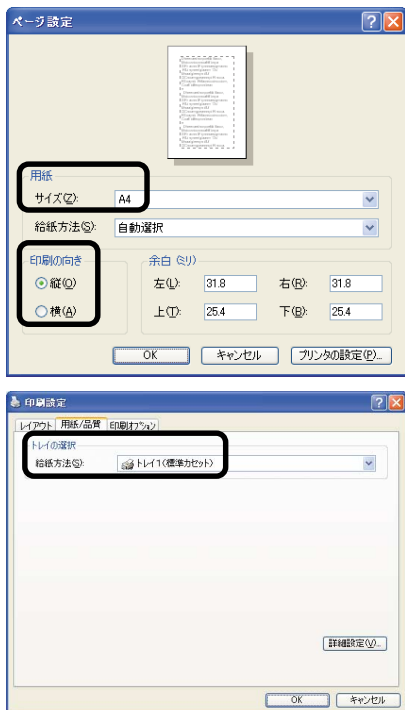
❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックし、［用紙］タブの［給紙方法］で［トレイ１（標準カセット）］を選択し、［OK］をクリックします。

❺ ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［用紙厚］を選択し、［設定の変更］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ　プリンタの操作パネルの［T1　ウエイト］の設定が［フツウシ］でない場合は、［普通紙］を選択します。

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［詳細設定］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺ ［用紙／品質］タブの［給紙方法］で［トレイ１（標準カセット）］を選択します。

❻ ［詳細設定］をクリックし、［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ　プリンタの操作パネルの［T1　ウエイト］の設定が［フツウシ］でない場合は、［普通紙］を選択します。

❼ ［OK］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❽ 「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックし、［ページ設定］タブの［給紙方法］で［トレイ1（標準カセット）］を選択します。

❺ ［詳細］タブの［ドキュメントのオプション］-［プリンタの機能］-［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ　プリンタの操作パネルの［T1　ウエイト］の設定が［フツウシ］でない場合は、［普通紙］を選択します。

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺ ［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ1（標準カセット）］を選択します。

❻ ［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

メモ　プリンタの操作パネルの［T1　ウエイト］の設定が［フツウシ］でない場合は、［普通紙］を選択します。

❼ ［OK］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❽ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

5章

Macintosh PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［A4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙元］で［トレイ1（標準カセット）］を選択します。

❺ ［ジョブオプション］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

メモ プリンタの操作パネルの［T1　ウエイト］の設定が［フツウシ］でない場合は、［普通紙］を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

Macintosh PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［A4］、［プリント方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙方法］で［トレイ1（標準カセット）］を選択します。

❺ ［オプション］パネルの［用紙厚］で［普通紙］を選択します。

❻ ［印刷］をクリックし、印刷します。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［用紙サイズ］で［A4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙］パネルの［給紙元］で［トレイ 1（標準カセット）］を選択します。

❺ ［プリンタの機能］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

注　Mac OS X 10.0～10.0.4 では、［用紙厚］の設定はできません。

メモ　プリンタの操作パネルの［T1　ウエイト］の設定が［フツウシ］でない場合は、［普通紙］を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［用紙サイズ］で［A4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

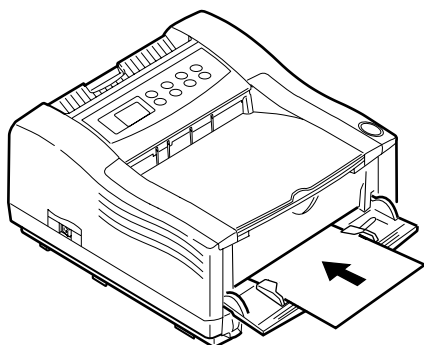
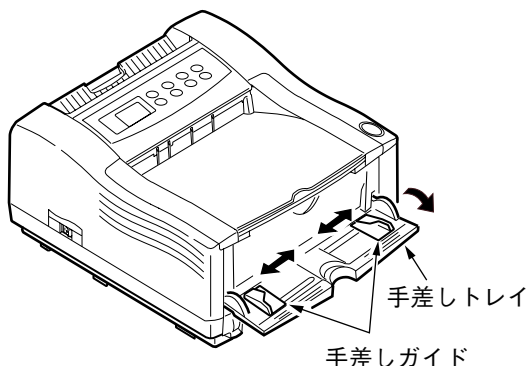
❹ ［給紙］パネルで［トレイ 1（標準カセット）］を選択します。

❺ ［プリンタオプション］パネルの［用紙厚］で［普通紙］を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

手差しトレイから印刷します

はがき、封筒、ラベル紙、OHP シートは手差しトレイから１枚ずつ印刷します。普通紙も印刷できます。

1 用紙をセットします。

❶ 手差しトレイを開きます。

❷ 手差しガイドを用紙サイズに合わせます。

❸ 印刷面を上に向けて、用紙を手差しガイドに沿って突き当たるまで差し込みます。

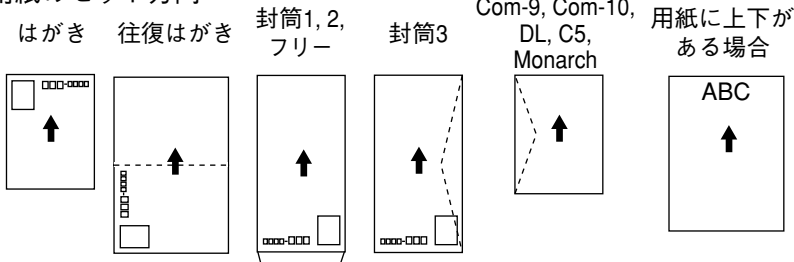
注 用紙は１枚ずつセットしてください。

❹ プリンタが用紙の先端を引き込んだら手を離します。

用紙は自動的に約 2cm 吸入されて固定されます。

メモ セットした用紙は「キャンセル」スイッチを押すと排出されます。

注 一度排出した用紙は再使用しないでください。紙づまりの原因になります。

用紙のセット方向

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。
- 手差しガイドは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 用紙は必ず縦送りでセットしてください。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは 2mm 以内に修正してください。
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- 吸入しにくいときは、吸入され固定されるまで軽く手で押してください。
- 手差しトレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。
- 一度印刷した用紙で裏面印刷はしないでください。

2　用紙の排出先をセットします。

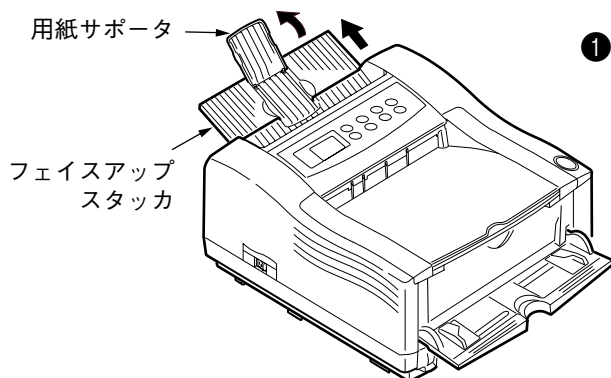
フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はスタッカカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量55kg（64g/m²）紙で約150枚をためることができます。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

❷ スタッカプレートを引き出し、用紙サポータを起こします。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量55kg（64g/m²）紙で約50枚ためることができます。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカを引き出し、用紙サポータを起こします。

- 印刷中にフェイスアップスタッカを出し入れしないでください。紙づまりの原因になります。
- A5よりも小さい用紙（長さ210mm未満）、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート、連量76kg以上の用紙は、紙づまりの原因になりますので、必ずフェイスアップで排出してください。
- 薄手の用紙で紙づまりが発生する場合は、フェイスアップで排出してください。
- OHPシートは静電気を帯びてくっつきやすくなることがあります。印刷後、必ず1枚ずつフェイスアップスタッカから取り除いてください。

3 操作パネルで手差しトレイの用紙サイズと用紙厚を設定します。

ここでは、はがきに設定する手順を説明します。

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[メディア／メニュー] を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[テサシ　サイズ] を表示します。

❸「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、[ハガキ] を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押し、設定値の右側に [✱] を付けます。

❺「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[テサシ　ウエイト] を表示します。

❻「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、[ヨリアツイカミ] を表示します。

❼「メニュー選択」スイッチを押し、設定値の右側に [✱] を付けます。

❽「オンライン」スイッチを押し、[オンライン] にします。

メモ
- 「テサシ　ウエイト」の設定は、プリンタドライバの [用紙厚] でも設定することができます。プリンタドライバで設定した場合は、プリンタドライバの設定が優先されます。
- Macintosh PS プリンタドライバでは、用紙サイズは MicrolinePS Utility からも設定できます。

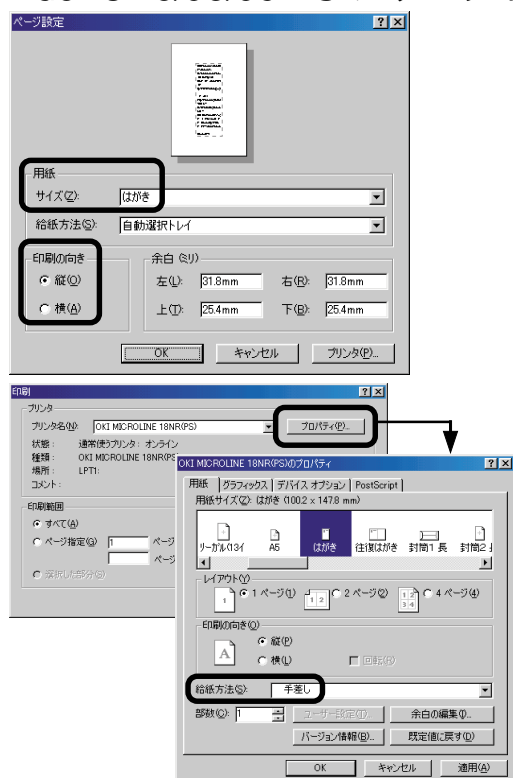
5
章

4 アプリケーションを起動します。

Windows または Macintosh で印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで [用紙サイズ]、[給紙方法]、[用紙厚] を選択し、印刷します。

- Windows では [ワードパッド]、Macintosh では [SimpleText] または [TextEdit] を使い、手差しトレイではがきに印刷する場合を例にしています。
- [用紙厚] を適切な値に設定しないと印刷品位が低下したり定着器ユニットを傷めるおそれがあります。詳しくは「給紙方法と排出方法を決めます」(96 ページ) をご覧ください。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は「プリンタドライバの初期設定を変更したい」(147 ページ) をご覧ください。
- Windows PCL プリンタドライバの画面や説明は WindowsXP Home Edition を例にしています。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

❶ [ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。

❷ [サイズ] で [はがき]、[印刷の向き] で [縦] または [横] を選択し、[OK] をクリックします。

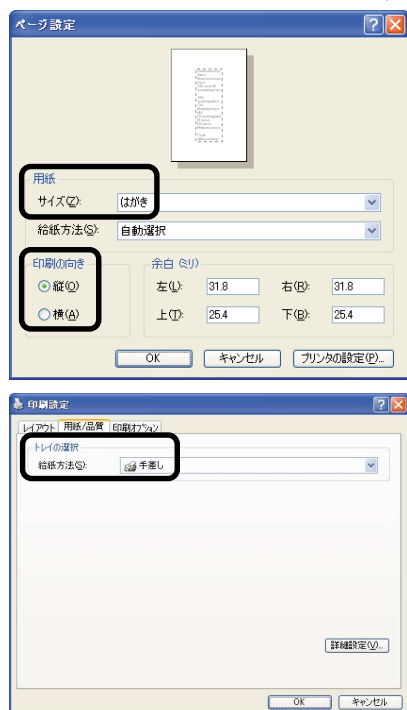
❸ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❹ [プロパティ] をクリックし、[用紙] タブの [給紙方法] で [手差し] を選択します。

❺ [デバイスオプション] タブの [プリンタの機能] で [用紙厚] を選択し、[設定の変更] で [プリンタ設定] を選択し、[OK] をクリックします。

メモ　プリンタの操作パネルの [テサシウエイト] の設定が [ヨリアツイカミ] でない場合は、[より厚い紙] を選択します。

❻「印刷」画面で [OK] をクリックし、印刷します。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバの場合

❶ [ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。

❷ [サイズ] で [はがき]、[印刷の向き] で [縦] または [横] を選択し、[OK] をクリックします。

❸ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❹ [詳細設定] をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❺ [用紙／品質] タブの [給紙方法] で [手差し] を選択します。

❻ [詳細設定] をクリックし、[用紙厚] で [プリンタ設定] を選択し、[OK] をクリックします。

メモ　プリンタの操作パネルの [テサシウエイト] の設定が [ヨリアツイカミ] でない場合は、[より厚い紙] を選択します。

❼ [OK] をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❽「印刷」画面で [印刷] をクリックし、印刷します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［はがき］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックし、［ページ設定］タブの［給紙方法］で［手差し］を選択します。

❺ ［詳細］タブの［ドキュメントのオプション］-［プリンタの機能］-［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ　プリンタの操作パネルの［テサシ ウエイト］の設定が［ヨリアツイカミ］でない場合は、［より厚い紙］を選択します。

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［はがき］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺ ［設定］タブの［給紙方法］で［手差し］を選択します。

❻ ［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

メモ　プリンタの操作パネルの［テサシ ウエイト］の設定が［ヨリアツイカミ］でない場合は、［より厚い紙］を選択します。

❼ ［OK］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❽ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintosh PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［はがき］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙元］で［手差し］を選択します。

❺ ［ジョブオプション］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

メモ　プリンタの操作パネルの［テサシウエイト］の設定が［ヨリアツイカミ］でない場合は、［より厚い紙］を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

Macintosh PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

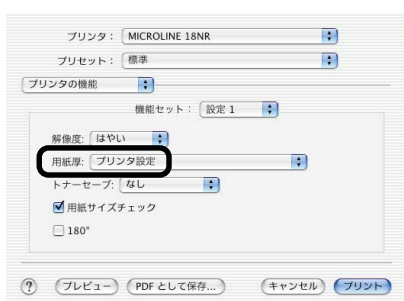
❷ ［用紙］で［はがき］、［プリント方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙方法］で［手差し］を選択します。

❺ ［オプション］パネルの［用紙厚］で［より厚い紙］を選択します。

❻ ［印刷］をクリックし、印刷します。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［用紙サイズ］で［はがき］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙］パネルの［給紙元］で［手差し］を選択します。

❺ ［プリンタの機能］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

注 Mac OS X 10.0～10.0.4 では、［用紙厚］の設定はできません。

メモ プリンタの操作パネルの［テサシウエイト］の設定が［ヨリアツイカミ］でない場合は、［より厚い紙］を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［用紙サイズ］で［はがき］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

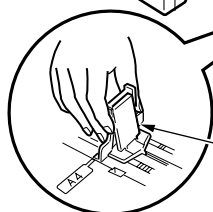
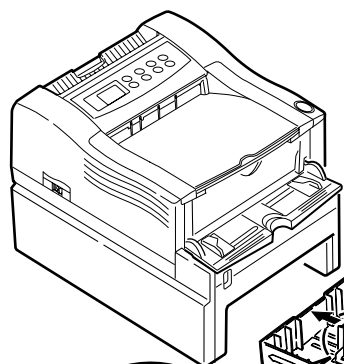
❹ ［給紙］パネルで［手差し］を選択します。

❺ ［プリンタオプション］パネルの［用紙厚］で［より厚い紙］を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

拡張給紙ユニットから印刷します

オプションの拡張給紙ユニットを装着すると、大量の用紙を連続して印刷できます。
拡張給紙ユニットの取り付け方法は「拡張給紙ユニット」(246 ページ)をご覧ください。

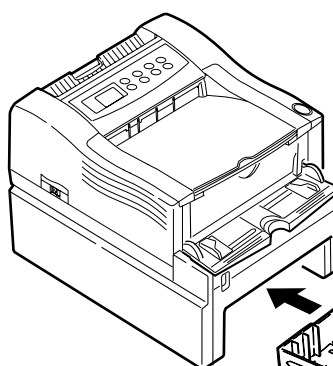
1　用紙カセットに用紙をセットします。

❶ 用紙カセットを引き出します。

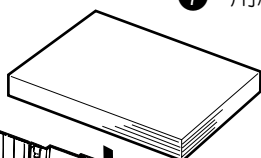
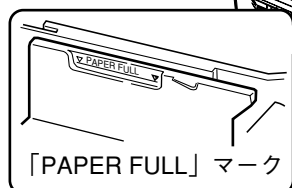
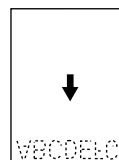
❷ 用紙ガイドをいっぱいに開き、用紙押さえを上げます。

❸ 用紙ガイドと用紙ストッパを用紙サイズに合わせます。

❹ 用紙の上下左右をそろえます。

❺ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

- 用紙は用紙カセットの手前によせて置きます。
- 用紙ガイドの「PAPER FULL」マークを越えないようにセットします。(連量 55kg 紙で 500 枚　目安として総厚 50mm 以下)

❻ 用紙押さえを戻します。

❼ 用紙カセットをプリンタに戻します。

注 拡張給紙ユニットを装着したときは手差しトレイを閉じないでください。故障の原因になります。

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。
- 用紙ガイドと用紙ストッパは用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 用紙は必ず縦送りでセットしてください。
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- 用紙カセットを差し込むときはあまり勢いよく押さないでください。
- 印刷中は用紙カセットを引き出さないでください。
- 拡張給紙ユニットから給紙しているときは、拡張給紙ユニットのフロントカバーを開けないでください。
- 一度印刷した用紙で裏面印刷はしないでください。

2　用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はスタッカカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量55kg（64g/m²）紙で約150枚をためることができます。

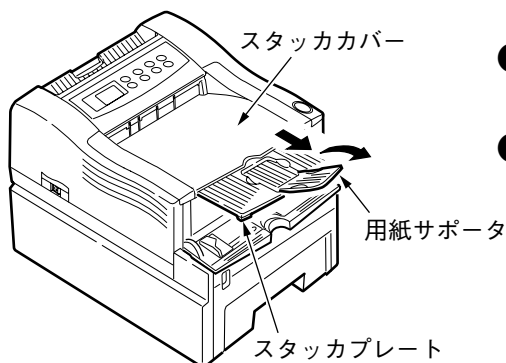
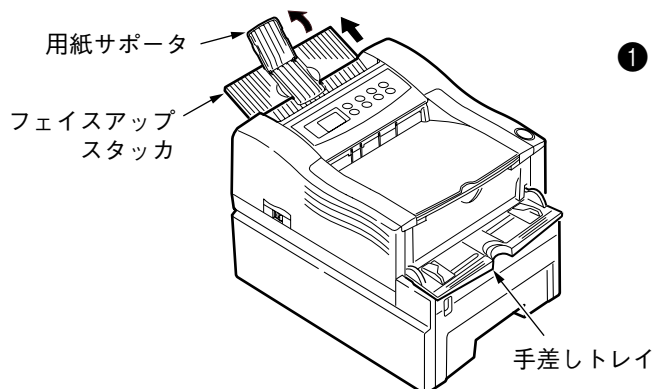
❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

❷ スタッカプレートを引き出し、用紙サポータを起こします。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量55kg（64g/m²）紙で約50枚ためることができます。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカを引き出し、用紙サポータを起こします。

注

- 印刷中にフェイスアップスタッカを出し入れしないでください。紙づまりの原因になります。
- 薄手の用紙で紙づまりが発生する場合は、フェイスアップで排出してください。
- 拡張給紙ユニット装着時は、手差しトレイを閉じないでください。故障の原因になります。

5章

3　操作パネルで拡張給紙ユニットの用紙サイズと用紙厚を設定します。

ここでは、A4 の普通紙に設定する手順を説明します。

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[メディア／メニュー] を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[T2　サイズ] を表示します。

❸「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、[Ａ４　サイズ] を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押し、設定値の右側に [✱] を付けます。

❺「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[T2　ウェイト] を表示します。

❻「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、[フツウシ] を表示します。

❼「メニュー選択」スイッチを押し、設定値の右側に [✱] を付けます。

❽「オンライン」スイッチを押し、[オンライン] にします。

メモ
- 「T2　ウエイト」の設定は、プリンタドライバの [用紙厚] でも設定することができます。プリンタドライバで設定した場合は、プリンタドライバの設定が優先されます。
- Macintosh PS プリンタドライバでは、用紙サイズは MicrolinePS Utility からも設定できます。

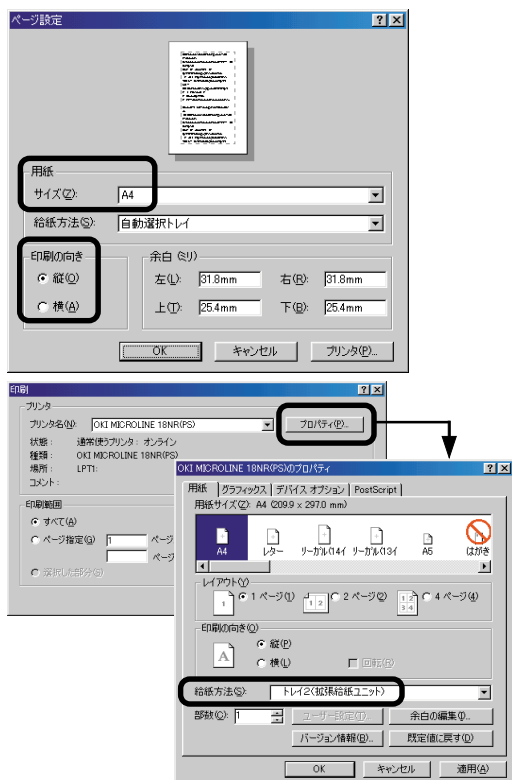
4　アプリケーションを起動します。

Windows または Macintosh で印刷したいファイルを開きます。

5　プリンタドライバで [用紙サイズ]、[給紙方法]、[用紙厚] を選択し、印刷します。

- Windows では [ワードパッド]、Macintosh では [SimpleText] または [TextEdit] を使い、拡張給紙ユニットで A4 サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- [用紙厚] を適切な値に設定しないと印刷品位が低下したり定着器ユニットを傷めるおそれがあります。詳しくは「給紙方法と排出方法を決めます」(96 ページ) をご覧ください。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は「プリンタドライバの初期設定を変更したい」(147 ページ) をご覧ください。
- プリンタドライバで [トレイ 2]、[トレイ 2 (拡張給紙ユニット)] が選択できない場合は「拡張給紙ユニット」(246 ページ) をご覧ください。
- Windows PCL プリンタドライバの画面や説明は WindowsXP Home Edition を例にしています。

メモ
[給紙方法] で [自動選択トレイ] を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。(Macintosh PCL プリンタドライバ、Mac OS X PCL プリンタドライバでは使用できません。) 詳しくは、「トレイを自動的に選択したい」(157 ページ) をご覧ください。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

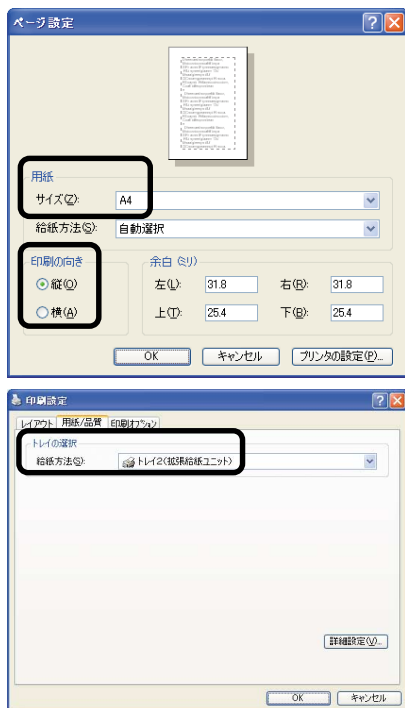
❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックし、［用紙］タブの［給紙方法］で［トレイ2（拡張給紙ユニット）］を選択します。

❺ ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［用紙厚］を選択し、［設定の変更］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

> **メモ** プリンタの操作パネルの［T2 ウエイト］の設定が［フツウシ］でない場合は、［普通紙］を選択します。

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［詳細設定］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺ ［用紙／品質］タブの［給紙方法］で［トレイ2（拡張給紙ユニット）］を選択します。

❻ ［詳細設定］をクリックし、［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

> **メモ** プリンタの操作パネルの［T2 ウエイト］の設定が［フツウシ］でない場合は、［普通紙］を選択します。

❼ ［OK］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❽ 「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックし、［ページ設定］タブの［給紙方法］で［トレイ2（拡張給紙ユニット）］を選択します。

❺ ［詳細］タブの［ドキュメントのオプション］-［プリンタの機能］-［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ　プリンタの操作パネルの［T2　ウエイト］の設定が［フツウシ］でない場合は、［普通紙］を選択します。

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺ ［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ2（拡張給紙ユニット）］を選択します。

❻ ［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

メモ　プリンタの操作パネルの［T2　ウエイト］の設定が［フツウシ］でない場合は、［普通紙］を選択します。

❼ ［OK］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❽ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintosh PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［A4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙元］で［トレイ２（拡張給紙ユニット）］を選択します。

❺ ［ジョブオプション］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

メモ　プリンタの操作パネルの［T2　ウエイト］の設定が［フツウシ］でない場合は、［普通紙］を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

Macintosh PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［A4］、［プリント方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙方法］で［トレイ２（拡張給紙ユニット）］を選択します。

❺ ［オプション］パネルの［用紙厚］で［普通紙］を選択します。

❻ ［印刷］をクリックし、印刷します。

5
章

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［用紙サイズ］で［A4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

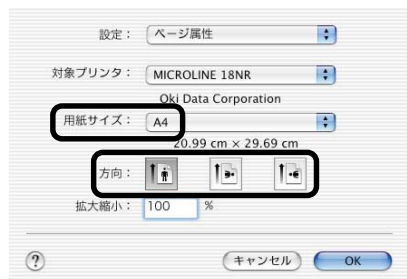
❹ ［給紙］パネルの［給紙元］で［トレイ2（拡張給紙ユニット）］を選択します。

❺ ［プリンタの機能］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

注 Mac OS X 10.0～10.0.4では、［用紙厚］の設定はできません。

メモ プリンタの操作パネルの［T2　ウエイト］の設定が［フツウシ］でない場合は、［普通紙］を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［用紙サイズ］で［A4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

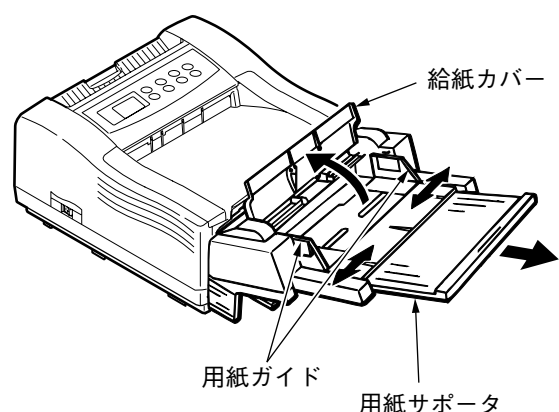
❹ ［給紙］パネルで［トレイ2（拡張給紙ユニット）］を選択します。

❺ ［プリンタオプション］パネルの［用紙厚］で［普通紙］を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

マルチパーパスフィーダから印刷します

オプションのマルチパーパスフィーダを装着すると、はがき、封筒、ラベル紙、OHP シートを連続して印刷できます。普通紙も印刷できます。
マルチパーパスフィーダの取り付け方法は「マルチパーパスフィーダ」（251 ページ）をご覧ください。

1 マルチパーパスフィーダに用紙をセットします。

給紙カバー

用紙ガイド

用紙サポータ

❶ 用紙サポータを引き出します。

メモ A5 よりも大きな用紙をセットするときは、用紙サポータをいっぱいに引き出します。

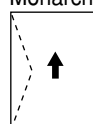
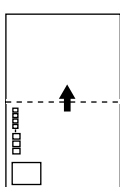
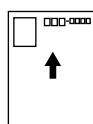
❷ 給紙カバーを開きます。

❸ 用紙ガイドを用紙サイズに合わせます。

❹ 用紙の上下左右をそろえます。

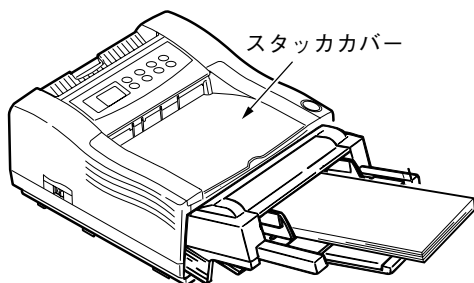
❺ 印刷面を上に向けて、用紙を用紙ガイドにそってまっすぐ突き当たるまで差し込みます。

注 封筒以外の用紙は、用紙ガイドの「⇩」マークの線を越えないようにセットします。（連量 55kg 紙で 100 枚、はがき 50 枚　目安として総厚 10mm 以下）
封筒（85g/m^2）は約 50 枚セットできます。（目安として総厚 30mm 以下）

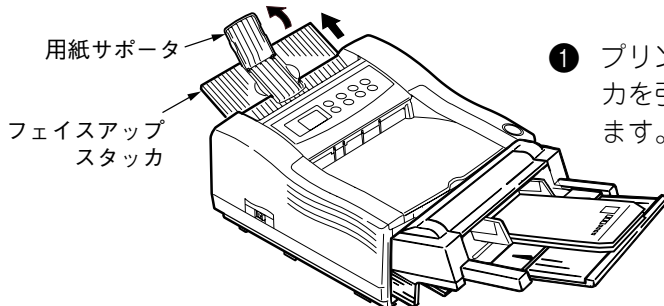
❻ 給紙カバーを閉じます。

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。
- 用紙ガイドは用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 用紙は必ず縦送りでセットしてください。
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは2mm以下になるように修正してください。
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良の原因になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- マルチパーパスフィーダの上に、印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。
- 一度印刷した用紙で、裏面印刷はしないでください。
- 接着部に粘着剤がはみ出している封筒、表面にのりが付着した封筒は使用しないでください。

2　用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はスタッカカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量55kg（64g/m²）紙で約150枚をためることができます。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量55kg（64g/m²）紙で約50枚ためることができます。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカを引き出し、用紙サポータを起こします。

- 印刷中にフェイスアップスタッカを出し入れしないでください。紙づまりの原因になります。
- A5よりも小さい用紙（長さ210mm未満）、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート、連量76kg以上の用紙は、紙づまりの原因になりますので、必ずフェイスアップで排出してください。
- 薄手の用紙で紙づまりが発生する場合は、フェイスアップで排出してください。

3 操作パネルでマルチパーパスフィーダの用紙サイズと用紙厚を設定します。

ここでは、封筒１（長形３号）に設定する手順を説明します。

❶「メニュー」スイッチを数回押し、［メディア／メニュー］を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、［MPF　サイズ］を表示します。

❸「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、［フウトウ 1］を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押し、設定値の右側に［＊］を付けます。

❺「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、［MPF　ウエイト］を表示します。

❻「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、［ヨリアツイカミ］を表示します。

❼「メニュー選択」スイッチを押し、設定値の右側に［＊］を付けます。

❽「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

メモ
・「MPF　ウエイト」の設定は、プリンタドライバの［用紙厚］でも設定することができます。プリンタドライバで設定した場合は、プリンタドライバの設定が優先されます。
・ Macintosh PS プリンタドライバでは、用紙サイズは MicrolinePS Utility からも設定できます。

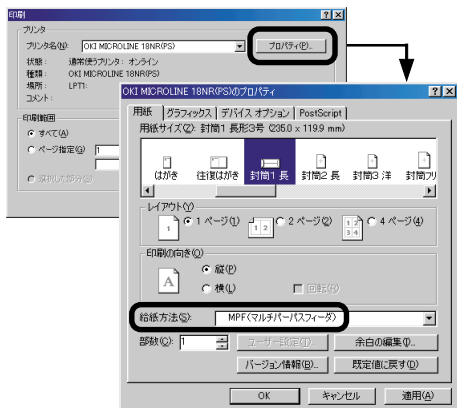
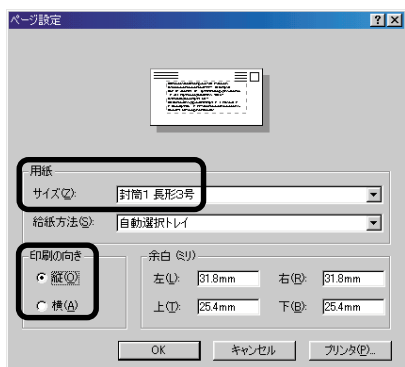
4 アプリケーションを起動します。

Windows または Macintosh で印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］、［用紙厚］を選択し、印刷します。

・ Windows では［ワードパッド］、Macintosh では［SimpleText］または［TextEdit］を使い、マルチパーパスフィーダで封筒１（長形３号）に印刷する場合を例にしています。
・［用紙厚］を適切な値に設定しないと印刷品位が低下したり定着器ユニットを傷めるおそれがあります。詳しくは「給紙方法と排出方法を決めます」（96 ページ）をご覧ください。
・ アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（147 ページ）をご覧ください。
・［給紙方法］で［マルチパーパスフィーダ］、［MPF（マルチパーパスフィーダ）］が選択できない場合は「マルチパーパスフィーダ」（251 ページ）をご覧ください。
・ Windows PCL プリンタドライバの画面や説明は WindowsXP Home Edition を例にしています。

メモ
［給紙方法］で［自動選択トレイ］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。（Macintosh PCL プリンタドライバ、Mac OS X PCL プリンタドライバでは使用できません。）詳しくは、「トレイを自動的に選択したい」（157 ページ）をご覧ください。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［封筒１　長形3号］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

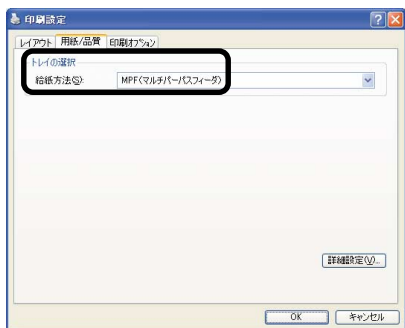
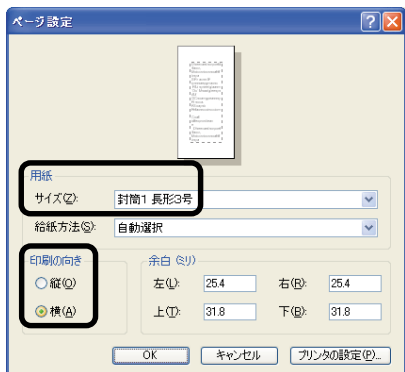
❹ ［プロパティ］をクリックし、［用紙］タブの［給紙方法］で［MPF（マルチパーパスフィーダ）］を選択します。

❺ ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［用紙厚］を選択し、［設定の変更］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ

- 封筒１～3、封筒フリーで、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［横］を選択します。
- 封筒１～3、封筒フリーで、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［縦］を選択します。「印刷」画面の［プロパティ］をクリックし、［デバイスオプション］タブの［180゜］で［回転あり］を選択します。
- プリンタの操作パネルの［MPF　ウエイト］の設定が［ヨリアツイカミ］でない場合は、［より厚い紙］を選択します。

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［封筒１　長形3号］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺ ［用紙／品質］タブの［給紙方法］で［MPF（マルチパーパスフィーダ）］を選択します。

❻ ［詳細設定］をクリックし、［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

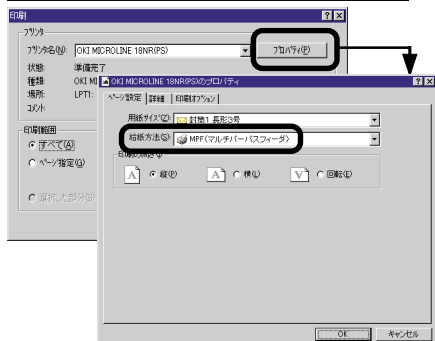
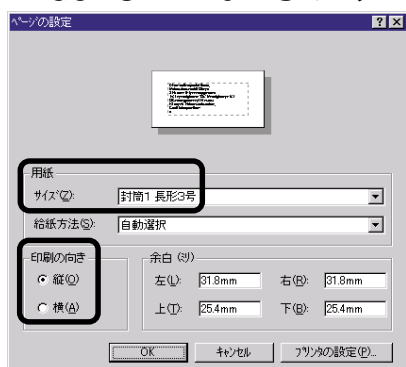
メモ

- 封筒１～3、封筒フリーで、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［横］を選択します。
- 封筒１～3、封筒フリーで、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［縦］を選択します。「印刷」画面の［用紙/品質］タブの［詳細設定］をクリックして［180゜］で［回転あり］を選択します。
- プリンタの操作パネルの［MPF　ウエイト］の設定が［ヨリアツイカミ］でない場合は、［より厚い紙］を選択します。

❼ ［OK］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

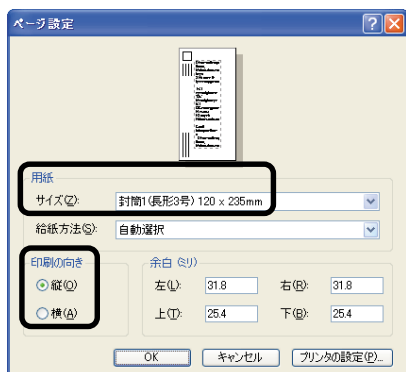
❽ 「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

5章

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。
❷ ［サイズ］で［封筒１　長形3号］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。
❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❹ ［プロパティ］をクリックし、［ページ設定］タブの［給紙方法］で［MPF（マルチパーパスフィーダ）］を選択します。
❺ ［詳細］タブの［ドキュメントのオプション］-［プリンタの機能］-［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ
- 封筒1～3、封筒フリーで、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［横］を選択します。
- 封筒1～3、封筒フリーで、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［縦］を選択します。「印刷」画面の［プロパティ］をクリックし、［詳細］タブの［180゜］で［回転あり］を選択します。
- プリンタの操作パネルの［MPF　ウエイト］の設定が［ヨリアツイカミ］でない場合は、［より厚い紙］を選択します。

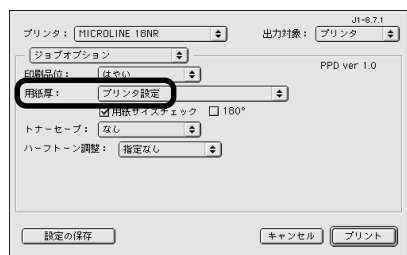
❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。
❷ ［サイズ］で［封筒１（長形３号）］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。
❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❹ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）
❺ ［設定］タブの［給紙方法］で［MPF（マルチパーパスフィーダ）］を選択します。
❻ ［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

メモ　プリンタの操作パネルの［MPF　ウエイト］の設定が［ヨリアツイカミ］でない場合は、［より厚い紙］を選択します。

❼ ［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
❽ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

5章

Macintosh PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［封筒１　長形３号］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙元］で［MPF（マルチパーパスフィーダ）］を選択します。

❺ ［ジョブオプション］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

メモ
- 封筒1～3、封筒フリーで、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「用紙設定」画面の［方向］で横方向を選択します。
- 封筒1～3、封筒フリーで、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「用紙設定」画面の［方向］で縦方向を選択します。［ファイル］の「プリント」画面の［ジョブオプション］パネルで［180゜］にチェックを付けます。
- プリンタの操作パネルの［MPF　ウエイト］の設定が［ヨリアツイカミ］でない場合は、［より厚い紙］を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

Macintosh PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

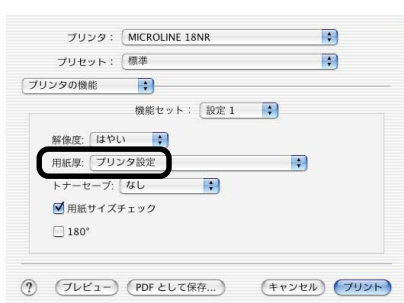
❷ ［用紙］で［封筒１（長形３号）］、［プリント方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙方法］で［MPF（マルチパーパスフィーダ）］を選択します。

❺ ［オプション］パネルの［用紙厚］で［より厚い紙］を選択します。

❻ ［印刷］をクリックし、印刷します。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［用紙サイズ］で［封筒１　長形３号］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙］パネルの［給紙元］で［MPF（マルチパーパスフィーダ）］を選択します。

❺ ［プリンタの機能］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

注 Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では、［用紙厚］、［180゜］の設定はできません。

メモ
- 封筒１～3、封筒フリーで、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［方向］で縦方向を選択します。［ファイル］の「プリント」画面の［プリンタの機能］パネルで［180゜］にチェックを付けます。
- 封筒１～3、封筒フリーで、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［方向］で横方向（中央のアイコン）を選択します。
- プリンタの操作パネルの［MPF　ウエイト］の設定が［ヨリアツイカミ］でない場合は、［より厚い紙］を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

5 章

Mac OS X PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［用紙サイズ］で［封筒１（長形３号）］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙］パネルで［MPF（マルチパーパスフィーダ）］を選択します。

❺ ［プリンタオプション］パネルの［用紙厚］で［より厚い紙］を選択します。

メモ
- 封筒１～3、封筒フリーで、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、180゜逆に印刷される制限があります。
- 封筒１～3、封筒フリーで、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［方向］で横方向（中央のアイコン）を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

6 メンテナンスをします

操作編

トナーカートリッジを交換します

トナーカートリッジの交換の目安

トナーが少なくなると操作パネルに［トナー　ロー］のメッセージが表示されますので、新しいトナーカートリッジに交換してください。そのまま約100枚印刷を続けると［トナー　コウカン／シテクダサイ］を表示して印刷を停止します。
お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを外して、カートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。
トナーカートリッジ交換の目安は、A4用紙で5%の印刷密度の場合（1ページの印刷範囲でトナーのついている面積）で、約2,500枚です。ただし、新しいドラムカートリッジに1本目のトナーカートリッジを取りつけたときは約半分の枚数になります。

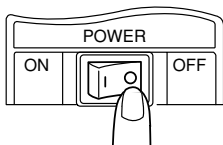
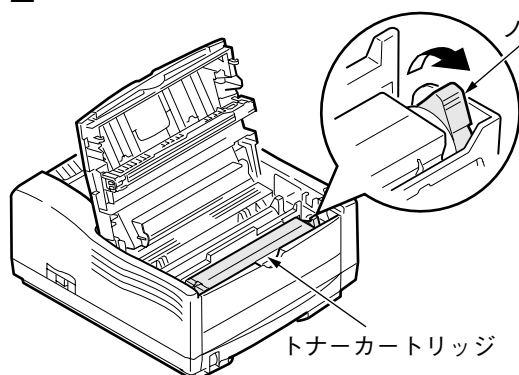
- 開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

6
章

トナーカートリッジを交換します

1　プリンタの電源をOFFにし、スタッカカバーを開けます。

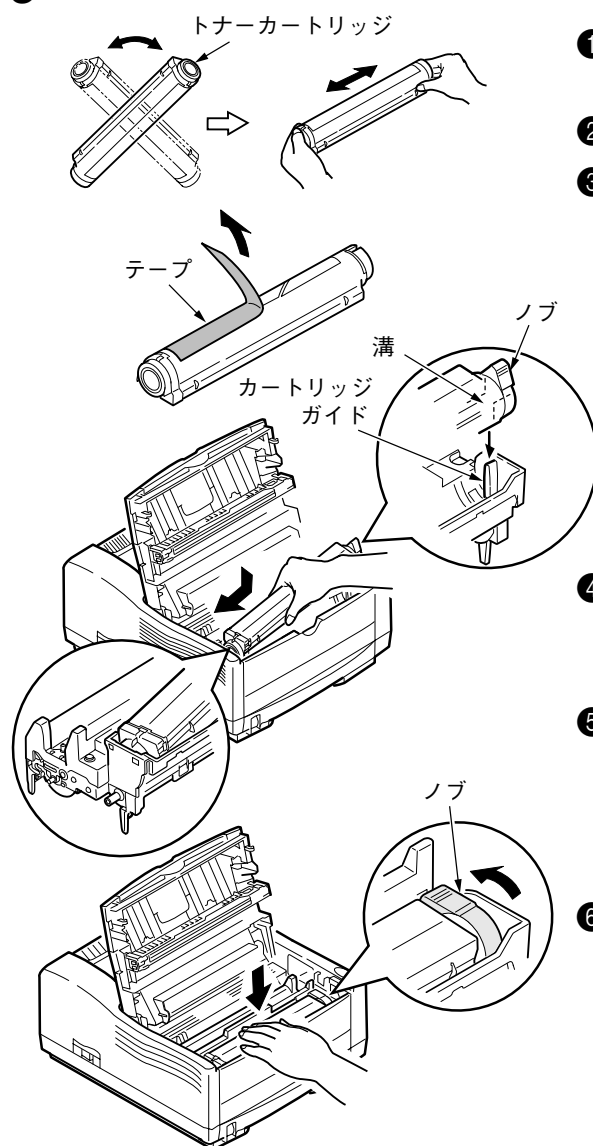
やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2　使用済みのトナーカートリッジを取り出します。

❶ トナーカートリッジのノブ（緑色）を矢印の方向に止まるまで回します。

❷ トナーカートリッジを取り出します。

メモ
- 使用済みトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」（282ページ）をご覧ください。
- やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告	使用済みのトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発ややけどのおそれがあります。

3　新しいトナーカートリッジをセットします。

❶ 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

❷ 縦と横に数回振ります。

❸ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりはがします。

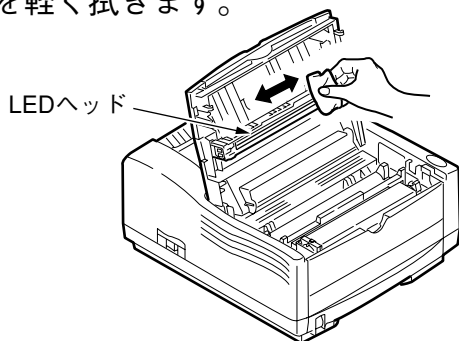
❹ トナーカートリッジをテープをはがした面を下にして、ノブが右側になるようにして持ちます。

❺ トナーカートリッジ右側の溝をイメージドラムカートリッジのカートリッジガイドの突起にあわせながら、矢印の方向にしっかり押さえ込みます。

❻ トナーカートリッジが浮き上がらないように上の面を手で支えながら、右側のノブ（緑色）を矢印の方向に止まるまで回します。

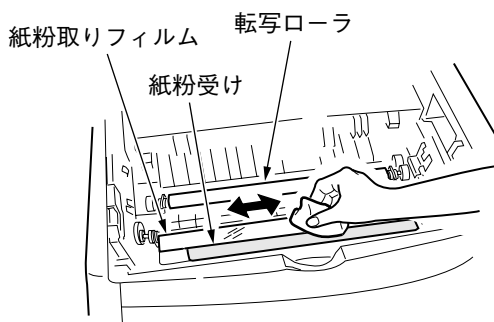
注 トナーカートリッジが正しく固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

6章

4　LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパでLEDヘッド全体を軽く拭きます。

注　メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

メモ　LEDレンズクリーナは、交換用トナーカートリッジに添付されています。

5　ドラムカートリッジを取り外し、LEDレンズクリーナまたは水を含ませ固くしぼった布で紙粉受けの紙粉を拭き取ります。

注　紙粉取りフィルムを曲げないように軽く拭いてください。紙粉を用紙走行路や転写ローラ表面に付着させないように拭き取ってください。

6　イメージドラムカートリッジを取り付け、スタッカカバーを閉じます。

注　トナーカートリッジの交換後に、操作パネルの［トナー　ロー］または［トナー　コウカン／シテテクダサイ］表示が消えないことがありますが、故障ではありません。表示はしばらく印刷すれば消えます。表示がいつまでも消えないときは、トナーカートリッジを外し、数回振ってセットし直してください。

6章

イメージドラムカートリッジを交換します

イメージドラムカートリッジ交換の目安

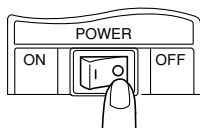
イメージドラムカートリッジが寿命になると操作パネルに［ドラムコウカン］のメッセージが表示されますので、新しいイメージドラムカートリッジに交換してください。そのまま印刷を続けてトナーが少なくなると印刷を停止します。
イメージドラムカートリッジ交換の目安は、A4 サイズの用紙で約 25,000 枚です。ただし、これは連続で印刷した場合の枚数です。一度印刷するとイメージドラムカートリッジは空回転をするため、1 枚ずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。

オンライン ト゛ラムコウカン

- 開封後 1 年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- イメージドラムカートリッジ交換直後は一時的に印刷が薄くなることがあります。しばらく印刷をすると回復します。
- 長期間使用すると、ごくまれに印刷濃度が濃くなってくることがあります。プリンタのメンテナンスメニューで［インサツノウド］を［-1］または［-2］に設定してください。PCL プリンタドライバを使用する場合は、プリンタドライバの［印刷濃度］を［やや薄い］または［薄い］に設定して濃度を調整してください。イメージドラムカートリッジを交換したときは設定を元に戻してください。
- イメージドラムカートリッジの交換と同時にトナーカートリッジも交換します。

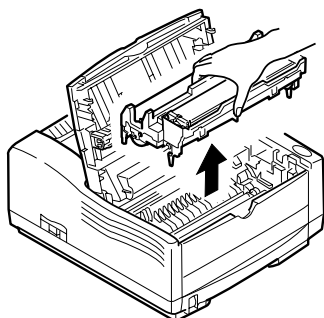
6
章

イメージドラムカートリッジを交換します

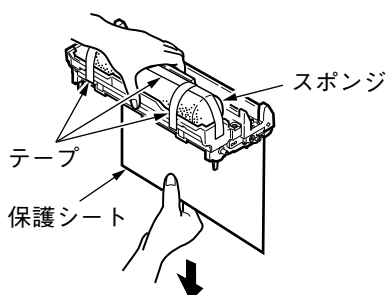
1　プリンタの電源を OFF にし、スタッカカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがありま	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2　使用済みのイメージドラムカートリッジを取り出します。

イメージドラムカートリッジの手前（トナーカートリッジ側）を軽く持ち上げ、そのまま上方に引き抜きます。
イメージドラムカートリッジを取り出すと、トナーカートリッジも一緒に取り出されます。

メモ
- 使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」（282 ページ）をご覧ください。
- やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告	使用済みのイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発ややけどのおそれがあります。

3 新しいイメージドラムカートリッジをセットします。

❶ 新しいイメージドラムカートリッジを包装袋から取り出します。

❷ イメージドラムカートリッジの手前側（スポンジ側）を少し持ち上げ、そのまま静かに上に取り出します。

❸ イメージドラムカートリッジの中央部を手でしっかり押さえ、保護シートを矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。

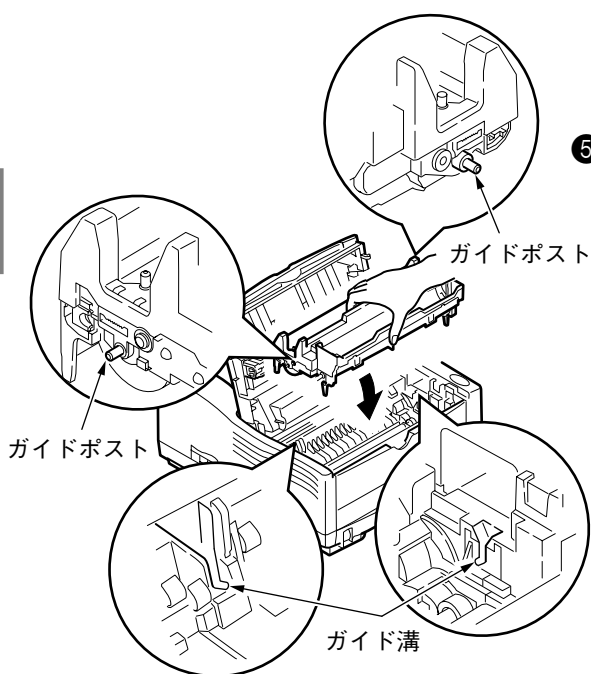
❹ スポンジをとめているテープ（3ヶ所）をはがし、スポンジを取り外します。

メモ スポンジは不燃物として処理してください。

注 スポンジを外すとき、トナーが飛散する場合があります。大きめの紙の上などで行ってください。

ガイドポスト
ガイドポスト
ガイド溝

❺ イメージドラムカートリッジを静かに戻します。左右のガイドポストを本体のガイド溝に合わせ、❷と逆の手順でイメージドラムカートリッジの手前側を少し上向きにしてはめ込みます。次に手前側を下向きに回転させ、プリンタ本体にカチッとはまるようにセットします。

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

4 新しいトナーカートリッジをセットします。

詳細は「トナーカートリッジを交換します」（128ページ）をご覧ください。

5 スタッカカバーを閉じます。

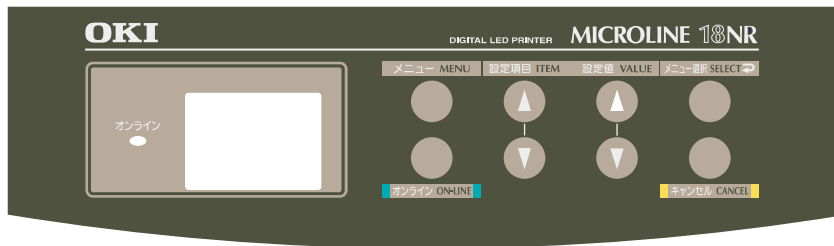
6 ドラムカウンタをリセットします。

❶ 「メニュー」スイッチを数回押し、［メンテナンス／メニュー］にします。

❷ 「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、［ドラムカウンタ／リセット］にします。

❸ 「メニュー選択」スイッチを押します。

クリーニングページをします

イメージドラムに付着した汚れを取り除きます。周期的な黒・白斑点が入る場合に行ってください。

❶ 「メニュー」スイッチを数回押し、［メンテナンス／メニュー］を表示します。

❷ 「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、［クリーニング／インサツ］を表示します。

❸ 手差しトレイにA4用紙をセットします。

注 A4用紙をセットしないと正しくクリーニング印刷できないことがあります。

❹ 「メニュー選択」スイッチを押します。

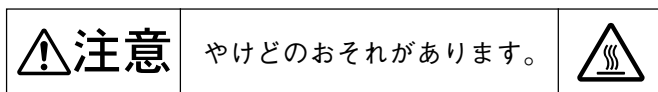
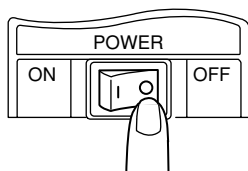
クリーニング印刷が開始されます。

❺ 印刷が終了したら、「オンライン」スイッチを押して［オンライン］にします。

- クリーニングページは、イメージドラムに付着した汚れを用紙に転写して取り除くため、汚れが付着したような印刷になります。
- クリーニングページを行った後、通常の印刷を行っても周期的な黒・白斑点がなくならない場合は、イメージドラム内にのりなどの異物付着、イメージドラム表面のキズなどが考えられます。この場合は、イメージドラムカートリッジの交換が必要です。

紙粉受けの紙粉を拭き取ります

用紙走行路の紙粉受けに紙粉が溜まった場合に行ってください。
トナー交換の周期が目安です。

1 プリンタの電源をOFFにし、スタッカカバーを開きます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

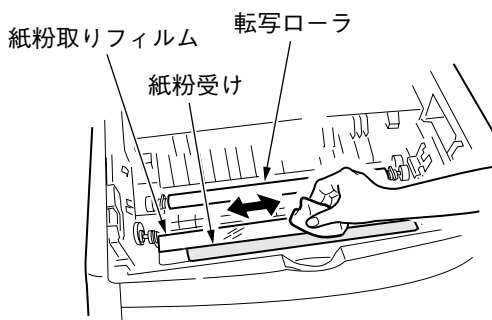
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 イメージドラムカートリッジを取り出します。

- 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙などをかぶせ、強い光に当てないようにしてください。
- 取り出したイメージドラムカートリッジのイメージドラム（緑色の筒の部分）は非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。また、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明でも5分以上は放置しないでください。

6
章

3 LEDレンズクリーナまたは水を含ませて固く絞った布で紙粉受けに溜まった紙粉を拭き取ります。

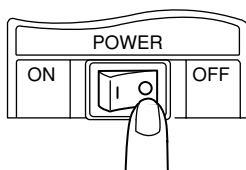
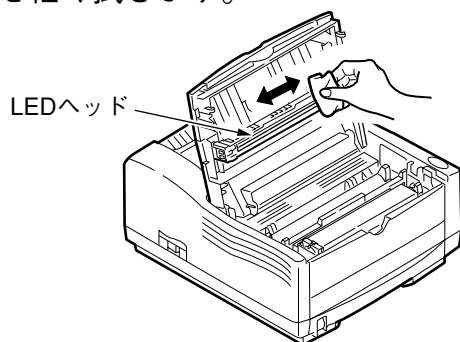
- 紙粉を用紙走行路や転写ローラに付着させないよう軽く丁寧に拭き取ってください。
- 紙粉取りフィルムは変形させないよう注意してください。

4 イメージドラムカートリッジをプリンタに戻し、スタッカカバーを閉じます。

LED ヘッドを清掃します

印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりする場合に行ってください。

1 プリンタの電源を OFF にし、スタッカカバーを開きます。

やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 LED レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパでLED ヘッド全体を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LED ヘッドを傷めますので使用しないでください。

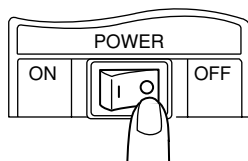
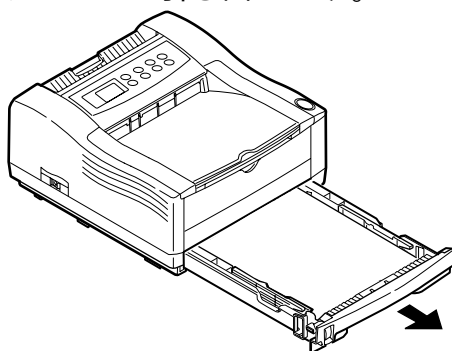
メモ LED レンズクリーナは、交換用トナーカートリッジに添付されています。

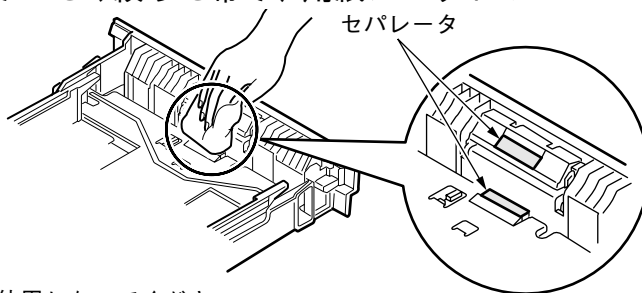
3 スタッカカバーを閉じます。

6章

用紙カセットのセパレータを清掃します

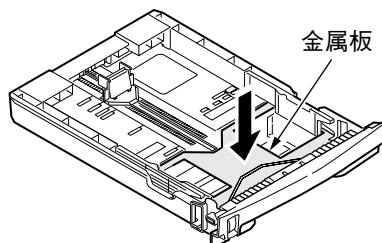
用紙カセットからの給紙が正しく行われない場合に行ってください。

1　プリンタの電源を OFF にします。

2　用紙カセットをプリンタから引き出します。

3　用紙カセットから用紙を取り出します。

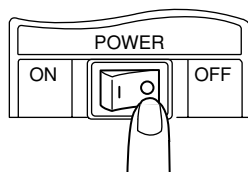
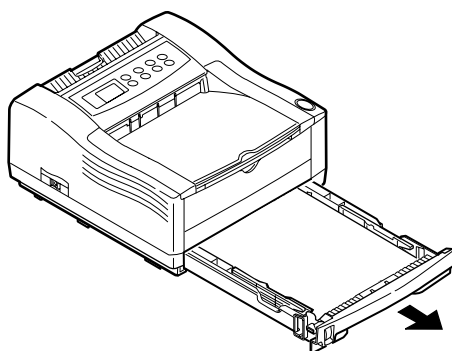
4　水を含ませてかたく絞った布で、用紙カセットのセパレータ（2ヶ所）を拭きます。

セパレータ

- 水以外は使用しないでください。
- 本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。
- 拡張給紙ユニットからの給紙が正しく行われない場合は、拡張給紙ユニットのセパレータを同様に清掃してください。

5　用紙カセットに用紙を入れ、プリンタに戻します。

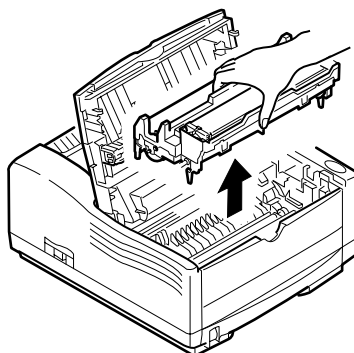
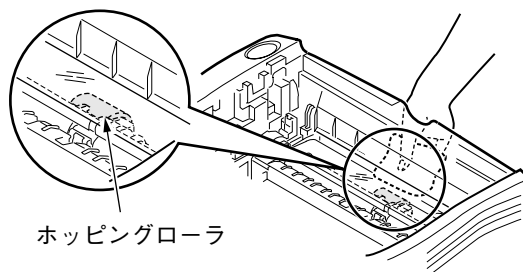
注　用紙の下の金属板が上がっている場合、カチッとロックするまで押し下げてからプリンタに挿入してください。金属板が上がったまま挿入すると故障の原因になります。

ホッピングローラを清掃します

用紙カセットからの給紙が正しく行われない場合に行ってください。

1　プリンタの電源をOFFにします。

2　用紙カセットをプリンタから引き出します。

3　スタッカカバーを開け、イメージドラムカートリッジを取り出します。

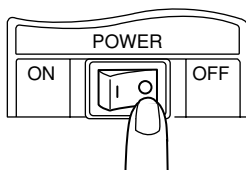
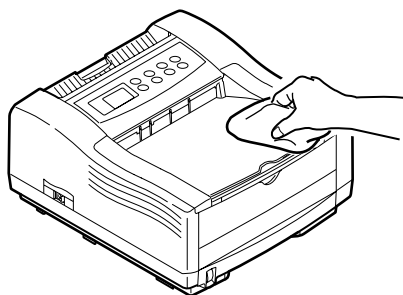
- 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙などをかぶせ､強い光に当てないようにしてください。
- 取り出したイメージドラムカートリッジのイメージドラム（緑色の筒の部分）は非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。また、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明でも5分以上は放置しないでください。

	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

4　水を含ませてかたく絞った布で、用紙カセットの取り付け口からホッピングローラを拭きます。

注
- 水以外は使用しないでください。
- 本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。
- 拡張給紙ユニットからの給紙が正しく行われない場合は、拡張給紙ユニットのホッピングローラを同様に清掃してください。

5　イメージドラムカートリッジと用紙カセットをプリンタに戻し、スタッカカバーを閉じます。

プリンタ表面を清掃します

1　プリンタの電源を OFF にします。

2　プリンタの表面を拭きます。

❶ 水または中性洗剤を含ませて、かたく絞った布で拭きます。

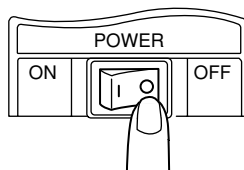
❷ 柔らかい乾いた布で拭きます。

- 水または中性洗剤以外は使用しないでください。
- 本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。

プリンタを輸送するとき

プリンタは精密機器ですので、梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。次の手順で輸送してください。

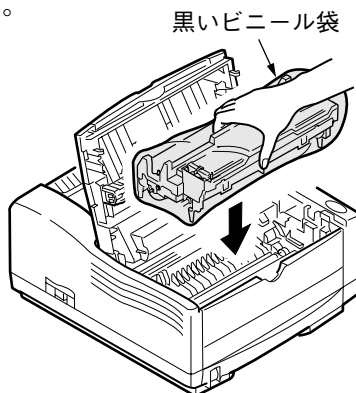
1 プリンタの電源をOFFにし、次の部品を取り外します。

- 電源コード、アース線
- プリンタケーブル
- 用紙カセットに入っている用紙

2 スタッカカバーを開け、イメージドラムカートリッジを取り出します。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 イメージドラムカートリッジをトナーカートリッジごと黒いビニール袋に入れ、プリンタに戻します。

- 黒いビニール袋はプリンタに同梱されています。
- いったんトナーカートリッジを装着した後にトナーカートリッジを外しますと、ドラムの口が開いたままになり輸送等の揺れによりドラムの口からトナーがこぼれ飛粉する場合があります。また、イメージドラムカートリッジを黒いビニール袋に入れないで輸送すると、トナーがこぼれ、プリンタ内部を汚すおそれがあります。必ず黒いビニール袋を使用してください。

4 緩衝材でプリンタを保護し、梱包箱に入れます。

注 プリンタ購入時についていた梱包箱と緩衝材を使用してください。

7 その他のソフトウェア

操作編

PS ハーフトーン調整ユーティリティ（Windows）

プリンタのハーフトーン濃度を調整するユーティリティです。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0 日本語版の動作するコンピュータ
Windows PS プリンタドライバ

インストール

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROM のアイコンを開きます。

〈WindowsXP の場合〉
［スタート］-［マイコンピュータ］-［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［MICROLINE］アイコンをダブルクリックして開きます。

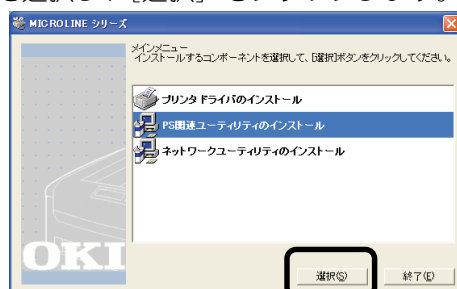
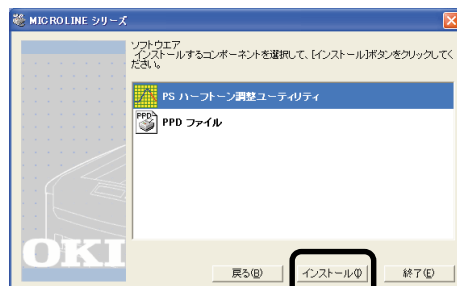
〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0 の場合〉
［マイコンピュータ］を開き、［MICROLINE］アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup.exe
Setup Program

セットアッププログラムが起動します。

❹ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❺ ［PS関連ユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❻ ［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❼ 画面の指示に従ってセットアップします。

❽ 「MICROLINE シリーズ」画面で［終了］をクリックします。

起動方法

❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXP では［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］-［PSハーフトーン調整ユーティリティ］を選択します。

詳しくはオンラインヘルプ、または「写真の印刷濃度を調節したい」（176 ページ）をご覧ください。

MicrolinePS Utility（Macintosh）

動作環境

Mac OS8.1、8.5、8.5.1、8.6、9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic 環境日本語版が動作する Macintosh で Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種
Mac OS9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種
LaserWriter8 プリンタドライバ

PCL プリンタドライバでは利用できません。

インストール

PS プリンタソフトウェアをインストールすると、［MicrolinePS］フォルダ内に MicrolinePS Utility も同時にインストールされます。

注　複数の MacOS を切り替えて使用するときは、各 OS に MicrolinePS Utility をインストールしてください。

起動方法

❶ デスクトッププリンタアイコンをクリックし、［プリンタ］メニューの［省略時プリンタに指定］を選択します。

❷ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］フォルダ内の［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

メモ　MicrolinePS Utility の主な機能

- プリンタ名、ゾーン名の変更
- ウェイトタイム、パワーセーブなどプリンタの操作パネルで行う各機能
- PostScript ファイルのダウンロード
- フォントリスト表示
- フォントの置き換え
- ハーフトーン調整

詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください。

8 知っていると便利です

操作編

・ この章ではWindowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］または［TextEdit］を例にしています。
・ Windows PCL プリンタドライバは、WindowsXP Home Edition を例にしています。
・ アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
・ プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
・ Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより本書の記載が異なる場合があります。

プリンタドライバの初期設定を変更したい

頻繁に変更する機能は、初期設定を変更すると便利です。

注 WindowsNT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

Windows プリンタドライバ

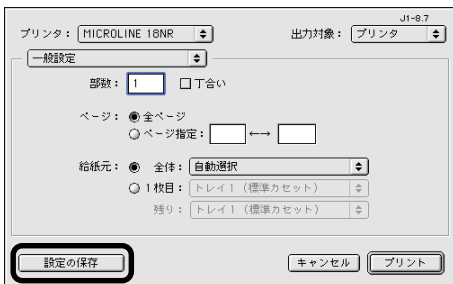
（WindowsXP の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ プロパティを開きます。
WindowsMe/98/95 の場合
［OKI MICROLINE 18NR（**）］（**はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。
WindowsXP/2000 の場合
［OKI MICROLINE 18NR（**）］（**はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。
WindowsNT4.0 の場合
［OKI MICROLINE 18NR（**）］（**はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸ 各設定を変更し、［OK］をクリックします。

8章

Macintosh PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ 各設定を変更し、［設定の保存］をクリックします。

❹ ［OK］をクリックします。

- ［用紙設定］ダイアログの初期設定は変更できません。
- アプリケーション独自の設定項目は保存されません。

Macintosh PCL プリンタドライバ

❶ ［アップル］メニューの［セレクタ］を選択します。

❷ ［ML18NR(USB)］アイコンをクリックします。

❸ 右側のボックスからプリンタ名を選択し、［設定］をクリックします。

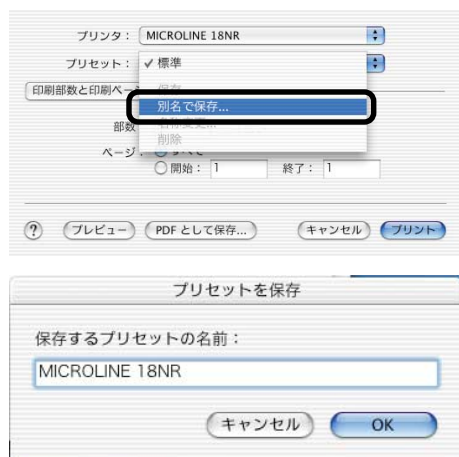
❹ ［用紙設定ダイアログ］をクリックし、各設定を変更し、［設定］をクリックします。

❺ ［印刷ダイアログ］をクリックし、各設定を変更し、［設定］をクリックします。

❻ ［保存］をクリックし、セレクタを閉じます。

注 ［部数］、［ページ］は変更できません。

メモ PICT解像度
プリンタドライバがアプリケーションに通知する解像度を選択します。アプリケーションによっては印刷品位と印刷時間に影響します。

Mac OS X プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ 各設定を変更し、Mac OS X 10.1.5 以前では［カスタム設定を保存］を選択します。Mac OS X 10.2以降の場合、［プリセット］で［別名で保存］を選択し、適当な設定名を入力し、［OK］をクリックします。

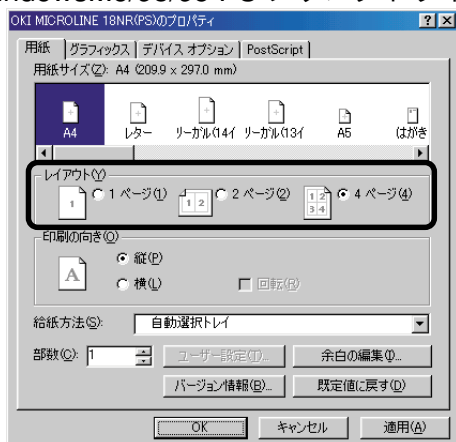
- ［ページ設定］ダイアログの初期設定は変更できません。
- 印刷時に［プリセット］で保存した設定名（Mac OS X 10.1.5以前の場合は、［カスタム］）を選択してください。

8章

複数ページを 1 枚に印刷したい

複数ページのデータを 1 枚の用紙に縮小して印刷できます。

- この機能は、データを縮小して印刷する機能なので、用紙の中央が正確に合わない場合や印刷が薄くなる場合があります。
- Windows PCL プリンタドライバ、Macintosh PCL プリンタドライバでとじ代の値を変更すると、とじ代の幅に合わせてページ全体を縮小して印刷するため、他の辺の余白も大きくなります。
- Macintosh PCL プリンタドライバの［レイアウト］パネルは［プリント］ダイアログでも選択できます。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［用紙］タブの［レイアウト］を選択します。

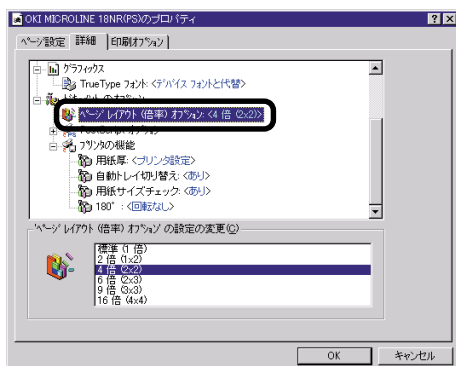
WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］を選択します。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［シートごとのページ］を選択します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［詳細］タブの［ドキュメントのオプション］-［ページレイアウト（倍率）オプション］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXP では［詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [設定] タブの [レイアウトタイプ] で [n-UP]（n は 1 枚に印刷するページ数）を選択します。

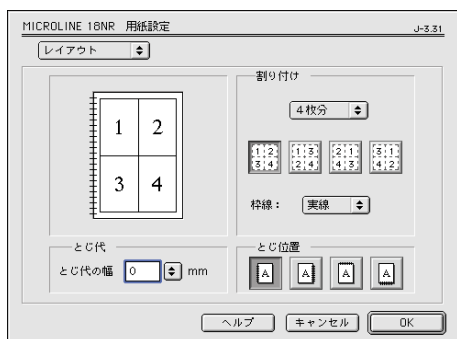
❺ [詳細設定] をクリックし、必要に応じて [枠線]、[ページ配置]、[とじ代] を設定します。
とじ代は上下左右に 0 ～ 30mm まで設定できます。

Macintosh PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [レイアウト] パネルの [ページ割り付け]、[レイアウト方向]、[枠線] を選択します。

Macintosh PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [用紙設定] を選択します。

❸ [レイアウト] パネルの [割り付け]、[枠線] を選択します。

❹ 必要に応じて [とじ代] を設定します。
とじ代は上下左右に0～30mmまで設定できます。

Mac OS X PS/PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［レイアウト］パネルの［ページ数／枚］、［レイアウト方向］、［枠線］を選択します。

任意の用紙サイズに印刷したい

独自の用紙サイズを定義して通常の用紙サイズと同じように使用できます。

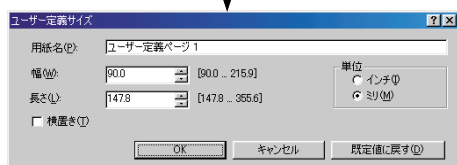
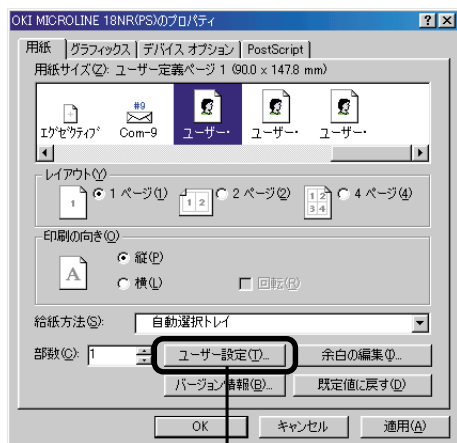
- 用紙サイズは必ず縦長に設定してください。
- Windows PS プリンタドライバ、Macintosh PS プリンタドライバでは、[封筒フリー]を選択することができますが、任意の用紙サイズを設定することはできません。画面上は215.9×297mmのサイズで表示され、印刷時はトレイにセットされている用紙で印刷されます。
- WindowsNT4.0 PCL プリンタドライバではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

[設定できるサイズ]

幅　：90～215.9mm

長さ(高さ)　：148～355.6mm

※・トレイ2は幅148～215.9mm、長さ（高さ）210～355.6mm
・マルチパーパスフィーダは長さ（高さ）148～297mm
・プリンタドライバによって設定できる範囲が多少異なります。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ] をクリックします。

❹ [用紙] タブの [用紙サイズ] の中から、[ユーザー定義ページ 1] を選択します。

❺ [ユーザー設定] をクリックし、「ユーザー定義サイズ」画面で [用紙名]、[幅]、[長さ]、[横置き] を入力、または選択します。

❻ [OK] をクリックします。

注 [ユーザー定義ページ] は1～3までの3つが選択でき、それぞれに任意の値を入力できます。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺ ［用紙サイズ］で、［PostScriptカスタムページサイズ］を選択します。

❻ 「PostScriptカスタムページサイズの定義」画面で［幅］、［高さ］、［用紙の向き］を入力、または選択します。

❼ ［OK］をクリックします。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［ページ設定］タブの［用紙サイズ］で、［PostScriptカスタムページサイズ］を選択します。

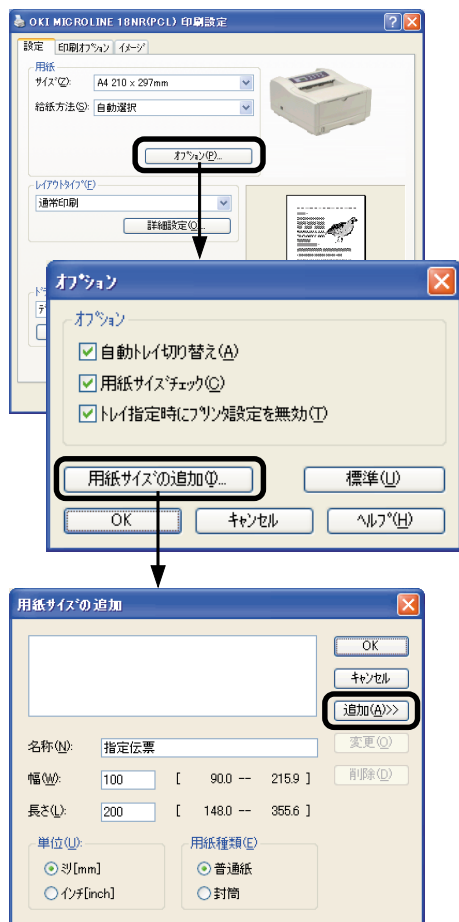
❺ 「PostScriptカスタムページサイズの定義」画面で［幅］、［高さ］、［用紙の向き］を入力、または選択します。

❻ ［OK］をクリックします。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ プロパティを開きます。
WindowsMe/98/95 の場合
　［OKI MICROLINE 18NR（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。
WindowsXP/2000 の場合
　［OKI MICROLINE 18NR（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。
WindowsNT4.0 の場合
　［OKI MICROLINE 18NR（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸ ［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❹ 「オプション」画面で［用紙サイズの追加］をクリックします。

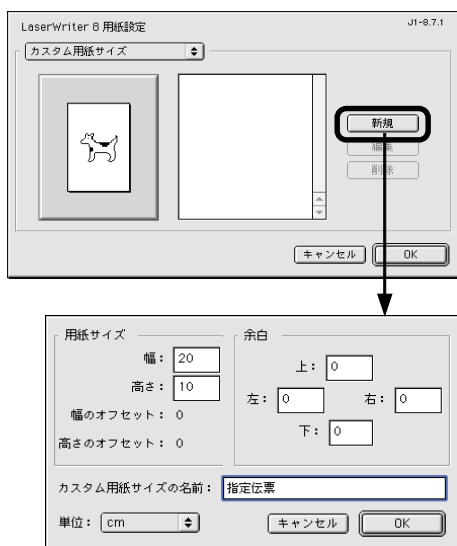
❺ 「用紙サイズの追加」画面で［用紙種類］を選択し、［名称］、［幅］、［長さ］を入力します。

❻ ［追加］をクリックします。

❼ ［OK］をクリックします。

作成した用紙は、［設定］タブの［サイズ］リストの下の方に表示されます。合計 32 個まで定義できます。

8章

Macintosh PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

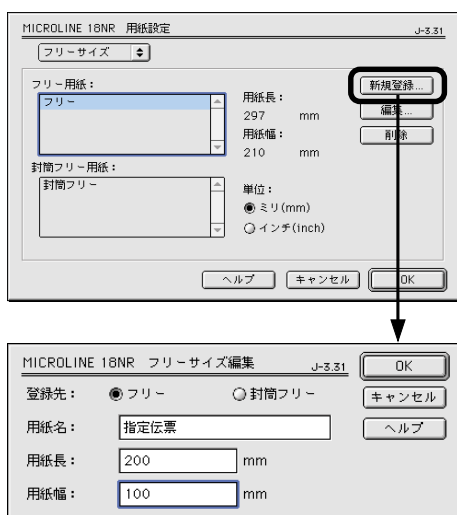
❷ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❸ ［カスタム用紙サイズ］パネルの［新規］をクリックします。

❹ 「カスタム用紙サイズ編集」画面で、［カスタム用紙サイズの名前］、［幅］、［高さ］を入力します。

❺ ［OK］をクリックします。

作成した用紙は［ページ属性］パネルの［用紙］リストの下の方に表示されます。

Macintosh PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❸ ［フリーサイズ］パネルの［新規登録］をクリックします。

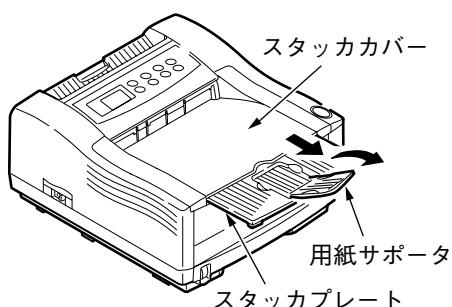
❹ 「フリーサイズ編集」画面で［登録先］を選択し、［用紙名］、［用紙長］、［用紙幅］を入力します。

❺ ［OK］をクリックします。

作成した用紙は、［用紙設定］ダイアログの［一般設定］パネルの［用紙］リストの下の方に表示されます。フリー用紙、封筒フリー用紙をそれぞれ8個まで定義できます。

ページ順に取り出したい

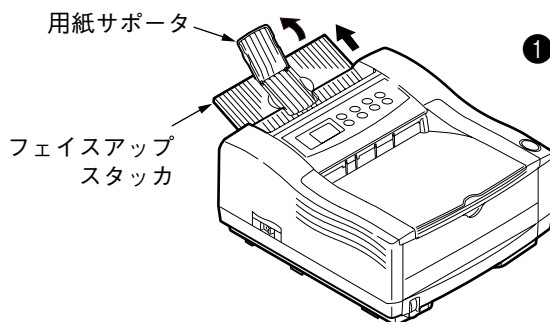
複数ページの文書を印刷するとき、ページ順で取り出せます。

フェイスダウンで排出する

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

❷ スタッカプレートを引き出し、用紙サポータを起こします。

・A5 よりも小さい用紙（長さ 210mm 未満）、はがき、封筒、ラベル紙、OHP シート、連量 76kg 以上の用紙は、紙づまりの原因になりますので、必ずフェイスアップで排出してください。
・薄手の用紙で紙づまりが発生する場合は、フェイスアップで排出してください。

フェイスアップで逆順に印刷する

注 WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ以外では利用できません。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカを引き出し、用紙サポータを開きます。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

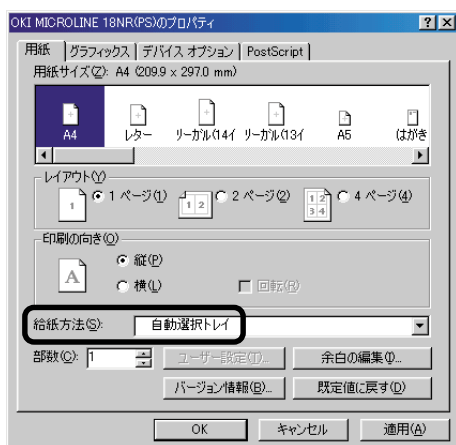
❹ ［レイアウト］タブの［ページの順序］で［逆］を選択します。

8章

トレイを自動的に選択したい

プリンタドライバで設定した用紙サイズに一致するトレイ（用紙カセット（トレイ1、2（2はオプション））、マルチパーパスフィーダ（オプション））を自動的に選択して印刷できます。

- Macintosh PCLプリンタドライバ、Mac OS X PCLプリンタドライバでは利用できません。
- 必ず操作パネルで、用紙カセット（トレイ1、2）、マルチパーパスフィーダの用紙サイズと用紙厚を設定してください。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［用紙］タブの［給紙方法］で［自動選択トレイ］を選択します。

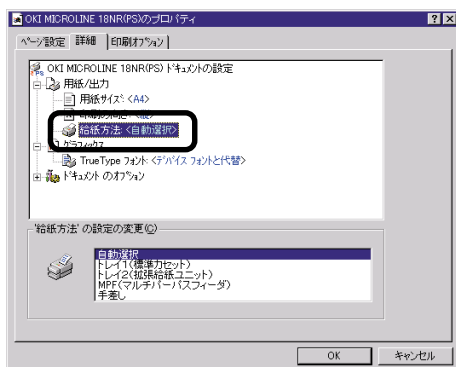
WindowsXP/2000 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［詳細］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXP では［詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [設定] タブの [給紙方法] で [自動選択] を選択します。

Macintosh PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [一般設定] パネルの [給紙元] で [自動選択] を選択します。

Mac OS X PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

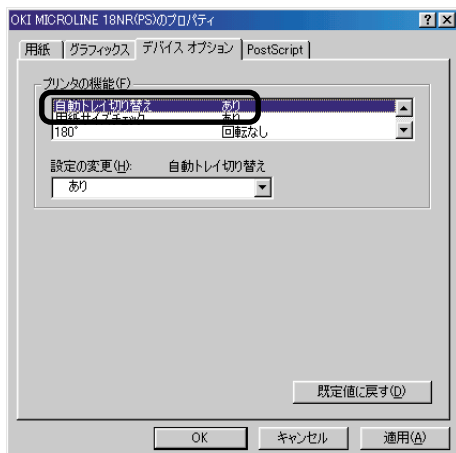
❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [給紙] パネルの [給紙元] で [自動選択] を選択します。

同じ用紙サイズを大量に印刷したい

トレイ（用紙カセット（トレイ1、2（2はオプション））、マルチパーパスフィーダ（オプション））に同じ用紙サイズ、同じ用紙厚の用紙をセットしている場合に、トレイの用紙がなくなったら、他のトレイから印刷することができます。

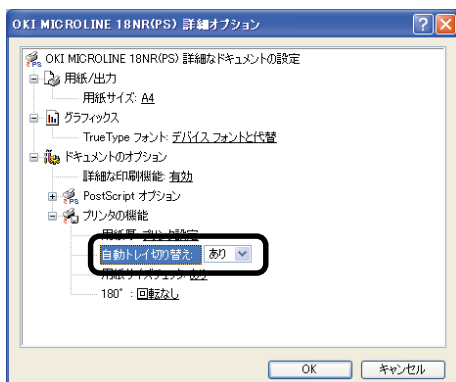
必ず操作パネルで、用紙カセット（トレイ1、2）、マルチパーパスフィーダの用紙サイズと用紙厚を設定してください。各トレイの用紙サイズ、用紙厚が異なる場合、自動トレイ切り替えはできません。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［デバイスオプション］タブの［自動トレイ切り替え］で［あり］を選択します。

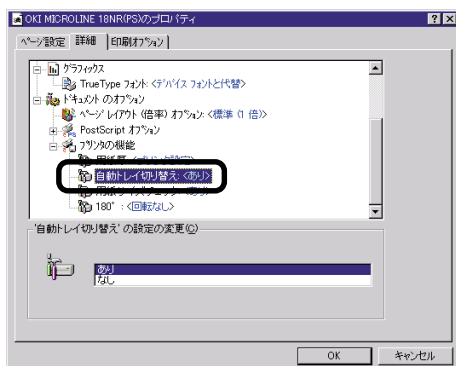
WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

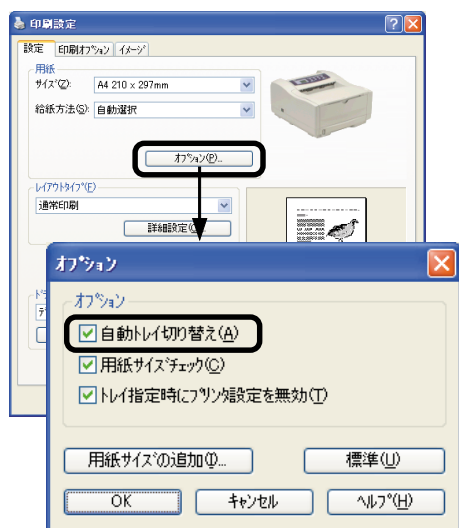
❺ ［自動トレイ切り替え］で［あり］を選択します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［詳細］タブの［ドキュメントのオプション］-［プリンタの機能］-［自動トレイ切り替え］で［あり］を選択します。

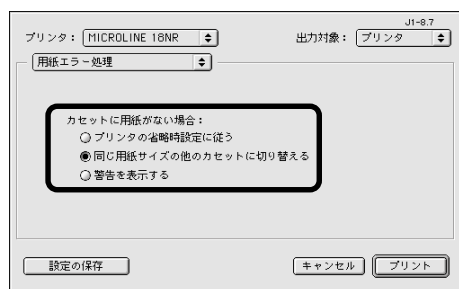
Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXP では［詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [設定] タブの［オプション］をクリックします。

❺ [自動トレイ切り替え]にチェックを付けます。

Macintosh PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの［プリント］を選択します。

❸ [用紙エラー処理] パネルの［カセットに用紙がない場合］で [同じ用紙サイズの他のカセットに切り替える] を選択します。

Macintosh PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの［プリント］を選択します。

❸ [オプション] パネルの [拡張給紙ユニット] または [マルチパーパスフィーダ] が [あり] になっていることを確認し、[自動トレイ切り替え] にチェックを付けます。

メモ　[自動トレイ切り替え] の設定は印刷する書類が異なっても常に有効です。

Mac OS X PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［エラー処理］パネルの［トレイの切り替え］で［同じ用紙サイズの別のカセットに切り替える］を選択します。

Mac OS X PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタオプション］パネルの［自動トレイ切り替え］にチェックを付けます。

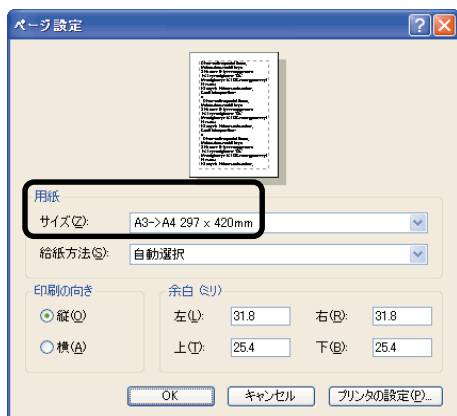
8
章

A3、B4 サイズの文章を A4 で印刷したい

印刷データに手を加えることなく、異なる用紙サイズに印刷することができます。

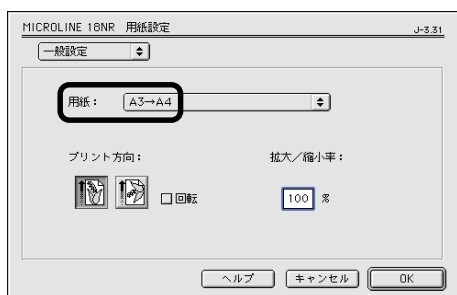
注

- Windows PS プリンタドライバ、Macintosh PS プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- 用紙サイズを変換できるのは［A3→A4］、［B4→A4］のみです。
- アプリケーションによっては、正常に動作しない場合があります。
- Windows のプロパティの［印刷オプション］タブの［拡大・縮小］（または Macintosh の［用紙設定］ダイアログの［一般設定］パネルの［拡大／縮小率］）はデータを縮小するもので、用紙サイズを変換するものではありません。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸ ［サイズ］で［A3→A4］または［B4→A4］を選択します。

Macintosh PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

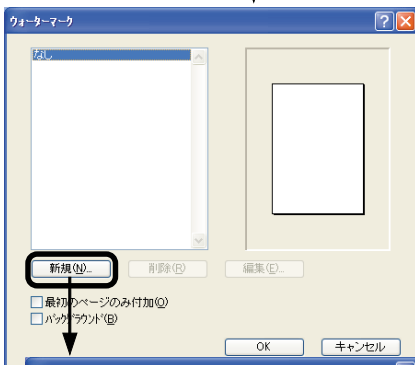
❷ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［用紙］で［A3→A4］または［B4→A4］を選択します。

ウォーターマークを印刷したい

アプリケーションから印刷される内容とは独立して［見本］や［社外秘］などの文字を重ね印刷できます。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ、Macintosh PS プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

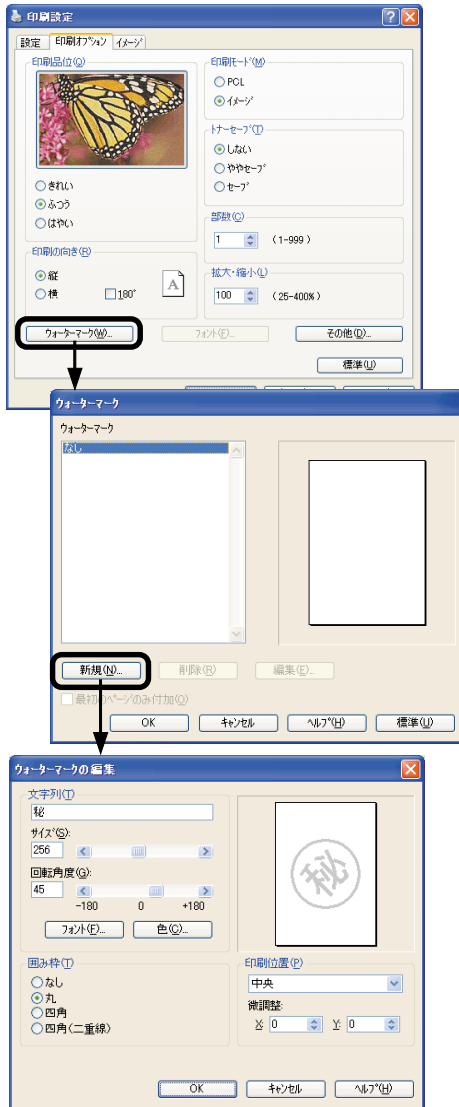
❹ ［印刷オプション］タブの［ウォーターマーク］をクリックします。

❺ ［新規］をクリックします。

❻ 「ウォーターマークの編集」画面で［文字列］を入力し、［フォント］、［サイズ］他を選択します。

❼ ［OK］をクリックします。

❽ 印刷するウォーターマークが選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

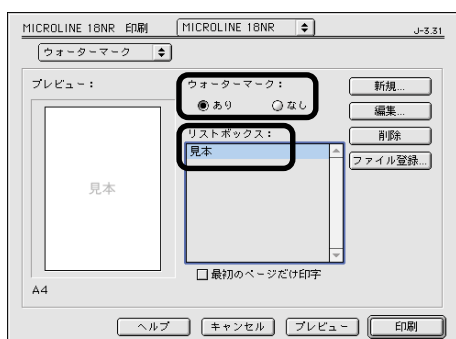
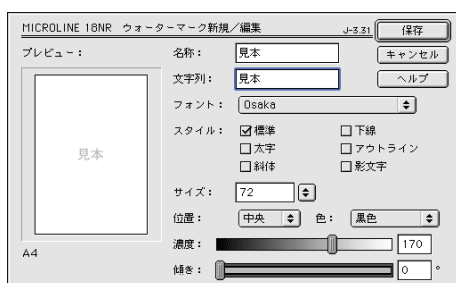
❹ ［印刷オプション］タブの［ウォーターマーク］をクリックします。

❺ ［新規］をクリックします。

❻ 「ウォーターマークの編集」画面で［文字列］を入力し、［フォント］、［サイズ］他を選択します。

❼ ［OK］をクリックします。

❽ 印刷するウォーターマークが選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。

Macintosh PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ウォーターマーク］パネルの［新規］をクリックします。

❹ ［名称］、［文字列］を入力し、［フォント］、［サイズ］他を選択し、［保存］をクリックします。

❺ ［ウォーターマーク］パネルの［ウォーターマーク］を［あり］にし、［リストボックス］で印刷するウォーターマークが選択されていることを確認します。

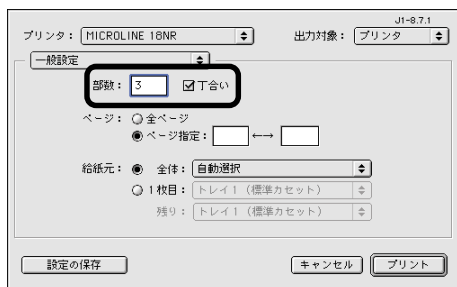
メモ ［ファイル登録］をクリックしてPICT形式のファイルを指定すると画像をウォーターマークにすることができます。

8章

文章を部単位で印刷したい（丁合印刷）

複数ページの印刷ジョブを部単位で印刷することができます。

- アプリケーションの部単位印刷機能はオフにしてください。
- Windows PSプリンタドライバ、Windows PCLプリンタドライバでは利用できません。

Macintosh PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［部数］に印刷部数を入力し、［丁合い］にチェックを付けます。

Macintosh PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［部数］に印刷部数を入力し、［丁合い］にチェックを付けます。

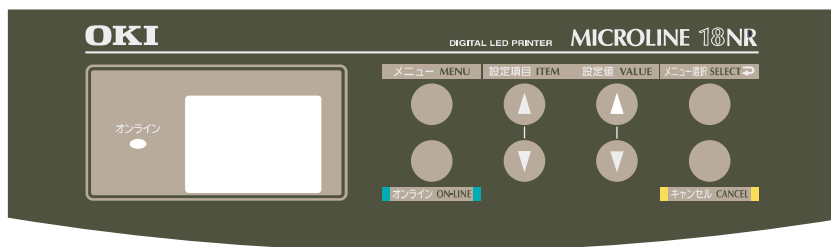
Mac OS X PS/PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［印刷部数と印刷ページ］パネルの［部数］に印刷部数を入力し、［丁合い］にチェックを付けます。

印刷開始までの時間を短くしたい

省電力モードに入るまでの時間を長くすると、印刷開始までの時間を短くできる場合があります。

❶「メニュー」スイッチを数回押し、［システムコウセイ／メニュー］を表示します。

❷「設定項目▲」スイッチを押し、［パワーセーブ］を表示します。

❸「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、目的の値を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押し、値の右端に［＊］を付けます。

❺「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

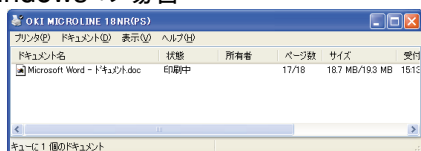
メモ　プリンタのメンテナンスメニューで［パワーセーブ］を［ムコウ］にすると省電力モードに入らなくなりますが、定着器を印刷可能温度に保つため電力を消費します。プリンタを使用しないときは電源をOFFにしてください。

印刷をキャンセルしたい

プリンタで処理中のデータをキャンセルすることができます。

注 印刷が開始されたジョブはキャンセルできません。

1 コンピュータで印刷ジョブを削除します。

Windows の場合

❶ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。(Windows XP では [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] をクリックします。)

❷ [OKI MICROLINE 18NR (**)] (** は PS または PCL (プリンタドライバの種類)) アイコンをダブルクリックします。

❸ 印刷をキャンセルしたいファイル名を選択します。

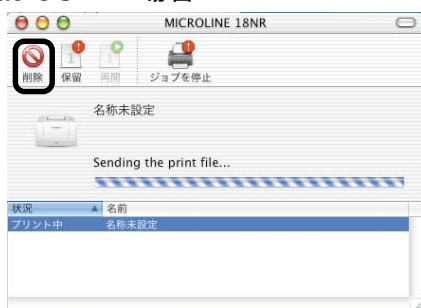
❹ キーボード上の「Delete」キーを押します。

Macintosh の場合

❶ デスクトップ上の [MICROLINE 18NR] アイコンをダブルクリックします。

❷ 印刷をキャンセルしたいファイル名を選択します。

❸「ごみ箱」アイコンをクリックします。

Mac OS X の場合

❶ ハードディスクの [アプリケーション] - [ユーティリティ] フォルダ内の [プリントセンター] (Mac OS X 10.1.5 以前では [Applications] - [Utilities] フォルダ内の [Print Center]) をダブルクリックします。

❷ [MICROLINE 18NR] をダブルクリックします。

❸ 印刷をキャンセルしたいファイル名を選択します。

❹「削除」アイコンをクリックします。

2 操作パネルの表示を確認します。

[ショリチュウ]または[データアリ]が表示されている場合はプリンタの操作パネルで印刷をキャンセルします。

3 プリンタの操作パネルの「キャンセル」スイッチを押し、印刷をキャンセルします。

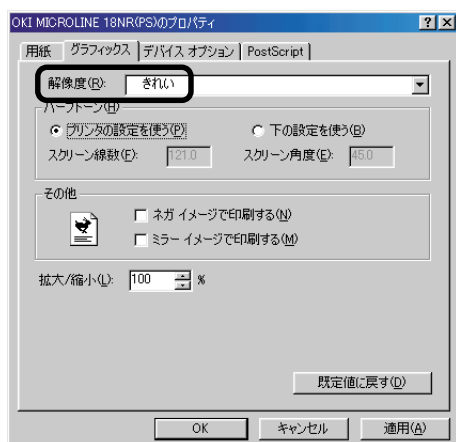
注 MacintoshとUSB接続している場合、印刷をキャンセルした後正常に印刷できないときは、USB ケーブルを差し直すか、電源を OFF/ON してください。

8章

高解像度で印刷したい

1200 × 600dpi の高解像度で印刷することができます。

- PS ドライバを利用する場合、［きれい］または［ふつう］を指定すると複雑なファイルを印刷できないことがあります。このようなときは［はやい］で印刷してください。
- 高解像度に設定すると、印刷時間が長くなる場合があります。このプリンタは印刷処理をコンピュータ側でも行っています。PCL プリンタドライバを利用する場合、処理速度の速いコンピュータを使用すると印刷時間を短くできます。
- Macintosh PCL プリンタドライバを利用する場合、アプリケーションによっては、プリンタドライバが通知する PICT 解像度によって印刷品位が変わる場合があります。このようなときは「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（147 ページ）で PICT 解像度を変更してください。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［グラフィックス］タブの［解像度］で［きれい］を選択します。

8
章

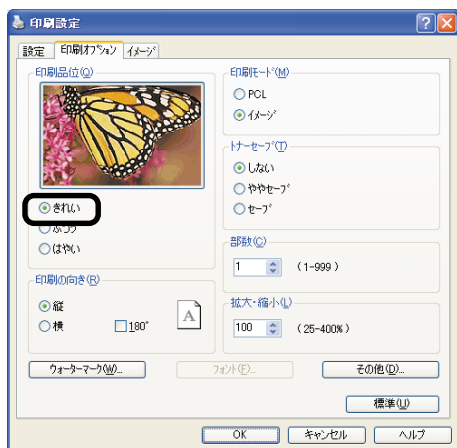
WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

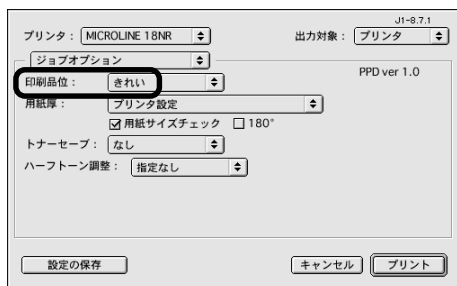
❹ ［印刷オプション］タブの［印刷品位］で［きれい］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷品位］で［きれい］を選択します。

Macintosh PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ジョブオプション］パネルの［印刷品位］で［きれい］を選択します。

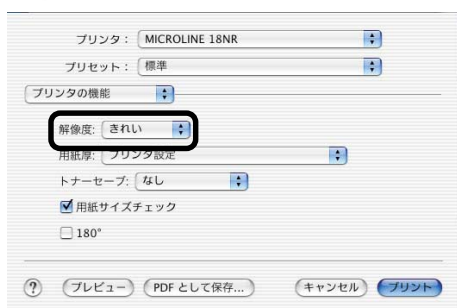
Macintosh PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［解像度］で［きれい］を選択します。

Mac OS X PS プリンタドライバ

注 Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では利用できません。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタの機能］パネル（Mac OS X 10.1.5 以前では［プリンタ機能］パネル）の［解像度］で［きれい］を選択します。

Mac OS X PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

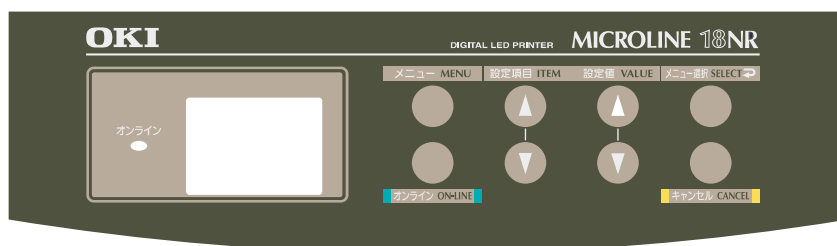
❸ ［印刷品質］パネルで［きれい］を選択します。

8
章

印刷濃度を濃くしたい、薄くしたい

印刷濃度を5段階に変更できます。小さな文字がつぶれたり、イメージデータが濃くなる場合は「薄い（マイナス）」の方向に設定してください。細い線が途切れる場合は「濃い（プラス）」の方向に設定してください。

- Macintosh PCL プリンタドライバ、Mac OS X PCL プリンタドライバを使用する場合は、プリンタドライバの設定が常に優先されます。
- Windows PCL プリンタドライバを使用する場合は、[プリンタの印刷濃度を調整する] にチェックを付けると、プリンタドライバの設定が優先されます。
- Windows PS プリンタドライバ、Macintosh PS プリンタドライバ、Mac OS X PS プリンタドライバでは指定できません。操作パネルで設定してください。

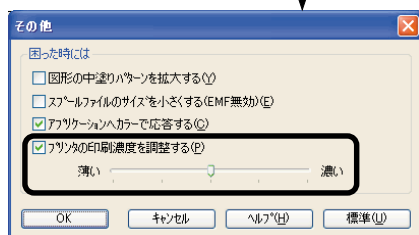
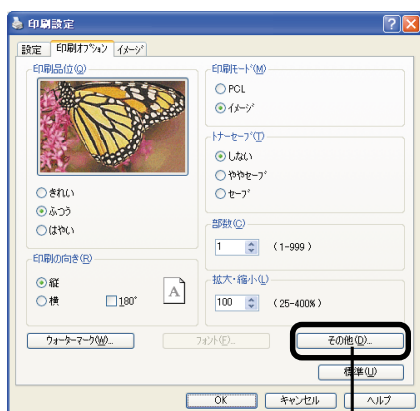
操作パネルを使う場合

❶ 「メニュー」スイッチを数回押し、[メンテナンス／メニュー] を表示します。

❷ 「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[インサツノウド] を表示します。

❸ 「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、目的の値を表示します。

❹ 「メニュー選択」スイッチを押し、値の右端に [✻] を付けます。

❺ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン] にします。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXP では［詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション] タブの [その他] をクリックします。

❺ [プリンタの印刷濃度を調整する］にチェックを付け、適切な値を選択します。

Macintosh PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ [オプション］パネルの［印刷濃度］で適切な値を選択します。

メモ　[印刷濃度］の設定は印刷する書類が異なっても常に有効です。

8章

Mac OS X PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

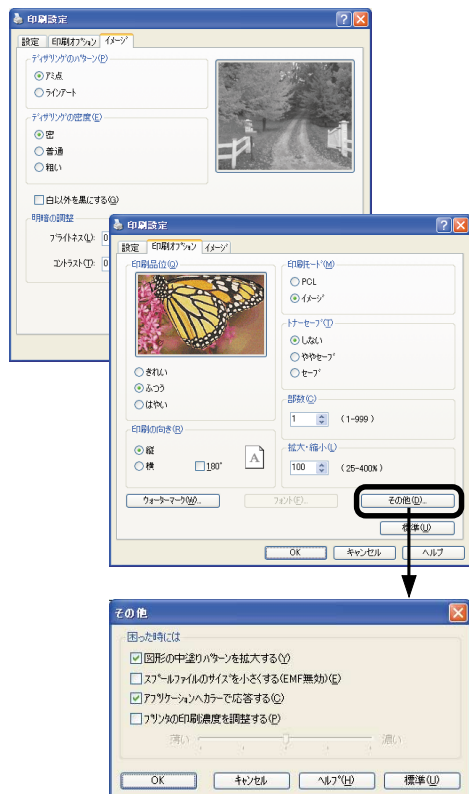
❷ [ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ [プリンタオプション] パネルの [印刷濃度] で適切な値を選択します。

画像印刷の仕上りを変更したい

PCLプリンタドライバでは、プリンタドライバの設定によって画像の印刷結果が総合的に決まります。希望する結果が得られるまでこれらの設定をいろいろ変更してください。

Windows PS プリンタドライバ、Macintosh PS プリンタドライバ、Mac OS X PS プリンタドライバでは利用できません。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

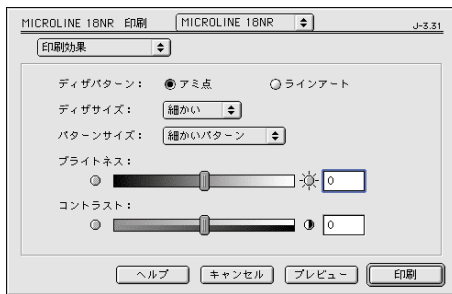
❹ ［イメージ］タブの［ディザリングのパターン］、［ディザリングの密度］、［明暗の調整］を選択します。

❺ ［印刷オプション］タブの［印刷品位］を選択します。

❻ ［その他］をクリックします。

❼ ［図形の中塗りパターンを拡大する］の設定を変更します。

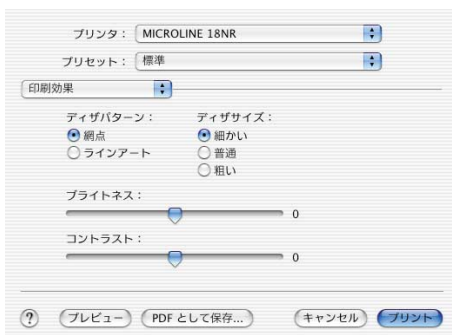
8
章

Macintosh PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［印刷効果］パネルの［ディザパターン］、［ディザサイズ］、［パターンサイズ］、［ブライトネス］、［コントラスト］を選択します。

❹ ［一般設定］パネルの［解像度］、［プリント］を選択します。

Mac OS X PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［印刷効果］パネルの［ディザパターン］、［ディザサイズ］、［ブライトネス］、［コントラスト］を選択します。

❹ ［印刷品質］パネルで［印刷品質］を選択します。

8
章

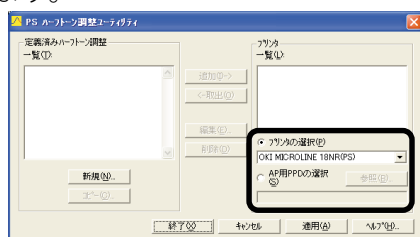
写真の印刷濃度を調節したい（ハーフトーン調整）

イメージデータのハーフトーン濃度を調整することができます。写真などの画像が濃すぎる場合に調節してください。

- Windows PCL プリンタドライバ、Macintosh PCL プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- PS ハーフトーン調整ユーティリティ（Windows）のセットアップについては、142 ページをご覧ください。
- Windows では［ハーフトーン調整名］を登録後、WindowsMe/98/95 ではプロパティの［デバイスオプション］タブ、WindowsXP/2000 では［用紙／品質］タブの［詳細設定］、WindowsNT4.0 では［詳細］タブに［ハーフトーン調整］メニューまたはその内容が表示されない場合があります。この場合はコンピュータを再起動してください。
- ハーフトーン調整を使用すると、印刷が遅くなる場合があります。速度を優先したい場合は、［ハーフトーン調整］で［指定なし］を選択してください。
- Adobe PageMaker7.0J/6.5J の場合は、［プリント］ダイアログの［形式］で［プリンタ名］を選択してから［プリンタ特性］をクリックし、［ハーフトーン調整］で「ハーフトーン調整名」を指定してください。
- 「ハーフトーン調整名」を登録する以前から起動されていたアプリケーションは、印刷前に再起動する必要があります。
- アプリケーションによっては、ドットゲインの補正やハーフトーン調整を印刷時に指定したり、または EPS ファイルにその設定を含める機能を持つものがあります。アプリケーション側のこのような機能を利用する場合は、［ハーフトーン調整］で［指定なし］を選択してください。
- PS ハーフトーン調整ユーティリティの「プリンタの選択」リストには機種名が表示されます。［プリンタ］（WindowsXP は［プリンタと FAX］）フォルダに複数の同一機種プリンタが存在する場合は、登録した「ハーフトーン調整名」すべての同一機種プリンタに有効となります。

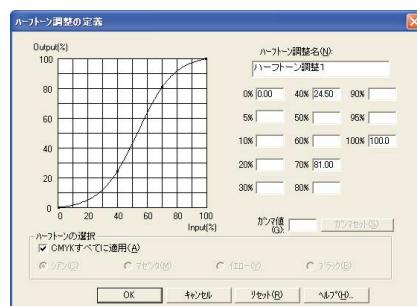
1　ハーフトーン調整名を登録します。

❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXPでは［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］-［PSハーフトーン調整ユーティリティ］を選択します。

❷ ［プリンタの選択］から、プリンタを選択します。

注　アプリケーション（Adobe PageMaker 等）によっては印刷時に独自に用意されたPPDファイルを使用するものがあります。この場合は［AP 用 PPD の選択］を選択し、［参照］をクリックしてアプリケーションの使用するPPDファイルを選択します。

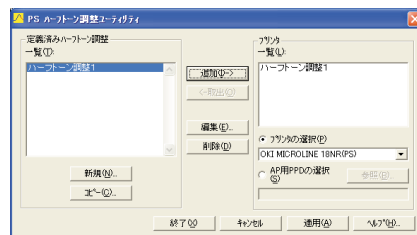
❸ ［新規］をクリックします。

❹ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力してから［OK］をクリックします。

- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、［ガンマセット］をクリックします。自動的に13の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は0.01から99.99まで指定できます。1.0より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

❺ ［追加→］をクリックします。

ハーフトーン調整名が［プリンタ］の［一覧］に表示されます。

❻ ［適用］をクリックします。

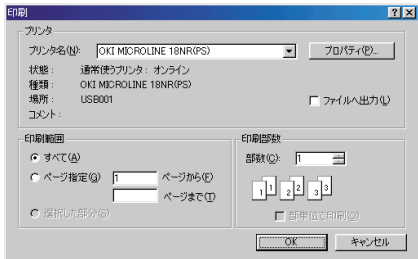
1つのPPDファイルにWindowsMe/98/95では1つ、WindowsXP/2000/NT4.0では最大6つまで「ハーフトーン調整名」を登録できます。

❼ PPDへの登録完了画面で［OK］をクリックします。

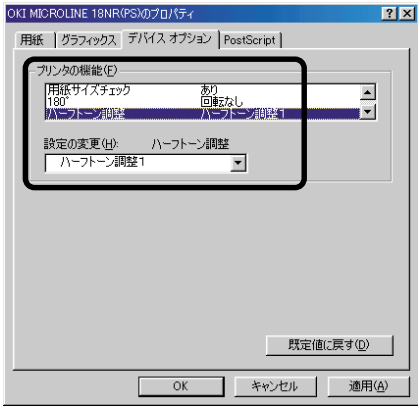
❽ ［終了］をクリックし、PS ハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバでハーフトーン調整名を選択し、印刷します。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

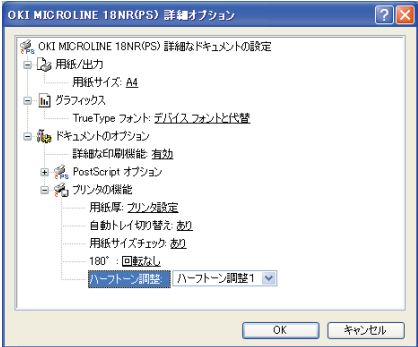
❹ ［デバイスオプション］タブの［ハーフトーン調整］で、手順1の❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

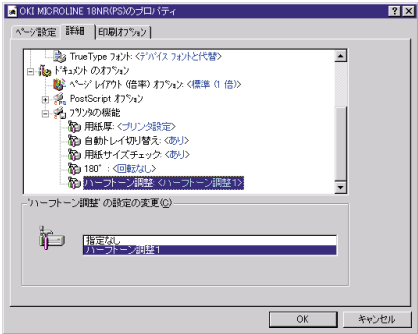
❸ ［詳細設定］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［用紙/品質］タブの［詳細設定］をクリックします。

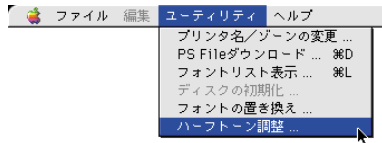
❺ ［ハーフトーン調整］で、手順1の❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

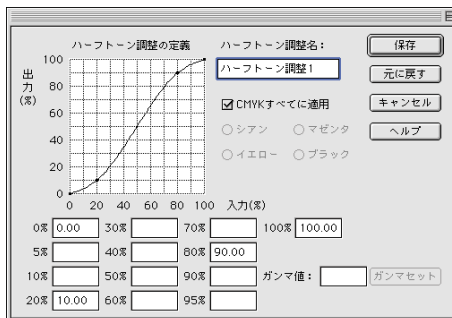
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックし、［詳細］タブの［ハーフトーン調整］で、手順1の❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

Macintosh PS プリンタドライバ

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ] メニューから [ハーフトーン調整 ...] を選択します。

❸ [新規ハーフトーン調整の定義]をクリックします。

❹ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力し、[保存] をクリックします。

- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、[ガンマセット] をクリックします。自動的に13の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は0.01から99.99まで指定できます。1.0より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

❺ ハーフトーン調整を登録するPPDファイルが選択されているか確認します。

別のPPDファイルが選択されている場合は[PPDファイルの選択...] をクリックし、目的のPPDファイルを選択します。

❻ [追加→] をクリックします。

新しいハーフトーン濃度調整名が右の登録一覧に表示されます。

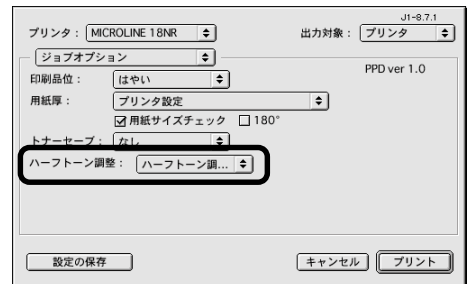
❼ [保存] をクリックします。

登録一覧に表示しているハーフトーン濃度調整名を、選択されているPPDファイルに登録します。

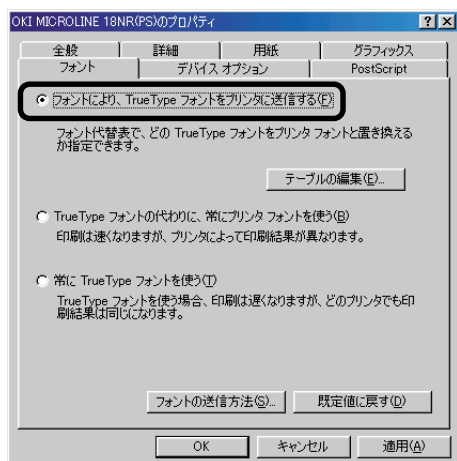
❽ MicrolinePS Utility を終了します。

❾ アプリケーションを起動します。

❿ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

⓫ [ジョブオプション] パネルの [ハーフトーン調整] で、手順❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

プリンタフォントに置き換えて印刷したい

TrueTypeフォントをプリンタ内蔵フォントに置き換えて印刷できます。

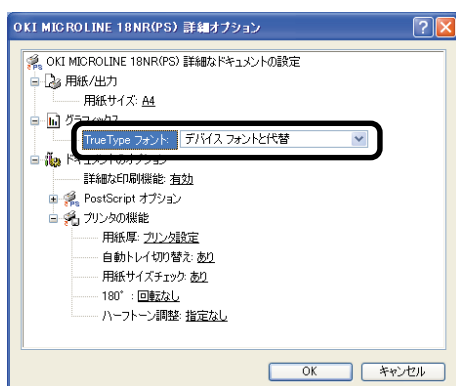
- Macintosh PCL プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- フォントの置き換え機能は、文書の体裁は保持しますが、フォントのデザインを再現させるものではありません。フォントのデザインを正確に印刷する必要がある場合は、フォントの置き換え機能を無効にしてください。
- 独自のプリンタドライバを使用している一部のアプリケーションでは、フォントの置き換え機能が正常に動作しないことがあります。
- WindowsXP/2000/NT4.0 PSプリンタドライバ、WindowsNT4.0 PCLプリンタドライバは、コンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 18NR（PS）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［フォント］タブの［フォントにより、TrueTypeフォントをプリンタに送信する］を選択します。

❹ ［テーブルの編集］をクリックし、［フォント代替表］でTrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換え、［OK］をクリックします。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 18NR（PS）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

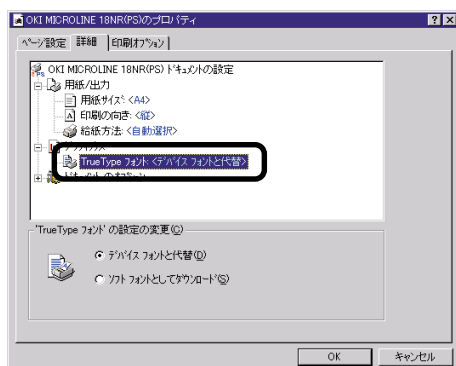
❸ ［デバイスの設定］タブの［フォント代替表］で、TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換え、［OK］をクリックします。

❹ アプリケーションの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❻ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❼ ［TrueTypeフォント］で［デバイスフォントと代替］にします。

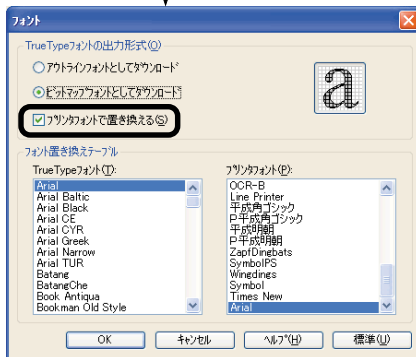
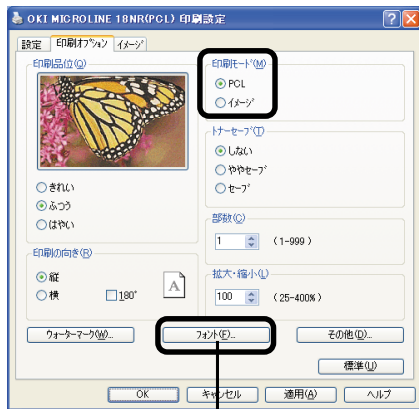
WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 18NR（PS）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［フォント代替表］で、TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換え、［OK］をクリックします。

❹ アプリケーションの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

❺ ［プロパティ］をクリックし、［詳細］タブの［TrueTypeフォント］で［デバイスフォントと代替］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

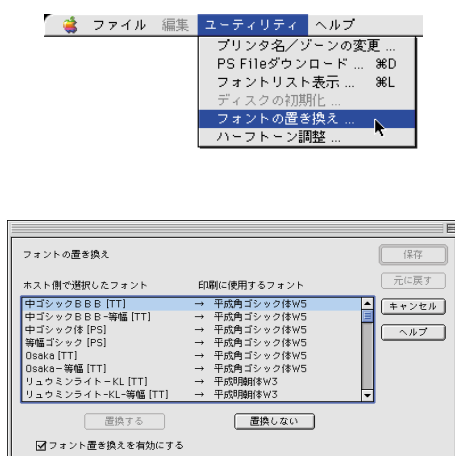
❷ プロパティを開きます。
WindowsMe/98/95の場合
［OKI MICROLINE 18NR（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。
WindowsXP/2000の場合
［OKI MICROLINE 18NR（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。
WindowsNT4.0の場合
［OKI MICROLINE 18NR（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸ ［印刷オプション］タブの［印刷モード］で［PCL］を選択します。

❹ ［フォント］をクリックします。

❺ ［プリンタフォントで置き換える］にチェックを付けます。

❻ ［フォント置き換えテーブル］でTrueTypeフォントをどのプリンタフォントに置き換えるかを指定します。

Macintosh PS プリンタドライバ

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ ［ユーティリティ］メニューから［フォントの置き換え ...］を選択します。

❸ ［ホスト側で選択したフォント］ごとに、［置換する］または［置換しない］をクリックします。

❹ ［フォント置き換えを有効にする］にチェックを付けます。

❺ ［保存］をクリックします。

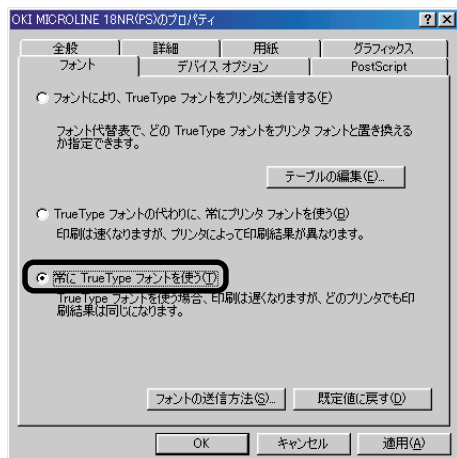
ホスト側で選択したフォント		フォント種別	印刷に使用するフォント
通常表示	Adobe Illustrator等の表示		
中ゴシックBBB	ChuGothicBBB Medium	TT	平成角ゴシック体W5
中ゴシックBBB-等幅	ChuGothicBBB Medium Mono	TT	平成角ゴシック体W5
中ゴシック体	GothicBBB-Medium	PSE	平成角ゴシック体W5
等幅ゴシック	―	PSE	平成角ゴシック体W5
Osaka	Osaka Regular	TT	平成角ゴシック体W5
Osaka-等幅	Osaka Regular-Mono	TT	平成角ゴシック体W5
リュウミンライト-KL	Ryumin Light KL	TT	平成明朝体W3
リュウミンライト-KL-等幅	Ryumin Light KL Mono	TT	平成明朝体W3
細明朝体	Ryumin Light	PSE	平成明朝体W3
等幅明朝	―	PSE	平成明朝体W3
平成角ゴシック	HeiseiKakuGothic W5	TT	平成角ゴシック体W5
平成明朝	HeiseiMincho W3	TT	平成明朝体W3
本明朝-M	HonMincho-Medium	TT	平成明朝体W3
B太ゴB101	FutoGoB101-Bold	PSE	平成角ゴシック体W5
B太ミンA101	FutoMinA101-Bold	PSE	平成明朝体W3
見出ゴMB31	MidashGo-MB31	PSE	平成角ゴシック体W5
見出ミンMA31	MidashMin-MA31	PSE	平成明朝体W3

TT：True Typeフォント
PSE：PostScript Emulationフォント

コンピュータのフォントで印刷したい

TrueTypeフォントを画面表示のまま出力できます。

- Macintosh PCLプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは設定の必要はありません。
- 印刷時間が長くなることがあります。
- WindowsNT4.0 PCLプリンタドライバは、コンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 18NR（PS）］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［フォント］タブで［常に、TrueTypeフォントを使う］を選択します。

WindowsXP/2000 PSプリンタドライバ

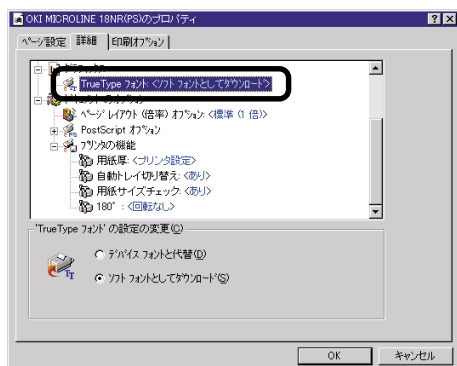
❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

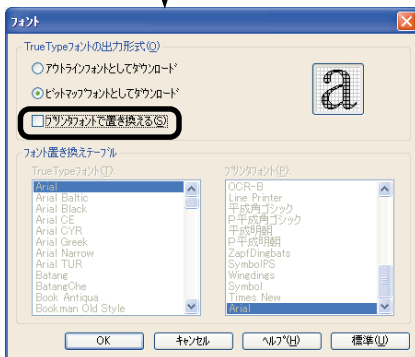
❺ ［TrueTypeフォント］で［ソフトフォントとしてダウンロード］を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［詳細］タブの［TrueTypeフォント］で［ソフトフォントとしてダウンロード］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

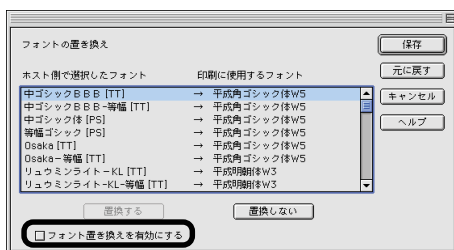
❷ プロパティを開きます。
WindowsMe/98/95の場合
　［OKI MICROLINE 18NR（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。
WindowsXP/2000の場合
　［OKI MICROLINE 18NR（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。
WindowsNT4.0の場合
　［OKI MICROLINE 18NR（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸ ［印刷オプション］タブの［印刷モード］で［PCL］を選択します。

❹ ［フォント］をクリックします。

❺ ［プリンタフォントで置き換える］のチェックを外します。

アウトラインフォントとしてダウンロード
　プリンタでフォントイメージを作成します。
ビットマップフォントとしてダウンロード
　プリンタドライバでフォントイメージを作成します。

Macintosh PS プリンタドライバ

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ ［ユーティリティ］メニューから［フォントの置き換え ...］を選択します。

❸ ［フォント置き換えを有効にする］のチェックを外します。

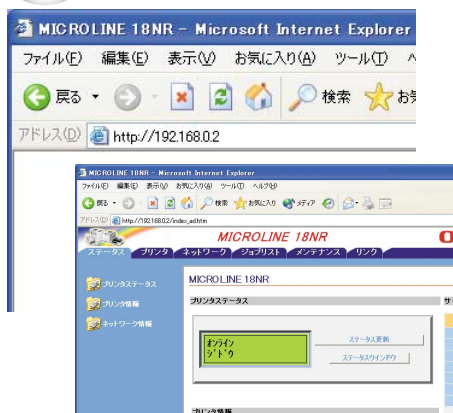
❹ ［保存］をクリックします。

コンピュータからプリンタの状態を確認したい

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態を確認できます。

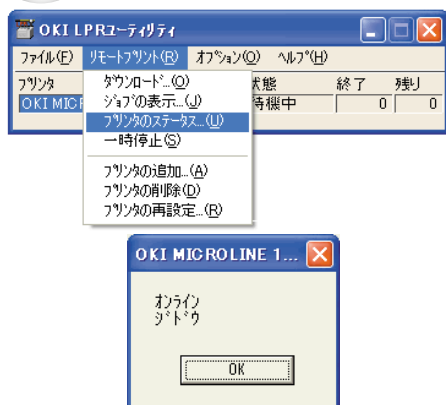
メモ　PrintSuperVision、ネットワークステータスモニタでも行うことができます。詳しくはユーザーズマニュアル（ネットワーク編）をご覧ください。

Web ブラウザを使う場合

注　TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Webブラウザを起動し、［アドレス］にプリンタのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

OKI LPR ユーティリティを使う場合

注　TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ OKI LPR ユーティリティを起動します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［プリンタのステータス...］または［ジョブの表示...］を選択します。

プリンタの表示パネルの内容が表示されます。

NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）を使う場合

注　TCP/IP または IPX/SPX でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ ［NIC セットアップユーティリティ（Admin Manager）］を起動します。

❷ ［ステータス］メニューの［プリンタステータス］を選択します。

プリンタステータス画面が表示されます。

コンピュータからプリンタの設定を変更したい

コンピュータからプリンタの設定の一部を変更することができます。

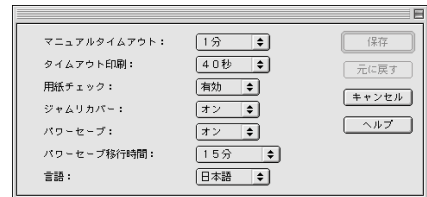
MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

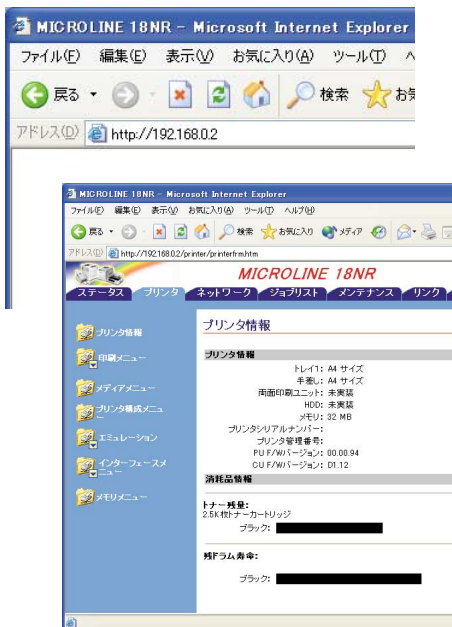
- 現在の設定内容によって、各画面の表示内容は異なります。
- ［タイムアウト印刷］の値は［5秒］、［20秒］、［40秒］、［5分］、［無限］のみ表示・設定できます。プリンタでこれ以外に設定されている場合は近い値を表示します。
- Mac OS X では利用できません。

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utilty］をダブルクリックします。

❷ 設定を変更し、［設定］をクリックします。

メイン画面

オプション画面

Web ブラウザを使う場合

注 TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Webブラウザを起動し、［アドレス］にプリンタのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷ ページ左側にある［ログイン］をクリックします。

❸ ［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に「イーサネットアドレスの下6桁」を入力し、［OK］をクリックします。

メモ　イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）で確認できます。

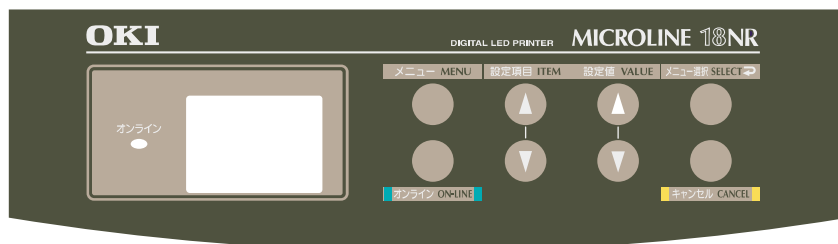
❹ 上のタブから設定を変更したい項目の種類をクリックします。項目の詳細が左のフレームに表示されますので、設定を変更したい項目をクリックします。

❺ 必要な変更をした後、［送信］をクリックします。

プリンタの操作パネルから IP アドレスを設定したい

プリンタの操作パネルから、プリンタのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定できます。

注 IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど、重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上、IPアドレスを設定してください。

メモ プリンタのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、「NICセットアップユーティリティ（AdminManager）」で設定することもできます。「NICセットアップユーティリティ（AdminManager）」での設定方法は、ユーザーズマニュアル（ネットワーク編）をご覧ください。

❶ 「メニュー」スイッチを数回押し、［NETWORK］を表示します。

❷ 「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、［TCP/IP ／ ENABLE］を表示します。

［TCP/IP ／DISABLE］と表示されている場合、「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを押して［TCP/IP ／ENABLE］を表示し、「メニュー選択」スイッチを押し、値の右端に［＊］を付けます。

❸ 「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを押し、［IP　1/4］を表示します。

❹ 「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、IPアドレスの1桁目の値を表示します。

❺ 「メニュー選択」スイッチを押し、値の右端に［＊］を付けます。

以後、❸〜❺を繰り返し、［IP　2/4］〜［IP　4/4］、［MASK　1/4］〜［MASK　4/4］、（サブネットマスク）、［GATE　1/4］〜［GATE　4/4］、（ゲートウェイアドレス）を設定します。

❻ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

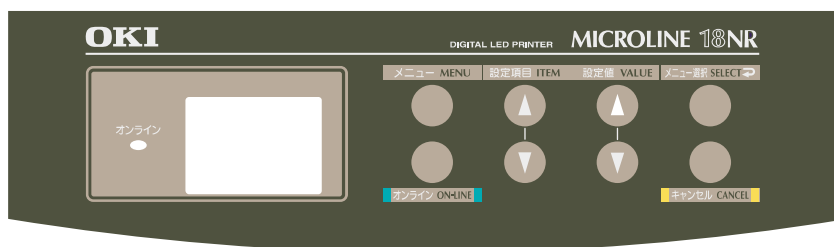
注 設定変更後、新たに設定した値が有効になるまで時間がかかる場合があります。

8章

プリンタ内蔵フォントを確認したい

プリンタに内蔵しているフォントを確認できます。

操作パネルを使う場合

注　プリントジョブアカウンティングで［ローカルプリント］が［印刷不可］に設定されている場合には印刷できません。

❶ 用紙カセットにA4用紙をセットします。

注　A4用紙以外で印刷を行うとすべての内容が印刷されないことがあります。

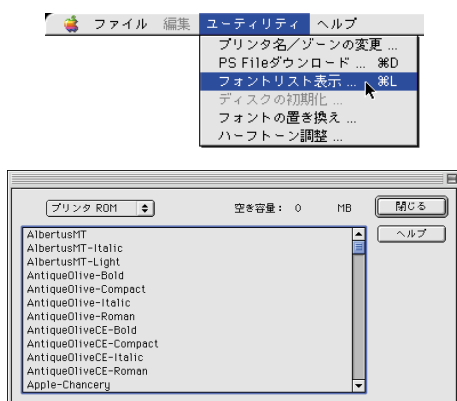
❷ 「メニュー」スイッチを押し、［インフォ／メニュー］を表示します。

❸ 「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、［PCL　フォント／インサツ］（PCLモードの場合）または［PS　フォント／インサツ］（PSモードの場合）を表示します。

❹ 「メニュー選択」スイッチを押します。

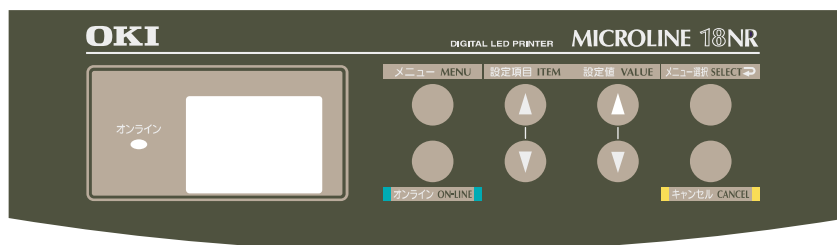
フォントリストが印刷されます。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

プリンタに内蔵しているすべてのポストスクリプトフォント名を確認することができます。

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ ［ユーティリティ］メニューから［フォントリスト表示...］を選択するとプリンタに標準で内蔵しているフォントが表示されます。

パラレルインタフェースの転送モードを変更したい

コンピュータと転送モードを一致させる場合に変更してください。

双方向セントロを無効にするには

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[セントロ／メニュー] を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[ソウホウコウ] を表示します。

❸「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、[ムコウ] を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押し、値の右側に [＊] を付けます。

❺「オンライン」スイッチを押し、[オンライン] にします。

❻ プリンタの電源を OFF/ON します。

ECP を無効にするには

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[セントロ／メニュー] を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[ECP] を表示します。

❸「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、[ムコウ] を表示します。

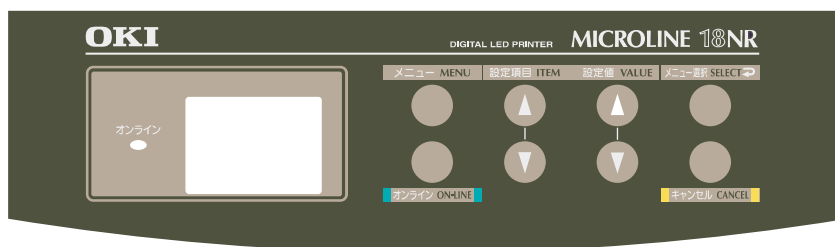
❹「メニュー選択」スイッチを押し、値の右側に [＊] を付けます。

❺「オンライン」スイッチを押し、[オンライン] にします。

❻ プリンタの電源を OFF/ON します。

ポストスクリプトエラーを印刷したい

ポストスクリプトエラーが発生したときに、エラー内容を印刷することができます。

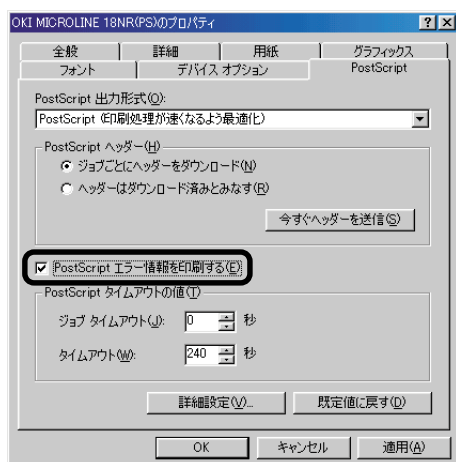
操作パネルを使う場合

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[システムコウセイ／メニュー］を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[エラーレポート］を表示します。

❸「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、[オン］を表示します。

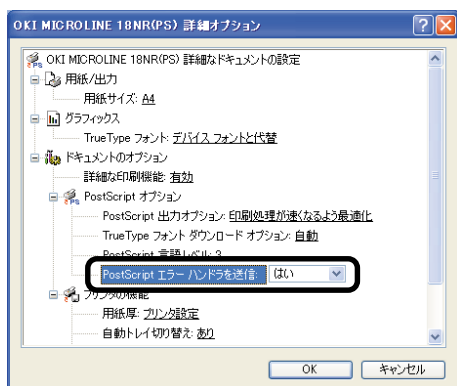
❹「メニュー選択」スイッチを押し、値の右端に［＊］を付けます。

❺「オンライン」スイッチを押し、[オンライン］にします。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［OKI MICROLINE 18NR（PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ］を選択します。

❸［PostScript］タブの［PostScript エラー情報を印刷する］にチェックを付け、[OK］をクリックします。

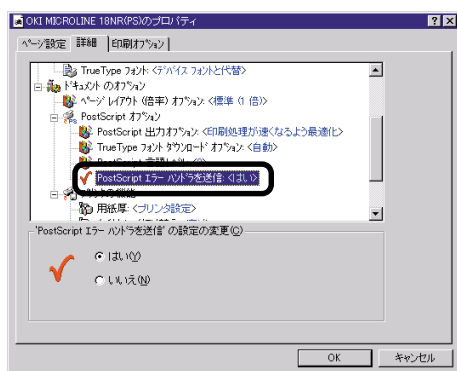
WindowsXP/2000 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

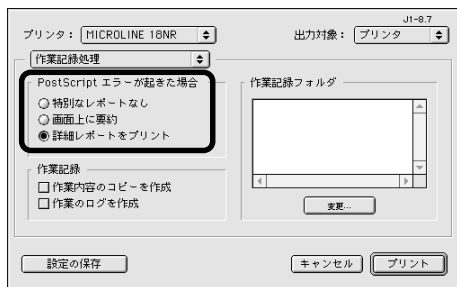
❺ ［PostScriptオプション］-［PostScriptエラーハンドラを送信］で［はい］を選択します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［詳細］タブの［ドキュメントのオプション］-［PostScriptオプション］-［PostScriptエラーハンドラを送信］で［はい］を選択します。

Macintosh PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［作業記録処理］パネルの［PostScriptエラーが起きた場合］で［詳細レポートをプリント］を選択します。

Mac OS X PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

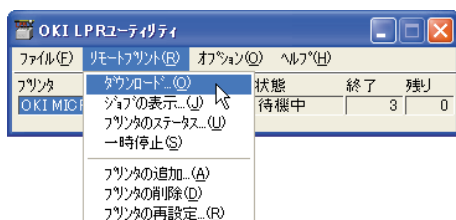
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［エラー処理］パネルの［PostScriptエラー］で［詳細レポートをプリント］を選択します。

ポストスクリプトファイルをダウンロードしたい

ポストスクリプトファイルをプリンタにダウンロードすることができます。

OKI LPR ユーティリティ（Windows）を使う場合

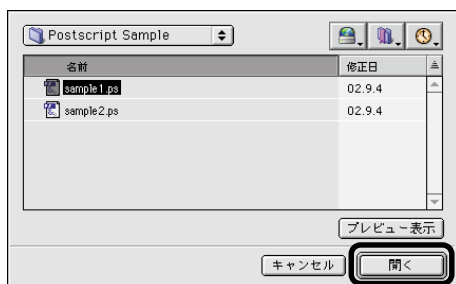
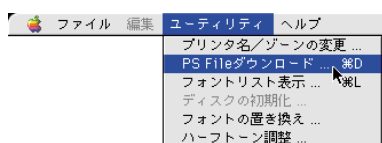
注　TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ OKI LPR ユーティリティを起動します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［ダウンロード ...］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

注　Mac OS X では利用できません。

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ ［ユーティリティ］メニューから「PS File ダウンロード ...」を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

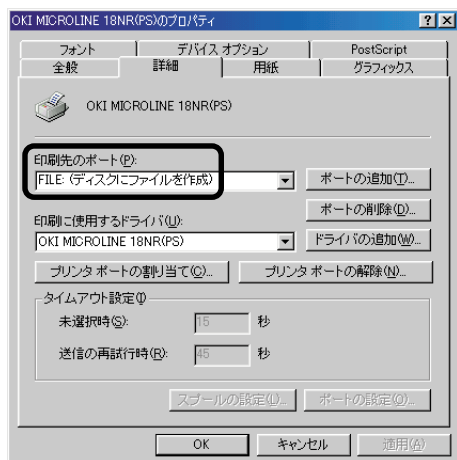
ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。

メモ　ポストスクリプトファイルを MicrolinePS Utilityアイコン上にドラッグ＆ドロップすることでもダウンロードできます。

印刷データをファイルに出力したい

印刷データをファイルに書き出して保存することができます。

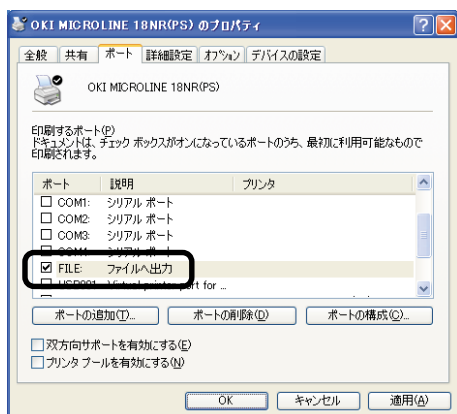
- Macintosh PCL プリンタドライバ、Mac OS X PCL プリンタドライバでは利用できません。
- WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95 プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 18NR（**）］（**はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［詳細］タブの［印刷先のポート］で［FILE:］を選択し、［OK］をクリックします。

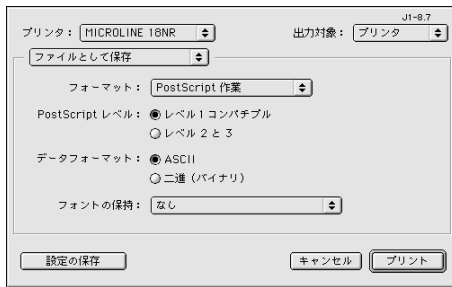
❹ 印刷します。［ファイルへ出力］で［ファイル名］を入力し、［フォルダ］を選択し［OK］をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0 プリンタドライバ

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 18NR（**）］（**はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［ポート］タブの［印刷するポート］で［FILE:］を選択し、［OK］をクリックします。

❹ 印刷します。［ファイルへ出力］で［出力先ファイル名］を入力し、［OK］をクリックします。

Macintosh PS プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［出力対象］で［ファイル］を選択します。

❹ ［ファイルとして保存］パネルで設定を行います。

フォーマット
　ポストスクリプトファイル形式を指定します。
PostScript レベル
　出力するプリンタに合わせて指定します。
データフォーマット
　ASCII/二進（バイナリ）形式のいずれで保存するか、指定します。
　バイナリのPostScript言語ファイルを転送する場合、通信サービスがバイナリデータ転送をフルサポートしている必要があります。
フォントの保持
　ファイルにダウンロード可能なフォントを含めるか指定します。PostScriptフォントしか使っていない場合は「なし」を選択します。

❺ 印刷します。［名前］に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、［保存］をクリックします。

Mac OS X PS プリンタドライバ

注 Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では利用できません。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［出力オプション］パネルで［ファイルとして保存］にチェックを付け、［フォーマット］で［PostScript］を選択し、［保存］をクリックします。

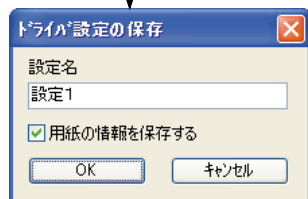
❹ ［別名で保存］に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、［保存］をクリックします。

8章

プリンタドライバの設定に名前を付けて保存したい

プリンタドライバで設定した内容を保存することができます。

- Windows PS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- WindowsNT4.0 ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

Windows PCL の場合

1. ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）
2. プロパティを開きます。

   WindowsMe/98/95 の場合

   ［OKI MICROLINE 18NR（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

   WindowsXP/2000 の場合

   ［OKI MICROLINE 18NR（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

   WindowsNT4.0 の場合

   ［OKI MICROLINE 18NR（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。
3. 各設定を変更します。
4. ［設定］タブの［ドライバ設定］で［追加］を選択します。
5. ［設定名］に設定の名前を入力し、［OK］をクリックします。

   用紙の情報を保存する
   チェックを付けると、［設定］タブの［用紙］の設定も保存します。
6. ［ドライバ設定］で、使用する設定を選択し、［OK］をクリックします。

   メモ　最大14個まで保存することができます。

アプリケーション別の対応

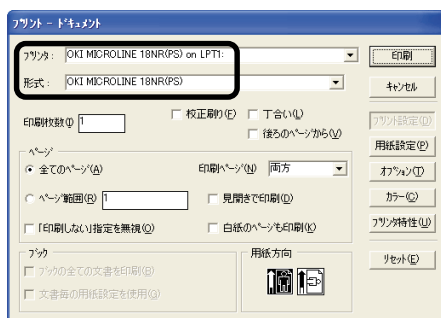
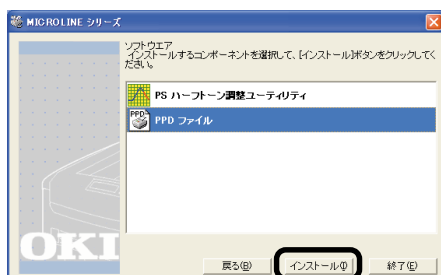
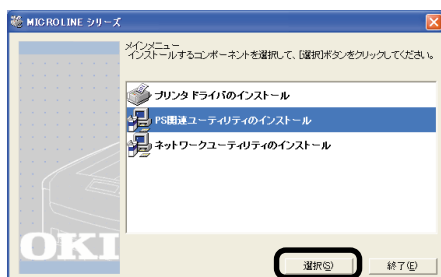
PSプリンタドライバで印刷する場合に注意が必要なアプリケーションについて簡単に説明します。詳しくは各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

Adobe PageMaker（Windows 版）

Adobe PageMaker7.0J/6.5J/6.0J で印刷するには、PPD ファイルのインストールが必要です。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROM のアイコンを開きます。

〈WindowsXP の場合〉

[スタート] - [マイコンピュータ] - [リムーバブル記憶域のあるデバイス] の [MICROLINE] アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0の場合〉

[マイコンピュータ] を開き、[MICROLINE] アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❹「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

❺ [PS関連ユーティリティのインストール] を選択し、[選択] をクリックします。

❻ [PPD ファイル] を選択し、[インストール] をクリックします。

❼「インストール先の選択」画面が表示されたら、[参照] をクリックして、インストールするフォルダを選択し、[OK] をクリックします。

> PageMaker7.0J の場合
> pagemaker7.0J¥rsrc¥japanese¥ppd4
> PageMaker6.5J の場合
> pm65j¥rsrc¥japanese¥ppd4
> PageMaker6.0J の場合
> pm6¥rsrc¥ppd4

❽ [次へ] をクリックします。

PPD ファイルがインストールされます。

❾ [完了] をクリックします。

❿ [終了] をクリックします。

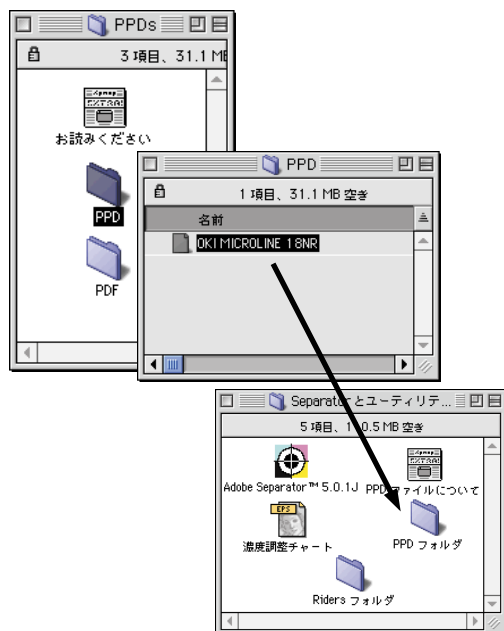
⓫ PageMaker の [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。

⓬ [プリンタ] と [形式] で [OKI MICROLINE 18NR(PS)] を選択します。

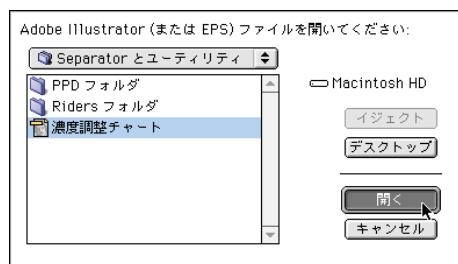
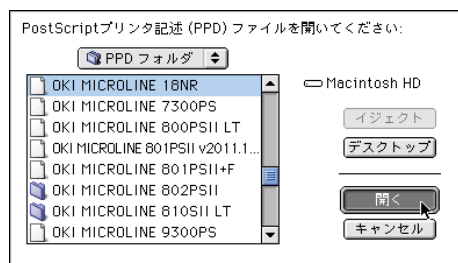
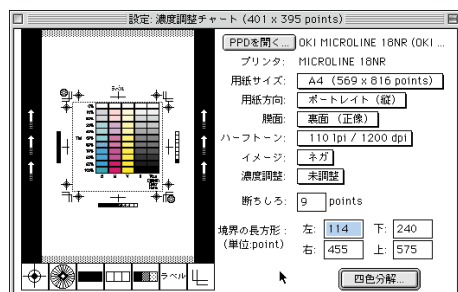
[プリンタ]はプリンタドライバを、[形式]はPPDファイルを意味しています。

⓭ [印刷] をクリックします。

Adobe Separator（Macintosh 版 Illustrator5.5J に付属）

カラーセパレーションをするためには、PPD ファイルのインストールが必要です。

❶ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」の「PPDs」フォルダの「PPD」フォルダを開きます。

❷ 「OKI MICROLINE 18NR」を「Adobe Separator」が入っているフォルダの「PPD フォルダ」にコピーします。

❸ 「Adobe Separator」をダブルクリックして、起動します。

❹ 印刷するファイルを選択し、[開く]をクリックします。

❺ 使用するプリンタのPPDファイルを選択し、[開く] をクリックします。
一度PPDファイルを選択していると、この画面は表示されません。

❻ 「プリンタ」と「PPD ファイル」が正しく設定されているか確認します。

8
章

QuarkXPress4.1/4.0J（Windows 版、Macintosh 版）

- ［ファイル］メニューの［印刷］-［出力］パネルで［ハーフトーン］を必ず［プリンタ］にしてください。［計算値］にすると印刷が粗くなります。
- Macintosh と USB で接続している場合は［ファイル］メニューの［印刷］-［プリンタフォント］タブでプリンタフォントを検索することができません。
  プリンタフォントを使うときは［プリンタフォント］タブの［ポストスクリプト印刷］の欄をクリックして使用するフォントにチェックを付けてください。

Adobe Photoshop7.0/6.0/5.5/5.0J（Windows 版、Macintosh 版）

- ［ファイル］メニューの［用紙設定］で［ハーフトーンスクリーン］をクリックし、［プリンタの初期設定値を使う］を必ずONにしてください（Macintoshでは［ファイル］メニューの［用紙設定］-［Adobe PhotoshopXX］パネルの［ハーフトーンスクリーン］）。OFF にして印刷すると印刷が粗くなることがあります。
- ハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含むEPSファイルは、印刷が粗くなることがあります。プリンタに最適なハーフトーンで印刷するには、EPSファイルの作成時にハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含めないようにしてください。

Adobe Illustrator10.0/9.0/8.0/7.0J（Windows 版、Macintosh 版）

- ［ファイル］メニューの［書類設定］で［プリンタの初期設定値を使う］を必ずON にしてください。OFF にして印刷すると印刷が粗くなることがあります。

Microsoft PowerPoint（Windows 版、Macintosh 版）

- 白抜き文字や色のついた文字が黒色で印刷される場合は、次の設定を行ってください。

PowerPoint 2001 以前（Windows 版、Macintosh 版）

- ［ファイル］メニューの［印刷］（Macintosh版は［ファイル］メニューの［印刷］-［Microsoft PowerPoint］パネル）で［グレースケール］のチェックを外してください。

PowerPoint 2002（Windows 版）

- ［ファイル］メニューの［印刷］の［カラー／グレースケール］で［カラー］を選択してください。

PowerPoint X for Mac（Macintosh 版）

- ［ファイル］メニューの［印刷］-［Microsoft PowerPoint］パネルの［アウトプット］で［カラー］を選択してください。

プリントジョブアカウンティングの使用について

注 オプションのプリントジョブアカウンティングが必要です。

メモ プリンタがプリントジョブアカウンティングに追加されている場合は、メニューマップ印刷で「JobAccounting：ON」と印刷されます。

最大登録可能なユーザ ID 数、および最大保存可能ログ数

ユーザ ID の最大登録可能数およびログの最大保存可能数は以下のとおりです。ただし、ユーザ ID とログは保存領域が同じため、両方の最大値まで保存できるわけではありません。

登録可能ユーザ ID 数	保存可能ログ数
5000ID	約 280 ログ

課金額の定義の追加

ML 18NR の各消耗品の標準価格と寿命枚数から算出した課金額の定義を追加するには、プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアがインストールされているコンピュータで以下を行ってください。課金額の設定方法は「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

❶ プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアが起動していたら終了します。

❷ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ [スタート]-[ファイル名を指定して実行] を選択します。

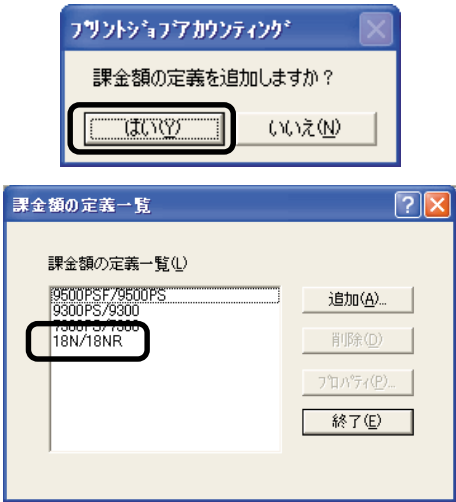
❹ [名前] に「D:¥UTILITY¥PRINTJA¥CPADD」（CD-ROM ドライブが D: のとき）を入力し、[OK] をクリックします。

❺ 確認画面で [はい] をクリックします。

❻ 完了画面で [はい] をクリックします。

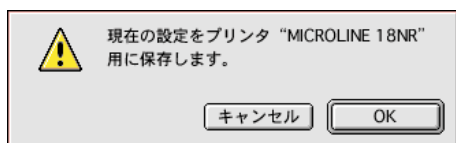
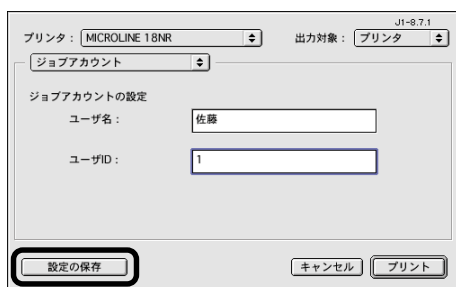
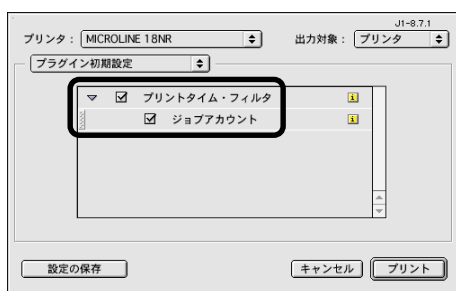
❼ プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアを起動します。

❽ [プリンタ] メニューから [課金額の定義] を選択します。

❾ 課金額の定義一覧に「18N/18NR」が追加されていることを確認します。

Macintosh でのユーザ名、ユーザ ID の設定方法

Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでのユーザ名、ユーザ ID の設定方法です。Windowsプリンタドライバでの設定方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

- ML18NR では、Macintosh でのユーザ名、ユーザ ID の設定方法が「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」に記述された方法と異なります。
- 設定しないで印刷した場合、ユーザ名は空白、ユーザ ID は 0 でログに残ります。
- Mac OS X PS プリンタドライバはユーザ名、ユーザ ID を設定することができません。ユーザ名は空白、ユーザ ID は 0 でログに残ります。

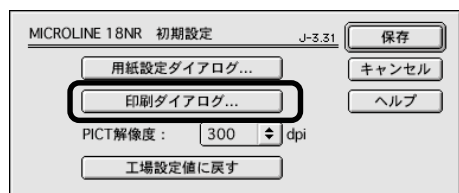
Macintosh PS プリンタドライバ

❶［ファイル］メニューの［デスクトップのプリント］を選択します。

❷［プラグイン初期設定］パネルで［プリントタイム・フィルタ］と［ジョブアカウント］にチェックを付けます。

❸［ジョブアカウント］パネルでユーザ名、ユーザ ID を設定し、［設定の保存］をクリックします。

❹［OK］をクリックします。

❺［キャンセル］をクリックし、ダイアログを閉じます。

Macintosh PCL プリンタドライバ

❶［アップル］メニューの［セレクタ］を選択します。

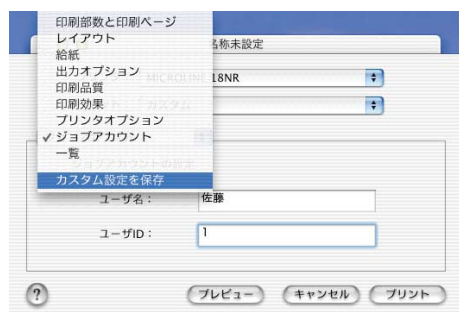
❷［ML18NR(USB)］アイコンをクリックします。

❸ 右側のボックスからプリンタ名を選択し、［設定］をクリックします。

❹［印刷ダイアログ］をクリックします。

❺［ジョブアカウント］パネルでユーザ名、ユーザ ID を設定し、［設定］をクリックします。

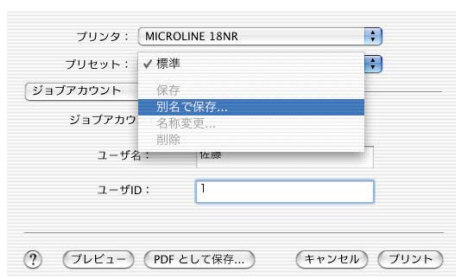
❻［保存］をクリックし、セレクタを閉じます。

Mac OS X PCL プリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［ジョブアカウント］パネルでユーザ名、ユーザ ID を設定します。

注　ユーザ名は半角および全角で 40 文字以内にしてください。

❹ Mac OS X 10.1.5以前の場合は、［カスタム設定を保存］を選択します。

Mac OS X 10.2 以降の場合は、［プリセット］で［別名で保存］を選択し、「プリセットを保存」画面で適当な設定名を入力し、［OK］をクリックします。

❺ ［キャンセル］をクリックします。

注 印刷時に［プリセット］で保存した設定名（Mac OS X 10.1.5 以前の場合は［カスタム］）を選択してください。

8章

プリンタの設定項目一覧

プリンタの操作パネルで行う設定項目です。Windows や Macintosh からも設定できる項目もあります。

ユーザメニュー

1. 「メニュー」スイッチを押し、目的のカテゴリを表示します。
2. 「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを押し、設定する項目を表示します。
3. 「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、目的の値を表示します。
4. 「メニュー選択」スイッチを押し、値の右側に［＊］を付けます。
5. 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

注　「セントロメニュー」、「USB メニュー」、「メモリメニュー」カテゴリの設定値を変更したときは、電源を OFF/ON してください。

「設定値」の網かけは初期の値です。
◎：プリンタドライバの設定が優先
○：プリンタの設定が優先またはプリンタで設定が必要
ー：プリンタドライバ使用時は無効

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac (PS)	Mac (PCL)
	設定項目(上段)	設定値(下段)					
インフォ メニュー ＊ ＊プリントジョブアカウンティングで［ローカルプリント］が［印刷不可］に設定されている場合には印刷できません。	メニューマップ	インサツ	メニューリストを印刷します。	ー	ー	ー	ー
	ファイルリスト	インサツ	ジョブファイルリストを印刷します。	ー	ー	ー	ー
	PCL　フォント	インサツ	PCL のフォントリストを印刷します。	ー	ー	ー	ー
	PSE　フォント	インサツ	PSE のフォントリストを印刷します。	ー	ー	ー	ー
	ESCP フォント	インサツ	ESC/P のフォントリストを印刷します。	ー	ー	ー	ー
	DEMO1	インサツ	デモ印刷をします。	ー	ー	ー	ー
インサツ メニュー	コピー　マイスウ	1 ～ 999	コピー枚数を設定します。	◎	◎	◎	◎
	テサシ　インサツ	オン オフ	手差しトレイから印刷するかどうか設定します。	◎	◎	◎	◎
	キュウシ　トレイ＊	トレイ 1 トレイ 2 MPF	給紙トレイを指定します。 ＊：装着したトレイのみ表示	◎	◎	◎	◎
	ジドウ　トレイ	オン＊ オフ	自動トレイ切り替えをするか設定します。 ＊：オプションの拡張給紙ユニット、またはマルチパーパスフィーダ装着時はオンが初期値	◎	◎	◎	◎

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac (PS)	Mac (PCL)
	設定項目(上段)	設定値(下段)					
インサツ メニュー	トレイ　ジュン	シタ　ホウコウ ウエ　ホウコウ キュウシトレイ	自動トレイ選択 / 自動トレイ切り替え時の選択順序を指定します。	○	○	○	○
	サイズ　チェック	ユウコウ ムコウ	用紙サイズのチェックをするかどうか設定します。	◎	◎	◎	○
	カイゾウド	V1200 600	解像度を設定します。	◎	◎	◎	◎
	トナーセーブ	ムコウ ヤヤ　セーブ セーブ	トナー使用量を節約するか設定します。	◎	◎	◎	◎
	インサツホウコウ	タテ ヨコ	印刷方向を設定します。	◎	◎	◎	◎
	1ページ	5ギョウ ⟆ 64ギョウ ⟆ 128ギョウ	1ページあたりの行数を設定します。この数値は印刷方向が変更された場合、行間を保つために自動的に調整されます。	−	−	−	−
	ヘンシュウ	カセット LETTER EXEC LEGAL14 LEGAL13 A4　サイズ A5　サイズ A6　サイズ B5　サイズ カスタム COM-9 COM-10 MONARCH DL　ENV C5　ENV ハガキ オウフク フウトウ1 フウトウ2 フウトウ3 フウトウフリー	コンピュータから用紙サイズを指定しなかった場合の用紙編集サイズを設定します。 「カセット」を選択すると現在選択されているトレイの用紙サイズを編集サイズとします。	−	−	−	−
メディア メニュー	T1　サイズ	A4　サイズ A5　サイズ A6　サイズ B5　サイズ LEGAL14 LEGAL13 LETTER EXEC カスタム	トレイ1の用紙サイズを設定します。	○	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac (PS)	Mac (PCL)
	設定項目(上段)	設定値(下段)					
メディア メニュー	T1　タイプ	フツウシ レターヘッド ボンドシ サイセイシ アツガミ アライカミ	トレイ１の用紙種類を設定します。	―	―	―	―
	T1　ウエイト	ウスイカミ フツウシ ヤヤアツイカミ アツイカミ ヨリアツイカミ	トレイ１の用紙厚を設定します。	◎	◎	◎	◎
	T2　サイズ＊	A4　サイズ A5　サイズ B5　サイズ LEGAL14 LEGAL13 LETTER EXEC カスタム	トレイ２の用紙サイズを設定します。 ＊：オプションの拡張給紙ユニット装着時のみ表示	○	○	○	○
	T2　タイプ＊	フツウシ レターヘッド ボンドシ サイセイシ アツガミ アライカミ	トレイ２の用紙種類を設定します。 ＊：オプションの拡張給紙ユニット装着時のみ表示	―	―	―	―
	T2　ウエイト＊	ウスイカミ フツウシ ヤヤアツイカミ アツイカミ ヨリアツイカミ	トレイ２の用紙厚を設定します。 ＊：オプションの拡張給紙ユニット装着時のみ表示	◎	◎	◎	◎
	MPF　サイズ＊	A4　サイズ A5　サイズ A6　サイズ B5　サイズ LETTER EXEC カスタム COM-9 COM-10 MONARCH DL　ENV C5　ENV ハガキ オウフク フウトウ１ フウトウ２ フウトウ３ フウトウフリー	マルチパーパスフィーダの用紙サイズを設定します。 ＊：オプションのマルチパーパスフィーダ装着時のみ表示	○	○	○	○

8章

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac (PS)	Mac (PCL)
	設定項目(上段)	設定値(下段)					
メディア メニュー	MPF　タイプ *	フツウシ レターヘッド OHP ラベルシ ボンドシ サイセイシ アツガミ アライカミ	マルチパーパスフィーダの用紙種類を設定します。 *：オプションのマルチパーパス フィーダ装着時のみ表示	◎	◎	◎	◎
	MPF　ウエイト *	ウスイカミ フツウシ ヤヤアツイカミ アツイカミ ヨリアツイカミ	マルチパーパスフィーダの用紙厚を設定します。 *：オプションのマルチパーパス フィーダ装着時のみ表示	◎	◎	◎	◎
	テサシ　サイズ	A4　サイズ A5　サイズ A6　サイズ B5　サイズ LEGAL14 LEGAL13 LETTER EXEC カスタム COM-9 COM-10 MONARCH DL　ENV C5　ENV ハガキ オウフク フウトウ1 フウトウ2 フウトウ3 フウトウフリー	手差しトレイの用紙サイズを設定します。	○	○	○	○
	テサシ　タイプ	フツウシ レターヘッド OHP ラベルシ ボンドシ サイセイシ アツガミ アライカミ	手差しトレイ の用紙種別を設定します。	◎	◎	◎	◎
	テサシ　ウエイト	ウスイカミ フツウシ ヤヤアツイカミ アツイカミ ヨリアツイカミ	手差しトレイ の用紙厚を設定します。	◎	◎	◎	◎

8章

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac (PS)	Mac (PCL)
	設定項目(上段)	設定値(下段)					
メディア メニュー	カスタムサイズ	インチ ミリ	カスタム用紙を設定するときの単位を設定します。	◎	◎	◎	◎
	ヨウシハバ	89　ミリ 〜 210　ミリ 〜 216　ミリ	カスタム用紙の用紙幅を設定します。 「カスタムサイズ」で［インチ］を選択するとインチに換算した値になります。	◎	◎	◎	◎
	ヨウシナガサ	147　ミリ 〜 297　ミリ 〜 356　ミリ	カスタム用紙の用紙長さを設定します。 「カスタムサイズ」で［インチ］を選択するとインチに換算した値になります。	◎	◎	◎	◎
システムコウセイメニュー	パワーセーブ	1　フン 5　フン 10　フン 15　フン 30　フン 60　フン 120　フン 240　フン	パワーセーブモードに移行するまでの時間を設定します。	○	○	○	○
	エミュレーション	ジドウ PCL PS3　エミュ ESC/P	プリンタ言語を選択します。	○	○	○	○
	セントロモード	ASCII RAW	パラレルからのデータのPS通信プロトコルのモードを指定します。	○	−	−	−
	USB　モード	ASCII RAW	USBからのデータのPS通信プロトコルのモードを指定します。	○	−	○	−
	NW　モード	ASCII RAW	ネットワークからのデータのPS通信プロトコルのモードを指定します。	○	−	○	−
	アラーム　クリア	オン ジョブ	PSE：この設定によらずジョブ中のみエラーを表示します。 PCL：復旧可能エラー表示の解除タイミングを設定します。 ［オン］は「オンライン」スイッチを押すまでエラーを表示します。 ［ジョブ］は次のジョブを受信するまでエラーを表示します。	−	○	−	○
	エラーカイジョ	オン オフ	メモリオーバフロー発生時、自動的にプリンタを復旧させるかどうかを設定します。	○	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac (PS)	Mac (PCL)
	設定項目(上段)	設定値(下段)					
システムコウセイメニュー	テサシタイム	オフ 30　ビョウ 60　ビョウ	手差し印刷時の用紙がセットされるのを待つ時間を設定します。この指定時間内に用紙がセットされない場合は、ジョブをキャンセルします。	○	○	○	○
	ウェイト　タイム	オフ 5ビョウ 〜 40ビョウ 〜 300ビョウ	ジョブデータを受信しなくなってから強制印刷を行うまでの時間を設定します。なお、PSプリンタドライバ使用時はジョブをキャンセルします。	○	○	○	○
	トナーエラー	ケイゾク テイシ	［トナーロー］が表示されたときに印刷を継続させるかどうかを設定します。［テイシ］にすると「オンライン」を押すまでオフライン状態になります。	○	○	○	○
	ジャムリカバ	オン オフ	紙づまりの後、つまったページから印刷するかどうかを設定します。	○	○	○	○
	エラーレポート	オン オフ	内部エラー発生時にエラーレポートを印刷するかどうかを設定します。	○	○	○	○
	ゲンゴ	ニホンゴ エイゴ	操作パネルの表示言語を設定します。	○	○	○	○
PCL メニュー	フォント	レジデント DLLフォント	使用するフォントの場所を設定します。［DLLフォント］はRAMにフォントがダウンロードされている場合に表示されます。	—	—	—	—
	フォントNo.	I000 〜 S001 〜	使用するフォントの番号を選択します。	—	—	—	—
	フォントピッチ	0.44 〜 10.00 〜 99.99	フォントの幅を設定します。（単位：Character/inch）［フォントNo.］で選択されたフォントが固定スペースのアウトラインフォントの場合のみ表示されます。	—	—	—	—
	フォントサイズ	4.00 〜 12.00 〜 999.75	フォントの高さを設定します。（単位：ポイント）［フォントNo.］で選択されたフォントが比例スペーシングのアウトラインフォントの場合のみ表示されます。	—	—	—	—
	シンボルセット	WIN3.1J PC-8 …	シンボルセットを選択します。	—	—	—	—
	A4ハバ	78　ケタ 80　ケタ	A4用紙の自動改行する桁数を設定します。	—	—	—	—

8章

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac (PS)	Mac (PCL)
	設定項目(上段)	設定値(下段)					
PCL メニュー	ハクシスキップ	オフ オン	空白ページを印刷しないようにするか設定します。	−	○	−	○
	CR　キノウ	CR ノミ CR+LF	CR コード受信時の動作を設定します。	−	−	−	−
	LF　キノウ	LF ノミ LF+CR	LF コード受信時の動作を設定します。	−	−	−	−
	PR　マージン	ノーマル 1/5　インチ 1/6　インチ	用紙の印刷不可能領域を設定します。［ノーマル］は 1/4 インチです。	−	−	−	−
	ペン　ホセイ	オン オフ	細い線が見えるように補正します。	−	−	−	−
ESC/P メニュー	カンジショタイ	ジドウ ミンチョウ カクゴシック	使用する漢字書体を選択します。	−	−	−	−
	ANK ショタイ	ジドウ ローマン サンセリフ	使用する ANK 書体を選択します。	−	−	−	−
	ANK コード	カタカナ グラフィック	ANK 文字コード表の拡張グラフィックス / カタカナコードを設定します。	−	−	−	−
	ANK ゼロ	ノーマル スラッシュ　0	ANK のゼロをスラッシュ付きで印刷するか設定します。	−	−	−	−
	シュクショウ	トウバイ A4X2 → A4 B4 → A4 15" → A4 10" → A4	用紙の縮小方法を設定します。	−	−	−	−
	アタマダシイチ	5 ミリ 8.5 ミリ 22 ミリ	頭出し位置を設定します。 *：実際の印刷位置は± 2mm 程度の範囲で変化する場合があります。	−	−	−	−
	ヨコ　オフセット	-1.0 ミリ 〜 0 ミリ 〜 +20.0 ミリ	編集方向に対し、全体の印刷位置を 0.5mm 単位で横方向に補正します。プラス方向に設定すると印刷位置を右に補正します。	−	−	−	−
	タテ　オフセット	-15.0 ミリ 〜 0 ミリ 〜 +15.0 ミリ	編集方向に対し、全体の印刷位置を 0.5mm 単位で縦方向に補正します。プラス方向に設定すると印刷位置を上に補正します。	−	−	−	−
	ミギ　マージン	ヨウシハバ 136 ケタ	右マージンを設定します。右マージンを超える文字がある場合、［オートフッカイ］で設定した処理を行います。	−	−	−	−

8章

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac (PS)	Mac (PCL)
	設定項目(上段)	設定値(下段)					
ESC/P メニュー	CR　キノウ	CR ノミ CR+LF	CR コード受信時の動作を設定します。	－	－	－	－
	オートフッカイ	CR + LF ムコウ	右マージンを越える文字がある場合の動作を設定します。	－	－	－	－
セントロ メニュー	セントロ	ユウコウ ムコウ	パラレルインタフェースの有効 / 無効を設定します。	○	○	－	－
	ソウホウコウ	ユウコウ ムコウ	双方向通信の有効 / 無効を設定します。	○	○	－	－
	ECP	ユウコウ ムコウ	ECP モードの有効 / 無効を設定します。	○	○	－	－
	ACK　ハバ	セマイ フツウ ヒロイ	コンパチ受信時の ACK 幅を設定します。	○	○	－	－
	ACK/BUSY	IN WHILE	コンパチ受信時の BUSY 信号と ACK 信号の出力順序を設定します。	○	○	－	－
	I-PRIME	3u　SEC 50u　SEC ムコウ	I-PRIME 信号の有効時間 / 無効を設定します。	○	○	－	－
	オフライン REC	ユウコウ ムコウ	オフライン状態や復旧可能なエラーが発生しているときでもデータ受信を行うかどうか設定します。	○	○	－	－
USB メニュー	USB	ユウコウ ムコウ	USB インタフェースの有効 / 無効を設定します。	○	○	○	○
	ソフト　リセット	ユウコウ ムコウ	ソフトリセットコマンドの有効 / 無効を設定します。	○	○	○	○
	オフライン REC	ユウコウ ムコウ	オフライン状態や復旧可能なエラーが発生しているときでもデータ受信を行うかどうか設定します。	○	○	○	○
NETWORK	TCP/IP	ENABLE DISABLE	TCP/IP プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○	－
	NETBEUI	ENABLE DISABLE	NETBEUI プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○	－
	NETWARE	ENABLE DISABLE	NetWare プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○	－
	ETHERTALK	ENABLE DISABLE	EtherTalk プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○	－
	FRAME	AUTO 802.2 802.3 ETHER II SNAP	フレームタイプを設定します。 NETWARE が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	－

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac (PS)	Mac (PCL)
	設定項目(上段)	設定値(下段)					
NETWORK	IP ADDR.	AUTO MANUAL	IP アドレスの設定方法を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	IP　1/4	000 〜 192 〜 255	IP アドレスの 1 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	IP　2/4	000 〜 168 〜 255	IP アドレスの 2 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	IP　3/4	000 〜 100 〜 255	IP アドレスの 3 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	IP　4/4	000 〜 100 〜 255	IP アドレスの 4 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	MASK　1/4	000 〜 255	サブネットマスクの 1 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	MASK　2/4	000 〜 255	サブネットマスクの 2 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	MASK　3/4	000 〜 255	サブネットマスクの 3 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	MASK　4/4	000 〜 255	サブネットマスクの 4 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	GATE　1/4	000 〜 192 〜 255	ゲートウェイアドレスの 1 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	GATE　2/4	000 〜 168 〜 255	ゲートウェイアドレスの 2 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−

8章

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac (PS)	Mac (PCL)
	設定項目(上段)	設定値下段)					
NETWORK	GATE　3/4	000 ⟆ 100 ⟆ 255	ゲートウェイアドレスの３桁目を設定します。 TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	GATE　4/4	000 ⟆ 254 ⟆ 255	ゲートウェイアドレスの４桁目を設定します。 TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	INIT NIC	EXECUTE	ネットワークメニューの初期化を行うかを指定します。	○	○	○	−
	WEB/IPP	ENABLE DISABLE	WEB/IPP の有効 / 無効を設定します。 TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	TELNET	ENABLE DISABLE	TELNET の有効 / 無効を設定します。 TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	FTP	ENABLE DISABLE	FTP の有効 / 無効を設定します。 TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	SNMP	ENABLE DISABLE	SNMP の有効 / 無効を設定します。	○	○	○	−
	LAN	NORMAL SMALL	NORMAL：一般にはこの設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つ HUB に接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが 2,3 台の小さな LAN に接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL：コンピュータが 2,3 台の小さな LAN から大型の LAN まで対応しますが、スパニングツリー機能を持つ HUB に接続した場合に効率よく動作できない場合があります。	○	○	○	−
	HUB LINK	AUTO 100FULL 100HALF 10FULL 10HALF	HUB LINK SETTING を設定します。	○	○	○	−

8
章

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac (PS)	Mac (PCL)
	設定項目(上段)	設定値(下段)					
メモリ メニュー	ジュシン BUF	ジドウ 0.1MB 0.2MB 0.5MB	受信バッファサイズを設定します。	○	○	○	○
	リソースセーブ	ジドウ オフ 0.1MB 0.2MB 0.5MB	フォントキャッシュエリアのサイズを設定します。	○	○	○	－
システム ホセイ メニュー	X　ホセイ	0.00 ミリ +0.25 ミリ 〜 +2.00 ミリ -2.00 ミリ 〜 -0.25 ミリ	全体の印刷位置を 0.25mm 単位で横方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○	○	○	○
	Y　ホセイ	0.00 ミリ +0.25 ミリ 〜 +2.00 ミリ -2.00 ミリ 〜 -0.25 ミリ	全体の印刷位置を 0.25mm 単位で縦方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○	○	○	○
	テサシ　シテイ	1 2 〜 59	PCL コマンドでの給紙先指定コマンドで、手差し指定の # を設定します。	－	－	－	－
	トレイ 1　シテイ	1 〜 59	PCL コマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ 1 指定の # を設定します。	－	－	－	－
	トレイ 2　シテイ *	1 〜 5 〜 59	PCL コマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ 2 指定の # を設定します。 *：オプションの拡張給紙ユニット装着時のみ表示	－	－	－	－
	MPF　シテイ *	1 〜 6 〜 59	PCL コマンドでの給紙先指定コマンドで、マルチパーパスフィーダ指定の # を設定します。 *：オプションのマルチパーパスフィーダ装着時のみ表示	－	－	－	－
	インサツイチ	チュウオウ ヒダリヨセ	用紙セットの基準位置を設定します。通常［チュウオウ］で使用します。	－	○	－	○
	ヘキサ　ダンプ	ジッコウ	16 進ダンプで印刷します。16 進ダンプの印刷を終了するには、電源を OFF にします。	○	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac (PS)	Mac (PCL)
	設定項目(上段)	設定値(下段)					
メンテナンスメニュー	EEPROM	リセット	メニューの設定値を初期化します。	○	○	○	○
	ドラムカウンタ	リセット	イメージドラムカートリッジのカウンタを0に戻します。 イメージドラムカートリッジ交換時以外にこの操作をすると、交換時期が正しく表示されません。	○	○	○	○
	パワーセーブ	ユウコウ ムコウ	パワーセーブモードの有効/無効を設定します。有効時のパワーセーブ移行時間はシステムコウセイメニューの［パワーセーブ］から変更してください。	○	○	○	○
	セッティング	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。かすれる場合に値を変更します。	○	○	○	○
	インサツノウド	0 +1 +2 -2 -1	印刷濃度を設定します。	○	◎	○	◎
	クリーニング	インサツ	クリーニング印刷を実行します。	○	○	○	○
ジュミョウメニュー	トータル　PG	nnnnnn	総印刷枚数を表示します。	○	○	○	○
	ドラム　ノコリ	xxx%	ドラムの残り寿命を表示します。	○	○	○	○
	トナー　ノコリ	xxx%	トナーの残量を表示します。	○	○	○	○

＊　トナー残量は目安です。イメージドラムカートリッジの交換時に使用途中のトナーカートリッジを付けると、正しい残量は表示されません。

アドミニストレータメニュー

ユーザメニューの各カテゴリの有効/無効を設定できます。無効にしたカテゴリはユーザメニューに表示されません。
システム管理者の方のみ使用してください。

1. プリンタの電源をOFFにします。
2. 「設定項目▲」スイッチと「設定項目▼」スイッチを押しながらプリンタの電源をONにします。[OP MENU] が表示されたら指を離します。
3. 「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを押し、設定する項目を表示します。
4. 「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、目的の値を表示します。
5. 「メニュー選択」スイッチを押し、値の右側に［✱］を付けます。
6. 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン] にします。

メモ メニューマップ印刷では無効にしたカテゴリも印刷されます。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容
	設定項目(上段)	設定値(下段)	
OP MENU	ALL	ENABLE DISABLE	ユーザメニューのすべてのカテゴリの有効/無効を設定します。
	INFO.	ENABLE DISABLE	インフォメニューの有効/無効を設定します。
	PRINT	ENABLE DISABLE	インサツメニューの有効/無効を設定します。
	MEDIA	ENABLE DISABLE	メディアメニューの有効/無効を設定します。
	SYS CONF	ENABLE DISABLE	システムコウセイメニューの有効/無効を設定します。
	PCL MENU	ENABLE DISABLE	PCL メニューの有効/無効を設定します。
	ESC/P	ENABLE DISABLE	ESC/P メニューの有効/無効を設定します。
	PARALLEL	ENABLE DISABLE	セントロメニューの有効/無効を設定します。
	USB	ENABLE DISABLE	USB メニューの有効/無効を設定します。
	NETWORK	ENABLE DISABLE	NETWORK メニューの有効/無効を設定します。
	MEMORY	ENABLE DISABLE	メモリメニューの有効/無効を設定します。
	ADJUST	ENABLE DISABLE	システムホセイメニューの有効/無効を設定します。
	MAINTE	ENABLE DISABLE	メンテナンスメニューの有効/無効を設定します。
	USAGE	ENABLE DISABLE	ジュミョウメニューの有効/無効を設定します。

現在の設定を確認します（メニューマップ印刷）

注 プリントジョブアカウンティングで［ローカルプリント］が［印刷不可］に設定されている場合は印刷できません。

1. 用紙カセットにA4用紙をセットします。

   注 A4用紙以外で印刷を行うと、全ての内容が印刷されないことがあります。

2. 「メニュー」スイッチを押し、［インフォ／メニュー］を表示します。
3. 「設定項目▲」スイッチを押し、［メニューマップ／インサツ］を表示します。
4. 「メニュー選択」スイッチを押します。

メニュー印刷が開始されます。

（サンプル）

MenuMap　　MICROLINE 18NR

Printer Serial Number: Printer Asset Number:
CU version : D1.17 [100.91 S2.2.4p B01.29c 000 00000000 00000000 00000000 F32 J0]
PU version : 00.00.96 [PI02.08]
PCL Program version : 01.41 PSE Program version : 3010. PSE61
Total Memory Size : 32 MB Flash Memory : 2 MB [F32]
JP1

項目	設定
インフォメーションメニュー	
メニューマップ印刷	
ファイルリスト印刷	
PCL フォント印刷	
PSE フォント印刷	
ESC/P フォント印刷	
DEMO1	
印刷メニュー	
コピー枚数	1
手差し印刷	オフ
給紙トレイ	トレイ 1
自動トレイ切り替え	オフ
トレイ選択順序	下方向
用紙サイズチェック	有効
解像度	600 DPI
トナーセーブモード	無効
印刷方向	縦
1 ページ行数	64 行
編集サイズ	カセット用紙サイズ
メディアメニュー	
トレイ 1 用紙サイズ	A4 サイズ
トレイ 1 用紙タイプ	普通紙
トレイ 1 用紙厚	普通紙
手差し用紙サイズ	A4 サイズ
手差し用紙タイプ	普通紙
手差し用紙厚	普通紙
カスタムサイズ設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル
システム構成メニュー	
パワーセーブ移行時間	15 分
エミュレーション	自動
セントロ PS モード	ASCII
USB PS モード	RAW
NETWORK PS モード	RAW
アラーム解除	オン
エラー自動解除	オフ
手差しタイムアウト	60 秒
タイムアウト印刷	40 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
エラーレポート印刷	オフ
言語	日本語
PCL エミュレーションメニュー	
使用フォント	内蔵フォント
フォント No.	1000
フォントサイズ	12.00 ポイント
シンボルセット	WIN3.1J
A4 印字幅	78 桁
ESC/P エミュレーションメニュー	
漢字フォント	自動
ANK フォント	自動
ANK コード	カタカナ
ANK ゼロ書体	ノーマル
縮小印刷	等倍
頭出し位置	8.5 ミリメートル
横オフセット	0 ミリメートル
縦オフセット	0 ミリメートル
右マージン	用紙幅
CR 機能	CR のみ
自動復改機能	CR + LF
セントロメニュー	
セントロ	有効
双方向	有効
ECP	有効
ACK 幅	狭い
ACK / BUSY タイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効
オフライン受信	無効
USB メニュー	
USB	有効
ソフトリセット	無効
オフライン受信	無効
NETWORK MENU	
TCP/IP	ENABLE
NETBEUI	ENABLE
NETWARE	ENABLE
ETHERTALK	ENABLE
FRAME TYPE	AUTO
IP ADDRESS SET	AUTO
IP ADDRESS	192.168.100.100
SUBNET MASK	255.255.255.000
GATEWAY ADDRESS	192.168.100.254
INITIALIZE NIC?	
WEB/IPP	ENABLE
TELNET	ENABLE
FTP	ENABLE
SNMP	ENABLE
LAN	NORMAL
HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE
メモリメニュー	
受信バッファサイズ	自動
リソースセーブエリア	オフ
システム補正メニュー	
X 補正	0.00 ミリメートル
Y 補正	0.00 ミリメートル
PCL 手差しトレイ ID#	2

8章

設定値を初期化します

・ ユーザメニューのみ初期化されます。
・「NETWORK」カテゴリの初期化はカテゴリ内の［INIT NIC］で行ってください。

❶「メニュー」スイッチを数回押し、［メンテナンス／メニュー］にします。

❷「設定項目▲」スイッチを押し、［EEPROM ／リセット］にします。

❸「メニュー選択」スイッチを押します。

設定が初期化されます。

9 困ったときには

操作編

操作パネルのメッセージ

プリンタの操作パネルに表示されるメッセージと対処方法を説明します。
ここで説明する処置をしても良くならない場合は、お客様相談センター（279ページ）へご連絡ください。

ｘｘｘｘ：プリント言語
ｔｔｔｔ：トレイ
ｍｍｍｍ：用紙サイズ
ｐｐｐｐ：用紙タイプ
ｃｃｃｃ：カバー

ステータス

LCD(日本語)	内　容
■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■	操作パネルのテストを行っています。しばらくお待ちください。
RAMﾁｪｯｸ ********	RAM チェック中です。
ｲﾆｼｬﾙﾁｭｳ	プリンタの初期化中です。
ｵﾝﾗｲﾝ xxxx	オンラインです。印刷データを受信できます。
ｵﾌﾗｲﾝ xxxx	オフラインです。印刷する場合は「オンライン」スイッチを押してオンラインにしてください。
ﾌｧｲﾙ ｱｸｾｽﾁｭｳ	プリントジョブアカウンティングでフラッシュメモリにアクセスしています。フラッシュメモリが破損する場合がありますので、表示中は電源を OFF しないでください。
ｼﾞｭｼﾝﾁｭｳ xxxx	データ受信中です。
ｼｮﾘﾁｭｳ xxxx	データ受信中または受信したデータを処理しています。
ﾃﾞｰﾀｱﾘ xxxx	受信したデータが残っています。次に送られてくるデータを待っています。
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	印刷しています。
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ kkk/lll	コピー枚数が２部以上のとき、現在印刷しているコピー部数を表示します。
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ	受信したデータをキャンセルしています。
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ (ｼﾞｬﾑ)	受信したデータをキャンセルしています。（紙づまり復旧後の動作）
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ (ｷｮｶ ﾅｼ)	プリントジョブアカウンティングで印刷が許可されていないユーザからジョブが送信され、ジョブがキャンセルされました。 （1）使用制限で印刷不可が設定されているユーザのジョブ （2）設定された制限値を超えたユーザのジョブ
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ (LOGﾌﾙ)	プリントジョブアカウンティングのログフル時の操作が「ジョブをキャンセルする」に設定されているとき、ログを格納する領域が足りなくなり、ジョブがキャンセルされました。

LCD(日本語)	内　容
ｳｫｰﾑｱｯﾌﾟ	ウォーミングアップ中です。
ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ	省電力モード中です。
ﾃﾞﾓﾍﾟｰｼﾞ ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	テストページを印刷しています。
ﾌｫﾝﾄ ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	フォントリストを印刷しています。
ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	メニューマップを印刷しています。
ﾌｧｲﾙﾘｽﾄ ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	ファイルリストを印刷しています。
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	クリーニング印刷をしています。
ﾈｯﾄﾜｰｸ ｼｮｷｶﾁｭｳ	ネットワークボードの設定を変更しています。
ｻｲｷﾄﾞｳ n	プリンタが再起動の命令を受信しました。
EEPROM ﾘｾｯﾄﾁｭｳ	EEPROMの初期化中です。

ワーニング

印刷可能なメッセージです。メッセージによってはそのまま使用すると故障の原因になる場合がありますので、対処方法に従って対処してください。

LCD(日本語)	内　容
ﾄﾅｰﾛｰ	トナー残量が少なくなっています。トナーカートリッジを交換してください。
ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ	［トナーロー］のまま使用すると表示されます。トナーカートリッジを交換してください。
ﾄﾅｰ ｾﾝｻｰ	トナーセンサに異常があります。電源をOFF/ONしてください。イメージドラムカートリッジを交換してください。
ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ	イメージドラムカートリッジの交換時期です。イメージドラムカートリッジおよびトナーカートリッジを交換してください。
ﾑｺｳ ﾃﾞｰﾀ	無効なデータを受信しました。「オンライン」スイッチを押してください。
PSE ｴﾗｰ	データ処理中にポストスクリプトエラーが発生しました。このジョブデータに文法上の誤りがあるか、データが複雑すぎます。データを整理してください。
tttt ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	tttt トレイに用紙がありません。トレイに用紙をセットしてください。
ﾄﾚｲ2 ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	セカンドトレイのフロントカバーが開いています。印刷するときはカバーを閉めてください。

LCD(日本語)	内　容
ﾌｧｲﾙｼｽﾃﾑ ﾌﾙ	フラッシュメモリがいっぱいです。 プリントジョブアカウンティングでログの取得をしてください。
ﾌｧｲﾙｶｷｺﾐｷﾝｼ	フラッシュメモリに書き込めません。 プリントジョブアカウンティングでログの取得をしてください。
ｷｮｶｻﾚﾃｲﾅｲID. ｲﾝｻﾂﾄﾘｹｼ	プリントジョブアカウンティングで「データクリア（キョカナシ）」によりジョブがキャンセルされた後、表示されます。「オンライン」スイッチを押すまで表示され続けます。
ﾛｸﾞ ﾊﾞｯﾌｧﾌﾙ. ｲﾝｻﾂﾄﾘｹｼ	プリントジョブアカウンティングで「データクリア（LOG フル）」によりジョブがキャンセルされた後、表示されます。「オンライン」スイッチを押すまで表示され続けます。
ﾌｧｲﾙｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ｴﾗｰ nnn	フラッシュメモリに不正なアクセスがありました。 プリントジョブアカウンティングでログの取得をしてください。

エラー

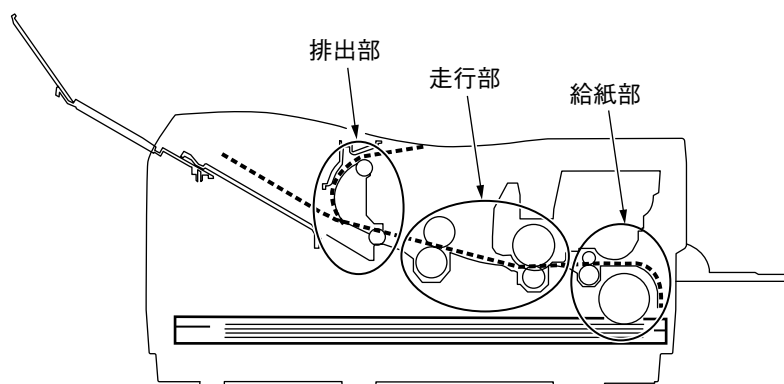
プリンタが停止するメッセージです。対処方法に従って対処してください。

LCD(日本語)	内　容
ﾃｻｼ mmmm ﾖｳｼｾｯﾄ	手差しトレイに用紙が入っていません。mmmm の用紙を手差しトレイにセットしてください。
mmmmｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ tttt ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	tttt トレイに用紙が入っていません。mmmm の用紙をセットしてください。
ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ ﾄﾚｲ2 ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	セカンドトレイのフロントカバーが開いています。カバーを閉めてください。
mmmm/ppppｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ tttt ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	用紙のタイプが違います。表示されているタイプの用紙を tttt トレイに入れてください。
mmmm/ppppｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ tttt ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	用紙のサイズが違います。表示されているサイズの用紙を tttt トレイに入れてください。
ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	［トナーロー］のまま使用すると表示されます。トナーカートリッジを交換してください。
ﾒﾓﾘｰ ｵｰﾊﾞﾌﾛｰ	印刷データが複雑すぎます。データを整理してください。［オンライン」スイッチを押すと現在の設定で処理できた部分を印刷します。ESC/P の文字定義（ダウンロード）、外字定義に使用するメモリが不足しています。ESC/P の文字定義・外字定義の数を減らしてください。
ﾄｯﾌﾟｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ ﾖｳｼｻｲｽﾞ ｴﾗｰ	用紙サイズが違っているか、複数枚重なって給紙されました。スタッカカバーを開けてつまっている用紙を取り除いて、正しいサイズの用紙と交換してください。
ﾁｪｯｸ tttt ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	tttt トレイから用紙を引き込めませんでした。スタッカカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。
ﾄｯﾌﾟｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	用紙走行中に紙づまりが発生しました。スタッカカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。
ﾄｯﾌﾟｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ ﾊｲｼ ｼﾞｬﾑ	用紙排出中に紙づまりが発生しました。スタッカカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。

LCD(日本語)	内　容
ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ	イメージドラムカートリッジの交換時期で、トナーが少なくなりました。イメージドラムカートリッジおよびトナーカートリッジを交換してください。
ﾄﾞﾗﾑｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ ﾄﾞﾗﾑ ｴﾗｰ	ドラムが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ ﾄｯﾌﾟｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	スタッカカバーが開いています。カバーを閉めてください。
ﾎｽﾄ I/F NETWORK	ネットワークエラーが発生しています。電源を OFF/ON してください。
ｴﾗｰ nnn	プリンタに異常が発生しています。電源を OFF/ON してください。 復旧しない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。 nnn が下記の場合は、次の処置も行ってください。 180：オプションの拡張給紙ユニット、マルチパーパスフィーダを取り付け直してください。 182：オプションの拡張給紙ユニット、マルチパーパスフィーダを取り付け直してください。 00X（X は 1 ～ 9 または A ～ F）：イーサネット接続をしている場合はプリンタの電源を OFF にし、接続しているイーサネットケーブルを外してプリンタをネットワークから切り離してください。その状態でプリンタの電源を ON にし、操作パネルからメニューマップ印刷を行ってください。メニューマップ印刷が正常にできる場合は、ネットワークシステムがコンピュータウィルスの被害を受けている可能性があります。コンピュータウィルスを駆除してください。プリンタ自体にコンピュータウィルスが感染することはありません。

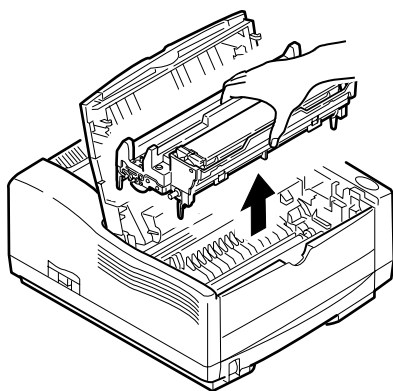
9
章

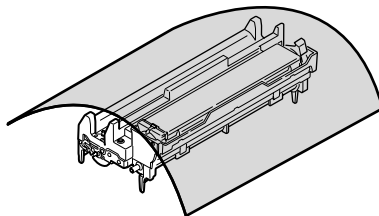
紙づまりになったとき

紙づまりが発生すると操作パネルに[ヨウシサイズ　エラー]、[ヨウシジャム]、[ハイシジャム]メッセージが表示されます。次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1 スタッカカバーを開きます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

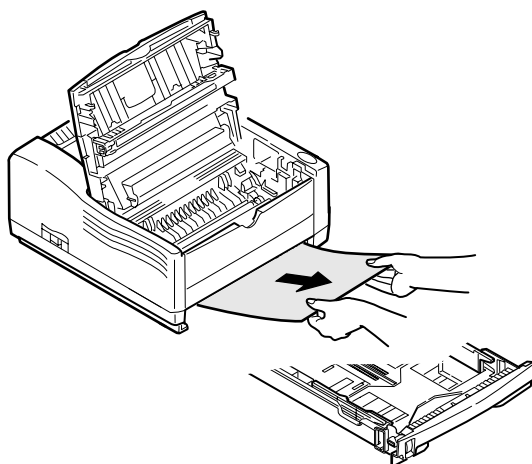
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

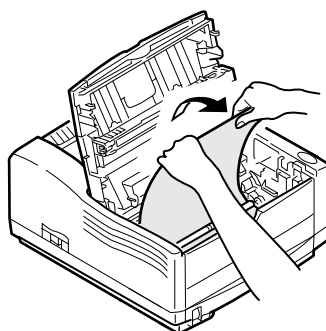
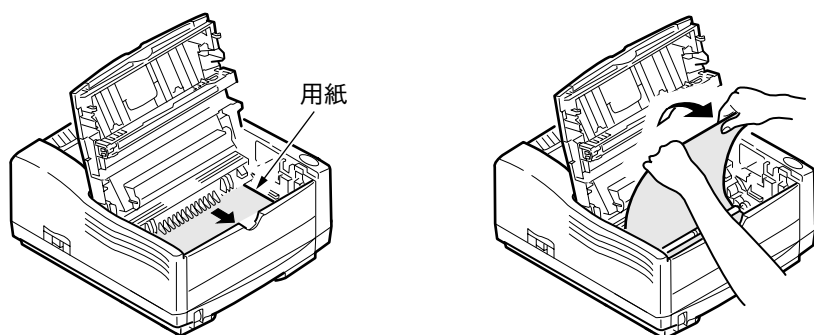
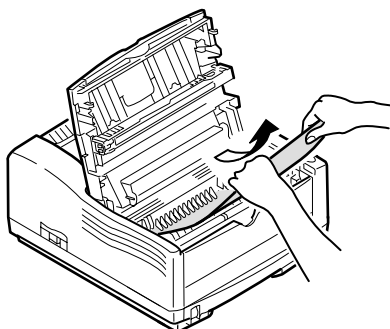
2 イメージドラムカートリッジを取り出します。

❶ イメージドラムカートリッジを取り出します。

❷ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

注
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも、5分間以上は放置しないでください。

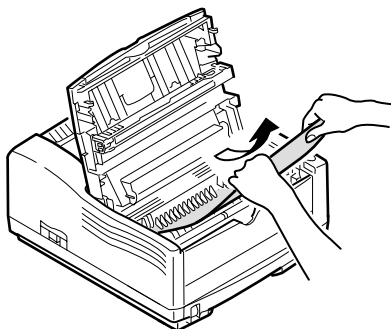
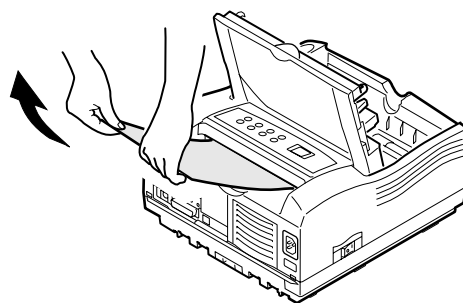
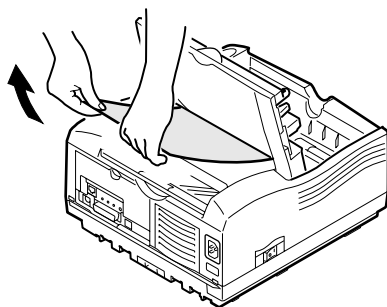
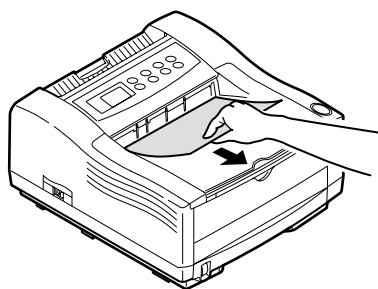
3　つまった用紙を取り除きます。

用紙カセット部（ヨウシジャム）

用紙カセットを引き出し、つまっている用紙を取り除きます。

プリンタ内部（ヨウシジャム、ヨウシサイズエラー）

用紙の先端が見えている場合は、つまっている用紙の先端をつかみ、ゆっくり引き出します。

用紙の先端も後端も見えない場合は､つまっている用紙を矢印の方向にずらしてから用紙の先端部をつかみ、ゆっくり引き出します。

用紙の後端が見えている場合は、つまっている用紙の後端部をつかみ、ゆっくり引き出します。

用紙排出部（ハイシジャム）

用紙後端がプリンタ内部に見えている場合は、つまっている用紙の後端をつかみ、ゆっくり引き出します。

注 用紙排出部でつまった場合でも、スタッカカバー内部に用紙が見えている場合は、プリンタ内側に用紙を引き出してください。無理に後ろに引き出すと定着器ユニットを傷めるおそれがあります。

用紙の後端が見えず、用紙先端が排出部に見えている場合は、用紙の先端をつかんでゆっくり引き出します。

用紙が取り出せない場合は、無理に引き出さず、次のようにして用紙を取り除きます。

❶ イメージドラムカートリッジをプリンタから取り外した状態でスタッカカバーを閉じます。

❷ モータが回転を始めたら、用紙先端をつかんで引き出します。

注 拡張給紙ユニット（オプション）、マルチパーパスフィーダ（オプション）から給紙したときに紙づまりが発生した場合は、それぞれの用紙走行部に用紙が残っていないかチェックしてください。また、スタッカカバーをいったん開閉しないとアラーム表示を解除できません。

4　イメージドラムカートリッジを戻し、スタッカカバーを閉じます。

故障かな？と思ったとき

電源をONにしても「オンライン」にならない。	
電源コードが抜けています。	☞ 電源をOFFにしてから、電源コードをしっかり差し込んでください。
停電しています。	☞ コンセントに電気がきているか、停電していないか確認してください。

印刷処理を開始しない。	
エラーが表示されています。	☞ プリンタの操作パネルにエラーが表示されている場合は、「操作パネルのメッセージ」（220ページ）をご覧ください。
プリンタケーブルが外れています。	☞ プリンタケーブルを差し込んでください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞ 予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
プリンタケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞ IEEE std 1284-1994準拠のパラレルケーブルまたはUSB2.0仕様のUSBケーブル、またはカテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレートのイーサネットケーブルを使用してください。
プリンタの印刷機能に問題がある可能性があります。	☞ プリンタのメニューマップ印刷ができるか確認してください。
インタフェースが無効になっています。	☞ プリンタのメニュー設定で、使用しているインタフェースを［ユウコウ］にしてください。
［オフライン］になっています。	☞ 「オンライン」を押して［オンライン］にしてください。
プリンタドライバが選択されていません。	☞ プリンタドライバを選択してください。Windowsの場合は［通常使うプリンタ］にしてください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞ プリンタケーブルを接続した出力ポートを選択してください。
印刷が自動的にキャンセルされます。	☞ プリントジョブアカウンティングを使用している場合、プリントジョブアカウンティングの印刷制限または、プリンタのログバッファがいっぱいになっている可能性があります。詳しくは、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

印刷処理が中断する。	
プリンタケーブルが断線しています。	☞ プリンタケーブルを取り替えてください。
コンピュータのタイムアウトにかかっています。	☞ タイムアウトを長く設定してください。

異常音がする。	
プリンタが傾いています。	☞ 安定した水平な場所に設置してください。
プリンタ内部に用紙くずや異物があります。	☞ プリンタ内部を点検し、取り除いてください。
スタッカカバーが開いています。	☞ スタッカカバーの左右を押して閉じてください。

すぐに印刷を開始しない。印刷を開始するのに時間がかかる。	
省電力モードから復帰するためにウォーミングアップを行っています。	☞ プリンタのメンテナンスメニューで、［パワーセーブ］を［ムコウ］にすると、ウォーミングアップ時間を短くすることができます。
イメージドラムカートリッジのクリーニング動作を行っていることがあります。	☞ 印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。
定着器の温度を調整しています。	☞ しばらくお待ちください。
他のインタフェースからのデータを処理しています。	☞ 印刷処理が終了するまでお待ちください。

9章

用紙送りがおかしい

紙づまりがよく起きる。複数枚同時に引き込まれる。斜めに引き込まれる。		
プリンタが傾いています。	☞	安定した水平な場所に設置してください。
用紙が薄すぎるか厚すぎます。	☞	プリンタに適した用紙を使用してください。
用紙が湿気が含んでいたり、静電気を帯びています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
用紙に折り目やしわや反りがあります。	☞	プリンタに適した用紙を使用してください。反りがある場合は修正してください。
裏面が印刷された用紙を使用しています。	☞	一度印刷した用紙は印刷できません。新しい用紙を使用してください。
用紙がそろっていません。	☞	用紙の上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙カセット、マルチパーパスフィーダに用紙を1枚だけセットしています。	☞	用紙は複数枚でセットしてください。
用紙カセット、マルチパーパスフィーダに用紙が入ったまま追加しています。	☞	先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙がまっすぐにセットされていません。	☞	用紙カセットの用紙ストッパと用紙ガイドを用紙に合わせてください。手差しトレイ、マルチパーパスフィーダ（オプション）の手差しガイドを用紙に合わせてください。
はがきや封筒のセット方向が間違っています。	☞	正しくセットしてください。
はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートを用紙カセットにセットしています。	☞	はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートは用紙カセットから印刷できません。手差しトレイまたはマルチパーパスフィーダ（オプション）にセットし、フェイスアップスタッカへ排出してください。

用紙が送られない。		
プリンタドライバの［給紙方法］の選択が間違っています。	☞	用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。
プリンタのメニュー設定が間違っています。	☞	プリンタのメニュー設定の［** サイズ］（**はトレイ）で、セットした用紙サイズを設定してください。

つまった用紙を取り除いても復旧しない。		
用紙を取り除くだけでは復旧しません。	☞	スタッカカバーを開閉してください。

用紙がまるまってしまう。シワが出る。		
用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
薄い用紙を使用しています。	☞	プリンタのメニュー設定で［** ウェイト］（**はトレイ）を1つ薄い紙の値にしてください。 Macintosh PCLプリンタドライバ、Mac OS X PCLプリンタドライバを使用する場合は、プリンタドライバの［用紙厚］で［薄い紙］を選択してください。

9章

Windows から印刷できない

アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

パラレル接続でセットアップできない。	
WindowsNT4.0でプラグアンドプレイでセットアップできません。	☞ プラグアンドプレイでセットアップできるのはWindowsXP/Me/98/95/2000です。WindowsNT4.0は「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします」（39ページ）の手順でセットアップしてください。
コンピュータが双方向パラレルインタフェースをサポートしていません。	☞ 双方向パラレルインタフェースをサポートしているコンピュータを使用してください。
パラレルケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞ IEEE std 1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルを使用してください。
インタフェースが無効になっています。	☞ プリンタのメニュー設定で［セントロ］を［ユウコウ］にしてください。
セットアップ手順が間違っています。	☞ 「WindowsXPにセットアップします」（35ページ）または「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします」（39ページ）をご覧ください。
パラレルケーブルが外れています。	☞ パラレルケーブルを差し込んでください。
パラレルケーブルに問題があります。	☞ 予備のパラレルケーブルがあれば取り替えてみてください。
切替器、バッファ、延長ケーブルなどを使用しています。	☞ プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で、画面に［検索場所の指定］、［場所の指定］が表示されます。	☞ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。（例：「D:¥WIN98¥PS¥JPN」）
セットアップを中断しました。	☞ もう一度初めからセットアップしてください。

USB接続でセットアップできない。	
Windows95/NT4.0でセットアップできません。	☞ USB接続できるのはWindowsXP/Me/98/2000です。Windows95/NT4.0はパラレルで接続してください。
Windows95/3.1からアップグレードしたWindowsMe/98を使用しています。	☞ 動作保証できません。WindowsMe/98をクリーンインストールしたコンピュータを使用してください。
コンピュータがUSBインタフェースに対応していません。	☞ デバイスマネージャでUSBコントローラが表示されるか確認してください。
USBケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞ USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
インタフェースが無効になっています。	☞ プリンタのメニュー設定で［USB］を「ユウコウ」にしてください。
セットアップ手順が間違っています。	☞ 「WindowsXPにセットアップします」(35ページ)または「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします」(39ページ)をご覧ください。
USBケーブルが外れています。	☞ USBケーブルを差し込んでください。
USBケーブルに問題があります。	☞ 予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBハブを使用しています。	☞ プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で、画面に［検索場所の指定］、［場所の指定］が表示されます。	☞ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。（例：「D:¥WIN98¥PS¥JPN」）
セットアップを中断しました。	☞ もう一度初めからセットアップしてください。
WindowsXP/Me/98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されません。	☞ 「WindowsXPで「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」(50ページ)、「WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(51ページ)、「Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(53ページ)をご覧ください。

印刷できない。	
プリンタの電源がOFFになっています。	☞ プリンタの電源をONにしてください。
インタフェースが無効になっています。	☞ プリンタのメニュー設定で［セントロ］または［USB］を［ユウコウ］にしてください。
プリンタケーブルが外れています。	☞ プリンタケーブルを差し込んでください。
［オフライン］になっています。	☞ 「オンライン」を押して［オンライン］にしてください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞ 予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
切替器、バッファ、延長ケーブル、USBハブを使用しています。	☞ プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞ プリンタケーブルを接続した出力ポートを指定してください。
他のインタフェースからの印刷を処理しています。	☞ 印刷処理が完了するまでお待ちください。
プリンタドライバが［通常使うプリンタ］になっていません。	☞ ［通常使用するプリンタ］にしてください。
双方向パラレルまたはUSBで動作する他のプリンタドライバがインストールされています。	☞ 他のプリンタドライバを削除してみてください。
I-PRIMEの設定がコンピュータに合っていません。	☞ プリンタのメニュー設定で［I-PRIME］を［3u SEC］または［5u SEC］にしてください。

PSプリンタドライバで印刷すると、文字の種類が画面と印刷結果で異なる。	
書類中にシステムに存在しないフォントを使用しています。。	☞ 書類中で使用しているフォントをシステムにインストールしてください。または、書類中で使用しているフォントをシステムに存在するものに変更してください。

メモリ不足になる。	
複数のアプリケーションを同時に起動してます。	☞ 使用していないアプリケーションを終了してください。

印刷が遅い。	
印刷処理をコンピュータ側でも行っています。	☞ 処理速度の速いコンピュータを使用してください。
［印刷品質］もしくは［解像度］で［きれい］を選択しています。	☞ プリンタドライバの［印刷品質］もしくは［解像度］で［ふつう］もしくは［はやい］を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞ 印刷データを簡単にしてください。

ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。	
セットアップ、印刷方法などに問題があります。	☞ 別冊の「ユーザーズマニュアル（ネットワーク編）」の「困ったときには」をご覧ください。

Macintoshから印刷できない

アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

USB接続でセットアップできない。		
インタフェースが無効になっています。	☞	プリンタのメニュー設定で［USB］を［ユウコウ］にしてください。
MacOSのバージョンが対応していません。	☞	USB接続できるのは、PSプリンタドライバを使用する場合MacOS9.0以降、PCLプリンタドライバを使用する場合MacOS8.1以降です。
USBケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞	USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	☞	「Macintoshにセットアップします」（59ページ）をご覧ください。
USBケーブルを短時間で抜き差ししています。	☞	USBケーブルを抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
USBケーブルが外れています。	☞	USBケーブルを差し込んでください。
USBケーブルに問題があります。	☞	予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBハブを使用しています。	☞	プリンタとMacintoshを直接接続してみてください。
セットアップを中断しました。	☞	もう一度始めからセットアップしてください。

USB接続で印刷できない。		
プリンタの電源スイッチがOFFになっています。	☞	プリンタの電源をONにしてください。
［オフライン］になっています。	☞	「オンライン」を押して、［オンライン］にしてください。
USBケーブルが外れています。	☞	USBケーブルを差し込んでください。
インタフェースが無効になっています。	☞	プリンタのメニュー設定で［USB］で［ユウコウ］に設定してください。
USBケーブルに問題があります。	☞	予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBハブを使用しています。	☞	プリンタとMacintoshを直接接続してみてください。
デスクトッププリンタアイコンに手のマークがついています。	☞	Macintoshのプリンタメニューの［プリントキューの開始］を選択してください。
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	☞	プリンタドライバを再インストールしてください。

PSプリンタドライバで印刷すると、文字の種類が画面と印刷結果で異なる。	
書類中にシステムに存在しないフォントを使用しています。	☞ 書類中で使用しているフォントをシステムにインストールしてください。または、書類中で使用しているフォントをシステムに存在するものに変更してください。

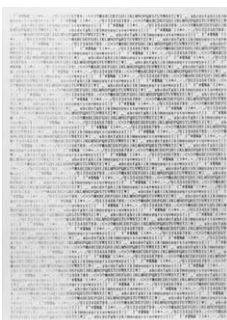
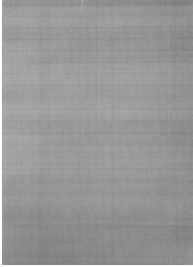
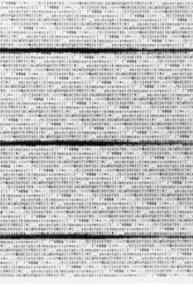
多くの書体を使用した文書を印刷すると、PostScriptエラーになる。	
MacOSの制限です。	☞ ［用紙設定］-［PostScriptオプション］で［ダウンロード可能フォントの制限なし］にチェックを付けてください。

メモリエラーになる。	
デスクトップ・プリントモニタのメモリサイズが不足しています。	☞ メモリサイズを大きくしてください。

印刷が遅い。	
印刷処理をMacintosh側でも行っています。	☞ 処理速度の速いMacintoshを使用してください。
［印刷品位］の［きれい］を選択しています。	☞ プリンタドライバの［印刷品位］もしくは［解像度］で［ふつう］または［はやい］を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞ 印刷データを簡単にしてください。

ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。	
セットアップ、印刷方法などに問題があります。	☞ 別冊の「ユーザーズマニュアル（ネットワーク編）」の「困ったときには」をご覧ください。

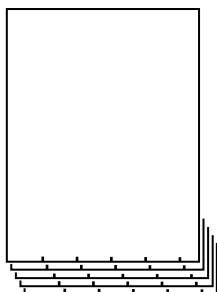
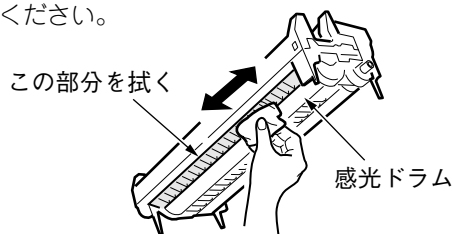
印刷が不鮮明なとき

縦方向に白いスジが入る。			
	LEDヘッドが汚れています。	☞	LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。
	異物がつまっています。	☞	イメージドラムカートリッジを交換してください。

縦方向にかすれる。			
	LEDヘッドが汚れています。	☞	LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。
	用紙がプリンタに適していません。	☞	推奨紙を使用してください。

印刷が薄い。			
	トナーカートリッジが正しくセットされていません。	☞	トナーカートリッジを取り付け直してください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を含んでいます。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	用紙がプリンタに適していません。	☞	推奨紙を使用してください。
	印刷濃度の設定が不適切です。	☞	プリンタのメニュー設定で［インサツノウド］を［+1］または［+2］に設定してください。Macintosh PCLプリンタドライバ、Mac OS X PCLプリンタドライバを使用する場合は、プリンタドライバの［印刷濃度］で［やや濃い］または［濃い］に設定してください。

部分的にかすれる。ベタを印刷すると白い点が現れる。		
	用紙が湿気を含んでいます。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	「セッティング」の設定が不適切です。	☞ プリンタのメンテナンスメニューで［セッティング］の値を変更してみてください。
	はがきの下の方の印刷がかすれることがあります。	☞ プリンタの故障ではありません。

縦方向にスジが入る。		
	イメージドラムカートリッジに傷がついています。	☞ イメージドラムカートリッジを交換してください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。

横方向にスジや点が周期的に入る。		
	約94mm周期の場合は、イメージドラム（緑の筒の部分）に傷または汚れがついています。	☞ クリーニングページを数回行ってください。イメージドラム(緑の筒の部分)に汚れがついていたら、柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。傷がついていたら、イメージドラムカートリッジを交換してください。
	約30mm周期の場合は、イメージドラムカートリッジ内にゴミが混入しています。	☞ クリーニングページを数回行ってください。
	約62mm周期の場合は、定着器に傷がついています。	☞ お客様相談センターにお問い合わせください。
	イメージドラムカートリッジが光にさらされました。	☞ イメージドラムカートリッジをプリンタの内部に戻し、数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、イメージドラムカートリッジを交換してください。

用紙後端部が点状に汚れる。用紙を重ねると筋状に黒くなる。

原因	処置
イメージドラムカートリッジの底面にトナーが付着しています。	☞ イメージドラムカートリッジの底面（図の部分）を乾いた布やティッシュペーパーで拭いてください。 ※感光ドラムにキズを付けないように注意してください。

白地の部分が薄く汚れる。

原因	処置
用紙が静電気を帯びています。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
用紙が厚すぎます。	☞ より薄手の用紙を使用してください。
トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。

文字の周辺がにじむ。

原因	処置
LEDヘッドが汚れています。	☞ LEDレンズクリーナまた柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
印刷濃度の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［インサツノウド］を［-1］または［-2］に設定してください。 Macintosh PCLプリンタドライバ、Mac OS X PCLプリンタドライバを使用する場合は、プリンタドライバの［印刷濃度］で［やや薄い］または［薄い］を選択してください。

はがき、封筒を印刷すると全体的に薄く汚れる。擦ると文字の周辺が汚れる。

原因	処置
はがき、封筒に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞ プリンタの故障ではありません。
用紙厚の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定の［ヨウシアツ］で［ヨリアツイカミ］を選択してください。 Macintosh PCLプリンタドライバ、Mac OS X PCLプリンタドライバを使用する場合は、プリンタドライバの［用紙厚］で［より厚い紙］を選択してください。

9章

10 使用できる用紙について

操作編

使用できる用紙

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

用紙の種類、サイズ、厚さについて

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法や排出方法に制限があったり、操作パネルやプリンタドライバで設定する内容が異なります。詳しくは「給紙方法と排出方法を決めます」（96 ページ）をご覧ください。

種類	サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ
普通紙	A4	210×297	連量55～90kg(64～105g/m^2) 用紙カセットからの給紙は連量55～75kg(64～88g/m^2)
	A5	148×210	
	A6	105×148	
	B5	182×257	
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
	リーガル(13ｲﾝﾁ)	215.9×330.2(8.5×13)	
	リーガル(14ｲﾝﾁ)	215.9×355.6(8.5×14)	
	エグゼクティブ	184.15×266.7(7.25×10.5)	
	フリー[*1][*3]	幅　90～215.9 長さ148～355.6	
はがき	はがき	100×148	官製はがき
	往復はがき	148×200	
封筒	封筒1(長形3号)	120×235	85g/m^2の紙を使用したもので、長形封筒はフラップ部が折れていないもの、洋形封筒はフラップ部がきちんと折れているもの
	封筒2(長形4号)	90×205	
	封筒3(洋形4号)	105×235	
	Com-9	98.4×225.4(3.875×8.875)	24lbの紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	Com-10	104.78×241.3(4.125×9.5)	
	DL	110×220(4.33×8.66)	
	C5	162×229(6.4×9)	
	Monarch	98.4×190.5(3.875×7.5)	
	フリー[*2][*3]	幅　90～215.9 長さ148～355.6	
ラベル紙	A4	210×297	0.1～0.15mm
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
OHPシート	A4	210×297	0.1～0.11mm
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
部分印刷用紙	ー	ー	連量55～90kg(64～105g/m^2) 用紙カセットからの給紙は連量55～75kg(64～88g/m^2)
カラー用紙	ー	ー	連量55～90kg(64～105g/m^2) 用紙カセットからの給紙は連量55～75kg(64～88g/m^2)

[*1]：トレイ2は、幅148～215.9、長さ210～355.6です。
[*2]：PSプリンタドライバでは、任意の用紙サイズを設定することはできません。
[*3]：マルチパーパスフィーダは、長さ148～297です。

普通紙

次の条件に合った用紙を使用してください。

- 推奨紙：MLPAPER（223 ページ）
- 用紙の厚さが連量 55 〜 90kg（64 〜 105g/m²）の用紙
- 電子写真プリンタ用紙（トナーを用いるプリンタで使用する用紙です）
- 電子写真コピー用紙（トナーを用いる一般の複写機などで使用する用紙です）
- 電子写真プリンタ再生紙（トナーを用いるプリンタで使用する再生紙です）
  推奨再生紙
  　銘柄名　：　やしま R100（丸住製紙製）
  　　　　　　　REFOREST 100（大昭和製紙製）
  　再生紙では、用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンタ再生紙であることを確認の上、使用してください。
- 連量 76 〜 90kg（89 〜 105g/m²）の用紙について
  - 用紙カセットから給紙できません。手差しまたはマルチパーパスフィーダ（オプション）から給紙してください。
  - 印刷面を上に向けて（フェイスアップ）排出してください。
  - 用紙の厚さの設定は「厚い紙」または「より厚い紙」に設定してください。
    用紙の厚さの設定をしないと、印刷品質が低下することがあります。
  - 用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。
  - トナーの定着が低下することがあります。
  - 必ず試し印刷をして、支障がないことを確認してください。

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙や、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙（用紙走行方向に対し縦目の用紙を使用してください。）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（210 度）の無い特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸や、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙や、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など
- 種類の異なる用紙を継ぎ合わせて作った紙
- 用紙の厚さが上下左右で一定ではない用紙
- 包装紙ののりなど粘着物の付着した用紙

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

はがき

次の条件に合ったはがきを使用してください。

- 官製はがき、および折っていない官製往復はがき

以下のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用官製はがき
- 2mm 以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

- ・印刷後は反りが発生することがあります。
- ・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- ・トナーの定着が低下することがあります。
- ・必ず手差しまたはマルチパーパスフィーダで給紙し、フェイスアップで排出してください。

封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式 PPC 用紙で作られた封筒
- 長形封筒は坪量 85g/m² の紙でフラップ部が折れていない封筒
- 洋形封筒は坪量 85g/m² の紙でフラップ部がきちんと折れている封筒
- Com-9、Com-10、Monarch、C5、DL は、24lb の紙でフラップ部がきちんと折れている封筒

以下の封筒は使用しないでください。

- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒
- 接着部に粘着剤がはみ出している封筒

- ・印刷後は反りやシワが発生する場合があります。
- ・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- ・トナーの定着が低下することがあります。
- ・封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）のまわり約 5mm は印刷品位が低下することがあります。
- ・必ず手差しまたはマルチパーパスフィーダで給紙し、フェイスアップで排出してください。

ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

- 推奨紙：LBP-A693-W（コクヨ製）
- 用紙サイズは A4、レターのみ
- 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンタ用または乾式 PPC 用のラベル紙
- プリンタの熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 表面紙と台紙を合せた用紙の厚さが 0.1 ～ 0.15mm のラベル紙
- 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙

・ 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・ トナーの定着が低下することがあります。
・ 必ず手差しまたはマルチパーパスフィーダで給紙し、フェイスアップで排出してください。

OHP シート

次の条件に合った OHP シートを使用してください。

- 推奨紙 ： CG3720（3M 製）
- 用紙サイズは A4、レターのみ
- 電子写真プリンタ用または乾式 PPC 用に作られた OHP シート
- プリンタの熱定着工程で、融けたり、変質したり、反りが起きない OHP シート
- 用紙の厚さが 0.1 ～ 0.11mm の OHP シート

・ 推奨紙以外のカラーPPC用またはカラーレーザプリンタ用OHPシートは使用できません。
・ 印刷後はうねりが発生することがあります。
・ 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・ トナーの定着が低下することがあります。
・ 表面に滑りやすいコーティングをしたOHPシートは滑って吸入できないことがあります。
・ OHPシートは透明なプラスチックでできているため、印刷品質が低下することがあります。
・ 必ず手差しまたはマルチパーパスフィーダで給紙し、フェイスアップで排出してください。

部分印刷用紙

次の条件に合った部分印刷用紙を使用してください。

- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で 230℃に耐えるもの

印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
書き出し位置精度：± 2mm、用紙の斜行：± 1mm/100mm、画像伸縮：± 1mm/100mm
（連量 55kg（64g/m^2）の場合）

カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で 230℃に耐えるもの
- 用紙特性が白色紙と同じで、電子写真プリンタ用の用紙

用紙の保管方法

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

次のような場所に保管してください

- 暗く、湿気の少ない書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度20℃、湿度50%RHの環境

次のような場所はさけてください

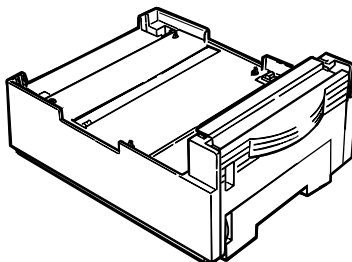
- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

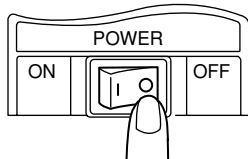
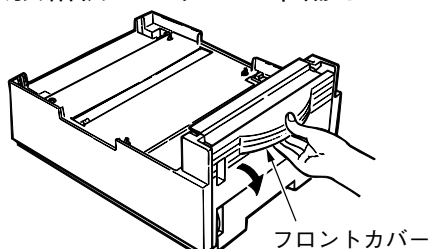
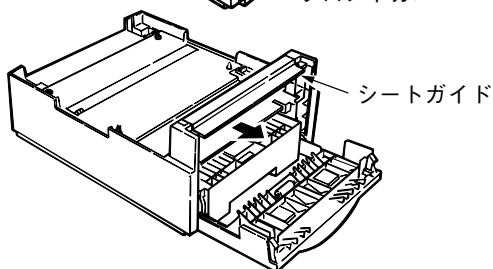
長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

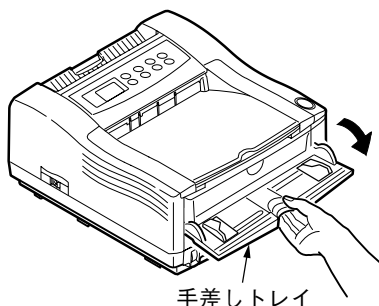
11 オプション品について

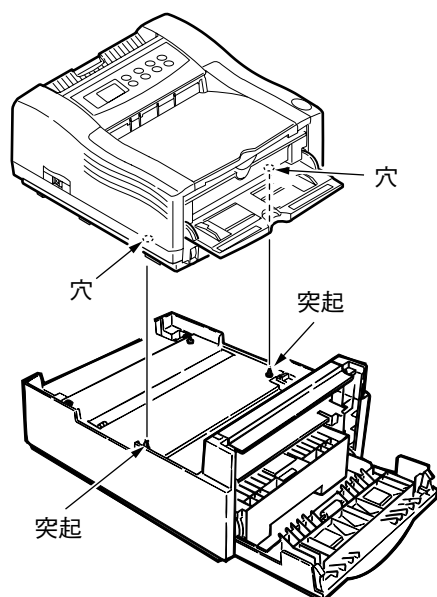
操作編

拡張給紙ユニット

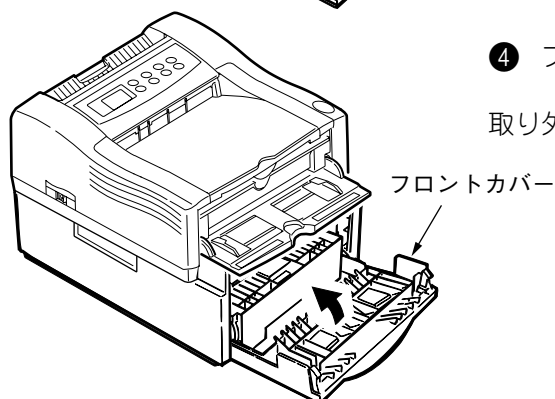
プリンタにセットできる用紙量を増やすトレイです。連量55kg紙の場合500枚セットでき、標準用紙カセットと合わせて750枚を連続して使用できるようになります。

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

注 電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

2 拡張給紙ユニットの準備をします。

❶ フロントカバーを手前へ引きます。

❷ シートガイドを矢印の方向に止まるまで動かします。

3 プリンタを拡張給紙ユニットに載せます。

❶ 手差しトレイを開きます。

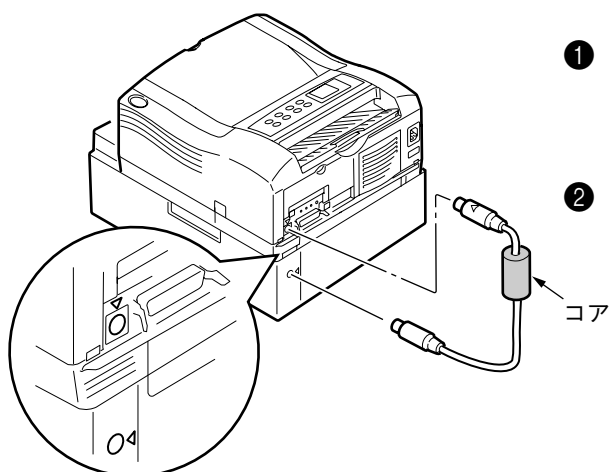
注 拡張ユニット装着時は手差しトレイを閉じないでください。故障の原因になります。

❷ プリンタ底面の穴と拡張給紙ユニットの突起を合わせます。

❸ プリンタを拡張給紙ユニットに載せます。

注 拡張給紙ユニット装着時は手差しトレイを閉じないでください。故障の原因になります。

❹ フロントカバーを閉じます。

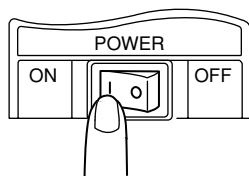
取り外しは、取り付けの逆の手順で行います。

フロントカバー

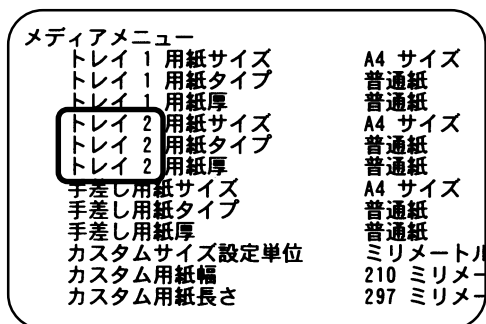
4　接続コードを取り付けます。

❶ 拡張給紙ユニットに付属の接続コードのコア側コネクタの▽印をプリンタの▽印に合わせて差し込みます。

❷ 接続コードのもう一方のコネクタの◁印を拡張給紙ユニットの◁印に合わせて差し込みます。

11章

5　プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

6　メニューマップ印刷を行い、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられていることを確認します。

メディアメニュー

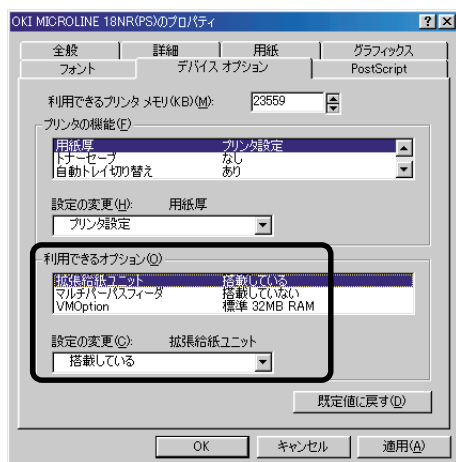
トレイ 1 用紙サイズ	A4 サイズ
トレイ 1 用紙タイプ	普通紙
トレイ 1 用紙厚	普通紙
トレイ 2 用紙サイズ	A4 サイズ
トレイ 2 用紙タイプ	普通紙
トレイ 2 用紙厚	普通紙
手差し用紙サイズ	A4 サイズ
手差し用紙タイプ	普通紙
手差し用紙厚	普通紙
カスタムサイズ設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメー
カスタム用紙長さ	297 ミリメー

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「現在の設定を確認します（メニューマップ印刷）」（217ページ）をご覧ください。

❷ 「メディアメニュー」に「トレイ2」が表示されていることを確認します。

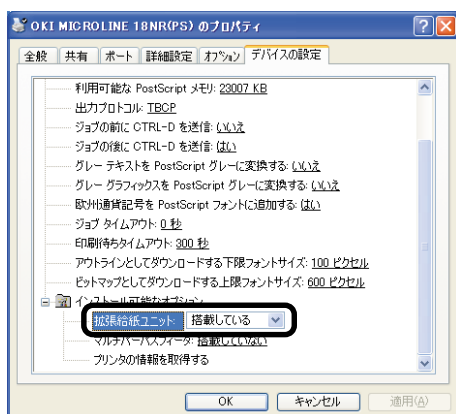
7　プリンタドライバで拡張給紙ユニットを設定します。

- WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Mac OS X PCL プリンタドライバは常に［拡張給紙ユニット］が［あり］の状態になっています。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

（Windows98 の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 18NR（PS）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用できるオプション］の［拡張給紙ユニット］で［搭載している］を選択し、［適用］をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバ

（WindowsXP の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 18NR（PS）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］の［拡張給紙ユニット］で［搭載している］を選択し、［適用］をクリックします。

メモ　TCP/IP でネットワーク接続している場合、［プリンタの情報を取得する］を選択し、［セットアップ］（WindowsNT4.0 の場合は［プリンタの情報を取得する］）をクリックすると、自動的に設定されます。

Windows PCL プリンタドライバ

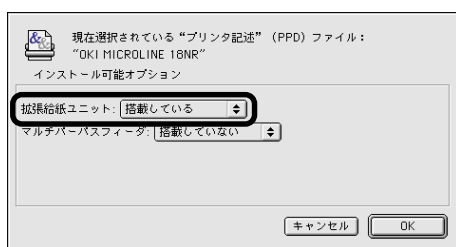
（WindowsXP の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 18NR（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］で［拡張給紙ユニット］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

メモ　TCP/IP でネットワーク接続している場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

Macintosh PS プリンタドライバ（ネットワーク接続）

❶ ［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷ ［オプションの構成］をクリックします。

❸ ［拡張給紙ユニット］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

❹ ［セレクタ］を閉じます。

Macintosh PS プリンタドライバ（USB 接続）

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

メモ デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB インタフェースで接続します（Macintosh）」の「デスクトップ・プリンタを作成します」（64 ページ）をご覧ください。

Macintosh PCL プリンタドライバ

❶ ［アップル］メニューの［セレクタ］を選択します。

❷ ［ML18NR(USB)］アイコンを選択します。

❸ 右側のボックスから［プリンタ名］を選択し、［設定］をクリックします。

❹ ［印刷ダイアログ］をクリックします。

❺ ［オプション］パネルの［拡張給紙ユニット］で［あり］を選択し、［設定］をクリックします。

❻ ［保存］をクリックし、セレクタを閉じます。

Mac OS X PS プリンタドライバ

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］（Mac OS X 10.1.5 以前では［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］）をダブルクリックします。

❷ ［MICROLINE 18NR］を選択し、［削除］をクリックします。

❸ ［プリンタを追加］をクリックします。

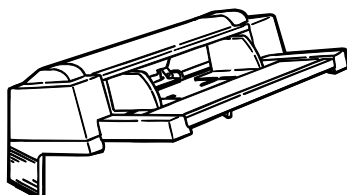
❹ ネットワーク接続の場合は［AppleTalk］、USB 接続の場合は［USB］を選択します。

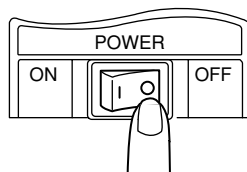
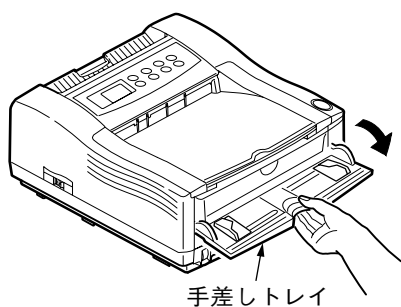
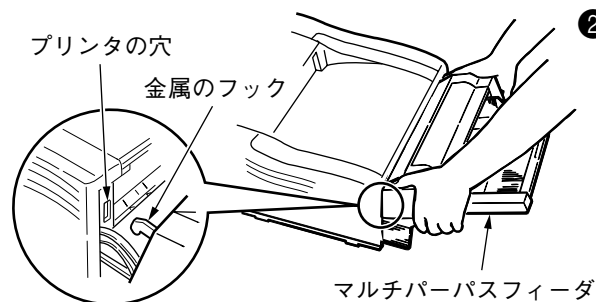
❺ プリンタ名を選択し（USB接続でMac OS X 10.2の場合、プリンタの機種で［oki］を選択し、機種名のリストから使用するプリンタ名を選択します）、［追加］をクリックします。

❻ ［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリントセンター］を閉じます。
（Mac OS X 10.2 の場合、追加したプリンタ名を選択し、［プリンタ］-［情報を見る］メニューの［インストール可能なオプション］パネルで［拡張給紙ユニット］にチェックを付けます。）

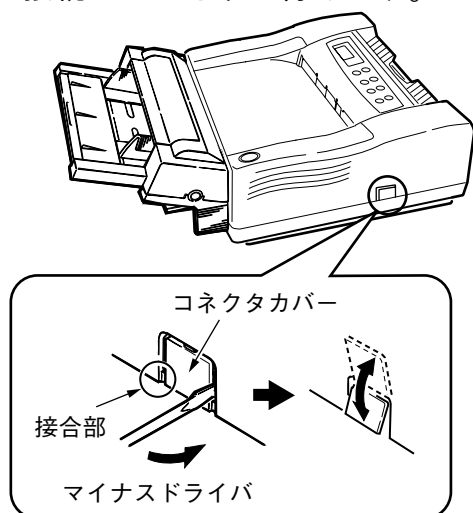
マルチパーパスフィーダ

はがき、封筒、ラベル紙、OHP シートなどを連続給紙するフィーダです。

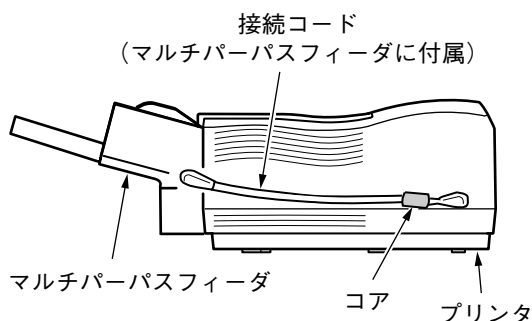
注 拡張給紙ユニットと併用する場合は、先に拡張給紙ユニットを取り付けてください。

1　プリンタの電源を OFF にします。

注 電源を ON のまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

2　マルチパーパスフィーダを取り付けます。

❶ 手差しトレイを開きます。

❷ マルチパーパスフィーダの金属のフックをプリンタの穴に差し込み、下に下げます。

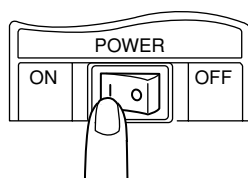
11章

3　接続コードを取り付けます。

❶ コネクタカバーとプリンタカバーの間にマイナスドライバを差し込み、そのまま矢印方向にマイナスドライバを倒し、左右の接合部を外します。

❷ コネクタカバーを手で上下に折り曲げ、コネクタカバーが外れるまで繰り返します。

注 マイナスドライバーをねじらないでください。ねじるとプリンタカバーに傷が付きます。

❸ マルチパーパスフィーダに付属の接続コードのコア側コネクタの△印をプリンタの⇧印に合わせて差し込みます。

❹ 接続コードのもう一方のコネクタの△印をマルチパーパスフィーダの⇧印に合わせて差し込みます。

4　プリンタの電源をONにします。

5　メニューマップ印刷を行い、マルチパーパスフィーダが正しく取り付けられていることを確認します。

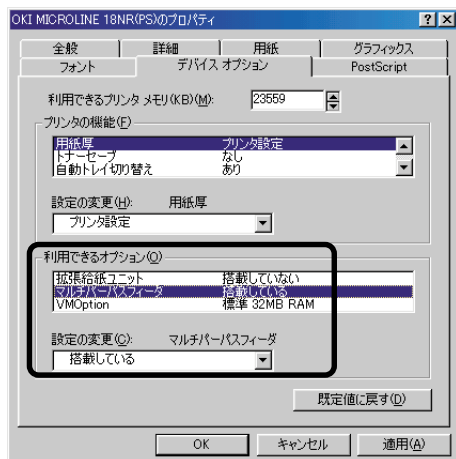
❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「現在の設定を確認します（メニューマップ印刷）」（217ページ）をご覧ください。

❷ 「メディアメニュー」に「MPF」と表示されていることを確認します。

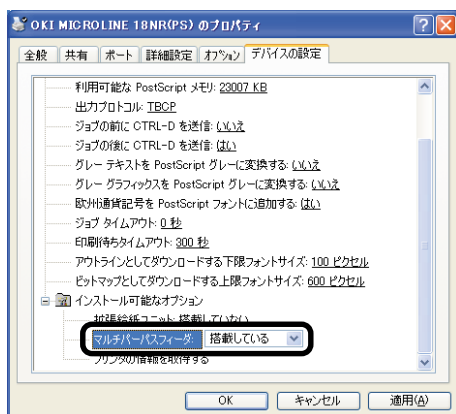
6　プリンタドライバでマルチパーパスフィーダを設定します。

- WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Mac OS X PCL プリンタドライバは常に［マルチパーパスフィーダ］が［あり］の状態になっています。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

（Windows98 の画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［OKI MICROLINE 18NR（PS）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブの［利用できるオプション］の［マルチパーパスフィーダ］で［搭載している］を選択し、［適用］をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバ

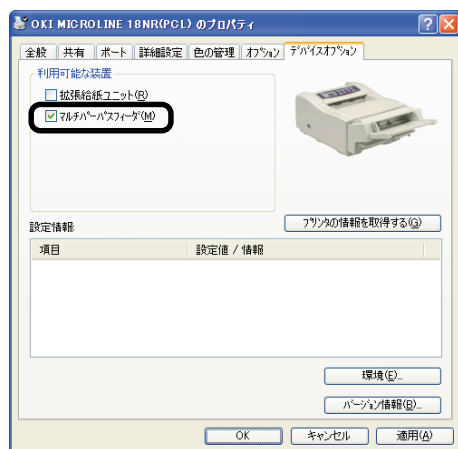
（WindowsXP の画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷［OKI MICROLINE 18NR（PS）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］の［マルチパーパスフィーダ］で［搭載している］を選択し、［適用］をクリックします。

メモ　TCP/IP でネットワーク接続している場合、［プリンタの情報を取得する］を選択し、［セットアップ］（WindowsNT4.0 の場合は［プリンタの情報を取得する］）をクリックすると、自動的に設定されます。

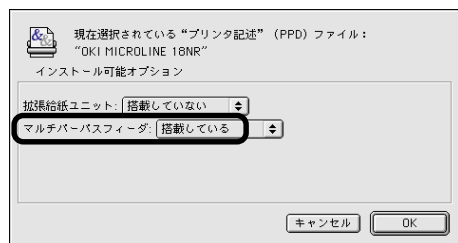
Windows PCL プリンタドライバ

（WindowsXP の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 18NR（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［マルチパーパスフィーダ］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

メモ　TCP/IP でネットワーク接続している場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

Macintosh PS プリンタドライバ（ネットワーク接続）

❶ ［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷ ［構成］をクリックします。

❸ ［マルチパーパスフィーダ］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

❹ ［セレクタ］を閉じます。

Macintosh PS プリンタドライバ（USB 接続）

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

メモ　デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB インタフェースで接続します（Macintosh）」の「デスクトップ・プリンタを作成します」（64 ページ）をご覧ください。

11章

Macintosh PCL プリンタドライバ

❶ ［アップル］メニューの［セレクタ］を選択します。

❷ ［ML18NR(USB)］アイコンを選択します。

❸ 右側のボックスから［プリンタ名］を選択し、［設定］をクリックします。

❹ ［印刷ダイアログ］をクリックします。

❺ ［オプション］パネルの［マルチパーパスフィーダ］で［あり］を選択し、［設定］をクリックします。

❻ ［保存］をクリックし、セレクタを閉じます。

Mac OS X PS プリンタドライバ

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］（Mac OS X 10.1.5 以前では［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］）をダブルクリックします。

❷ ［MICROLINE 18NR］を選択し、［削除］をクリックします。

❸ ［プリンタを追加］をクリックします。

❹ ネットワーク接続の場合は［AppleTalk］、USB接続の場合は［USB］を選択します。

❺ プリンタ名を選択し（USB接続でMac OS X 10.2の場合、プリンタの機種で［oki］を選択し、機種名のリストから使用するプリンタ名を選択します）、［追加］をクリックします。

❻ ［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリントセンター］を閉じます。
（Mac OS X 10.2 の場合、追加したプリンタ名を選択し、［プリンタ］-［情報を見る］メニューの［インストール可能なオプション］パネルで［マルチパーパスフィーダ］にチェックを付けます。）

付　録

付録

プリンタの仕様

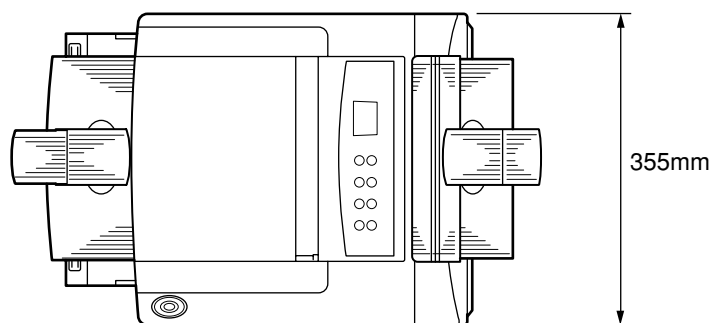
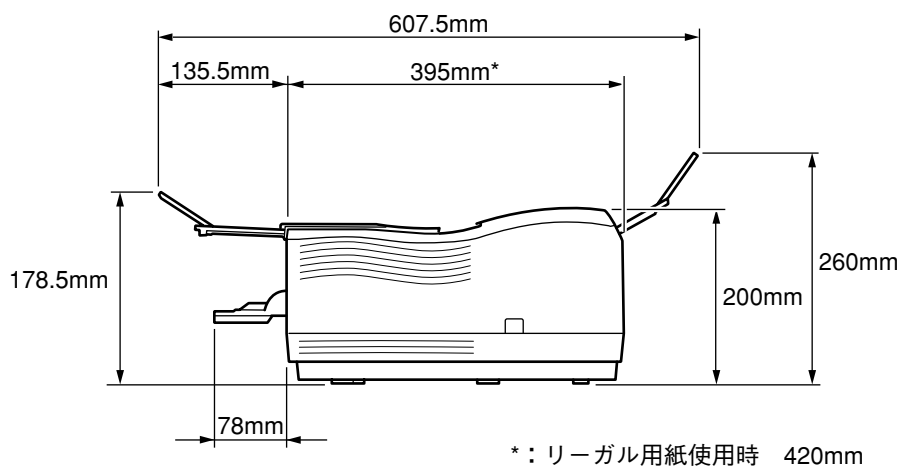
主な仕様

印刷方式	LED(発光ダイオード)を露光光源とする電子写真記録方式
解像度	1200×600ドット/インチ（ESC/Pモードでは600×600ドット/インチ）
印刷色	黒
CPU	PowerPC405PS（200MHz）
RAM容量	32MB
対応OS	WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0日本語版 MacOS9.0～9.2.2日本語版（PSプリンタドライバ使用、USB接続の場合） MacOS8.1～9.2.2日本語版/Mac OS X Classic環境日本語版 （PSプリンタドライバ使用、ネットワーク接続の場合） MacOS8.1～9.2.2日本語版/Mac OS X Classic環境日本語版（PCLプリンタドライバの場合） Mac OS X 10.0～10.2.1日本語版　詳しくは動作環境をご覧ください。
印刷言語	PostScript3エミュレーション、PCL5eエミュレーション、ESC/P 24-J84準拠（ドットプリンタエミュレーション）
内蔵フォント	PSE　：日本語2書体、欧文136書体 PCL5e　：日本語4書体、欧文84書体 ESC/P　：日本語2書体、欧文2書体
インタフェース	IEEE Std 1284-1994準拠パラレル USB（フルスピード最大12Mbps）、100BASE-TX/10BASE-T
印刷速度 *1	最大18ページ/分（A4/コピーモード　はがき、封筒を除く）
用紙サイズ *2	A4、A5、A6、B5、レター、リーガル13インチ、リーガル14インチ、エグゼクティブ、フリー（カスタム）、はがき、往復はがき、封筒（8種）
用紙種類 *2	普通紙（連量55～90kg）、官製はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート
給紙方法 *2	用紙カセットによる自動給紙、手差しによる1枚給紙 拡張給紙ユニット（オプション）、マルチパーパスフィーダ（オプション）による自動給紙
給紙容量	用紙カセット　：普通紙250枚／連量55kg　総厚24mm以下 拡張給紙ユニット（オプション）　：普通紙500枚／連量55kg　総厚50mm以下 マルチパーパスフィーダ（オプション）：普通紙100枚／連量55kg、はがき50枚　総厚10mm以下 封筒50枚/85g/m² 総厚30mm以下
排出方法 *2	フェイスアップ（表排出）/フェイスダウン（裏排出）
排出容量	フェイスアップ：約50枚/連量55kg　フェイスダウン：約150枚/連量55kg
印刷保証範囲	用紙の端から6.35mm以上（封筒などの特殊な用紙は除く）
印刷精度	書き出し位置精度 ±2mm　用紙の斜行 ±1mm/100mm　画像伸縮 ±1mm/100mm（連量55kgの場合）
電源	AC100V±10%、50/60Hz±1Hz
消費電力	動作時　：最大700W、平均330W(25℃) 待機時　：最大700W、平均54W(25℃) 省電力モード時：（オプション未装着時）10W以下 ：（オプション装着時）　最大12W
突入電流	76A以下(25℃)
使用環境条件	動作時：10～32℃／20～80%RH（最高湿球温度25℃　最高乾球湿球温度差2℃） 停止時：0～43℃／10～90%RH（最高湿球温度26.8℃　最高乾球湿球温度差2℃）
印刷品質保証条件	温度10℃時　湿度30～78%RH、温度32℃時　湿度30～54%RH、 湿度30%RH時　温度10～32℃、湿度80%RH時　温度18～27℃
標準使用条件	平均電源ON時間　：200H/月　平均印刷枚数　：3,000枚/月
消耗品	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ
装置寿命	5年または18万枚(平均印刷枚数：3,000枚／月)
重　量 *3	約9kg

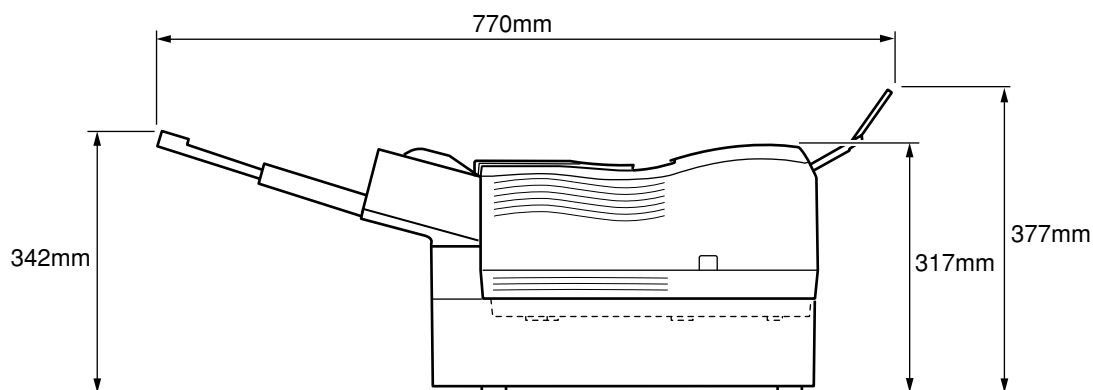
*1：用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により印刷速度は変わります。
*2：用紙のサイズ、種類、厚さにより、給紙方法と排出方法に制限があります。
*3：オプション、用紙重量は含みません。

付録

外形寸法

平面図

側面図

*：リーガル用紙使用時　420mm

オプション装着時

付録

パラレルインタフェース仕様

基本仕様

IEEE Std 1284 -1994準拠双方向パラレルインタフェース

コネクタ

プリンタ側　36極レセプタクル(メス)
57RE-40360-730B-D29A型
(第一電子工業製または相当品)

ケーブル側　36極プラグ(オス)
57FE-30360-20N(D8)型
(第一電子工業製または相当品)

ケーブル

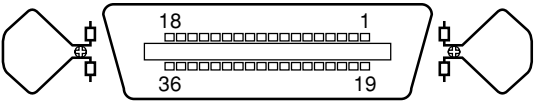
1.8m以下のIEEE Std 1284-1994 適合ケーブルまたは相当品
(シールドされているケーブル線を使用してください。)

伝送モード

コンパチブル
ニブル
ECP

インタフェースレベル

ローレベル　＋0.0～＋0.4V
ハイレベル　＋2.4～＋5.0V

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピンNo.	信号名	方　向	機　　能
1	nStrobe (HostClk)	TO PRINTER	データを読み込むためのパルスです。 後縁でデータを読み込みます。
2 3 4 5 6 7 8 9	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	TO PRINTER	8ビットのパラレルデータです。ハイレベルが“1”，ローレベルが“0”です。
10	nAck(PtrClk)	FROM PRINTER	データの受信完了を示す信号です。
11	Busy(PtrBusy)	FROM PRINTER	プリンタがデータを受け取れる状態かどうかを示す信号です。 ハイレベルのときはデータを受け取れません。
12	PError(AckDataReq)	FROM PRINTER	ハイレベルのときは、用紙のエラーを示します。
13	Select(Xflag)	FROM PRINTER	パラレルインタフェースが有効な場合、常にハイレベルです。
14	nAutoFd(HostBusy)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。
15	－	－	使用していません。
16	GND	－	信号グランド
17	FG	－	シャーシグランド
18	＋5V	FROM PRINTER	外部へ電源を供給できません。
19～30	GND	－	信号グランド
31	nInit(nInit)	TO PRINTER	ローレベルで、プリンタが初期化されます。
32	nFault(nDataAvail)	FROM PRINTER	プリンタがアラーム状態のときローレベルになります。
33	GND	－	信号グランド
34	－	－	使用していません。
35	HILEVEL	FROM PRINTER	プリンタ内部で3.3KΩで+5Vにプルアップされています。
36	nSelectIn (IEEE1284 active)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。コンパチブルモード時はローレベルでなければなりません。

- かっこ内はニブルモードの信号名です。
- コンパチブルモードの機能のみ説明しています。
- 米国電気電子技術者協会が規定するIEEE Std 1284-1994のニブルモードをサポートしています。この規格に適合しないコンピュータやケーブルを使用すると、予期しない動作をすることがあります。

USB インタフェース仕様

基本仕様

USB

コネクタ

プリンタ側　Bレセプタクル(メス)
アップストリームポート
UBB-4R-D14T-1
(日本圧着端子製造株式会社製)相当品
ケーブル側　Bプラグ(オス)

ケーブル

2.0m以下のUSB2.0仕様のケーブル
(シールドされているケーブル線を使用してください。)

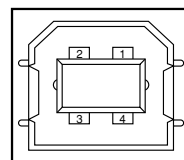
USB2.0仕様以外のケーブルを使用した場合、正常に印刷できない場合があります。

伝送モード

フルスピード(最大 12Mbps+0.25%)

電力制御

セルフパワーデバイス

コネクタピン配列

インタフェース信号

	信号名	機　能
1	Vbus	電源（+5V）（赤）
2	D-	データ転送用（白）
3	D+	データ転送用（緑）
4	GND	信号グランド（黒）
Shell	Shield	

ネットワークインタフェース仕様

基本仕様

ネットワークプロトコル

TCP/IP 仕様　ネットワーク層
ARP、RARP、IP、ICMP
トランスポート層
TCP、UDP
アプリケーション層
LPR、FTP、TELNET、HTTP、IPP、BOOTP、SMTP、WINS、DHCP、SNMP、POP3

NetBEUI仕様　SMB、NetBIOS

NetWare 仕様　リモートプリンタモード
(最大8プリントサーバ)
プリントサーバモード
(最大8ファイルサーバ・32キュー)
暗号化パスワードに対応
(プリントサーバモード時)
NetWare6J/5J/4.1J
(NDS、バインダリ)
SNMP

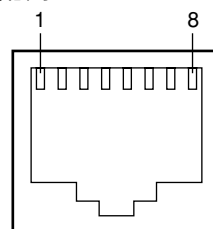
EtherTalk 仕様　ELAP、AARP、DDP、AEP、NBP、ZIP、RTMP、ATP、PAP

コネクタ

100 BASE-TX / 10 BASE-T（自動切り替え、同時使用不可）

ケーブル

RJ-45 コネクタ付きカテゴリ5非シールドツイストペアケーブル

コネクタピン配列

インタフェース信号

ﾋﾟﾝNo.	信号名	方　向	機　能
1	TXD+	FROM PRINTER	送信データ+
2	TXD-	FROM PRINTER	送信データ-
3	RXD+	TO PRINTER	受信データ+
4	−	−	使用していません。
5	−	−	使用していません。
6	RXD-	TO PRINTER	受信データ-
7	−	−	使用していません。
8	−	−	使用していません。

付録

フォントサンプル（PCL エミュレーションモード）

注 Macintosh 環境では使用できません。

日本語4書体

平成明朝	平成角ゴシック
株式会社　沖データ	**株式会社　沖データ**

P平成明朝	P平成角ゴシック
株式会社　沖データ	**株式会社　沖データ**

欧文84書体

- OS によって使用できる書体に制限があります。
- OCR-A、OCR-B は Windows 環境では使用できません。
- ビットマップフォントは固定サイズです。

スケーラブルフォント（80書体）

Font No.	
I 004	Courier
I 005	**Courier Bold**
I 006	*Courier Italic*
I 007	***Courier Bold Italic***
I 008	CG Times
I 009	**CG Times Bold**
I 010	*CG Times Italic*
I 011	***CG Times Bold Italic***
I 012	CG Omega
I 013	**CG Omega Bold**
I 014	*CG Omega Italic*
I 015	***CG Omega Bold Italic***
I 016	Coronet
I 017	**Clarendon Condensed**
I 018	Univers Medium
I 019	**Univers Bold**
I 020	*Univers Medium Italic*
I 021	***Univers Bold Italic***
I 022	Univers Medium Condensed
I 023	**Univers Bold Condensed**
I 024	*Univers Medium Condensed Italic*
I 025	***Univers Bold Condensed Italic***
I 026	Antique Olive
I 027	**Antique Olive Bold**
I 028	*Antique Olive Italic*
I 029	Garamond Antique
I 030	**Garamond Halbfett**
I 031	*Garamond Kursiv*

Font No.	
I 031	*Garamond Kursiv*
I 032	***Garamond Kursiv Halbfett***
I 033	Marigold
I 034	Albertus Medium
I 035	**Albertus Extra Bold**
I 036	Letter Gothic
I 037	**Letter Gothic Bold**
I 038	*Letter Gothic Italic*
I 039	Arial
I 040	**Arial Bold**
I 041	*Arial Italic*
I 042	***Arial Bold Italic***
I 043	Times New
I 044	**Times New Bold**
I 045	*Times New Italic*
I 046	***Times New Bold Italic***
I 047	ITC Avant Garde Gothic Book
I 048	**ITC Avant Garde Gothic Demi**
I 049	*ITC Avant Garde Gothic Book Oblique*
I 050	***ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique***
I 051	ITC Bookman Light
I 052	**ITC Bookman Demi**
I 053	*ITC Bookman Light Italic*
I 054	***ITC Bookman Demi Italic***
I 055	CourierPS
I 056	**CourierPS Bold**
I 057	*CourierPS Oblique*
I 058	***CourierPS Bold Oblique***

付録

Font No.	
I 059	Helvetica
I 060	**Helvetica Bold**
I 061	*Helvetica Oblique*
I 062	***Helvetica Bold Oblique***
I 063	Helvetica Narrow
I 064	**Helvetica Narrow Bold**
I 065	*Helvetica Narrow Oblique*
I 066	***Helvetica Narrow Bold Oblique***
I 067	New Century Schoolbook Roman
I 068	**New Century Schoolbook Bold**
I 069	*New Century Schoolbook Italic*
I 070	***New Century Schoolbook Bold Italic***
I 071	Palatino Roman
I 072	**Palatino Bold**

Font No.	
I 073	*Palatino Italic*
I 074	***Palatino Bold Italic***
I 075	Times Roman
I 076	**Times Bold**
I 077	*Times Italic*
I 078	***Times Bold Italic***
I 079	*ITC Zapf Chancery Medium Italic*
I 080	Symbol ΑΒΧΔΕφγηιφ12345
I 081	SymbolPS ΑΒΧΔΕφγηιφ12345
I 082	Wingdings ✌👌👍👎☜♐♑♒♓♏🗁🗀📄🗎🗐🗄
I 083	ITC Zapf Dingbats ✡✢✣✤✥✦✧✱✲✳✴✵✶⚭➼✓✔✕

ビットマップ フォント（3書体）

Font No.	
I 084	Line Printer ABCDEfghij12345
I 085	OCR-A ABCDEfghij12345
I 086	OCR-B ABCDEfghij12345

USPS POSTNET Bar Codes

Font No.	
I 087	USPS POSTNET Bar Codes

フォントサンプル（PostScript3 エミュレーションモード）

日本語2書体

平成角ゴシック体™W5

株式会社　沖データ

平成明朝体™W3

株式会社　沖データ

欧文136書体

AlbertusMT
AlbertusMT-Italic
AlbertusMT-Light

AntiqueOlive-Roman
AntiqueOlive-Italic
AntiqueOlive-Bold
AntiqueOlive-Compact

Apple-Chancery

ArialMT
Arial-ItalicMT
Arial-BoldMT
Arial-BoldItalicMT

AvantGarde-Book
AvantGarde-BookOblique
AvantGarde-Demi
AvantGarde-DemiOblique

Bodoni
Bodoni-Italic
Bodoni-Bold
Bodoni-BoldItalic
Bodoni-Poster
Bodoni-PosterCompressed

Bookman-Light
Bookman-LightItalic
Bookman-Demi
Bookman-DemiItalic

Carta

Chicago

Clarendon
Clarendon-Bold
Clarendon-Light

CooperBlack
CooperBlack-Italic

COPPERPLATE-THIRTYTHREEBC
COPPERPLATE-THIRTYTWOBC

Coronet-Regular

Courier
Courier-Oblique
Courier-Bold
Courier-BoldOblique

Eurostile
Eurostile-Bold
Eurostile-ExtendedTwo
Eurostile-BoldExtendedTwo

Geneva

GillSans-Light
GillSans-LightItalic
GillSans
GillSans-Italic
GillSans-Bold
GillSans-BoldItalic
GillSans-ExtraBold
GillSans-Condensed
GillSans-BoldCondensed

Goudy
Goudy-Italic
Goudy-Bold
Goudy-BoldItalic
Goudy-ExtraBold

Helvetica
Helvetica-Oblique
Helvetica-Bold
Helvetica-BoldOblique

付録

Helvetica-Condensed
Helvetica-Condensed-Oblique
Helvetica-Condensed-Bold
Helvetica-Condensed-BoldObl
Helvetica-Narrow
Helvetica-Narrow-Oblique
Helvetica-Narrow-Bold
Helvetica-Narrow-BoldOblique

HoeflerText-Regular
HoeflerText-Italic
HoeflerText-Black
HoeflerText-BlackItalic
HoeflerText-Ornaments

JoannaMT
JoannaMT-Italic
JoannaMT-Bold
JoannaMT-BoldItalic

LetterGothic
LetterGothic-Slanted
LetterGothic-Bold
LetterGothic-BoldSlanted

LubalinGraph-Book
LubalinGraph-BookOblique
LubalinGraph-Demi
LubalinGraph-DemiOblique

Marigold

Monaco

MonaLisa-Recut

NewCenturySchlbk-Roman
NewCenturySchlbk-Italic
NewCenturySchlbk-Bold
NewCenturySchlbk-BoldItalic

NewYork

Optima
Optima-Italic
Optima-Bold
Optima-BoldItalic

Oxford

Palatino-Roman
Palatino-Italic
Palatino-Bold
Palatino-BoldItalic

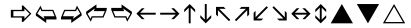
StempelGaramond-Roman
StempelGaramond-Italic
StempelGaramond-Bold
StempelGaramond-BoldItalic

Symbol　ΑΘΥΙΧΚΒΡΟΩΝ

Tekton

Times-Roman
Times-Italic
Times-Bold
Times-BoldItalic

TimesNewRomanPSMT
TimesNewRomanPS-ItalicMT
TimesNewRomanPS-BoldMT
TimesNewRomanPS-BoldItalicMT

Univers-Light
Univers-LightOblique
Univers
Univers-Oblique
Univers-Bold
Univers-BoldOblique
Univers-Condensed
Univers-CondensedOblique
Univers-CondensedBold
Univers-CondensedBoldOblique
Univers-Extended
Univers-ExtendedObl
Univers-BoldExt
Univers-BoldExtObl

Wingdings-Regular
Wingdings2 ⓪①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
Wingdings3 ⇨⇦⇨⇦⇨←→↑↓↖↗↙↘↔↕▲▼△

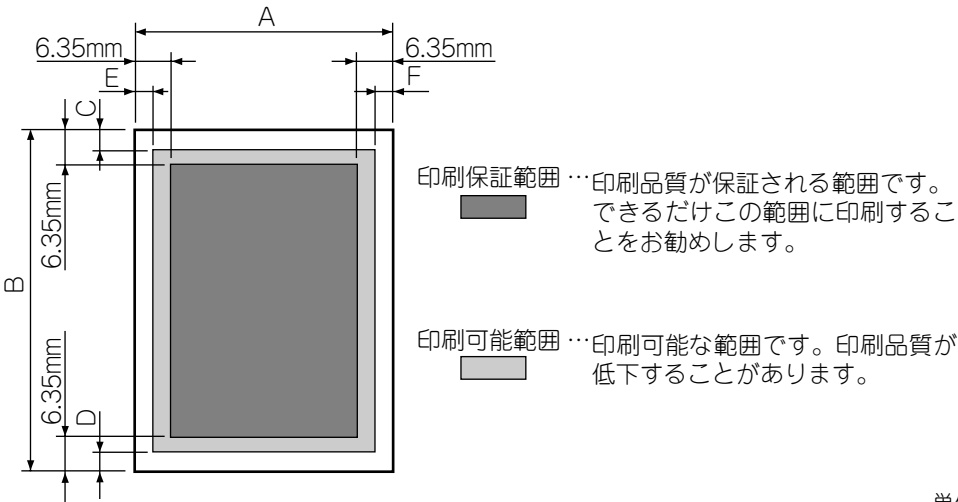
ZapfChancery-MediumItalic

ZapfDingbats

付録

印刷範囲と印刷精度
（PostScript3 エミュレーション /PCL エミュレーションモード）

プリンタドライバの印刷範囲は次のとおりです。
実際の印刷範囲は、アプリケーションにより異なることがあります。

注 印刷精度は、書き出し位置 ±2mm、用紙の斜行 ±1mm/100mm、画像伸縮 ±1mm/100mm（連量 55kg（64g/m²）の場合）です。

単位：mm

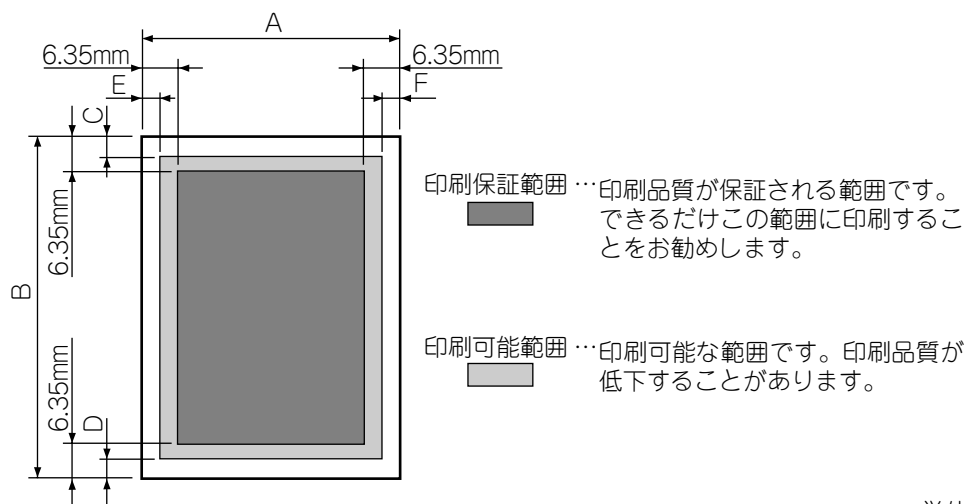
用紙サイズ	幅	長さ	PSプリンタドライバ				PCLプリンタドライバ			
			上余白	下余白	左余白	右余白	上余白	下余白	左余白	右余白
	A	B	C	D	E	F	C	D	E	F
A4	210	297	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A5	148	210	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A6	105	148	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
B5	182	257	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
レター	215.9	279.4	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13インチ）	215.9	330.2	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（14インチ）	215.9	355.6	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
エグゼクティブ	184.15	266.7	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
フリー*1*2	90～215.9	148～355.6	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
はがき	100	148	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
往復はがき	148	200	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒1（長形3号）	120	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒2（長形4号）	90	205	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒3（洋形4号）	105	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-9	98.4	225.4	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-10	104.75	241.3	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
DL	110	220	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
C5	162	229	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Monarch	98.4	190.5	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23

*1：トレイ2は、幅148～215.9、長さ210～355.6です。
*2：マルチパーパスフィーダは長さ148～297です。

付録

印刷範囲と印刷精度（ESC/P エミュレーションモード）

実際の印刷範囲は、アプリケーションにより異なることがあります。

注 印刷精度は、書き出し位置 ±2mm、用紙の斜行 ±1mm/100mm、画像伸縮 ±1mm/100mm（連量 55kg（64g/m²）の場合）です。

単位：mm

用紙サイズ	幅	長さ	上余白	下余白	左余白	右余白
	A	B	C	D	E	F
A4	210	297	8.50	5.08	5.08	5.08
A5	148	210	8.50	5.08	5.08	5.08
A6	105	148	8.50	5.08	5.08	5.08
B5	182	257	8.50	5.08	5.08	5.08
レター	215.9	279.4	8.50	5.08	5.08	5.08
リーガル（13インチ）	215.9	330.2	8.50	5.08	5.08	5.08
リーガル（14インチ）	215.9	355.6	8.50	5.08	5.08	5.08
エグゼクティブ	184.15	266.7	8.50	5.08	5.08	5.08
フリー*1*2	90～215.9	148～355.6	8.50	5.08	5.08	5.08
はがき	100	148	8.50	5.08	5.08	5.08
往復はがき	148	200	8.50	5.08	5.08	5.08
封筒1（長形3号）	120	235	8.50	5.08	5.08	5.08
封筒2（長形4号）	90	205	8.50	5.08	5.08	5.08
封筒3（洋形4号）	105	235	8.50	5.08	5.08	5.08
Com-9	98.4	225.4	8.50	5.08	5.08	5.08
Com-10	104.75	241.3	8.50	5.08	5.08	5.08
DL	110	220	8.50	5.08	5.08	5.08
C5	162	229	8.50	5.08	5.08	5.08
Monarch	98.4	190.5	8.50	5.08	5.08	5.08

*1：トレイ2は、幅148～215.9、長さ210～355.6です。
*2：マルチパーパスフィーダは長さ148～297です。

- ［アタマダシイチ］と［タテオフセット］との設定によりCが変化します。表中の8.50mmは、デフォルト値です。最小値は4.08mm です。
- ［X ホセイ］、［Y ホセイ］の設定により印刷可能範囲が変化します。

付録

ESC/P エミュレーションコマンド一覧

このプリンタのESC/P モードでサポートしているコマンドを以下に示します。コマンドの詳細については、「EPSON ESC/P リファレンスマニュアル（セイコーエプソン株式会社）」をご覧ください。

書式設定・実行

機　能	コマンド
行単位ページ長設定	ESC C
インチ単位ページ長設定	ESC C 0
右マージン設定	ESC Q
左マージン設定	ESC ℓ
1/8インチ改行量設定	ESC 0
1/6インチ改行量設定	ESC 2
n/180インチ改行量設定	ESC 3
n/60インチ改行量設定	ESC A
垂直タブ位置設定	ESC B
水平タブ位置設定	ESC D
印字復帰	CR
改行	LF
改ページ	FF
n/180インチ順方向紙送り	ESC J
n/180インチ逆方向紙送り	ESC j
水平タブ実行	HT
垂直タブ実行	VT
絶対位置指定	ESC $
相対位置指定	ESC ￥

ANK・漢字テキスト処理

機　能	コマンド
自動解除付き倍幅拡大指定	SO
	ESC SO
	FS SO
自動解除付き倍幅拡大解除	DC4
	FS DC4
倍幅拡大指定/解除	ESC W
強調指定	ESC E
強調解除	ESC F
二重印字指定	ESC G
二重印字解除	ESC H
文字スタイル選択	ESC q
イタリック指定	ESC 4
イタリック解除	ESC 5
一括指定	ESC !

ANKテキスト処理

機　能	コマンド
12CPI指定	ESC M
10CPI指定	ESC P
15CPI指定	ESC g
国際文字選択	ESC R
スーパー/サブスクリプト指定	ESC S
スーパー/サブスクリプト解除	ESC T
文字品位選択	ESC x
書体選択	ESC k
プロポーション指定/解除	ESC p
文字コード表選択	ESC t
ダウンロード文字セット指定/解除	ESC %
ダウンロード文字定義	ESC &
文字セットコピー	ESC :
文字間スペース量指定	ESC SP
縦倍拡大指定/解除	ESC w
縮小指定	SI
縮小解除	DC2
アンダーライン指定/解除	ESC -

漢字テキスト処理

機　能	コマンド
縦書き指定	FS J
横書き指定	FS K
半角縦書き指定2文字指定	FS D
4倍角指定/解除	FS W
漢字アンダーライン指定/解除	FS -
漢字一括指定	FS !
漢字モード指定	FS &
漢字モード解除	FS .
半角文字指定	FS SI
半角文字解除	FS DC2
1/4角文字指定	FS r
漢字書体選択	FS k
外字定義	FS 2
全角文字スペース量設定	FS S
半角文字スペース量設定	FS T

補助機能

機　能	コマンド
初期化	ESC @
カットシートフィーダ制御	ESC EM
デバイスコントロール1	DC1
デバイスコントロール3	DC3
上位側コントロール解除	ESC 6
上位側コントロール指定	ESC 7
位置揃え指定	ESC a
VFUタブ位置設定	ESC b
VFUチャンネル選択	ESC /
半角文字スペース量補正	FS U
半角文字スペース量補正解除	FS V
データ抹消	CAN
一文字削除	DEL
後退	BS
MSB=0指定	ESC =
MSB=1指定	ESC >
MSBコントロール解除	ESC #

ビットイメージ処理

機　能	コマンド
ビットイメージ選択	ESC *
ビットイメージ変換	ESC ?
8ドット単密度ビットイメージ	ESC K
8ドット倍密度ビットイメージ	ESC L
8ドット倍速倍密度ビットイメージ	ESC Y
8ドット4倍密度ビットイメージ	ESC Z

ESC/P エミュレーションモードの初期状態

項　目	初期化状態
ページ長	メニューで設定した用紙サイズ
ミシン目スキップ	解除
右マージン	用紙サイズの右端または136桁（10CPIの文字幅による）*
左マージン	0
改行量	1/6インチ/行
水平タブ位置	8文字毎の水平タブ
垂直タブ位置	無指定
文字ピッチ	10文字/インチ
プロポーショナル	解除
英数カナ文字書体	ローマンまたはサンセリフ*
文字品位	高品位
国際文字選択	日本
文字コード表	カタカナコードまたは拡張グラフィックス*
文字間スペース量	0
文字装飾	解除
縮小	解除
漢字モード	解除
漢字書体	平成明朝体または平成角ゴシック体*
縦書き／横書き	横書き
全角文字／半角文字／1/4角文字	全角文字
全角文字の左右スペース量	左スペース量：0　右スペース量：3（180dpi相当）
半角文字の左右スペース量	左スペース量：0　右スペース量：3（180dpi相当）
1/4角文字の左右スペース量	左スペース量：0　右スペース量：2（180dpi相当）
漢字装飾	解除

*：メニュー設定によります。

初期化動作の発生条件と範囲を下表に示します。

項　目	I-PRIME受信時 データクリア	「キャンセル」スイッチ
受信バッファ	クリアする	クリアする
入力バッファ（ESC/Pのみ）	クリアする	クリアしない
印刷バッファ（編集中）	クリアする	クリアしない
印刷バッファ（編集済）	クリアする	クリアしない
印刷バッファ（印刷中）	クリアしない	クリアしない
ダウンロード文字定義（ESC/P）	クリアしない	クリアしない
外字定義（ESC/P）	クリアしない	クリアしない
その他の設定	メニュー設定に初期化	メニュー設定に初期化
アラーム	クリアしない	「オンライン」スイッチにて解除できるもののみクリアする。

メモ　工場出荷時の設定では I-PRIME 信号は無視されます。

文字コード表（PCL エミュレーションモード）

- アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションは独自の文字コード表を使用することがあります。
- 漢字コード表は「プリンタソフトウェア CD-ROM」の以下のフォルダに PDF ファイルで入っています。
  - ［Windows］.............. MICROLINE¥DOC フォルダ
  - ［Macintosh］............ ［MICROLINE］-［漢字コード表］フォルダ
- 各 PDF ファイルが示すプリンタのフォントは以下のとおりです。

ファイル名（Windows）	ファイル名（Macintosh）	プリンタフォント名
平成角ゴ.pdf	平成角ゴシック.pdf	平成角ゴシック
平成明朝.pdf	平成明朝.pdf	平成明朝

シンボルセット

Roman-8
PC-8
ISO L1
PC-8 Dan/Nor
PC-850
Legal
ISO-2 IRV
ISO-4 UK
ISO-6 ASC
ISO-10 S/F
ISO-11 Swe
ISO-14 JASC
ISO-15 Ita
ISO-16 Por
ISO-17 Spa
ISO-21 Ger
ISO-25 Fre
ISO-57 Chi
ISO-60 Nor
ISO-61 Nor
ISO-69 Fre
ISO-84 Por
ISO-85 Spa
German
Spanish
ISO Dutch
Roman Ext
ISO Swedish1
ISO Swedish2
ISO Swedish3
IBM-437
IBM-850
IBM-860
IBM-863
IBM-865
PC Set1
PC Ext US
PC Ext D/N
PC Set2 US
PC Set2 D/N
VN Math
VN Int'l
VN US
PS Math
PS Text
Math-8
Pi Font
MS Publish
Win 3.0
DeskTop
Win 3.1 L1
MC Text
PC-852
Win 3.1 L5
Win 3.1 L2
CWI Hung
PC-857 TK
ISO L2
ISO L5
PC-8 TK
Kamenicky
Hebrew NC
Hebrew OC
Plska Mazvia
ISO L6
Win 3.1 Cyr
PC-866
Win 3.1 Grk
PC-869
PC-855
Greek-437
Greek-437 Cy
Greek-928
Win 3.1 Heb
Serbo Croat2
Ukrainian
Bulgarian
PC-1004
WIN BALTIC
PC-775
Serbo Croat1
ISO L9
HP ZIP
USPSZIP
USPSFIM
USPSSTP
Wingdings
Symbol
OCR-A
OCR-B
Win3.1J
PC858
Roman-9
Ding MS
Greek-737

標準欧文（PC-8）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		►		0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1	☺	◄	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2	☻	↕	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3	♥	‼	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4	♦	¶	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6	♠	▬	&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7	•	↨	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	◘	↑	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	○	↓	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	Θ	∙
A	◙	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	♂	←	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	♀	∟	,	<	L	\	l	|	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	♪	↔	-	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	ε	■
F	☼	▼	/	?	O	_	o	⌂	Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

付録

Symbol

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	≅	Π	‾	π				°	ℵ	∠	◊	
1			!	1	Α	Θ	α	θ			ϒ	±	ℑ	∇	〈	〉
2			∀	2	Β	Ρ	β	ρ			′	″	ℜ	®	®	∫
3			#	3	Χ	Σ	χ	σ			≤	≥	℘	©	©	⌠
4			∃	4	Δ	Τ	δ	τ			⁄	×	⊗	™	™	⎮
5			%	5	Ε	Υ	ε	υ			∞	∝	⊕	∏	∑	⌡
6			&	6	Φ	ς	ϕ	ϖ			ƒ	∂	∅	√	⎛	⎞
7			∋	7	Γ	Ω	γ	ω			♣	•	∩	⋅	⎜	⎟
8			(	8	Η	Ξ	η	ξ			♦	÷	∪	¬	⎝	⎠
9			)	9	Ι	Ψ	ι	ψ			♥	≠	⊃	∧	⎡	⎤
A			∗	:	ϑ	Ζ	φ	ζ			♠	≡	⊇	∨	⎢	⎥
B			+	;	Κ	[	κ	{			↔	≈	⊄	⇔	⎣	⎦
C			,	<	Λ	∴	λ	|			←	…	⊂	⇐	⎧	⎫
D			−	=	Μ	]	μ	}			↑	⏐	⊆	⇑	⎨	⎬
E			.	>	Ν	⊥	ν	∼			→	⎯	∈	⇒	⎩	⎭
F			/	?	Ο	_	ο				↓	↵	∉	⇓	⎪	

Wingdings

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				📁	🖎	🏱	♊	🞐	⓪	❺	·	⯐	🕙	🙖	🡪	⇨
1			🖉	📂	✌	✈	♋	❑	①	❻	○	⌖	🕚	🙐	🡩	⇧
2			✂	📄	👌	☼	♌	❒	②	❼	⭘	⟡	🕛	🙑	🡫	⇩
3			✁	🗏	👍	💧	♍	⬧	③	❽	🞈	⌑	⮰	🙒	🡬	⬄
4			👓	🗐	👎	❄	♎	⧫	④	❾	⊙	⯑	⮱	🙓	🡭	⇳
5			🕭	🗄	☜	🕆	♏	◆	⑤	❿	◎	✪	⮲	⌫	🡯	⬁
6			🕮	⌛	☞	✞	♐	❖	⑥	🙢	🔿	✰	⮳	⌦	🡮	⬀
7			🕯	🖮	☝	🕈	♑	⬥	⑦	🙠	▪	🕐	⮴	⮘	🡸	⬃
8			🕿	🖰	☟	✠	♒	⌧	⑧	🙡	◻	🕑	⮵	⮚	🡺	⬂
9			✆	🖲	✋	✡	♓	⮹	⑨	🙣	🟂	🕒	⮶	⮙	🡹	▭
A			🖂	🖳	☺	☪	🙰	⌘	⑩	🙞	✦	🕓	⮷	⮛	🡻	▫
B			🖃	🖴	😐	☯	🙵	🏵	⓿	🙜	★	🕔	🙪	⮈	🡼	✗
C			📪	🖫	☹	ॐ	●	🏶	❶	🙝	✶	🕕	🙫	⮊	🡽	✓
D			📫	🖬	💣	☸	🔾	🙶	❷	🙟	✴	🕖	🙕	⮉	🡿	☒
E			📬	✇	☠	♈	■	🙷	❸	·	✹	🕗	🙔	⮋	🡾	☑
F			📭	✍	🏳	♉	□		❹	•	✵	🕘	🙗	🡨	⇦	⊞

文字コード表（PostScript3 エミュレーションモード）

- ***-83pv-RKSJ-H は、主に Macintosh で使用します。（*** はフォント名）
  -90ms-RKSJ-H、-RKSJ-H および ***-Ext-RKSJ-H は、主に Windows で使用します。（*** はフォント名）
- プリンタの文字コード表にない文字は、出力できなかったり、文字化けするなど、思わぬ結果になることがあります。
- アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションソフトは独自の文字コード表を使用することがあります。
- 漢字コード表は「プリンタソフトウェア CD-ROM」の以下のフォルダに PDF ファイルで入っています。
  ［Windows］.............. MICROLINE¥DOC フォルダ
  ［Macintosh］............ ［MICROLINE］-［漢字コード表］フォルダ
- 各 PDF ファイルが示すプリンタのフォントは以下のとおりです。

ファイル名（Windows）	ファイル名（Macintosh）	プリンタフォント名
HG-83pv.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ-H
HG-90ms.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ-H
HGExRKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ-H
HG-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ-H
HM-83pv.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ-H
HM-90ms.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ-H
HMExRKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ-H
HM-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ-H

欧文標準

Low code

High code

<table>
<tr><th></th><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th><th>E</th><th>F</th></tr>
<tr><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>2</td><td></td><td>!</td><td>"</td><td>#</td><td>$</td><td>%</td><td>&</td><td>'</td><td>(</td><td>)</td><td>*</td><td>+</td><td>,</td><td>-</td><td>.</td><td>/</td></tr>
<tr><td>3</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>:</td><td>;</td><td><</td><td>=</td><td>></td><td>?</td></tr>
<tr><td>4</td><td>@</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td><td>F</td><td>G</td><td>H</td><td>I</td><td>J</td><td>K</td><td>L</td><td>M</td><td>N</td><td>O</td></tr>
<tr><td>5</td><td>P</td><td>Q</td><td>R</td><td>S</td><td>T</td><td>U</td><td>V</td><td>W</td><td>X</td><td>Y</td><td>Z</td><td>[</td><td>\</td><td>]</td><td>^</td><td>_</td></tr>
<tr><td>6</td><td>`</td><td>a</td><td>b</td><td>c</td><td>d</td><td>e</td><td>f</td><td>g</td><td>h</td><td>i</td><td>j</td><td>k</td><td>l</td><td>m</td><td>n</td><td>o</td></tr>
<tr><td>7</td><td>p</td><td>q</td><td>r</td><td>s</td><td>t</td><td>u</td><td>v</td><td>w</td><td>x</td><td>y</td><td>z</td><td>{</td><td>|</td><td>}</td><td>~</td><td></td></tr>
<tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>A</td><td></td><td>¡</td><td>¢</td><td>£</td><td>⁄</td><td>¥</td><td>ƒ</td><td>§</td><td>¤</td><td>'</td><td>“</td><td>«</td><td>‹</td><td>›</td><td>ﬁ</td><td>ﬂ</td></tr>
<tr><td>B</td><td></td><td>–</td><td>†</td><td>‡</td><td>·</td><td></td><td>¶</td><td>•</td><td>‚</td><td>„</td><td>”</td><td>»</td><td>…</td><td>‰</td><td></td><td>¿</td></tr>
<tr><td>C</td><td></td><td>`</td><td>´</td><td>ˆ</td><td>˜</td><td>¯</td><td>˘</td><td>˙</td><td>¨</td><td></td><td>˚</td><td>¸</td><td></td><td>˝</td><td>˛</td><td>ˇ</td></tr>
<tr><td>D</td><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>E</td><td></td><td>Æ</td><td></td><td>ª</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>Ł</td><td>Ø</td><td>Œ</td><td>º</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>F</td><td></td><td>æ</td><td></td><td></td><td></td><td>ı</td><td></td><td></td><td>ł</td><td>ø</td><td>œ</td><td>ß</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

Symbol

Low code

High code

<table>
<tr><th></th><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th><th>E</th><th>F</th></tr>
<tr><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>2</td><td></td><td>!</td><td>∀</td><td>#</td><td>∃</td><td>%</td><td>&</td><td>∍</td><td>(</td><td>)</td><td>∗</td><td>+</td><td>,</td><td>−</td><td>.</td><td>/</td></tr>
<tr><td>3</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>:</td><td>;</td><td><</td><td>=</td><td>></td><td>?</td></tr>
<tr><td>4</td><td>≅</td><td>Α</td><td>Β</td><td>Χ</td><td>Δ</td><td>Ε</td><td>Φ</td><td>Γ</td><td>Η</td><td>Ι</td><td>ϑ</td><td>Κ</td><td>Λ</td><td>Μ</td><td>Ν</td><td>Ο</td></tr>
<tr><td>5</td><td>Π</td><td>Θ</td><td>Ρ</td><td>Σ</td><td>Τ</td><td>Υ</td><td>ς</td><td>Ω</td><td>Ξ</td><td>Ψ</td><td>Ζ</td><td>[</td><td>∴</td><td>]</td><td>⊥</td><td>_</td></tr>
<tr><td>6</td><td>‾</td><td>α</td><td>β</td><td>χ</td><td>δ</td><td>ε</td><td>φ</td><td>γ</td><td>η</td><td>ι</td><td>ϕ</td><td>κ</td><td>λ</td><td>μ</td><td>ν</td><td>ο</td></tr>
<tr><td>7</td><td>π</td><td>θ</td><td>ρ</td><td>σ</td><td>τ</td><td>υ</td><td>ϖ</td><td>ω</td><td>ξ</td><td>ψ</td><td>ζ</td><td>{</td><td>|</td><td>}</td><td>~</td><td></td></tr>
<tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>A</td><td>€</td><td>ϒ</td><td>′</td><td>≤</td><td>⁄</td><td>∞</td><td>ƒ</td><td>♣</td><td>♦</td><td>♥</td><td>♠</td><td>↔</td><td>←</td><td>↑</td><td>→</td><td>↓</td></tr>
<tr><td>B</td><td>°</td><td>±</td><td>″</td><td>≥</td><td>×</td><td>∝</td><td>∂</td><td>•</td><td>÷</td><td>≠</td><td>≡</td><td>≈</td><td>…</td><td>⏐</td><td>⎯</td><td>↵</td></tr>
<tr><td>C</td><td>ℵ</td><td>ℑ</td><td>ℜ</td><td>℘</td><td>⊗</td><td>⊕</td><td>∅</td><td>∩</td><td>∪</td><td>⊃</td><td>⊇</td><td>⊄</td><td>⊂</td><td>⊆</td><td>∈</td><td>∉</td></tr>
<tr><td>D</td><td>∠</td><td>∇</td><td>®</td><td>©</td><td>™</td><td>∏</td><td>√</td><td>⋅</td><td>¬</td><td>∧</td><td>∨</td><td>⇔</td><td>⇐</td><td>⇑</td><td>⇒</td><td>⇓</td></tr>
<tr><td>E</td><td>◊</td><td>〈</td><td>®</td><td>©</td><td>™</td><td>∑</td><td>⎛</td><td>⎜</td><td>⎝</td><td>⎡</td><td>⎢</td><td>⎣</td><td>⎧</td><td>⎨</td><td>⎩</td><td>⎪</td></tr>
<tr><td>F</td><td></td><td>〉</td><td>∫</td><td>⌠</td><td>⎮</td><td>⌡</td><td>⎞</td><td>⎟</td><td>⎠</td><td>⎤</td><td>⎥</td><td>⎦</td><td>⎫</td><td>⎬</td><td>⎭</td><td></td></tr>
</table>

ZapfDingbats

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		✁	✂	✃	✄	☎	✆	✇	✈	✉	☛	☞	✌	✍	✎	✏
3	✐	✑	✒	✓	✔	✕	✖	✗	✘	✙	✚	✛	✜	✝	✞	✟
4	✠	✡	✢	✣	✤	✥	✦	✧	★	✩	✪	✫	✬	✭	✮	✯
5	✰	✱	✲	✳	✴	✵	✶	✷	✸	✹	✺	✻	✼	✽	✾	✿
6	❀	❁	❂	❃	❄	❅	❆	❇	❈	❉	❊	❋	●	❍	■	❏
7	❐	❑	❒	▲	▼	◆	❖	◗	❘	❙	❚	❛	❜	❝	❞	
8																
9																
A		❡	❢	❣	❤	❥	❦	❧	♣	♦	♥	♠	①	②	③	④
B	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼	❽	❾	❿
C	➀	➁	➂	➃	➄	➅	➆	➇	➈	➉	➊	➋	➌	➍	➎	➏
D	➐	➑	➒	➓	➔	→	↔	↕	➘	➙	➚	➛	➜	➝	➞	➟
E	➠	➡	➢	➣	➤	➥	➦	➧	➨	➩	➪	➫	➬	➭	➮	➯
F		➱	➲	➳	➴	➵	➶	➷	➸	➹	➺	➻	➼	➽	➾	

付録

文字コード表（ESC/P エミュレーションモード）

ESC/P に準拠した以下の文字コードをもっています。
文字コードの詳細は、「EPSON ESC/P リファレンスマニュアル（セイコーエプソン株式会社）」をご覧ください。

カタカナコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	╳
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3		DC3	#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▅	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7	BEL		'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		-	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	░
F	SI		/	?	O	_	o	DEL	┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
デンマーク 1	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン 1	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク 2	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン 2	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

拡張グラフィックスコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	β	±
2		DC2	”	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3		DC3	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7	BEL		’	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	˙
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	θ	•
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ŋ
D	CR		–	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	SO		.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	ε	■
F	SI		/	?	O	_	o	DEL	Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
デンマーク1	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	＼	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン1	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク2	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン2	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

付録

消耗品・オプション一覧

これらの消耗品、オプションは、お近くの販売店またはサービス拠点（281ページ）でお求めください。

品　名	型　名	内　容
A4用紙	ML PAPER(A4)	500枚包×5包/1箱
B5用紙	ML PAPER(B5)	500枚包×5包/1箱
トナーカートリッジ	TNR-M4A	トナーカートリッジ LEDレンズクリーナ クリーニングペーパ
イメージドラムカートリッジ　※	ID-M4A	イメージドラムカートリッジ
拡張給紙ユニット	MLTRY-M4A	拡張給紙ユニット
マルチパーパスフィーダ	MLMPF01	マルチパーパスフィーダ
プリントジョブアカウンティング	MLSFT-PJA01	

※ イメージドラムカートリッジ交換時には、トナーカートリッジも交換が必要です。

- トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると､印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は､無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。)
- トナーカートリッジ､イメージドラムカートリッジは､開封後1年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度 : 0 〜 35˚C、湿度 : 20 〜 85%RH 範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。
- 用紙の保管方法は、244 ページを参照してください。

ユーザサポートサービスについて

保証について

- 本製品には「保証書」が入っています。
- 「保証書」は、お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡しします。記入内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に万一故障が生じたときは、「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理します。無償保証期間は「保証書」に記載されています。
- 「保証書」に所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は、保証期間中であっても、保証が無効となる場合があります。
- 保証期間経過後は、修理によって本プリンタの性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理します。詳しくは、お客様相談センターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

最新版のプリンタソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。
http://www.okidata.co.jp

プリンタのご相談と修理について

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。

お客様相談センター　　0120-654-632

（携帯電話からは 03-5833-5710）

受付時間　9 : 00 ～ 20 : 00 月曜日～金曜日
9 : 00 ～ 17 : 00 土曜日
(但し　祝日を除く)

※ 月曜日～金曜日の 17:30 ～ 20:00 及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。

※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

■西日本地区（東海・北陸以西）での修理のご依頼をお受けします。

西日本 OA コールセンタ（大阪）　　0120-003-544

（携帯電話からは 06-6459-0111）

受付時間　9 : 00 ～ 17 : 30　月曜日～金曜日
(但し　祝日を除く)

※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆プリンタのサポートサービスは(株)沖電気カスタマアドテック（OCA）とそのグループ会社が担当しております。

付録

— お問い合わせに回答できない場合について —

1. UNIX 環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5. プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境

機種名：＿＿＿＿＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　購入月：＿＿＿年＿＿＿月

追加オプション：　なし　・　あり（　　　　　　　　）

コンピュータ環境

□Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□Mac OS　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

接続方法

□パラレル　□USB　□ネットワーク

□TCP/IP　□IPX/SPX　□EtherTalk　□NetBEUI

プリンタドライバ

プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿

アプリケーションソフト

アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿

使用フォント名：＿＿＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）

コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

プリンタの操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

その他

他のアプリケーションからの印刷：□正常　□印刷できない

他のコンピュータからの印刷　　：□正常　□印刷できない

消耗品を購入したい

プリンタをお買い上げいただいた販売店、またはお近くのサービス拠点へお電話でご連絡ください。

(株)沖北海道サービス(札幌)	〒060-0001	札幌市中央区北一条西9-3-27(第3古久根ビル)	011-261-3261
(株)沖東北サービス(仙台)	〒980-0802	仙台市青葉区二日町3-10(グランシャリオビル3F)	022-212-5167
(株)沖情報機器サービス(新潟)	〒950-0082	新潟市東万代町1-30 (新潟第一生命戸田建設共同ビル)	025-241-6838
(株)沖関東サービス(秋葉原)	〒111-0052	台東区柳橋2-19-6(秀和柳橋ビル9F)	03-3865-6599
(株)沖北関東サービス(新宿)	〒160-0022	新宿区新宿2-19-1(ビックス新宿ビル3F)	03-3225-3131
(株)沖中部サービス(名古屋)	〒453-0861	名古屋市中村区岩塚本通2-1-2(MSビル2F)	052-413-6510
(株)沖電気カスタマアドテック(金沢)	〒921-8163	金沢市横川7-35-1(大洋不動産ビル7F)	076-242-3300
(株)沖関西サービス(大阪)	〒550-0004	大阪市西区靱本町1-4-12(本町富士ビル)	06-6459-0120
(株)沖中国サービス(広島)	〒731-0138	広島市安佐南区祇園2-9-31	082-871-2601
(株)沖四国サービス(高松)	〒761-8058	高松市勅使町632-4	087-868-3040
(株)沖九州サービス(福岡)	〒815-0035	福岡市南区向野2-9-21	092-512-4197

※各サービス拠点の住所、電話番号は変更される場合がありますので、ご了承ください。
※弊社ホームページでは最新の住所、電話番号を掲載しておりますので、こちらもご覧ください。
http://www.okidata.co.jp

プリンタを廃棄したい

お買い上げいただいたプリンタの廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

付録

使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みのMICROLINEプリンタの消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。
下記用紙をコピーし、必要事項を記入してFAXでご連絡いただければ、回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ1本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。

皆様のご協力をお願いします。

FAX 024-594-2798

沖データ回収センタ　宛

受付 No.　:
* 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

西暦　　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：＿＿＿＿＿＿＿＿
ご担当者名　：＿＿＿＿＿＿＿＿
ご住所　：＿＿＿＿＿＿＿＿
お電話番号　：＿＿＿＿＿＿＿＿
回収ご希望日時　：　　年　　月　　日　　午前／午後　　時

回収依頼品

品目		数量
イメージドラムカートリッジ	：	個
トナーカートリッジ	：	個
定着器オイルローラ	：	個
廃棄トナーボックス	：	個
ベルトユニット	：	個
定着器ユニット	：	個
EPトナーカートリッジ	：	個
インクリボンカートリッジ	：	個
その他マイクロライン消耗品	：	個

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

索引

索　引

W

あ

い

う

え

お

索引

か

き

く

け

こ

さ

索引

ま

め

も

ゆ

よ

ら

り

わ